講義名	1000001000 宗教学（地域経営・人間健康）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)	石原　良明			

学習目標(到達目標)

1. 学校法人光星学院と八戸学院大学の建学の精神を理解し、自分の言葉で説明できるようになる。
2. 旧約聖書を通して人間と社会、世界にについて考えることを通して、人間の真のニーズをつかむ。
3. キリスト教の根幹を理解することによって、国際社会で通用する教養を身に着ける。

授業概要(教育目的)

宗教を学問として扱う方法論には様々な方法論やアプローチが考えられるが、世界の様々な諸宗教を客観的に考察する比較宗教学的な方法論には、実はあまり大きな意味はない。むしろ、本学も建学の精神とするカトリシズムやキリスト教の根幹にある、聖書という一つの普遍的な書物に対して学問的に真剣に向き合い理解を深めることで、21世紀の現代社会でも通用する気付きを得ることができるものである。
　本講義では、聖書の中でもその大部分を占め、様々な文学ジャンルを収録する『旧約聖書』を取り扱う。旧約聖書は、古代人たちの著作でありながら、極めて過酷な環境と壮大な歴史を背景のために、大変深い人間理解を持ち、また人間社会に対する鋭いまなざしを持ち合わせている。このような文学に学ぶことは、今日なお有意義であり単に「宗教学」に触れる以上の意味がある。真の目標は、聖書を学ぶのみならず、聖書を通して人間について考え、これからの日本の社会に必要なことを考えるための補助線を得ることである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科)。

評価方法

学期末に短いレポートを課す。さらに、授業におけるリアクションペーパー、質疑応答など授業参加態度などから総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

『聖書　聖書協会共同訳』または『聖書　新共同訳』
雨宮慧『図解雑学　聖書』ナツメ社、2009年。
雨宮慧『旧約聖書のこころ』女子パウロ会、1989年。
佐久間勤『四季おりおりの聖書』女子パウロ会、2002年。
月本昭雄監修『図説　一冊で学び直せるキリスト教の本』学研プラス、2020年。
その他、有用な書籍は授業時に随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は用いず、資料を配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

授業にあたっては、学生も教員も適切な緊張感を持って臨みたい。必ずしも細かな注意事項は列挙しないが、授業妨害、集中不足、非常識な行動や態度などは、取ることのないように願いたい。

実務との関連

カトリック教会の週刊誌で連載執筆した記事を授業内で用いることがある。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	キリスト教を概観する	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	建学の精神について	創立者ヨゼフ中村由太郎について、自分なりに調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	旧約聖書とは何か。背景となるパレスチナの歴史と地理	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
4	旧約聖書の世界観(創世記1章を分析する)	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
5	旧約聖書の人間論(アダムとエバ、カインとアベル　創世記2-4章)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
6	旧約聖書の人間論II（ノアの方舟と世界刷新　創世記6-9章）	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
7	バベルの塔(創世記11章)、「原初史」と現代を照らし合わせて考える人間の可能性	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	アブラハムの「召命」と人間の現実 「イスラエル民族」I	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
9	ヤコブ物語とヨセフ物語に見る、神と人間 「イスラエル民族」II	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	参考文献の関連個所を読む
10	物語としての「出エジプト」: 解放か救済か 「イスラエル民族」III	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	荒れ野の40年と律法授与:イスラエル誕生の史実と真実	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
12	イスラエル統一王国:権力の現実と理想の平和	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	分裂王国時代:預言者の社会批判と、「あるべき社会」	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
14	詩編と知恵文学から考える、「人間とは何か」	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
15	聖書が示す、人間の希望とは:新約聖書が与える「回答」	前回の配布資料とノートを読み直す	課題のレポートを作成する

講義名	1000002001 キリスト教概論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)	石原　良明			

学習目標(到達目標)

1.「神を敬し、人を愛する」という学校法人光星学院と八戸学院大学の建学の精神の理解をさらに深め、実践する人となる。
2. 新約聖書への理解を通して、どのような社会になっても必要となる価値観を修得する。
3. キリスト教の根幹を理解することによって、国際社会で通用する教養を身に着ける。

授業概要(教育目的)

新約聖書は、旧約聖書が深く認識した人間存在の有り様に対する回答の書であり、それだけを読んでいてもあまり面白くはない。また、人間についての問題意識のないまま読み進めることによる弊害は計り知れない。本授業では、旧約聖書の知識も補いつつ、新約聖書が示す人間と人間社会の新しいあり方の可能性を考えたい。まずは知識は必要なので、新約聖書の背景となる歴史や地理、旧約聖書について知り、またイエスの言行録ともいえる福音書の概説を行う。さらに、様々な物語を通してイエス・キリストと聖書の思想に迫っていく。新約聖書とキリスト教は果たして本当はどのようなことを主張しようとしているのか、また、それらが語る「救い」が何であるのかを考え、生き方をも問う授業としたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科)。

評価方法

学期末に短いレポートを課す。さらに、授業におけるリアクションペーパー、質疑応答など授業参加態度などから総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

シルヴァノ・ファウスティ『思い起こし、物語れ：マルコ福音書のメッセージ』(上下巻)佐久間勤訳、女子パウロ会、2000-01年。
大貫隆『イエスと経験』岩波書店、2003年。
上村静『宗教の倒錯』岩波書店、2008年。
学校法人上智学院編『新カトリック大事典』研究社、1996-2010年。

講義時使用テキスト

教科書は用いず、資料を配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

授業にあたっては、学生も教員も適切な緊張感を持って臨みたい。必ずしも細かな注意事項は列挙しないが、授業妨害、集中不足、非常識な行動や態度などは、取ることのないように願いたい。

実務との関連

カトリック教会の週刊誌で連載執筆した記事を授業内で用いることがある。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	キリスト教を概観する	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
2	パレスチナの気候と風土	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	旧約聖書が語る人間	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
4	旧約聖書が語る社会	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
5	福音書通説(映像作品で見るイエス・キリスト)	参考文献の関連個所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	イエスの生涯と、その意味	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	山上の説教に見るイエスの価値観	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
8	イエスが相手にした人々(律法学者、ヤイロの娘、ザアカイ、その他)	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
9	イエスが語るたとえ話(放蕩息子のたとえ)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	イエスが説く生き方(タラントンのたとえ、ぶどう園の労働者のたとえ)	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
11	ヨハネ文書が語る「友なるイエス」	参考文献の関連個所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	弟子たちの復活体験：永遠のいのちへの希望	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
13	パウロの生涯と神学：「信仰によって義とされる」？	参考文献の関連個所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	新約聖書の女性たち	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
15	外部講師特別講義	これまで学んだ内容を総合的に振り返り、その思想に生きるとはどういうことか、自分なりに考えておく	課題のレポートを作成する

講義名	1000003000 地域文化論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科/人間健康学科/看護学科			担当教員(単位認定者)	柾谷　伸夫		

学習目標(到達目標)

1. 八戸を中心とする南部地域の歴史と特性を説明できる。
2. 八戸を中心とする南部地域の文化と特性を説明できる。
3. 八戸を中心とする南部地域の地域発展に貢献した先人の業績を説明できる。
4. 八戸の政治・経済界を牽引しているゲストの講義を聞き、地域活性化の現状と課題の解決策を説明できる。

授業概要(教育目的)

近年、「地域活性化、地域創生」という言葉がクローズアップされている。各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指して、内閣総理大臣を本部長とする地域創生本部が設置され、平成26年12月には「まち・ひと・しごと創生法」が施行された。地方創生本部の3つの視点のひとつに「地域の特性に即した地域課題の解決」が挙げられている。そこで本講義では、学外の他の機関などとも連携しつつ、①地域文化の歴史と特性、②地域発展に貢献した先人の事例、③地域活性化の現状と課題の解決策などについて学修することを主たる目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

課題提出、授業アンケート等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

学生へのメッセージ

この講義を通して、大学のある八戸を中心とする南部地域の魅力に気づき、八戸が大好きになって欲しい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	八戸の歴史～中世	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
2	八戸の歴史～中世から戦国時代	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
3	八戸の歴史～九戸の乱から八戸藩誕生	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
4	八戸の歴史～江戸中期から幕末	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
5	八戸の歴史～幕末から明治期 八戸藩の文化と特性	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
6	八戸の文化の特性①	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
7	八戸の文化の特性②	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
8	地域活性化の現状と課題の解決策①	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
9	安藤昌益 美濃屋乙因	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
10	櫛引弓人 前原寅吉	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
11	神田重雄 長谷川藤次郎 浦山太吉 橋本八右衛門	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
12	地域活性化の現状と課題の解決策②	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
13	地域活性化の現状と課題の解決策③	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
14	地域活性化の現状と課題の解決策④	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
15	地域活性化の現状と課題の解決策⑤	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す

講義名	1000004213	基礎演習　坂本ゼミ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	坂本　貴博			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。
3. レポートの作成等を通して適切な文章表現の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
　一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴があります。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言えます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

担当教員の指導のもと、各自のテーマに基づいてのレポート作成とそのための資料・文献の検索を実践していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	基礎演習・プレゼンテーションの進め方	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	資料(文献)の収集と利用①－新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	資料(文献)の収集と利用②	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	レポートの書き方①－レポートの構成について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	レポートの書き方⑥－引き続き、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	レポートの書き方⑦－必要に応じ「情報カード」を見直し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000004216 基礎演習　幸田ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	幸田　威久矢			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。
3. レポートの作成等を通して適切な文章表現の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴があります。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言えます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績に関する申立書」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

担当教員の指導のもと、各自のテーマに基づいてのレポート作成とそのための資料・文献の検索を実践していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	基礎演習・プレゼンテーションの進め方	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	資料(文献)の収集と利用①－新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	資料(文献)の収集と利用②	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	レポートの書き方①－レポートの構成について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	レポートの書き方⑥－引き続き、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	レポートの書き方⑦－必要に応じ「情報カード」を見直し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000004217 基礎演習　柴垣ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	柴垣　博孝			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。
3. レポートの作成等を通して適切な文章表現の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴があります。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言えます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

担当教員の指導のもと、各自のテーマに基づいてのレポート作成とそのための資料・文献の検索を実践していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	基礎演習・プレゼンテーションの進め方	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	資料(文献)の収集と利用①－新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	資料(文献)の収集と利用②	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	レポートの書き方①－レポートの構成について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	レポートの書き方⑥－引き続き、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	レポートの書き方⑦－必要に応じ「情報カード」を見直し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000004220 基礎演習　崔ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	崔　桓碩			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りである。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。
3. レポートの作成等を通して適切な文章表現の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられている。
　一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴がある。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただく。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とする。

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引きを参考書として使用する。

資格との関連

学生へのメッセージ

担当教員の指導のもと、各自のテーマに基づいてのレポート作成とそのための資料・文献の検索を実践していただく。そのため、ゼミには毎回出席することが求められる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	基礎演習・プレゼンテーションの進め方	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
2	文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
3	文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
4	文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
5	文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
6	資料(文献)の収集と利用①－新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
7	資料(文献)の収集と利用②	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
8	レポートの書き方①－レポートの構成について学ぶ	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
9	レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
10	レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
11	レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
12	レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
13	レポートの書き方⑥－引き続き、レポートを作成する。	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
14	レポートの書き方⑦－必要に応じ「情報カード」を見直し、レポートを作成する。	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
15	レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す

講義名	1000004221	基礎演習　田村ゼミ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田村　正文			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りである。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。
3. レポートの作成等を通して適切な文章表現の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられている。
一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴がある。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわしい「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言える。
本演習においては、各自で興味・関心のあるテーマを設定し、それについて調べ、文章として表現し、レポートとしてまとめることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートなどについては、添削し返却する。

参考文献

必要に応じて、適宜指示する。

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　を使用する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	基礎演習・プレゼンテーションの進め方	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引きを予め読んでおく。	各自で興味・関心のあるテーマについて、図書館などで調べ、自分の言葉で表現できるようにまとめる。
2	文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引きを予め読んでおく。	各自で興味・関心のあるテーマについて、図書館などで調べ、自分の言葉で表現できるようにまとめる。
3	文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引きを予め読んでおく。	各自で興味・関心のあるテーマについて、図書館などで調べ、自分の言葉で表現できるようにまとめる。
4	文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引きを予め読んでおく。	各自で興味・関心のあるテーマについて、図書館などで調べ、自分の言葉で表現できるようにまとめる。
5	文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引きを予め読んでおく。	各自で興味・関心のあるテーマについて、図書館などで調べ、自分の言葉で表現できるようにまとめる。
6	資料(文献)の収集と利用①―新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引きを予め読んでおく。	各自で興味・関心のあるテーマについて、図書館などで調べ、自分の言葉で表現できるようにまとめる。
7	資料(文献)の収集と利用②	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引きを予め読んでおく。	各自で興味・関心のあるテーマについて、図書館などで調べ、自分の言葉で表現できるようにまとめる。
8	レポートの書き方①―レポートの構成について学ぶ	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引きを予め読んでおく。	各自で興味・関心のあるテーマについて、図書館などで調べ、自分の言葉で表現できるようにまとめる。
9	レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引きを予め読んでおく。	各自で興味・関心のあるテーマについて、図書館などで調べ、自分の言葉で表現できるようにまとめる。
10	レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引きを予め読んでおく。	各自で興味・関心のあるテーマについて、図書館などで調べ、自分の言葉で表現できるようにまとめる。
11	レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引きを予め読んでおく。	各自で興味・関心のあるテーマについて、図書館などで調べ、自分の言葉で表現できるようにまとめる。
12	レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引きを予め読んでおく。	各自で興味・関心のあるテーマについて、図書館などで調べ、自分の言葉で表現できるようにまとめる。
13	レポートの書き方⑥―引き続き、レポートを作成する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引きを予め読んでおく。	各自で興味・関心のあるテーマについて、図書館などで調べ、自分の言葉で表現できるようにまとめる。
14	レポートの書き方⑦－必要に応じ「情報カード」を見直し、レポートを作成する	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引きを予め読んでおく。	各自で興味・関心のあるテーマについて、図書館などで調べ、自分の言葉で表現できるようにまとめる。
15	レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引きを予め読んでおく。	各自で興味・関心のあるテーマについて、図書館などで調べ、自分の言葉で表現できるようにまとめる。

講義名	1000004222 基礎演習　加来ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	加来　聡伸			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りである。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。
3. レポートの作成等を通して適切な文章表現の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられる。
　一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴がある。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出してもらう。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とする。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文等)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用する。

資格との関連

学生へのメッセージ

担当教員の指導のもと、各自のテーマに基づいてのレポート作成とそのための資料・文献の検索を実践してもらう。そのため、ゼミには毎回出席することが求められる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 基礎演習・プレゼンテーションの進め方	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
2	2. 文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
3	3. 文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
4	4. 文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
5	5. 文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
6	6. 資料(文献)の収集と利用①―新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
7	7. 資料(文献)の収集と利用②	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
8	8. レポートの書き方①―レポートの構成について学ぶ	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
9	9. レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
10	10. レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
11	11. レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
12	12. レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
13	13. レポートの書き方⑥―引き続き、レポートを作成する	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
14	14 . レポートの書き方⑦－必要に応じ「情報カード」を見直し、レポートを作成する	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
15	15. レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む

印刷日：2023年09月29日

講義名	1000004228	基礎演習　鶴見ゼミ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	鶴見　浩一郎			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。
3. レポートの作成等を通して適切な文章表現の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
　一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴があります。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言えます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

提出された課題に対して随時、評価、講評を伝える。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

担当教員の指導のもと、各自のテーマに基づいてのレポート作成とそのための資料・文献の検索を実践していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 基礎演習・プレゼンテーションの進め方	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
2	2. 文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
3	3. 文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
4	4. 文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
5	5. 文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
6	6. 資料(文献)の収集と利用①―新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
7	7. 資料(文献)の収集と利用②	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
8	8. レポートの書き方①―レポートの構成について学ぶ	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
9	9. レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
10	10. レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
11	11. レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
12	12. レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
13	13. レポートの書き方⑥―引き続き、レポートを作成する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
14	14　レポートの書き方⑦－必要に応じ『情報カード』を見直し、レポートを作成する	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
15	15. レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。

印刷日：2023年09月29日

講義名	1000004230 基礎演習　馬場ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	馬場　祥次			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。
3. レポートの作成等を通して適切な文章表現の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
　一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴があります。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言えます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

提出された課題に対して随時、評価、講評を伝える。

参考文献

授業の中で、随時指示します。

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

担当教員の指導のもと、各自のテーマに基づいてのレポート作成とそのための資料・文献の検索を実践していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

実務との関連

システムエンジニアとして、コンピュータシステム会社に勤務。技術者としての経験を活かして、社会で必要とされる情報技術を解説します。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 基礎演習・プレゼンテーションの進め方	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
2	2. 文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
3	3. 文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
4	4. 文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
5	5. 文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
6	6. 資料(文献)の収集と利用①―新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
7	7. 資料(文献)の収集と利用②	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
8	8. レポートの書き方①―レポートの構成について学ぶ	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
9	9. レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
10	10. レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
11	11. レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
12	12. レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
13	13. レポートの書き方⑥―引き続き、レポートを作成する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
14	14　レポートの書き方⑦－必要に応じ『情報カード』を見直し、レポートを作成する	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
15	15. レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。

講義名	1000004231 基礎演習　堤ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	堤　静子			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。
3. レポートの作成等を通して適切な文章表現の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴があります。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言えます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

提出された課題に対して随時、評価、講評を伝える。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

担当教員の指導のもと、各自のテーマに基づいてのレポート作成とそのための資料・文献の検索を実践していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 基礎演習・プレゼンテーションの進め方	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
2	2. 文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
3	3. 文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
4	4. 文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
5	5. 文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
6	6. 資料(文献)の収集と利用①－新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
7	7. 資料(文献)の収集と利用②	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
8	8. レポートの書き方①－レポートの構成について学ぶ	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
9	9. レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
10	10. レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
11	11. レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
12	12. レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
13	13. レポートの書き方⑥－引き続き、レポートを作成する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
14	14　レポートの書き方⑦－必要に応じ「情報カード」を見直し、レポートを作成する	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
15	15. レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。

講義名	1000004232 基礎演習　井上ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	井上　丹		

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。
3. レポートの作成等を通して適切な文章表現の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
　一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴があります。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言えます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

提出された課題に対して随時、評価、講評を伝える。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

担当教員の指導のもと、各自のテーマに基づいてのレポート作成とそのための資料・文献の検索を実践していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 基礎演習・プレゼンテーションの進め方	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
2	2. 文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
3	3. 文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
4	4. 文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
5	5. 文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
6	6. 資料(文献)の収集と利用①―新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
7	7. 資料(文献)の収集と利用②	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
8	8. レポートの書き方①―レポートの構成について学ぶ	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
9	9. レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
10	10. レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
11	11. レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
12	12. レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
13	13. レポートの書き方⑥―引き続き、レポートを作成する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
14	14　レポートの書き方⑦－必要に応じ『情報カード』を見直し、レポートを作成する	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
15	15. レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。

印刷日：2023年09月29日

講義名	1000004233 基礎演習　大沢ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	大沢　宥介			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。
3. レポートの作成等を通して適切な文章表現の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
　一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴があります。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言えます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

提出された課題に対して随時、評価、講評を伝える。

参考文献

・基礎演習とプレゼンテーションの手引き

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

担当教員の指導のもと、各自のテーマに基づいてのレポート作成とそのための資料・文献の検索を実践していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 基礎演習・プレゼンテーションの進め方	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
2	2. 文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
3	3. 文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
4	4. 文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
5	5. 文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
6	6. 資料(文献)の収集と利用①―新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
7	7. 資料(文献)の収集と利用②	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
8	8. レポートの書き方①―レポートの構成について学ぶ	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
9	9. レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
10	10. レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
11	11. レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
12	12. レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
13	13. レポートの書き方⑥―引き続き、レポートを作成する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
14	14　レポートの書き方⑦－必要に応じ『情報カード』を見直し、レポートを作成する	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
15	15. レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。

印刷日：2023年09月29日

講義名	1000004234 基礎演習　横田ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	横田　将志		

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。
3. レポートの作成等を通して適切な文章表現の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
　一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴があります。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言えます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

担当教員の指導のもと、各自のテーマに基づいてのレポート作成とそのための資料・文献の検索を実践していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 基礎演習・プレゼンテーションの進め方	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
2	2. 文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
3	3. 文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
4	4. 文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
5	5. 文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
6	6. 資料(文献)の収集と利用①－新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
7	7. 資料(文献)の収集と利用②	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
8	8. レポートの書き方①－レポートの構成について学ぶ	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
9	9. レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
10	10. レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
11	11. レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
12	12. レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
13	13. レポートの書き方⑥－引き続き、レポートを作成する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
14	14　レポートの書き方⑦－必要に応じ『情報カード』を見直し、レポートを作成する	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
15	15. レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。

印刷日：2023年09月29日

講義名	1000004235	基礎演習　奈良ゼミ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	奈良　卓			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。
3. レポートの作成等を通して適切な文章表現の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴があります。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言えます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

担当教員の指導のもと、各自のテーマに基づいてのレポート作成とそのための資料・文献の検索を実践していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 基礎演習・プレゼンテーションの進め方	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
2	2. 文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
3	3. 文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
4	4. 文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
5	5. 文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
6	6. 資料(文献)の収集と利用①－新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
7	7. 資料(文献)の収集と利用②	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
8	8. レポートの書き方①－レポートの構成について学ぶ	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
9	9. レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
10	10. レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
11	11. レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
12	12. レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
13	13. レポートの書き方⑥－引き続き、レポートを作成する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
14	14　レポートの書き方⑦－必要に応じ「情報カード」を見直し、レポートを作成する	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
15	15. レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。

講義名	1000004237 基礎演習　楊ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	楊　麗栄		

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。
3. レポートの作成等を通して適切な文章表現の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴があります。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言えます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

担当教員の指導のもと、各自のテーマに基づいてのレポート作成とそのための資料・文献の検索を実践していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 基礎演習・プレゼンテーションの進め方	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
2	2. 文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
3	3. 文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
4	4. 文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
5	5. 文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
6	6. 資料(文献)の収集と利用①―新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
7	7. 資料(文献)の収集と利用②	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
8	8. レポートの書き方①―レポートの構成について学ぶ	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
9	9. レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
10	10. レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
11	11. レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
12	12. レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
13	13. レポートの書き方⑥―引き続き、レポートを作成する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
14	14　レポートの書き方⑦－必要に応じ『情報カード』を見直し、レポートを作成する	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
15	15. レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。

講義名	1000005213 プレゼンテーション　坂本ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	坂本　貴博			

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標といたします。
1. プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行いましたが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行います。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要があります。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行います。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成します。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。
プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①―発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	プレゼンテーション発表会の準備	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	プレゼンテーション発表会	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000005216 プレゼンテーション　幸田ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	幸田　威久矢			

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標といたします。
1. プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行いましたが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行います。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要があります。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行います。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成します。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績に関する申立書」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。
プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①―発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	プレゼンテーション発表会の準備	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	プレゼンテーション発表会	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000005217 プレゼンテーション　柴垣ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	柴垣　博孝			

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標といたします。
1. プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行いましたが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行います。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要があります。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行います。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成します。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。
プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①―発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	プレゼンテーション発表会の準備	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	プレゼンテーション発表会	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000005220 プレゼンテーション　崔ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	崔　桓碩			

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標といたする。
1．プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2．聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3．プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられている。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行いましたが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行う。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要がある。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行う。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成する。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とする。

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　を参考書として使用する。
プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表していただく。そのため、ゼミには毎回出席することが求められる。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
2	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
3	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
4	レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
5	レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
6	発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
7	発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
8	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①―発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
9	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
10	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
11	プレゼンテーション発表会の準備	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
12	プレゼンテーション発表会	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
13	討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
14	討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
15	討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す

講義名	1000005221 プレゼンテーション　田村ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田村　正文			

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標とする。
1. プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられる。
　春学期の「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行ってきたが、この「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行う。
　また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要がある。同時に報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加しする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行う。また、報告と並行して春学期に作成したレポートの完成版を作成する。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とする。

課題に対するフィードバック

パワーポイントの資料、ワードのレポートを各自添削等の上、返却する。

参考文献

必要に応じて、適宜、個別に指示する。

講義時使用テキスト

春学期に引き続き、「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の該当箇所を予め読んでおく。	指摘を受けた内容について、各自調べる。また、内容を充実させる。
2	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する	「基礎演習とプレゼンテーション」の該当箇所を予め読んでおく。	指摘を受けた内容について、各自調べる。また、内容を充実させる。
3	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする	「基礎演習とプレゼンテーション」の該当箇所を予め読んでおく。	指摘を受けた内容について、各自調べる。また、内容を充実させる。
4	レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する	「基礎演習とプレゼンテーション」の該当箇所を予め読んでおく。	指摘を受けた内容について、各自調べる。また、内容を充実させる。
5	レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する	「基礎演習とプレゼンテーション」の該当箇所を予め読んでおく。	指摘を受けた内容について、各自調べる。また、内容を充実させる。
6	発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する	「基礎演習とプレゼンテーション」の該当箇所を予め読んでおく。	指摘を受けた内容について、各自調べる。また、内容を充実させる。
7	発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する	「基礎演習とプレゼンテーション」の該当箇所を予め読んでおく。	指摘を受けた内容について、各自調べる。また、内容を充実させる。
8	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①―発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	「基礎演習とプレゼンテーション」の該当箇所を予め読んでおく。	指摘を受けた内容について、各自調べる。また、内容を充実させる。
9	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	「基礎演習とプレゼンテーション」の該当箇所を予め読んでおく。	指摘を受けた内容について、各自調べる。また、内容を充実させる。
10	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	「基礎演習とプレゼンテーション」の該当箇所を予め読んでおく。	指摘を受けた内容について、各自調べる。また、内容を充実させる。
11	プレゼンテーション発表会の準備	「基礎演習とプレゼンテーション」の該当箇所を予め読んでおく。	指摘を受けた内容について、各自調べる。また、内容を充実させる。
12	プレゼンテーション発表会	「基礎演習とプレゼンテーション」の該当箇所を予め読んでおく。	指摘を受けた内容について、各自調べる。また、内容を充実させる。
13	討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	「基礎演習とプレゼンテーション」の該当箇所を予め読んでおく。	指摘を受けた内容について、各自調べる。また、内容を充実させる。
14	討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の該当箇所を予め読んでおく。	指摘を受けた内容について、各自調べる。また、内容を充実させる。
15	討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	「基礎演習とプレゼンテーション」の該当箇所を予め読んでおく。	指摘を受けた内容について、各自調べる。また、内容を充実させる。

講義名	1000005222 プレゼンテーション　加来ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	加来　聡伸			

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標とする。
1. プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられている。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行いましたが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行う。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要がある。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行う。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成する。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とする。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文等)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　を参考書として使用する。
プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する。そのため、ゼミには毎回出席することが求められる。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
2	2. レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
3	3. レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
4	4. レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
5	5. レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
6	6. 発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
7	7. 発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
8	8. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①―発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
9	9. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
10	10. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
11	11. プレゼンテーション発表会の準備	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
12	12. プレゼンテーション発表会	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
13	13. 討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
14	14. 討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
15	15. 討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む

印刷日：2023年09月29日

講義名	1000005228 プレゼンテーション　鶴見ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	鶴見　浩一郎			

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標といたします。
1. プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行いましたが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行います。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要があります。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行います。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成します。レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

提出された課題に対して随時、評価、講評を伝える。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
2	2. レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
3	3. レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
4	4. レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
5	5. レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
6	6. 発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
7	7. 発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
8	8. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①ー発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
9	9. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
10	10. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
11	11. プレゼンテーション発表会の準備	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
12	12. プレゼンテーション発表会	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
13	13. 討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
14	14. 討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。
15	15. 討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き の該当箇所を参照し、概略を理解する。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。他の演習参加者の論述の背景を考える。

講義名	1000005230 プレゼンテーション　馬場ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	馬場　祥次			

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標とする。
1. プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられている。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行いましたが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行う。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要がある。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行う。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成する。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とする。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文等)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　を参考書として使用する。
プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する。そのため、ゼミには毎回出席することが求められる。

資格との関連

学生へのメッセージ

プレゼンテーションは、非常に大切なスキルです。pptの作成に偏ることなく何をどの様に効率的に伝えるか身につけてください。

実務との関連

システムエンジニアとして、コンピュータシステム会社に勤務。技術者としての経験を活かして、社会で必要とされる情報技術を解説します。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
2	2. レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
3	3. レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
4	4. レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
5	5. レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
6	6. 発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
7	7. 発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
8	8. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①―発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
9	9. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
10	10. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
11	11. プレゼンテーション発表会の準備	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
12	12. プレゼンテーション発表会	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
13	13. 討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
14	14. 討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
15	15. 討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む

講義名	1000005231 プレゼンテーション　堤ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	堤　静子			

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標とする。
1. プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられている。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行いましたが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行う。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要がある。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行う。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成する。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とする。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文等)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　を参考書として使用する。
プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する。そのため、ゼミには毎回出席することが求められる。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
2	2. レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
3	3. レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
4	4. レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
5	5. レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
6	6. 発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
7	7. 発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
8	8. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①―発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
9	9. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
10	10. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
11	11. プレゼンテーション発表会の準備	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
12	12. プレゼンテーション発表会	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
13	13. 討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
14	14. 討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
15	15. 討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む

講義名	1000005232 プレゼンテーション　井上ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	井上　丹			

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標とする。
1. プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられている。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行いましたが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行う。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要がある。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行う。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成する。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とする。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文等)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　を参考書として使用する。
プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する。そのため、ゼミには毎回出席することが求められる。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
2	2. レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
3	3. レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
4	4. レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
5	5. レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
6	6. 発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
7	7. 発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
8	8. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①―発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
9	9. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
10	10. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
11	11. プレゼンテーション発表会の準備	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
12	12. プレゼンテーション発表会	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
13	13. 討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
14	14. 討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
15	15. 討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む

講義名	1000005233 プレゼンテーション　大沢ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	大沢　宥介			

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標とする。
1. プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられている。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行いましたが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行う。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要がある。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行う。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成する。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とする。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文等)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　を参考書として使用する。
プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する。そのため、ゼミには毎回出席することが求められる。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
2	2. レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
3	3. レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
4	4. レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
5	5. レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
6	6. 発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
7	7. 発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
8	8. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①―発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
9	9. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
10	10. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
11	11. プレゼンテーション発表会の準備	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
12	12. プレゼンテーション発表会	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
13	13. 討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
14	14. 討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
15	15. 討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む

講義名	1000005234 プレゼンテーション　横田ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	横田　将志		

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標とする。
1. プレゼンテーション資料を作成できる。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明ができる。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけることができる。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられている。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行ったが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行う。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要がある。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行う。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成する。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とする。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き

資格との関連

学生へのメッセージ

プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する。そのため、ゼミには毎回出席することが求められる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
2	2. レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
3	3. レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
4	4. レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
5	5. レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
6	6. 発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
7	7. 発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
8	8. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①―発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
9	9. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
10	10. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
11	11. プレゼンテーション発表会の準備	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
12	12. プレゼンテーション発表会	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
13	13. 討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
14	14. 討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
15	15. 討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む

講義名	1000005235 プレゼンテーション　奈良ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	奈良　卓		

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標とする。
1. プレゼンテーション資料を作成できる。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明ができる。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけることができる。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられている。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行ったが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行う。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要がある。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行う。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成する。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とする。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き

資格との関連

学生へのメッセージ

プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する。そのため、ゼミには毎回出席することが求められる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
2	2. レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
3	3. レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
4	4. レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
5	5. レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
6	6. 発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
7	7. 発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
8	8. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①―発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
9	9. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
10	10. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
11	11. プレゼンテーション発表会の準備	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
12	12. プレゼンテーション発表会	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
13	13. 討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
14	14. 討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
15	15. 討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む

講義名	1000005237 プレゼンテーション　楊ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	楊　麗栄		

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標とする。
1. プレゼンテーション資料を作成できる。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明ができる。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけることができる。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられている。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行ったが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行う。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要がある。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行う。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成する。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とする。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き

資格との関連

学生へのメッセージ

プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する。そのため、ゼミには毎回出席することが求められる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
2	2. レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
3	3. レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
4	4. レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
5	5. レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
6	6. 発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
7	7. 発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
8	8. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①―発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
9	9. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
10	10. ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
11	11. プレゼンテーション発表会の準備	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
12	12. プレゼンテーション発表会	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
13	13. 討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
14	14. 討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む
15	15. 討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	テキストの概要箇所を読む	テキストの概要箇所を読む

講義名	1000006001 情報処理基礎　地域経営Aクラス						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	大沢　宥介		

学習目標(到達目標)

1.レポート作成、図表作成技術を活用できる。
2.プレゼンテーション資料を作成できる。
3.グループウェアの活用、インターネットでの情報検索ができるようにする。

授業概要(教育目的)

今日、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。
本授業は、コンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを目的としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

課題の提出出席状況等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出してください。

参考文献

授業用Webサイトにて随時紹介する。

講義時使用テキスト

「情報リテラシー　Windows 10・Office 2019対応」富士通エフ・オー・エム(株)

資格との関連

学生へのメッセージ

1.実習はステップを踏んで進むので、欠席をしないよう留意し、各時間内で課題を提出できるよう努力すること。遅れた場合は、自習で補うことが必要である。テキストは随時改訂されているので必ず購入し、ファイル保存用のUSBメモリを各自準備すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1.コンピュータとネットワークの基礎知識	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
2	2.キャンパスグループウェアの利用方法	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
3	3.情報セキュリティとネチケット	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
4	4.文書処理(1)－Wordの基本操作	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
5	5.文書処理(2)－書式の設定	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
6	6.文書処理(3)－表作成、図の挿入	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
7	7.文書処理(4)－表現力アップ機能の利用	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
8	8.文書処理(5)－長文レポート編集と文書校閲	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
9	9.表計算(1)－Excelの基本操作	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
10	10.表計算(2)－数式、関数の利用	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
11	11.表計算(3)－グラフ作成	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
12	12.表計算(4)－WordとExcelの連携	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
13	13.プレゼンテーション(1)－PowerPointの基本操作	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
14	14.プレゼンテーション(2)－スライド作成	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
15	15.プレゼンテーション(3)－プレゼンテーション	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。

講義名	1000006002 情報処理基礎　地域経営B・人間健康再履修						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)		大沢　宥介		

学習目標(到達目標)

1.レポート作成、図表作成技術を活用できる。
2.プレゼンテーション資料を作成できる。
3.グループウェアの活用、インターネットでの情報検索ができるようにする。

授業概要(教育目的)

今日、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。
本授業は、コンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを目的としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

課題の提出、出席状況等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出してください。

参考文献

授業用Webサイトにて随時紹介する。

講義時使用テキスト

「情報リテラシー　Windows 10・Office 2019対応」富士通エフ・オー・エム(株)

資格との関連

学生へのメッセージ

1.実習はステップを踏んで進むので、欠席をしないよう留意し、各時間内で課題を提出できるよう努力すること。遅れた場合は、自習で補うことが必要である。テキストは随時改訂されているので必ず購入し、ファイル保存用のUSBメモリを各自準備すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1.コンピュータとネットワークの基礎知識	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
2	2.キャンパスグループウェアの利用方法	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
3	3.情報セキュリティとネチケット	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
4	4.文書処理(1)－Wordの基本操作	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
5	5.文書処理(2)－書式の設定	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
6	6.文書処理(3)－表作成、図の挿入	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
7	7.文書処理(4)－表現力アップ機能の利用	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
8	8.文書処理(5)－長文レポート編集と文書校閲	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
9	9.表計算(1)－Excelの基本操作	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
10	10.表計算(2)－数式、関数の利用	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
11	11.表計算(3)－グラフ作成	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
12	12.表計算(4)－WordとExcelの連携	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
13	13.プレゼンテーション(1)－PowerPointの基本操作	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
14	14.プレゼンテーション(2)－スライド作成	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
15	15.プレゼンテーション(3)－プレゼンテーション	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。

印刷日：2023年09月29日

講義名	1000006008 情報処理基礎　地域経営Cクラス						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	大沢　宥介			

学習目標(到達目標)

1.レポート作成、図表作成技術を活用できる。
2.プレゼンテーション資料を作成できる。
3.グループウェアの活用、インターネットでの情報検索ができるようにする。

授業概要(教育目的)

今日、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。本授業は、コンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを目的としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

課題の提出、出席状況等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

はちキャンWebにてコメントするとともに、次の授業でフィードバックする。

参考文献

授業用Webサイトにて随時紹介する。

講義時使用テキスト

「情報リテラシー　Windows 10・Office 2019対応」富士通エフ・オー・エム(株)

資格との関連

学生へのメッセージ

・実習はステップを踏んで進むので、欠席をしないよう留意し、各時間内で課題を提出できるよう努力すること。遅れた場合は、自習で補うことが必要である。
・ファイル保存用のUSBメモリを各自準備すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	コンピュータとネットワークの基礎知識	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
2	はちがくキャンパスWebの利用方法	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
3	情報セキュリティとネチケット	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
4	文書処理①(Wordの基本操作)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
5	文書処理②(書式の設定)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
6	文書処理③(表作成、図の挿入)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
7	文書処理④(表現力アップ機能の利用)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
8	文書処理⑤(長文レポート編集と文書校閲)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
9	表計算①(Excelの基本操作)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
10	表計算②(数式、関数の利用)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
11	表計算③(グラフ作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
12	表計算④(WordとExcelの連携)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
13	プレゼンテーション①(PowerPointの基本操作)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
14	プレゼンテーション②(スライド作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
15	プレゼンテーション③(プレゼン)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。

講義名	1000007001	日本語リテラシー　地域経営　柴垣クラス					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	柴垣　博孝			

学習目標(到達目標)

1.　常用漢字を中心とした漢字、熟語等の読み、書き、意味、用法について説明できる。
2.　一般的な四字熟語、慣用句、故事成語、ことわざ、格言の読み、書き、意味、用法について説明できる。

授業概要(教育目的)

日本語リテラシーはコミュニケーションスキルの向上を目指し、その基礎である日本語の理解、運用能力を身につけることを目的としている。その目的を達成するため、表記と表記符号、送りがなの付け方、筆順の原則、漢字の部首と部首名を始めとして、常用漢字・熟語、同音異義語、同訓異義語、対義語、類義語、四字熟語、故事成語、ことわざ、慣用句の読み、書き、意味、用法について演習を取り入れながら学修する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

小テスト、授業中の発表・発言などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験(小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

なし。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

学生へのメッセージ

日本語の基礎・基本を学び直し定着させていくことは、単に職業人としての自分に寄与するばかりではなく、生涯学習の観点からも大変意義のあることです。言語生活を豊かにして人生の幅を広げる意味からも、意欲を持って授業に臨んで欲しいと思います。

実務との関連

長年、高等学校の教員として中等教育に携わって来たことから、その知見を活かしてコミュニケーションスキルの向上を目指し、その基礎である日本語の理解、運用能力を身につけることができるよう講義を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション 漢字検定3級の問題演習と解説(1)	これまでの漢字学習への取り組み状況を振り返る。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
2	漢字の部首と部首名、筆順について ・漢字の主な部首、筆順についての確認と演習 ・漢字・熟語の読み方と書き取り(1)	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
3	熟語の構成について ・熟語の構成についての確認と演習 ・漢字・熟語の読み方と書き取り(2)	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
4	対義語と類義語について ・対義語と類義語についての確認と演習 ・漢字・熟語の読み方と書き取り(3)	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
5	同訓・同音異義語について ・同訓・同音異義語についての確認と演習 ・漢字・熟語の読み方と書き取り(4)	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
6	前時までの復習と小テスト(1)	前回までの配布資料を読み直し、理解不足のところについて習熟を図る。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
7	四字熟語の解説と演習(1) ・主な四字熟語の解説と演習	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
8	四字熟語の解説と演習(2) ・主な四字熟語の解説と演習	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
9	四字熟語の解説と演習(3) ・四字熟語についての演習	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
10	前時までの復習と小テスト(2)	前回までの配布資料を読み直し、理解不足の四字熟語に習熟する。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
11	故事成語・ことわざ、慣用句の解説と演習(1) ・故事成語・ことわざ、慣用句についての解説と演習	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
12	故事成語・ことわざ、慣用句の解説と演習(2) ・故事成語・ことわざ、慣用句についての解説と演習	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
13	故事成語・ことわざ、慣用句の解説と演習(3) ・故事成語・ことわざ、慣用句についての解説と演習 ・好きな故事成語・ことわざ、慣用句について	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
14	前時までの復習と小テスト(3)	前回までの配布資料を読み直し、理解不足の故事成語・ことわざ、慣用句に習熟する。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
15	漢字検定3級問題演習と解説(2)	前々回までの配布資料を読み直し、理解不足のところについて習熟を図る。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。

講義名	1000007007	日本語リテラシー　地域経営　中村クラス					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	中村　蘭			

学習目標(到達目標)

1. 常用漢字を中心とした漢字、熟語等の読み、書き、意味、用法について説明できる。
2. 一般的な四字熟語、慣用句、故事成語、ことわざ、格言の読み、書き、意味、用法について説明できる。

授業概要(教育目的)

日本語リテラシーはコミュニケーションスキルの向上を目指し、その基礎である日本語の理解、運用能力を身につけることを目的としている。その目的を達成するため、表記と表記符号、送りがなの付け方、筆順の原則、漢字の部首と部首名を始めとして、常用漢字・熟語、同音異義語、同訓異義語、対義語、類義語、四字熟語、故事成語、ことわざ、格言、慣用句の読み、書き、意味、用法について演習を取り入れながら学修する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

小テスト、授業中の発表・発言などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験(小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

日本語の基礎・基本を学び直し定着させていくことは、単に職業人としての自分に寄与するばかりではなく、生涯学習の観点からも大変意義のあることです。言語生活を豊かにして人生の幅を広げる意味からも、意欲を持って授業に臨んで欲しいと思います。

実務との関連

教諭(国語科)・教頭・校長として県立高等学校に勤務。学校教育現場での実務経験をもとに、日本語の読み・書き・意味・用法について話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション 漢字検定3級問題演習と解説(1)	これまでの漢字学習への取り組み状況を振り返る。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
2	漢字の部首と部首名(1) 熟語の構成(1) 漢字・熟語の読み方と書き取り(1)	前回の配布資料を読み直し、理解不足の漢字・熟語、用法などに習熟する。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
3	漢字の部首と部首名(2) 熟語の構成(2) 漢字・熟語の読み方と書き取り(2)	前回の配布資料を読み直し、理解不足の漢字・熟語、用法などに習熟する。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
4	漢字の部首と部首名(3) 熟語の構成(3) 漢字・熟語の読み方と書き取り(3)	前回の配布資料を読み直し、理解不足の漢字・熟語、用法などに習熟する。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
5	対義語・類義語の意味、用法と演習(1) 漢字・熟語の読み方と書き取り(4)	前回の配布資料を読み直し、理解不足の漢字・熟語、用法などに習熟する。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
6	対義語・類義語の意味、用法と演習(2) 漢字・熟語の読み方と書き取り小テスト(1)	前回の配布資料を読み直し、理解不足の漢字・熟語、用法などに習熟する。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
7	四字熟語のランキング作成 四字熟語の読み方、書き取り、意味の演習(1)	前回の配布資料を読み直し、理解不足の漢字・熟語、用法などに習熟する。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
8	四字熟語の意味・用例の解説(1) 四字熟語の読み方、書き取り、意味の演習(2)	前回の配布資料を読み直し、理解不足の漢字・熟語、用法などに習熟する。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
9	四字熟語の意味・用例の解説(2) 四字熟語の読み方、書き取り、意味の演習(3)	前回の配布資料を読み直し、理解不足の漢字・熟語、用法などに習熟する。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
10	漢字・熟語の読み方と書き取り(5) 四字熟語の読み方、書き取り小テスト	前回の配布資料を読み直し、理解不足の漢字・熟語、用法などに習熟する。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
11	故事成語・ことわざ、格言の意味と用例の解説(1) 漢字・熟語の読み方と書き取り(6)	前回の配布資料を読み直し、理解不足の漢字・熟語、用法などに習熟する。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
12	故事成語・ことわざ、格言の意味と用例の解説(2) 漢字・熟語の読み方と書き取り(7)	前回の配布資料を読み直し、理解不足の漢字・熟語、用法などに習熟する。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
13	慣用句、慣用読みの語の意味と用例の解説 漢字・熟語の読み方と書き取り(8)	前回の配布資料を読み直し、理解不足の漢字・熟語、用法などに習熟する。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
14	身体・動物に関する慣用句の意味と用例の解説 漢字・熟語の読み方と書き取り小テスト(2)	前回の配布資料を読み直し、理解不足の漢字・熟語、用法などに習熟する。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
15	漢字検定3級問題演習と解説(2)	前回の配布資料を読み直し、理解不足の漢字・熟語、用法などに習熟する。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。

講義名	1000007009 日本語リテラシー　地域経営　小向クラス						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	小向　暢輝			

学習目標(到達目標)

1.　常用漢字を中心とした漢字、熟語等の読み、書き、意味、用法について説明できる。
2.　一般的な四字熟語、慣用句、故事成語、ことわざ、格言の読み、書き、意味、用法について説明できる。

授業概要(教育目的)

日本語リテラシーはコミュニケーションスキルの向上を目指し、その基礎である日本語の理解、運用能力を身につけることを目的としている。その目的を達成するため、表記と表記符号、送りがなの付け方、筆順の原則、漢字の部首と部首名を始めとして、常用漢字・熟語、同音異義語、同訓異義語、対義語、類義語、四字熟語、故事成語、ことわざ、慣用句の読み、書き、意味、用法について演習を取り入れながら学修する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

小テスト、授業中の発表・発言などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験(小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

なし。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

学生へのメッセージ

日本語の基礎・基本を学び直し定着させていくことは、単に職業人としての自分に寄与するばかりではなく、生涯学習の観点からも大変意義のあることです。言語生活を豊かにして人生の幅を広げる意味からも、意欲を持って授業に臨んで欲しいと思います。

実務との関連

長年、高等学校の教員として中等教育に携わって来たことから、その知見を活かしてコミュニケーションスキルの向上を目指し、その基礎である日本語の理解、運用能力を身につけることができるよう講義を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション 漢字検定3級の問題演習と解説(1)	これまでの漢字学習への取り組み状況を振り返る。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
2	漢字の部首と部首名、筆順について ・漢字の主な部首、筆順についての確認と演習 ・漢字・熟語の読み方と書き取り(1)	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
3	熟語の構成について ・熟語の構成についての確認と演習 ・漢字・熟語の読み方と書き取り(2)	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
4	対義語と類義語について ・対義語と類義語についての確認と演習 ・漢字・熟語の読み方と書き取り(3)	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
5	同訓・同音異義語について ・同訓・同音異義語についての確認と演習 ・漢字・熟語の読み方と書き取り(4)	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
6	前時までの復習と小テスト(1)	前回までの配布資料を読み直し、理解不足のところについて習熟を図る。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
7	四字熟語の解説と演習(1) ・主な四字熟語の解説と演習	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
8	四字熟語の解説と演習(2) ・主な四字熟語の解説と演習	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
9	四字熟語の解説と演習(3) ・四字熟語についての演習	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
10	前時までの復習と小テスト(2)	前回までの配布資料を読み直し、理解不足の四字熟語に習熟する。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
11	故事成語・ことわざ、慣用句の解説と演習(1) ・故事成語・ことわざ、慣用句についての解説と演習	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
12	故事成語・ことわざ、慣用句の解説と演習(2) ・故事成語・ことわざ、慣用句についての解説と演習	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
13	故事成語・ことわざ、慣用句の解説と演習(3) ・故事成語・ことわざ、慣用句についての解説と演習 ・好きな故事成語・ことわざ、慣用句について	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
14	前時までの復習と小テスト(3)	前回までの配布資料を読み直し、理解不足の故事成語・ことわざ、慣用句に習熟する。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
15	漢字検定3級問題演習と解説(2)	前々回までの配布資料を読み直し、理解不足のところについて習熟を図る。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。

講義名	1000008001	日本語表現リテラシー地域経営 柴垣クラス					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	柴垣　博孝			

学習目標(到達目標)

1. 文章を読んで、要旨、構成、効果的な表現、文法的・意味的な誤り等について説明できる。
2. 目的に応じた文章の内容を過不足なく表現し、文法的に正確で論理的な文章を作成することができる。

授業概要(教育目的)

日本語表現リテラシーは、読解力、思考力、構成力、表現力を養成し、的確で論理的な文章表現能力を身につけることを目的としている。その目的達成に向け、①文章の内容・要旨・意図の正確な把握、②情報の整理、問題の発見、独自の考えの創造、③文章を構成する文・段落・段落相互の関係や役割の把握、④簡潔でわかりやすく効果的な表現という内容を中心に、演習を取り入れた授業を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

小テスト、授業中の発表・発言などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験(小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

なし。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

学生へのメッセージ

本授業では、的確で論理的な文章表現能力を身に付けるべく解説や演習を行うとともに、実際に毎時間短作文などの文章を書くことによって、文章表現の習熟を図ります。皆さんは自身の表現能力の上達を感じながら、授業に臨むことができますので、意欲を持って受講して下さい。

実務との関連

長年、高等学校の教諭として中等教育に携わってきたことから、その知見を活かして、読解力、思考力、表現力を養成し、的確で論理的な文章能力を身につけることができるよう講義を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	文章の構成・効果的な表現(1) ・語彙・文法(1) ・内容・構成把握(1) ・短作文(1)	表現について、これまでの学習内容を整理する。	授業内容を整理して、学習内容をまとめる。
2	文章の構成・効果的な表現(2) ・語彙・文法(2) ・内容・構成把握(2) ・短作文(2)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
3	文章の構成・効果的な表現(3) ・語彙・文法(3) ・内容・構成把握(3) ・短作文(3)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
4	文章の構成・効果的な表現(4) ・語彙・文法(4) ・内容・構成把握(4) ・短作文(4)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
5	文章の構成・効果的な表現(5) ・語彙・文法(5) ・内容・構成把握(5) ・短作文(5)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
6	文章の構成・効果的な表現(6) ・内容・構成把握(6) ・推敲(1) ・短作文(6)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
7	文章の構成・効果的な表現(7) ・内容・構成把握(7) ・推敲(2) ・短作文(7)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
8	文章の構成・効果的な表現(8) ・内容・構成把握(8) ・推敲(3) ・短作文(8)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
9	文章の構成・効果的な表現と縮約・要約 ・内容・構成把握(9) ・推敲(4) ・縮約・要約(1)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
10	文章の構成・効果的な表現と縮約・要約 ・内容・構成把握(10) ・文章校正(1) ・縮約・要約(2)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
11	文章の構成・効果的な表現と縮約・要約 ・内容・構成把握(11) ・文章校正(2) ・縮約・要約(3)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
12	縮約・要約(4) ・内容・構成把握(12) ・文章校正(3) ・縮約・要約(4)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
13	手紙文の書き方と演習(1) ・手紙の書き方についての解説(1) ・実際に手紙を書く(1)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
14	手紙文の書き方と演習(2) ・手紙の書き方についての解説(2) ・実際に手紙を書く(2)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
15	書き言葉の主なルールと作文 ・書き言葉の主なルールについての演習と説明 ・課題に基づいて作文を書く	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。

講義名	1000008005	日本語表現リテラシー地域経営 吹越クラス					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	吹越　義博			

学習目標(到達目標)

1. 文章を読んで、要旨、構成、効果的な表現、文法的・意味的な誤り等について説明できる。
2. 目的に応じた文章の内容を過不足なく表現し、文法的に正確で論理的な文章を作成することができる。

授業概要(教育目的)

日本語表現リテラシーは、読解力、思考力、構成力、表現力を養成し、的確で論理的な文章表現能力を身につけることを目的としている。その目的達成に向け、①文章の内容・要旨・意図の正確な把握、②情報の整理、問題の発見、独自の考えの創造、③文章を構成する文・段落・段落相互の関係や役割の把握、④簡潔でわかりやすく効果的な表現という内容を中心に、演習を取り入れた授業を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

小テスト、授業中の発表・発言などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験(小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

なし。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

学生へのメッセージ

本授業では、的確で論理的な文章表現能力を身に付けるべく解説や演習を行うとともに、実際に毎時間短作文などの文章を書くことによって、文章表現の習熟を図ります。皆さんは自身の表現能力の上達を感じながら、授業に臨むことができますので、意欲を持って受講して下さい。

実務との関連

長年、高等学校の教諭として中等教育に携わってきたことから、その知見を活かして、読解力、思考力、表現力を養成し、的確で論理的な文章能力を身につけることができるよう講義を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	文章の構成・効果的な表現(1) ・語彙・文法(1) ・内容・構成把握(1) ・短作文(1)	表現について、これまでの学習内容を整理する。	授業内容を整理して、学習内容をまとめる。
2	文章の構成・効果的な表現(2) ・語彙・文法(2) ・内容・構成把握(2) ・短作文(2)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
3	文章の構成・効果的な表現(3) ・語彙・文法(3) ・内容・構成把握(3) ・短作文(3)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
4	文章の構成・効果的な表現(4) ・語彙・文法(4) ・内容・構成把握(4) ・短作文(4)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
5	文章の構成・効果的な表現(5) ・語彙・文法(5) ・内容・構成把握(5) ・短作文(5)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
6	文章の構成・効果的な表現(6) ・内容・構成把握(6) ・推敲(1) ・短作文(6)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
7	文章の構成・効果的な表現(7) ・内容・構成把握(7) ・推敲(2) ・短作文(7)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
8	文章の構成・効果的な表現(8) ・内容・構成把握(8) ・推敲(3) ・短作文(8)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
9	文章の構成・効果的な表現と縮約・要約 ・内容・構成把握(9) ・推敲(4) ・縮約・要約(1)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
10	文章の構成・効果的な表現と縮約・要約 ・内容・構成把握(10) ・文章校正(1) ・縮約・要約(2)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
11	文章の構成・効果的な表現と縮約・要約 ・内容・構成把握(11) ・文章校正(2) ・縮約・要約(3)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
12	縮約・要約(4) ・内容・構成把握(12) ・文章校正(3) ・縮約・要約(4)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
13	手紙文の書き方と演習(1) ・手紙の書き方についての解説(1) ・実際に手紙を書く(1)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
14	手紙文の書き方と演習(2) ・手紙の書き方についての解説(2) ・実際に手紙を書く(2)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
15	書き言葉の主なルールと作文 ・書き言葉の主なルールについての演習と説明 ・課題に基づいて作文を書く	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。

講義名	1000008007 日本語表現リテラシー地域経営 中村クラス						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	中村 蘭			

学習目標(到達目標)

1. 文章を読んで、要旨、構成、効果的な表現、文法的・意味的な誤り等について説明できる。
2. 目的に応じた文章の内容を過不足なく表現し、文法的に正確で論理的な文章を作成することができる。

授業概要(教育目的)

日本語表現リテラシーは、読解力、思考力、構成力、表現力を養成し、的確で論理的な文章表現能力を身につけることを目的としている。その目的達成に向け、①文章の内容・要旨・意図の正確な把握、②情報の整理、問題の発見、独自の考えの創造、③文章を構成する文・段落・段落相互の関係や役割の把握、④簡潔でわかりやすく効果的な表現という内容を中心に、演習、グループディスカッションを取り入れた授業を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

小テスト、授業中の発表・発言などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験(小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

なし。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

学生へのメッセージ

本授業では、的確で論理的な文章表現能力を身に付けるべく解説や演習を行うとともに、実際に毎時間短作文などの文章を書くことによって、文章表現の習熟を図ります。皆さんは自身の表現能力の上達を感じながら、授業に臨むことができますので、意欲を持って受講して下さい。

実務との関連

長年、高等学校の教諭として中等教育に携わってきたことから、その知見を活かして、読解力、思考力、表現力を養成し、的確で論理的な文章能力を身につけることができるよう講義を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	文章の種類 語彙・文法(1) 内容・構成把握(1) 短作文(1)	事前に指定された資料を読んでおくこと。	授業内容を整理して、学習内容をまとめる。
2	文章を書く手順 語彙・文法(2) 内容・構成把握(2) 短作文(2)	事前に指定された資料を読んでおくこと。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
3	文章の書き出し、締めくくり 語彙・文法(3) 内容・構成把握(3) 短作文(3)	事前に指定された資料を読んでおくこと。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
4	材料配列の仕方 語彙・文法(4) 内容・構成把握(4)、推敲(1) 短作文(4)	事前に指定された資料を読んでおくこと。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
5	文章の構成 語彙・文法(5) 内容・構成把握(5)、推敲(2) 短作文(5)	事前に指定された資料を読んでおくこと。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
6	叙述上の留意点 語彙・文法(6) 内容・構成把握(6)、推敲(3) 短作文(6)	事前に指定された資料を読んでおくこと。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
7	効果的な表現 語彙・文法(7) 内容・構成把握(7)、推敲(4) 短作文(7)	事前に指定された資料を読んでおくこと。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
8	縮約・要約(1) 短作文(8)	事前に指定された資料を読んでおくこと。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
9	縮約・要約(2) 短作文(9)	事前に指定された資料を読んでおくこと。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
10	縮約・要約(3) 短作文⑩	事前に指定された資料を読んでおくこと。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
11	縮約・要約(4) 短作文⑪	事前に指定された資料を読んでおくこと。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
12	意見文を書く(1)	事前に指定された資料を読んでおくこと。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
13	意見文を書く(2)	事前に指定された資料を読んでおくこと。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
14	手紙文の書き方と演習(1)	事前に指定された資料を読んでおくこと。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
15	手紙文の書き方と演習(2)	事前に指定された資料を読んでおくこと。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。

講義名	1000009001 英語Ⅰ（地域経営）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	グレゴリー・アンソニー		

学習目標(到達目標)

学期の終了までに英語の使用を通じて、グループ活動、提案の準備、タスクの作成、期限厳守、他の学生とやり遂げた評価など、自分自身の能力向上ができる。

授業概要(教育目的)

この講義は、タスクを中心にする授業で、英語自体が目的ではなく、英語をコミュニケーションの手段として、コミュニケーション力をアップする事を目的とする。いろいろな形式を用いながら、グループで、タスクの価値を考え、計画し、その内容を分析する。決められたタスクをやり遂げることにより、流暢な英語のコミュニケーションを身につけ、学内でも学外でも使える実用的なコミュニケーションスキルアップを図る。クラス外ではオンライン英語教材「English Central」を勉強し、単語を覚える、内容を理解するかだも必要とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

講義内での積極的な参加、小テスト、宿題、タスクを総合的に評価する。
＊講義内での活動の積極的な参加を重点においている。
＊再試験は実施しない。

課題に対するフィードバック

オンライン教材でのユーセージデーターはいつもアクセスがある。提示する課題を返し

講義時使用テキスト

「English Central」オンライン教材（予約購読サービスのオンラインアクセスカード）
＊「English Central」オンライン教材については「参考文献」を必ず読むこと。

参考文献は全て授業中に紹介する。
アクティブラーニングの実施について:この講義にインターネット対応デバイス(スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン)を毎回持参すること。英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

参考文献

春学期の英語Iと秋学期の英語IIには「English Central」オンライン教材(予約購読サービス)が必要。

(6ヶ月間または1年間の予約購読になりますが、春学期の英語Iと秋学期の英語II両方登録学生は1年間の予約購読になる)
(英語I受けなかった場合、英語IIのみの登録学生は6ヶ月間の予約購読になる)

「English Central」の登録の仕方は講義中に指導する。

参考文献は全て授業中に紹介する。英和・和英辞典を毎回持参すること。
電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

資格との関連

学生へのメッセージ

講義中では積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。タスクを完成するために、毎回必要な事柄を調べ、資料などを持参する。何度も言うようだが、積極性と責任が求められる。成績も第1日目から評価するので、初日から必ず出席すること。
インターネット対応デバイス(スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン)を講義毎回持参すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	A: Class and Online Systems Explanation B: Communication Activity	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	Entertainment ① A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	Entertainment ② A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	Entertainment ③ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	Sports ① A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	Sports ② A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	Sports ③ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	Technology and Science ① A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	Technology and Science ② A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	Technology and Science ③ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	Technology and Science ④ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	Travel and Culture ① A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	Travel and Culture ② A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	Travel and Culture ③ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Discuss and Review D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	Travel and Culture ④ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Discuss and Review D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	1000009005 英語Ⅰ（再履修）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)		グレゴリー・アンソニー		

学習目標(到達目標)

この講義では、読む、書く、聞く、話すのスキルの練習を通して、実践的な英語コミュニケーションスキルの向上に焦点を当てます。クラスの重点は、学生の流暢さと言語使用に対する自信を高めることにあります。

授業概要(教育目的)

現在のメディアリソースだけでなく、学生のニーズに合わせたアクティビティを行う。さまざまなコミュニケーション状況を作り、タスクを完了するためにツールとして英語を試す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

講義内での積極的な参加、宿題、タスクを総合的に評価する。
＊講義内での活動の積極的な参加を重点においている。
＊再試験は実施しない。

課題に対するフィードバック

課題は講義中口頭でフィードバックする。
試験(小テスト)は採点の上返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

講義中の使用テキストはなし。
参考文献は全て授業中に紹介する。
英和・和英辞典を毎回持参すること。
電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

資格との関連

学生へのメッセージ

覚えておかなければならないのは、講義中は、積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。
タスクを完成するために、毎回必要な事柄を調べ、資料などを持参する。何度も言うようだが、積極性と責任が求められる。成績も第1日目から評価する。

実務との関連

アクティブラーニングの実施について:この講義にインターネット対応デバイス(スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン)を毎回持参すること。英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	Class Explanation & Communication Activity	シラバスの内容を確認する。	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	Vocabulary Warm-up & Picture Descriptions ① (brainstorming)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	Multi Skills ① (current events activity)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	Picture Descriptions part ② (imagining a story)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	Picture Descriptions part ③ (finalizing)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	Multi Skills ② (current events activity)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	Creating Comic Strip – Cherry Blossom Viewing ① (introduction)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	Creating Comic Strip – Cherry Blossom Viewing ② (details & conclusion)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	Multi Skills ③ (current events activity)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	Creating Comic Strip – Shopping part ① (introduction)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	Creating Comic Strip – Shopping part ② (details & conclusion)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	Multi Skills ④ (current events activity)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	Creating Comic Strip – Festivals part ① (introduction)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	Creating Comic Strip – Festivals part ② (details & conclusion)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	Multi Skills ⑤ (current events activity)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	1000010001 英語Ⅱ（地域経営）						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	バリー・H・グロスマン		

学習目標(到達目標)

学期の終了までに英語の使用を通じて、アクティブラーニング法(グループ活動、提案の準備、タスクの作成、期限厳守、他の学生とやり遂げた評価など)自分自身の能力向上ができる。

授業概要(教育目的)

この講義は、タスクを中心にする授業で、英語自体が目的ではなく、英語をコミュニケーションの手段として、コミュニケーション力をアップする事を目的とする。いろいろな形式を用いながら、グループで、タスクの価値を考え、計画し、その内容を分析する。決められたタスクをやり遂げることにより、流暢な英語のコミュニケーションを身につけ、学内でも学外でも使える実用的なコミュニケーションスキルアップを図る。クラス外ではオンライン英語教材「English Central」を勉強し、単語を覚える、内容を理解するかだも必要とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

評価方法

講義内での積極的な参加、宿題、提出期限の厳守、タスクを総合的に評価する。
＊再試験は実施しない。

詳細:
①クラス中の課題
②宿題(English Central)
③単語ショートテスト(English Central)

課題に対するフィードバック

オンライン教材でのユーセージデーターはいつもアクセスできる。提示する課題を返し

参考文献

講義時使用テキスト

English Central」オンライン教材(6ヶ月間;英語I受けかったら場合))
インターネット対応デバイス(スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン)を毎回持参すること。
英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。

資格との関連

学生へのメッセージ

[履修上の注意]
覚えておかなければならないのは、講義中は、積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。
タスクを完成するために、毎回必要な事柄を調べ、資料などを持参する。何度も言うようだが、積極性と責任が求められる。成績も第1日目から評価する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	A: Class Explanation; B: Communication Activity	Warm-up	Closing Journaling
2	Health & Food ❶	Warm-up	Closing Journaling
3	Health& Food ❷	Warm-up	Closing Journaling
4	Health& Food ❸	Warm-up	Closing Journaling
5	Health& Food ❹	Warm-up	Closing Journaling
6	Environment & Nature ❶	Warm-up	Closing Journaling
7	Environment & Nature ❷	Warm-up	Closing Journaling
8	Environment & Nature ❸	Warm-up	Closing Journaling
9	Environment & Nature ❹	Warm-up	Closing Journaling
10	Politics & Crime ❶	Warm-up	Closing Journaling
11	Politics & Crime ❷	Warm-up	Closing Journaling
12	Politics & Crime ❸	Warm-up	Closing Journaling
13	Psychology & Social Science ❶	Warm-up	Closing Journaling
14	Psychology & Social Science ❷	Warm-up	Closing Journaling
15	Psychology & Social Science ❸	Warm-up	Closing Journaling

講義名	1000010005 英語Ⅱ（再履修）						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科/人間健康学科			担当教員(単位認定者)	バリー・H・グロスマン		

学習目標(到達目標)

This class will focus on learning English skills through travel videos. It will prepare you for various language situations that might occur either in Japan or overseas. By learning about the places, food, entertainment, shopping and languages of different cultures and what each has to offer, this class will help you overcome fear and anxiety when communicating in a foreign language and when you plan to go overseas.

授業概要(教育目的)

Listening, speaking, reading, and writing will all be practiced for the purpose of effective listening and communication.

卒業認定・学位授与の方針との関連

授業中の参加(participation)不足の場合はその場で注意

評価方法

講義内での積極的な参加（アクティブラーニング法）、宿題、クラスクイズを総合的に評価する。
＊講義内での活動の積極的な参加を重点においている。

課題に対するフィードバック

宿題の提出とクイズ結果は授業中でフィードバックする

参考文献

成績詳細:
①授業の課題＆クラスクイズ （50%）
②宿題 （50%）

講義時使用テキスト

資格との関連

上達するためのモチベーションを持って授業に臨むことが肝要です。積極的に参加することが語学上達の鍵であり、このクラスにもその考え方が反映されています。

学生へのメッセージ

講義中と宿題は積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。成績は第1日目から評価する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	Class Introductions: Self-Introduction Task	Warm-up and Review	Wrap-up
2	Topic: Let's learn about Vanuatu	Warm-up and Review	Wrap-up
3	Topic: Let's learn about Iceland	Warm-up and Review	Wrap-up
4	Topic: Let's learn about Venice	Warm-up and Review	Wrap-up
5	Topic: Let's learn about Dublin	Warm-up and Review	Wrap-up
6	Topic: Let's learn about Ho Chi Minh	Warm-up and Review	Wrap-up
7	Topic: Let's learn about Mexico City	Warm-up and Review	Wrap-up
8	Topic: Let's learn about Canberra	Warm-up and Review	Wrap-up
9	Topic: Let's learn about Vancouver	Warm-up and Review	Wrap-up
10	Topic: Let's learn about Budapest	Warm-up and Review	Wrap-up
11	Topic: Let's learn about Cape Town	Warm-up and Review	Wrap-up
12	Topic: Let's learn about Seoul	Warm-up and Review	Wrap-up
13	Topic: Let's learn about Frankfurt	Warm-up and Review	Wrap-up
14	Topic: Oral Presentation Preparation	Warm-up and Review	Wrap-up
15	Topic: Oral Presentations	Warm-up and Review	Wrap-up

講義名	1000011000 英語コミュニケーション						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営/人間健康/看護			担当教員(単位認定者)	バリー・H・グロスマン		

学習目標(到達目標)

This class will focus on effective English communication skills, especially listening and speaking. It will prepare you for various language situations that might occur either in Japan or overseas. Effective communication begins with communicative intent, so this class will also help you "find your English voice" and overcome fear and anxiety when communicating in a foreign language.

授業概要(教育目的)

This class will focus on improving all of the English language skills necessary for communcation. Listening, speaking, reading, and writing will all be practiced for the purpose of effective communication.

卒業認定・学位授与の方針との関連

講義中と宿題は積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。成績は第1日目から評価する。

評価方法

講義内での積極的な参加(アクティブラーニング法)、宿題、クラスクイズを総合的に評価する。
＊講義内での活動の積極的な参加を重点においている。

成績詳細:
①宿題 （50%）
②スピーキング テスト （50%）

＜アメリカ海外研修に参加して行う英語研修は、「英語コミュニケーション」の単位に認定する。＞

課題に対するフィードバック

毎回の授業の初めに学生の前で宿題をチェックする;スピーキングテストの点数はテスト日の次の週に報告

講義時使用テキスト

「Project English: An Activity-based Guide to Everyday Conversation and Basic Grammar」by Vivian Morooka. 2022. Publisher: NAN'UN DO.

参考文献

資格との関連

学生へのメッセージ

上達するためのモチベーションを持って授業に臨むことが肝要です。積極的に参加することが語学上達の鍵であり、このクラスにもその考え方が反映されています。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	A: Class Introduction B: Self-Introduction Task	Class Introduction	Self-Introduction Task
2	Where are you from?	Warm-up & Review	Wrap-up
3	How are you doing?	Warm-up & Review	Wrap-up
4	How many classes do you have?	Warm-up & Review	Wrap-up
5	How much food do you need for your party?	Warm-up & Review	Wrap-up
6	Speaking Review 1	Warm-up & Review	Wrap-up
7	How many people are there in your family?	Warm-up & Review	Wrap-up
8	When is your report due?	Warm-up & Review	Wrap-up
9	How was your weekend?	Warm-up & Review	Wrap-up
10	What time is your first class?	Warm-up & Review	Wrap-up
11	Speaking Review 2	Warm-up & Review	Wrap-up
12	Have you ever been to Kyoto?	Warm-up & Review	Wrap-up
13	Can I ask you a favor?	Warm-up & Review	Wrap-up
14	I'm going to visit my grandparents.	Warm-up & Review	Wrap-up
15	Speaking Review 3	Warm-up & Review	Wrap-up

講義名	1000012000 英語（TOEIC） I						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営/人間健康/看護			担当教員(単位認定者)	グレゴリー・アンソニー		

学習目標(到達目標)

TOEICスコアを伸ばすためには、一般の英語能力をあげなければならない。グループ活動も加えて、読解・聴解・TOEIC専用語彙能力を広げ、過去の問題試験もおこないながら、試験の取り組み方学習し、自分次第スコアを伸ばすことができる。

授業概要(教育目的)

TOEICは日本だけではなく世界各国で英語を用いる職場においての日常的な読解と聴解能力の試験である。近年では就職のみならず昇進の際にも採用している企業も数多くある。実際のTOEIC試験はレベル分けしていないので、練習問題はTOEIC IIのレベルと同じである。TOEIC Ⅰの講義では、次の三つのことに重点を置く。①実際のTOEIC試験問題を練習し、頻繁に出題される問題に慣れる。②基本的な戦略を学習する。③単語力を広める。

TOEIC IIでは、TOEIC Ⅰで学習したことをベースに細かく戦略し、さらにスコアを伸ばす。TOEICのスコアを伸ばしたいのなら、TOEIC Ⅰ・IIの講義両方を受講するのが望ましい。試験の準備を通して実用的な英語能力を身につけることを目標とする。

2016年以降のTOEIC試験問題形式の変更部分も講義中に指導する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業活動参加、課題、クイズに基づいて総合的に評価する。
＊学期後半でおこなう学内 TOEIC ip 試験の受験。
＊授業内での活動の積極的な参加を重点においている。

課題に対するフィードバック

課題は講義中口頭でフィードバックする。
試験(小テスト)は採点の上返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

Tactics for the TOEIC Test Listening and Reading Test Introductory Course: Student Book
Grant Trew, OXFORD UNIVERSITY PRESS
ISBN: 9780194529761

資格との関連

学生へのメッセージ

第1日目に現在のTOEICレベルも確認する。成績も第1日目から評価する。
学期後半で授業時間外におこなう学内TOEIC ip 試験を必ず受験すること。教科書は毎回必ず持参すること。

実務との関連

アクティブラーニングの実施について:この講義にインターネット対応デバイス(スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン)を持参すること。英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	TOEIC Level Check	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	Part 1 Photographs ① (strategies)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	Part 1 Photographs ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	Part 2 Question-Response ① (strategies)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	Part 2 Question-Response ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	Part 3 Conversations ① (strategies)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	Part 3 Conversations ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	Part 4 Talks ① (strategies)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	Part 4 Talks ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	Part 5 Incomplete Sentences ① (strategies)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	Part 5 Incomplete Sentences ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	Part 6 Text Completion ① (strategies)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	Part 6 Text Completion ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	Part 7 Reading Comprehension ① (strategies)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	Part 7 Reading Comprehension ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	1000013000 英語（TOEIC）Ⅱ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営/人間健康/看護			担当教員(単位認定者)	グレゴリー・アンソニー		

学習目標(到達目標)

TOEICスコアを伸ばすためには、一般の英語能力をあげなければならない。グループ活動も加えて、読解・聴解・TOEIC専用語彙能力を広げ、過去の問題試験もおこないながら、試験の取り組み方学習し、自分次第スコアを伸ばすことができる。

授業概要(教育目的)

TOEICは日本だけではなく世界各国で英語を用いる職場においての日常的な読解と聴解能力の試験である。近年では就職のみならず昇進の際にも採用している企業も数多くある。実際のTOEIC試験はレベル分けしていないので、練習問題はTOEIC Ⅱのレベルと同じである。TOEIC Ⅰの講義では、次の三つのことに重点を置く。①実際のTOEIC試験問題を練習し、頻繁に出題される問題に慣れる。②基本的な戦略を学習する。③単語力を広める。

TOEIC Ⅱでは、TOEIC Ⅰで学習したことをベースに細かく戦略し、さらにスコアを伸ばす。TOEICのスコアを伸ばしたいのなら、TOEIC Ⅰ・Ⅱの講義両方を受講するのが望ましい。試験の準備を通して実用的な英語能力を身につけることを目標とする。

2016年以降のTOEIC試験問題形式の変更部分も講義中に指導する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業活動参加、課題、クイズに基づいて総合的に評価する。
＊学期後半でおこなう学内 TOEIC ip 試験の受験。
＊授業内での活動の積極的な参加を重点においている。

課題に対するフィードバック

課題は講義中口頭でフィードバックする。
試験(小テスト)は採点の上返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

Tactics for the TOEIC Test Listening and Reading Test Introductory Course: Student Book
Grant Trew, OXFORD UNIVERSITY PRESS
ISBN: 9780194529761

資格との関連

学生へのメッセージ

成績も第1日目から評価する。
学期後半で授業時間外におこなう学内TOEIC ip 試験を必ず受験すること。教科書は毎回必ず持参すること。

アクティブラーニングの実施について:この講義にインターネット対応デバイス(スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン)を持参すること。
英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	TOEIC Test Prep Schedule and Strategies	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	Part 1 Photographs ① (tactics)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	Part 1 Photographs ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	Part 2 Question-Response ① (tactics)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	Part 2 Question-Response ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	Part 3 Conversations ① (tactics)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	Part 3 Conversations ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	Part 4 Talks ① (tactics)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	Part 4 Talks ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	Part 5 Incomplete Sentences ① (tactics)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	Part 5 Incomplete Sentences ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	Part 6 Text Completion ① (tactics)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	Part 6 Text Completion ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	Part 7 Reading Comprehension ① (tactics)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	Part 7 Reading Comprehension ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	1000014001 ドイツ語（地域経営）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	小澤　昭夫			

学習目標(到達目標)

1　発音できる。
2　動詞の現在人称変化ができる。
3　冠詞類の格変化ができる。
4 ドイツ語で自己紹介し、簡単な手紙を書くことができる。

授業概要(教育目的)

ドイツ語の初歩を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

定期試験と小テスト等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストと中間試験は採点の上返却する。

参考文献

黒田龍之助『はじめての言語学』講談社現代新書
福本義憲『はじめてのドイツ語』講談社現代新書
黒田龍之助『にぎやかな外国語の世界』白水社
町田　健監修『ニューエクスプレス・スペシャル　ヨーロッパのおもしろ言語』白水社

講義時使用テキスト

櫻井麻美
『アイレ・ミット・ヴァイレー会話ではじめるドイツ語文法』
三修社

資格との関連

学生へのメッセージ

ドイツ(連邦共和国)はヨーロッパ大陸の中央部に位置して、9つの国と国境を接しています。ドイツ語は、ドイツはもちろんオーストリアとリヒテンシュタインの唯一の公用語であり、スイス、ルクセンブルクでは公用語の一つです。
この授業では初級ドイツ語を学びます。(1)アルファベートから始めて、(2)文を作る基本的なルール(＝文法)を理解し、(3)多くの平易な文章に触れ、(4)ドイツ語圏の文化や歴史にも目を向けるのが目標です。
ドイツ語の読み方は容易です。(1)ローマ字を読む要領で、(2)語の最初の母音にアクセントを置き、(3)アクセントのある母音は、うしろに子音が一つの場合に長く、子音が二つ以上続く場合に短く読むのが原則です。
これまで英語に馴染んできた目には複雑そうに映るかもしれない文法も、要点は(1)主語に応じて動詞の語尾が定まること(＝人称変化)、(2)名詞の前に付けられる冠詞(類)が、その名詞の文中での役割を明示するために語尾を変えること(＝格変化)の二つに過ぎません。とは言っても、語学は結局のところ覚えなければ何ものでもありません。語彙は少しずつ増やしていきましょう。
ドイツ語を学ぶことで、未知の世界への扉がまた一つ開くことになればと願っています。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	世界の言語とドイツ語 アルファベート 発音とつづりの読み方 あいさつ	世界地図または地球儀を見る	授業の内容を整理する 発音練習をする
2	動詞の現在人称変化 人称代名詞と動詞の語尾 最重要動詞sein(be)とhaben(have)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理する 発音練習をする
3	名詞の性 名詞の格 定冠詞と名詞の格変化 不定冠詞と名詞の格変化 定冠詞と不定冠詞 複数形	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
4	不規則動詞の現在人称変化 決定疑問文の答え方	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
5	前置詞の格支配	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
6	定冠詞類・不定冠詞類 nichtとkeinの使い分け	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
7	人称代名詞の格変化 3格目的語と4格目的語の語順 非人称のes	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
8	話法の助動詞の現在人称変化 話法の助動詞の種類と用法 枠構造 未来・推量の助動詞werden	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
9	分離動詞と非分離動詞 接続詞 形容詞と副詞の用法 比較級・最上級	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
10	動詞の3基本形 現在完了形 haben支配とsein支配	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
11	動詞の過去人称変化 受動態	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
12	再帰代名詞 再帰動詞 zu不定詞	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
13	形容詞の格変化 比較級と最上級	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
14	関係代名詞 命令形	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
15	接続法 接続法第2式の用法	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む

講義名	1000015001	ドイツ語コミュニケーション（地域経営）					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	小澤　昭夫			

学習目標(到達目標)

1　発音できる。
2　動詞の現在人称変化と冠詞類の格変化ができる。
3　日常生活で多用される基本表現を使える。

授業概要(教育目的)

ドイツ語の初級文法を踏まえながら、日常生活に必要な基本的な語彙と表現を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

定期試験と小テスト等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストと中間試験は採点の上返却する

参考文献

黒田龍之助『はじめて言語学』講談社現代新書
福本義憲『はじめてのドイツ語』講談社現代新書
高橋憲『最新版 ドイツの街角から 素顔のドイツーその文化・歴史・社会』郁文堂

講義時使用テキスト

春学期「ドイツ語」のテキスト(櫻井麻美『アイレ・ミット・ヴァイレー会話ではじめるドイツ語文法』三修社)を引き続き使用し、副教材としてプリントを配付する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	春学期「ドイツ語」の要点整理	春学期「ドイツ語」の学習範囲に目を通す	授業の内容を整理する
2	お名前は？(1)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
3	お名前は？(2)	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
4	こんにちは(1)	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
5	こんにちは(2)	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
6	レストランにて(1)	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
7	レストランにて(2)	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
8	誕生パーティー	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
9	いくらですか？	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
10	ハンザ都市	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
11	結婚式の写真を見て	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
12	ポツダム広場へ	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
13	どこへ行くの？	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
14	路上にて	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
15	道案内	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む

講義名	1000015004 ドイツ語コミュニケーション（再履修）						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科/人間健康学科/看護学科		担当教員(単位認定者)	小澤　昭夫			

学習目標(到達目標)

1　発音できる。
2　動詞の現在人称変化と冠詞類の格変化ができる。
3　日常生活で多用される基本表現を使える。

授業概要(教育目的)

ドイツ語の初級文法を踏まえながら、日常生活に必要な基本的な語彙と表現を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

定期試験と小テスト等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストと中間試験は採点の上返却する。

参考文献

黒田龍之助『はじめて言語学』講談社現代新書
福本義憲『はじめてのドイツ語』講談社現代新書
高橋 憲『最新版 ドイツの街角から 素顔のドイツーその文化・歴史・社会』郁文堂

講義時使用テキスト

プリントを配付する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	世界の言語とドイツ語、アルファベット	世界地図または地球儀を見る	授業の内容を整理する
2	つづりと発音	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理する 発音練習をする
3	お名前は(1)～動詞の人称変化(1)	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
4	お名前は(2)～定動詞の位置、疑問文	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
5	こんにちは(1)～名詞の性と冠詞(1格)	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
6	こんにちは(2)～動詞の人称変化(2)	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
7	レストランで(1)～定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の1格と4格	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
8	レストランで(2)～動詞の人称変化(3)	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
9	誕生パーティー～定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の3格、人称代名詞の3格	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
10	いくらですか～所有冠詞	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
11	結婚式の写真～名詞の複数形、冠詞・所有冠詞・名詞の2格、紹介のdas	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
12	ポツダム広場～不規則動詞	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
13	旅行～3格支配の前置詞	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
14	路上で(1)～4格支配の前置詞	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
15	路上で(2)～3・4格支配の前置詞	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む

講義名	1000016000 哲学						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)		石原　良明		

学習目標(到達目標)

1.哲学的な文献に触れ、読解する訓練を積む。
2.様々な思想や考え方があることを知り、それぞれを自分の言葉で説明できるようになる。
3.抽象的かつ観念的な内容について記述することができるようになる。

授業概要(教育目的)

哲学とは、理性のみを方法論として真理を探究する学問である。人間は文明の発祥の時代から自らの頭脳を駆使して、世界や人間についての真理を探求してきたのである。本講義では、様々な文献資料、特に『新カトリック大事典』を頼りに、哲学の通史と様々な諸テーマに迫ることとしたい。幾人かの哲学者についても紹介することとなるが、人名や歴史を覚える必要はない。古来どのようなことが論じられ、それに従えば世界はどのように見えるのか、受講生の世界を広げ、問題意識を深め、また思考の基礎を養う場としたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

学期末の筆記試験によって総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

授業内における質疑応答を歓迎する。
課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

今道友信『西洋哲学史』講談社学術文庫、1987年。
K.リーゼンフーバー『西洋古代・中世哲学史』平凡社、2000年。
学校法人上智学院編『新カトリック大事典』研究社、1996-2010年。

講義時使用テキスト

教科書は用いず、資料を配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

受講生には、漫然とではなく、分からないところはまず何が分からないのかはっきりさせるような「攻める読書」を求めたい。配布資料のすべてを理解する必要は必ずしもないが、全体として様々な思想のそれぞれの特徴や個性を面白く感じてほしい。授業を通して「ともに考える」姿勢を望む。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	哲学入門:過ぎ去らない確かなこととは	『新カトリック大事典』の「哲学」の項目を見ておくこと	参考文献の関連個所を読む
2	ソクラテス以前とソクラテス	前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	プラトンの存在論	前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	アリストテレス:万能の天才	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	中世哲学:形而上学が見る人間と知の世界	前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	近代思想:認識論が述べる「知る」とは何か	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
7	実存をめぐって	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	解釈学と物語論	「解釈違い」というネットスラングについて調べること	配布資料とノートを読み直す
9	人間と心	参考文献の関連個所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	言葉とは	参考文献の関連個所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	時間とはなにか	参考文献の関連個所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	世界観と歴史:大きな物語はもはや不可能なのか	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	社会にあるべき姿はあるのか	参考文献の関連個所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	超越的人間:人はなぜ永遠を想うのか	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
15	さらなる普遍性を求めて:すべてのことはメッセージ？	これまでの授業内容を復習しておくこと	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	1000017000 芸術論						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

人と芸術表現および活動について視野や発想を広げ、その精神的な意味を把握し、理論的理解にとどまらず、表現創造活動を試みるきっかけとする。

授業概要(教育目的)

私たちは時代や環境から多くの精神的影響を受けていますが、特に今日私たちを取り巻く社会・生活は環境や生活様式が大きく変化し、多様・複雑化してきています。この講義では造形芸術表現や身近な生活文化について、ひとりひとりが違う感動や心の思いと創造表現について、他の表現分野との関連も比較しながら多角的に考えてみましょう。また講義と合わせて、身近な自然や日常の生活を題材に基礎的な表現実技の過程を体験し、自分自身が感じていることを生きた手触りとして確かめてみましょう。それはもう一つの生きる意味や新たな価値観、発想と創造の素晴らしさに出会うきっかけとなるはずです。
　演習については一人ひとりの興味や関心、考え方が生かされるように配慮していきます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業中に課すレポート、実技課題等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

授業を理解するうえで必要不可欠と思われる資料(作品写真・映像・参考資料・図書等)については、必要に応じて適宜紹介する。

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

授業用の専用ノートを一冊用意し、授業中の板書や口頭による説明を記録すること(その講義内容を元に、小レポートや期末レポートの課題を課す)。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	芸術の原点と芸術の諸領域の表現 ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
2	芸術の原点と芸術の諸領域の表現 ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
3	芸術の原点と芸術の諸領域の表現 ③	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
4	日本の芸術・文化の特質	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
5	デッサンの世界 ① 講義	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
6	デッサンの世界 ② 演習	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
7	デッサンの世界 ③ 演習	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
8	写真映像と空間表現	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
9	日常を見つめ、表現する ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
10	日常を見つめ、表現する ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
11	美の伝統を現代に生かす ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
12	美の伝統を現代に生かす ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
13	国際展に見る、美と世界との対峙	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
14	地域社会・文化とアートによる創造の試み ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
15	地域社会・文化とアートによる創造の試み ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる

講義名	1000018000 デザイン論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護			担当教員(単位認定者)	船山　哲郎		

学習目標(到達目標)

デザインと文化、社会における役割について、基本的な知識や考え方を具体的に把握し、新たな発想やデザイン創造活動に生かす。

授業概要(教育目的)

私たちの社会・生活は、実に様々なデザインされたものに囲まれています。この講義では、社会や生活の実際的ニーズと直接結びつき、「使用」や「情報伝達」、「空間・環境形成」などの具体的目的の中で行われている諸デザイン活動が人の長い歴史の中でどのようなニーズや意図のもとに、何を生み出してきたのか、またそれらが社会・生活にどのような変化や影響をもたらしたのかについてさまざまな具体的事例を挙げながら、考察を進めてみます。
講義とともに基礎的な構成理論とデザイン構成演習を併せて実施します。構成演習については、一人ひとりの興味関心・考え方が生かされるように配慮していきます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業中に課すレポート、実技課題等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

授業を理解するうえで必要不可欠と思われる資料(作品写真・映像・参考資料・図書等)については、必要に応じて適宜紹介する。

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

授業用の専用ノートを一冊用意し、授業中の板書や口頭による説明を記録すること(その講義内容を元に、小レポートや期末レポートの課題を課す)。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	芸術とデザイン	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
2	人とデザインの歴史	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
3	近代デザインとバウハウス ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
4	近代デザインとバウハウス ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
5	バウハウスと日本への影響	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
6	日本のかたちと用の美 ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
7	日本のかたちと用の美 ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
8	文字・記号と表現・デザイン	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
9	色彩・光と表現・デザイン	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
10	デザイン構成理論と基礎演習 ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
11	デザイン構成理論と基礎演習 ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
12	デザイン構成理論と基礎演習 ③	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
13	デザインと装飾性	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
14	現代社会・生活とデザイン活動の展開 ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
15	現代社会・生活とデザイン活動の展開 ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる

講義名	1000019000 心の科学						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)		金地　美知彦		

学習目標(到達目標)

心理学の基礎知識の習得を目標とする。

授業概要(教育目的)

本講義では、心理学の観点から「心」の基本的なメカニズムについて考えていきたい。心理学の研究によって、「心」の意外な働きが分かってきた。本講義では、知覚、記憶などの認知的な側面から心理学の基礎について概説する。また、人格、知能、発達などから、その人特有の個性を形作る「心」の働きについても学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

定期試験の成績を中心に、講義中の小レポートも加味し、総合的に評価する。なお、定期試験は、テキスト、ノートなど一切の資料を持ち込み不可で行う。

課題に対するフィードバック

全体の成績評価および定期試験の成績(得点)については、成績発表終了後に金地まで問い合わせれば個別に開示する。

参考文献

角山剛・小西啓史・三星宗雄・渡辺浪二(編著)『基礎からの心理学』おうふう

講義時使用テキスト

特に指定しない

資格との関連

認定心理士資格申請に必要な科目の一つである。

学生へのメッセージ

【履修上の注意】
　秋学期集中講義で開講される『行動の科学』では、主に集団としての人間の問題、心の病などについて概説する予定である。本科目と『行動の科学』を併せて履修することで、心理学の知識を幅広く習得されることを希望する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	【ガイダンス ＆ 心理学とは】 ①授業の進め方 ②心理学とは ③心理学の歴史	心理学の研究対象について図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
2	【知覚】 ①知覚とは ②視覚の世界 ③その他の知覚世界	物を知覚するしくみについて図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
3	【記憶】 ①記憶とは ②短期記憶と長期記憶 ③勉強に役立つ記憶法	記憶のしくみについて図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
4	【思考】 ①問題解決 ②推理 ③確率判断 ④意思決定	問題解決、推理、確率判断、意志決定のしくみについて図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
5	【行動学習(レスポンデント条件付け)】 ①無条件反射 ②条件反射とレスポンデント条件付け ③さまざまな条件反射	レスポンデント条件付けのしくみについて図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
6	【行動学習(オペラント条件付け)】 ①生得的行動と獲得的行動 ②スキナーの実験とオペラント条件付け ③ギャンブルに依存する心理 ④学習性無力感	オペラント条件付けのしくみについて図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
7	【対人関係】 ①他者を知る仕組み ②自分を知ってもらうには ③友情＆恋愛	他者認知、自己呈示、印象形成のしくみについて図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
8	【感情・動機づけ】 ①感情とは ②フラストレーションとストレス ③動機づけ	感情が生起するしくみ、フラストレーションの解消法について図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
9	【性格】 ①性格とは ②性格のとらえ方 ③性格を決める要因	性格の捉え方(類型論と特性論)について図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
10	【性格テスト(心理検査)】 ①性格テスト(心理検査)とは ②性格テスト(心理検査)の実施	性格(心理状態)の3つの測定方法について図書館やネットを用いて調べる。	性格テスト(心理検査)の結果を振り返ってみる。
11	【心の発達】 ①乳児期・幼児期 ②認知の発達 ③言語能力の発達	乳児期や幼児期、児童期の心の発達について図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
12	【心の発達】 ①社会性の発達 ②自己の発達 ③成人期・老年期	青年期から老年期の心の発達について図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
13	【心のダメージ】 ①心の葛藤 ②ストレス ③心の病気	ストレスによって引き起こされる心や身体の病気について図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
14	【心の治療】 ①心理療法とは ②心理療法の様々な技法 ③日常生活でのメンタルケア	心理療法の様々な技法について図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
15	【まとめ】 これまでの授業を一通り振り返り、ポイントを押さえる。	配布プリントがすべて手元にあるかどうか確認し整理しておく。	ポイントを重点的に学習し、試験に備える。

講義名	1000020000 行動の科学						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)		石岡　れい子		

学習目標(到達目標)

行動の科学的接近の成果にもとづいて、心理学の各領域のテーマについて基本的な事柄を理解し、説明できる。

授業概要(教育目的)

この授業では、行動の科学的な理解を通して、社会、他者、集団、環境における人間の行動や心の働きについて概説する。また、心の病やそれに対する治療、援助について学び、臨床的・応用的な見地からも「心」の働きについて考えていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

試験や小テスト、課題提出、演習の発表、授業中の発言等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

毎回の授業の終わりに、出席確認と授業内容の確認の意味で、小テストを実施する。
レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

認知症サポーター養成講座標準教材「認知症を学び、地域で支えよう」全国キャラバンメイト連絡協議会

資格との関連

社会福祉士、教員、看護師の資格取得のための選択科目である。人間の行動を科学的に観察、分析するために、まずは実際に自分で各種の検査を行い、自身の性格や行動について客観的に分析することから始めていく。

学生へのメッセージ

受講者は、意志・好奇心を持って参加されたい。また、学んだ知識を生かせるように実際の事例にあてはめながら理解してもらいたい。重要なことは、学んだことをただ授業の中だけで終わらせないことである。そうでなければ、内容を理解したとは言えない。理解習得し、ものごとを学習前と違った視点から見られるようになって欲しい。

実務との関連

小学校教員、特別支援学校教員を経て、教育大学の大学院で臨床心理学を学んだ。特に応用行動分析学の研究室で、人間の行動、行動変容、環境との相互作用、コンサルテーションについて学んだ。その知見と実務経験をもとに話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	心理学とはなにか	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
2	環境の認知	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
3	行動の変容 自身のコーピング尺度を分析し行動パターンについて感想文を提出する。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
4	記憶	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
5	感情と動機づけ	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
6	性格と知能 自身のエゴグラムの結果を分析し説明したうえで、今後の自身のあり方をレポートにまとめ提出する。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
7	発達	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
8	対人認知と対人魅力、態度と態度変化 Leeの愛情尺度の結果を自己分析し、レポートを提出する。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
9	自己と他者 ハイダーのバランス理論について学び日常の行動と結び付けて具体例を挙げて、レポートにまとめ提出する。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
10	集団の心理	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
11	リーダーシップ 自身のLPC尺度の結果を分析し効果的なリーダーシップのあり方について考え、レポートを提出する。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
12	適応と不適応 STAI1とSTAI2を分析し、レポートを提出する。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
13	主な精神障害の概要 SDS(うつ尺度)を実施し、うつの症状を知る。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
14	精神障害への介入技法(認知症の理解と支援について-ゲストティーチャー) 認知症サポーター養成講座を受けて、感想文の提出する。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	ゲストティーチャーによる寸劇などを見て、グループディスカッションをして発表する。 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
15	障害の心理(発達障害児者の理解と支援について-ゲストティーチャー) 自閉症キャラバン隊(八戸市自閉症親の会主催)の話を聞き、実際に発達障害の人の困難さを体験し、 感想文を提出する。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	ゲストティーチャーによる寸劇などを見て、グループディスカッションをして発表する。 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する

講義名	1000021000 歴史学 ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

1、歴史的なものの見方の意義が理解できる。
2、古代ギリシアから現代に至るまでの法思想の概要について理解できる。
3、それぞれの思想家が思索した時代背景を理解できる。

授業概要(教育目的)

現代世界は「グローバリゼーション」の掛け声のもとに、大きな変動を迎えている。そうした中で、従来の国家・社会の構造は変容し、人々の信念にも変容がみられると同時に、そうした変化に対する反発も生じている。
こうした流動的な状況においては、人類の歴史を振り返り、過去の変動の時代に人々が何を考え、どのように行動し、結果として何がもたらされたかを学ぶ歴史学の視点は大変重要に思われる。
この授業では、国家と社会を形作るいわば骨格である「法」についての捉え方の歴史、すなわち「法思想」の歴史を西洋という文脈に限って、古代ギリシアから現代に至るまでたどってみたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

期末の定期試験によって評価する。出席が3分の2を超えていることは単位取得の前提条件である。穴埋め個所は試験範囲になるので、授業中はこまめな穴埋めをすること。なお遅刻は3回で欠席1回相当とみなす。

課題に対するフィードバック

授業中には適宜討論の時間を設けたい。電子メールで質問には随時答える。講義中の質問は大歓迎である。

参考文献

三島淑臣『法思想史〔新版〕』青林書院、1993年。それ以外は授業時に紹介する。

講義時使用テキスト

テキストは特に指定せずに、スライド資料などを配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

高校時代に世界史を履修していない人は、何か世界史に関する入門書を授業受講以前に1冊読んでおいてください。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	「歴史」のとらえ方　歴史学の歴史	高校の世界史の教科書や資料集をもう一度取り出して、自分の関心のある所を見直すなどしてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
2	法思想史の意義について プラトンの哲人王政　魂の政治	高校の世界史教科書でも構いませんので、古代ギリシアに関する部分をざっくり読んできてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
3	アリストテレスの正義論　正義の三分説	高校の世界史教科書でも構いませんので、古代ギリシアに関する部分をざっくり読んできてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
4	ヘレニズム時代の法思想　ストア派とエピクロス派	高校の世界史教科書でも構いませんので、古代ギリシアに関する部分をざっくり読んできてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
5	キリスト教の登場　旧約の法から新約の法へ	高校の世界史教科書でよいので世界史・倫理のキリスト教に関する記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
6	教父アウグスティヌスの法思想　永遠法について	高校の世界史教科書でよいので世界史・倫理のキリスト教に関する記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
7	スコラ学者トマス・アクィナスの法思想　自然法について	高校の世界史教科書でよいので世界史・倫理のキリスト教に関する記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
8	末期スコラ学とグロティウス　国際法の萌芽	高校の世界史教科書でよいので世界史の大航海時代前後に関する記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
9	ルネサンスから「宗教改革」へ　マキアヴェリの君主論について～ホッブズの社会契約論	高校の世界史の教科書でよいのでルネサンス前後の記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
10	近代市民社会の成立　ジョン・ロックの所有権論	高校の世界史の教科書でよいので近代市民革命前後の記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
11	近代市民社会の深化　カントの普遍主義的法理論とJ.S.ミルの自由論	高校の世界史の教科書でよいので近代市民革命前後の記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
12	近代市民社会への批判　ルソーの一般意思論とヘーゲルの人倫論	高校の世界史の教科書でよいので近代市民革命前後の記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
13	実証主義の時代　ハンス・ケルゼンの法実証主義とラートブルフの価値相対主義	高校の世界史の教科書でよいので19世紀の記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
14	自然法論の「復権」　ヨハネス・メスナーの自然法倫理学	高校の世界史の教科書でよいので第二次世界大戦前後のヨーロッパに関する記述(特にファシズムについて)を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
15	現代世界の法思想　「ハーバード白熱教室」が問いかけるもの	高校の世界史の教科書でよいので現代に関する記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。

印刷日：2023年09月29日

講義名	1000022000 日本国憲法						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康		担当教員(単位認定者)		髙須　則行		

学習目標(到達目標)

① 日本国憲法の理念・構造を説明できる。
② 基本的人権の精神およびその内容、平和の尊さを考え、民主政治の仕組みを説明できる。

授業概要(教育目的)

本講義では、私たちの国家の基本的在り方を決めている日本国憲法について、その基本原理として挙げられている国民主権、基本的人権の保障、平和主義の理念、権力分立制がどのような働きをしているのかを判例を踏まえながら理解してもらうことを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

定期試験および小テスト等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストの模範解答を示す。

参考文献

他の参考書、参考資料は、講義の中で適宜紹介する。

講義時使用テキスト

『憲法概観(再訂版』(司法協会)

資格との関連

公務員(教職も含む)試験　行政書士試験

学生へのメッセージ

テキストは必ず持ってくること。
新聞・TVなどの報道には関心を持ってほしい。女性天皇制・天皇の国事行為・天変地異と危機管理・日本を取り巻く国際社会の変化など、憲法改正論が巷を騒がせている。他方で国民の人権はどうなるのか是非関心を持ってニュースに接してほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	憲法へのいざない:日常生活における基本的人権の問題)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
2	憲法の位置付け:憲法の最高法規性	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
3	憲法の基本原理:国民主権・基本的人権の保障・権力分立制・平和主義	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
4	憲法の歴史:近代憲法から現代憲法へ	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
5	基本的人権の性質	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
6	基本的人権の体系	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
7	法の下の平等	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
8	自由権(1):精神的自由(信教の自由)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
9	自由権(2):精神的自由(表現の自由)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
10	自由権(3):人身の自由	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
11	自由権(4):経済的自由	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
12	社会権	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
13	統治機構(1):三権分立制の意義	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
14	統治機構(2):三権分立制の関係	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
15	地方自治	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。

講義名	1000023000 政治学						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)		横田　将志		

学習目標(到達目標)

①政治学で用いられる基本的な概念について説明できるようになる。
②政治学の考え方を活用して、実際の政治現象を読み解くことができるようになる。
③物事を客観的・理性的に判断したうえで、自らのもつ政治的権利を行使できるようになる。

授業概要(教育目的)

私たちは、政治が決めたルールなどに従って生活していると同時に、主権者であり、政治の行方を決める存在でもある。そのため、実際の政治現象を正確に理解したうえで、行動することが求められる。本講義では、この点を踏まえ、現実社会における複雑な政治現象を理解し、さまざまな政治的課題への解答を見つけ出すために必要な政治学の諸概念や分析手法を身につけていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業内レポートと期末試験を総合して評価する。

課題に対するフィードバック

授業のなかでICT機器を用いて実施するアンケートや理解度確認のためのミニレポートについては、次の授業およびWebClassにて結果を紹介したり特徴的な意見に対してフィードバックしたりする。

参考文献

授業のなかで適宜紹介する。

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

学生へのメッセージ

日頃から政治に興味・関心をもって新聞やニュースに触れるとともに、政治の当事者としての意識をもちながら生活してほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	政治と政治学	政治とは何かについて考えておく。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
2	国家と主権	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
3	政治権力	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
4	政治制度	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
5	政治体制とイデオロギー	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
6	政治思想	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
7	民主主義①:民主主義の歴史的展開	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
8	民主主義②:民主主義を支える諸概念	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
9	政党と政党システム	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
10	選挙	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
11	諸外国の政治①:イギリス	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
12	諸外国の政治②:アメリカ	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
13	日本の政治①:日本政治史	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
14	日本の政治②:現代日本政治の特徴と課題	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
15	政治学の役割	政治的課題の解決に向けて自ら何ができるのかについて考えておく。	授業の内容を整理し、論点を整理する。

講義名	1000024000 社会学						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)		横田　将志		

学習目標(到達目標)

①現代社会の特徴について理解し、説明できるようになる。
②個人と社会の関係性や生活(生き方)の多様性について理解し、さまざまな生き方を選択したり、受け容れたりできるようになる。
③社会の抱える諸問題とその背景を理解し、問題の解決策を考えることができる。

授業概要(教育目的)

社会学は、私たちが生活する社会の仕組みやそこで起こる現象の説明を試みる学問分野であり、非常に幅広い研究対象をもつ。この講義では、社会のさまざまな側面を取り上げ、それを客観的に理解・説明するために必要な能力を身につけ、実社会で直面する多種多様な課題に自ら対応できるようになることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業内レポートと期末試験を総合して評価する。

課題に対するフィードバック

授業のなかでICT機器を用いて実施するアンケートや理解度確認のためのミニレポートについては、次の授業およびWebClassにて結果を紹介したり特徴的な意見に対してフィードバックしたりする。

参考文献

講義時使用テキスト

奥村隆編『はじまりの社会学――問いつづけるためのレッスン』ミネルヴァ書房、2018年。

資格との関連

学生へのメッセージ

社会学は、私たちの暮らしに関わるさまざまな面を分析する学問である。そのため、普段の生活のなかでも、さまざまな事象に興味・関心をもつよう心掛けてほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	社会学の意義	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	社会学の射程	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	自己と他者	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	家族	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	ジェンダー	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	労働	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	格差・不平等	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	病気・障害	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	外国人・民族	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	宗教	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	環境と開発	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	逸脱と社会規範	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	権力と国家	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	マスメディア	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	社会学がもつチカラ	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	1000025000 国際関係論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)	横田　将志			

学習目標(到達目標)

①国際社会の特徴と歴史を踏まえ、現在の国際関係や世界情勢を説明できるようになる。
②国際関係や国際政治の説明に必要な理論を活用できるようになる。
③国際社会から受けるさまざまな影響に対して正しく対応できるようになる。

授業概要(教育目的)

私たちは、国際社会のなかで暮らし、国際関係から大きな影響を受けている。グローバル化が進んだ現代、地域社会で活躍するためには、国際関係を客観的に理解し、論理的に説明する力が求められる。この授業では、国際関係の特徴・歴史・理論・課題を学び、世界情勢を読み解く力を習得したうえで、持続可能な開発目標(SDGs)に代表されるさまざまな地球的課題への解答を自ら見つけ出せるようになることを目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業内レポートと期末試験を総合して評価する。

課題に対するフィードバック

授業のなかでICT機器を用いて実施するアンケートや理解度確認のためのミニレポートについては、次の授業およびWebClassにて結果を紹介したり特徴的な意見に対してフィードバックしたりする。

参考文献

講義時使用テキスト

佐渡友哲・信夫隆司・柑本英雄(編)『国際関係論(第3版)』弘文堂、2018年。

資格との関連

学生へのメッセージ

国際関係論は政治学の一分野であることから、事前に政治学の履修を勧める。また、日頃から国際情勢に関心をもち、新聞の国際面に目をとおしたり、世界の出来事を伝えるニュース番組を見たりすることが望ましい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	国際関係を学ぶ理由	世界情勢にの興味・関心をもっておくこと。	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	国際社会の特徴	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	20世紀の国際関係	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	21世紀の国際関係	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	現代のグローバル化	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	グローバル化の光と影	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	地域化	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	北東アジアの今	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	現代の安全保障	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	南北問題	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	地球環境問題	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	非国家アクター	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	国際関係の理論①	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	国際関係の理論②	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	世界の平和と安定に向けて	世界を平和にする方法を考えておくこと。	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	1000026000 海外事情						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護			担当教員(単位認定者)	グレゴリー・アンソニー		

学習目標(到達目標)

「海外事情」は国際理解教育の観点から、外国に一定期間滞在して、人的交流と語学研修等を通して、具体的かつ実践的な海外各国の異文化の事情等を学ぶことを目的とする。異文化や異国でのビジネス等に触れることにより、広い視野と積極性に基づく国際理解を身につけ説明できる。

授業概要(教育目的)

①＜アメリカ合衆国＞ワシントン州シアトル市にあるKAPLAN語学研修および同校学生との交流に参加し、ホームステイや同校における米国人学生および各国からの留学生との交流を通じて海外生活を体験する。また、米国シアトル市などにおいて、米国企業見学や市庁舎訪問を実施することや、引率教員による「異文化理解」現地講義を予定している。
②＜タイ＞ファーイースタン大学の見学および学生との交流。タイ国チェンマイ市の歴史や専物館、病院、福祉施設などの見学を通して、異文化を理解し、国際感覚を培うことを目的として実施する。
③＜CNE1フィリピン＞学校法人光星学院が協定を結んでいるフィリピンの語学学校「CNE1」での語学トレーニングを通して英語でコミュニケーションする能力を高め、現地研修によって外国の歴史や文化や習慣に触れることで、国際的な視野を広げる。
④＜EF＞学校法人光星学院が協定を結んでいるEF(イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社)が提供する世界各地への語学留学プログラムに参加する。
＊注意事項
上記①～④の研修に参加する予定の学生は、あらかじめ「海外事情」を履修登録すること。また、研修参加後に「海外事情」と「英語コミュニケーション」の単位認定を希望する学生は、教務学生課において修了証等の写しとともに、「単位認定願」を必ず提出すること。なお、参加費は実費で、費用に含まれるのは次の通りである。
1)交通費(国内の移動費。航空運賃)と海外旅行傷害保険料
2)英語研修費と諸活動費の一部及び宿泊費(ホテル・ホームステイ費用)
3)その他費用(現地移動費等)

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

海外事情に関する事前講義、現地における各種研修、帰国後に行う事後講義・レポート提出・プレゼンテーション等により、教員が必要に応じて受講や発表を決定しその内容で評価する。
＜「アメリカ海外研修」および「CNE1フィリピン」、「EF(英語圏)」での英語研修については、「英語コミュニケーション」を参照。＞

課題に対するフィードバック

事前研修プログラム最中にプログラム担当者が口頭でフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

後日指定する。
団体行動を基本としたスケジュールを組んでいるので、その自覚と意欲ある者の履修を求める。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	海外研修事前指導(1) 研修の目的	シラバスの内容を確認する。	研修内容を整理する。
2	海外研修事前指導(2) 研修地の事情、歴史、文化	研修地についてメディアで調べる。	研修内容を整理する。
3	海外研修事前指導(3) 研修スケジュールの計画	研修地についてメディアで調べる。	研修内容を整理する。
4	海外研修 語学研修(1)	研修スケジュールを確認する。	研修内容を整理する。
5	海外研修 語学研修(2)	前回の研修内容を再確認する。	研修内容を整理する。
6	海外研修 歴史・文化(1)	前回の研修内容を再確認する。	研修内容を整理する。
7	海外研修 歴史・文化(2)	前回の研修内容を再確認する。	研修内容を整理する。
8	海外研修 歴史・文化(3)	前回の研修内容を再確認する。	研修内容を整理する。
9	海外研修 ビジネス(1)	前回の研修内容を再確認する。	研修内容を整理する。
10	海外研修 ビジネス(2)	前回の研修内容を再確認する。	研修内容を整理する。
11	海外研修 観光・食(1)	前回の研修内容を再確認する。	研修内容を整理する。
12	海外研修 観光・食(2)	前回の研修内容を再確認する。	研修内容を整理する。
13	海外研修 観光・食(3)	前回の研修内容を再確認する。	研修内容を整理する。
14	海外研修事後指導(1) 海外研修の振り返り	海外研修中の学習内容を整理する。	研修内容を整理する。
15	海外研修事後指導(2) レポートの作成	海外研修中の学習内容を整理する。	研修内容を整理する。

講義名	1000026001 海外事情（韓国文化）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)	崔　桓碩			

学習目標(到達目標)

本講義の学習目標は、韓国語および韓国文化について基礎的な知識を習得し、韓国文化への理解を深めることをである。具体的には、毎回韓国語の学習を通じ、ハングル文字や発音を身につける。さらには、簡単な文法を覚え、日常生活に必要な表現について学習し、授業の最後には初級レベルに達することを目標とする。そして、韓国文化について地理、衣・食・住文化、歴史、芸能などのように幅広く学習し、隣国である韓国文化への理解を深めることを目標とする。

授業概要(教育目的)

授業は大きく2つに分けて進める。一つは、韓国語の学習である。ハングルが創造された歴史を踏まえ、ハングルの基本的な文字構成や発音について身につける。文字を単に覚えるのみではなく、基礎的に読める、書ける、聞ける、言えるようになっていただくよう、随時テストを行いながら授業を進める。二つは、韓国文化の学習である。文化の基本的な定義から始め、韓国の地理的特徴や歴史、社会的情勢などできる限り幅広く紹介する。すなわち、韓国文化について一面ではなく、多面的に観察することにより文化への理解を深める。さらには、韓国文化への理解を始め、異文化を理解するための土台を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、ビジネスに必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

本講義の評価は、課題(レポート)2回と定期試験1回により評価する。レポート1回につき15点で合計30点、定期試験を70点にして、総100点で評価する。

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

1. 李昌圭著『日常会話から文法まで学べる　はじめての韓国語』ナツメ社

講義時使用テキスト

レジュメ配布

資格との関連

韓国語能力試験(TOPIK)の資格を受験する基礎になる。

学生へのメッセージ

本講義は、韓国語および韓国文化について理解を深めたい人を対象としている。また、授業での内容を十分理解した上で、両国の交流増進のために積極的に活動してほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. ハングルについて 2. 文化について(文化とは何か？)	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
2	1. ハングルの創造の歴史 2. 韓国の地理(位置、領土、気候、山河などの自然環境など)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
3	1. ハングルの子音について 2. 韓国の「食」文化(キムチ、サムギョプサルなど)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
4	1. ハングルの母音について 2. 韓国の「衣」文化(韓服(チマチョゴリ)など)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
5	1. 基本的な文字の構成①(パッチム無し) 2. 韓国の「住」文化(昔の住宅と現在の住宅)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
6	1. 基本的な文字の構成②(パッチム有り) 2. 韓国の歴史(原始時代から現代まで)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
7	1. ハングルの発音法①(パッチム無し) 2. 韓国の民俗芸能と通過儀礼(陶磁器(世界遺産、国宝)、生活規範としての儒教)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
8	1. ハングルの発音法②(パッチム有り) 2. 韓国の伝統舞踊と仮面劇(「판소리」と「탈춤」)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
9	1. ハングルを書いてみよう①(パッチム無し) 2. 韓国の音楽(「트로트」と「K-POP」)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
10	1. ハングルを書いてみよう②(パッチム有り) 2. 韓国のドラマと映画	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
11	1. ハングルの読み・聞き練習①(パッチム無し) 2. 韓国の若手文化	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
12	1. ハングルの読み・聞き練習②(パッチム無し) 2. 日本との交流について①(朝鮮通信使について)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
13	1. 基本的な会話表現①(あいさつ、自己紹介) 2. 日本との交流について②(近代から現代まで)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
14	1. 基本的な会話表現②(家族の紹介) 2. 日本との交流について③(地域ごとの交流について)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
15	1. 基本的な会話表現③(食事する時) 2. 在日韓国人・朝鮮人について	授業内容についてインターネットで前回の配布資料とノートを読み直す 調べる	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる

講義名	1000026002 海外事情（中国文化）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護			担当教員(単位認定者)	楊　麗栄		

学習目標(到達目標)

①中国の文化、習慣など、広範な内容を通して、中国に対する理解を深める。
②中国文化と日本文化の違いなどを、ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現する力を養う。

授業概要(教育目的)

日本は中国と一衣帯水の国であり、両国の交流は古代より頻繁に行われている。近年、日本を訪れる中国人観光客や、日本の教育機関で学ぶ留学生は増加する一方である。国際化社会の中では、いかに相手の国の文化、そして習慣を理解しながら、円滑にコミュニケーションを取れるのかが重要視されている。本講義は中国の大学生とオンライン交流を交えつつ、中国の文化について様々な視点から学び、思考を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、ビジネスに必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業態度、発表やレポートを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

発表やレポートなどの取組みに対してアドバイスを行う。

参考文献

授業時に指示する。

講義時使用テキスト

教科書は基本的に使用しない。パワーポイント、視覚教材などを使用する。必要に応じてプリントを配布。

資格との関連

学生へのメッセージ

1. 中国に興味をお待ちの方大歓迎。

2. 中国の大学とオンライン交流を実施する予定。国際交流に熱心な学生を望む。

実務との関連

3. 履修人数により、オンライン交流の準備は一回になる可能性がある。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 中国の概況① （地理、気候、民族、文化の背景） 2. ゲームで中国語を覚えよう	中国についてインターネットで調べる	授業の内容とポイントを整理する
2	1. 中国の概況② 中国の都市を知る 2. ゲームで中国語を覚えよう	授業内容についてインターネットで調べる 発音③	授業の内容とポイントを整理する 発音②
3	1. 中国の社会・人文科学① 政治、経済を知る 2. 簡単な自己紹介を覚えよう 3. ディスカッション	授業内容についてインターネットで調べる 発音④	授業の内容とポイントを整理する
4	1. 中国の社会・人文科学② 中国の教育システムを知る 2. 簡単な自己紹介を覚えよう 3. 文化体験　OR　ディスカッション	授業内容についてインターネットで調べる 発音⑤	授業の内容とポイントを整理する 発音③
5	1. 中国人の生活① 習慣と慣習 2. 中国の言葉を覚えよう 3. 文化体験　OR　ディスカッション	授業内容についてインターネットで調べる 発音⑥	授業の内容とポイントを整理する 発音④
6	1. 中国人の生活② 中国人の対人関係 2. 中国の言葉を覚えよう 3. 文化体験　OR　ディスカッション	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容とポイントを整理する 発音⑤
7	1. 中国人の生活③ 中国人の学生生活 2. 中国の言葉を覚えよう 3. 文化体験　OR　ディスカッション	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容とポイントを整理する 発音⑥
8	中国の学生とオンライン交流会の準備	授業内容についてインターネットで調べ、準備する	授業の内容とポイントを整理する
9	中国の学生とオンライン交流会の準備	授業内容についてインターネットで調べ、準備する	オンライン交流会の内容をを整理する
10	中国の学生とオンライン交流会	授業内容についてインターネットで調べる	オンライン交流会の内容をを整理する
11	1. 中国の社会システム① 2. 中国の言葉を覚えよう 3. 文化体験　OR　ディスカッション	授業内容についてインターネットで調べる	オンライン交流会を振り返る
12	1. 中国の社会システム② 中国医学(中国医学、健康法) 2. 中国の言葉を覚えよう 3. 文化体験　OR　ディスカッション	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容とポイントを整理する
13	1. 中国の伝統・芸能 2. 中国の言葉を覚えよう 3. 文化体験　OR　ディスカッション	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容とポイントを整理する
14	1. 中国のサブカルチャー 2. 中国の言葉を覚えよう 3. 文化体験　OR　ディスカッション	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容とポイントを整理する
15	1. 中国文化と日本文化の相違点 2. 中国の言葉を覚えよう 3. 文化体験	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容とポイントを整理する

講義名	1000026003 海外事情（タイ文化）						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)	横田　将志			

学習目標(到達目標)

①タイの社会や文化について理解を深め、説明できるようになる。
②日本はタイからどのように見られているのかについて知り、自らの暮らす社会を客観的に把握できる能力を獲得する。
③国際社会で求められるコミュニケーション・スキルとコモンセンスを身につける。

授業概要(教育目的)

タイは、日本人が観光やビジネスで最も頻繁に行き来する国の1つである。近年は、日本に訪れるタイ人の数も急激に増えつつある。しかしながら、日本では、タイに誤ったイメージを抱く人々がいまだに多くいる。反対に、タイでは、アニメをはじめとする日本のポップカルチャーが広く浸透し、日本に興味・関心を抱く人々が数多く存在するが、実際の日本社会を正確に把握・理解している者はまだ少ない。本講義では、これらの点を踏まえて、タイの大学生とのオンラインでの交流等も交えつつ、日本とタイの相互理解を深めていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、ビジネスに必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業内での発表やレポートを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

発表やレポートなどの取り組みに対してアドバイスを行うとともに、学生と教員が一緒になって改善策を考えていく。

参考文献

授業のなかで適宜紹介する。

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

学生へのメッセージ

タイの大学生とのオンライン交流やワークショップを実施することから、履修者の上限を10名程度とする。受講希望者が多数であった場合は、選抜試験を実施し、成績上位の者のみ履修を認める。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	タイを学ぶ意義	タイについて興味や関心をもつ	授業の内容と論点を整理する
2	タイのイメージの整理	授業内容について本やインターネットで調べる	授業の内容と論点を整理する
3	タイ社会の特徴	授業内容について本やインターネットで調べる	授業の内容と論点を整理する
4	タイの政治と経済	授業内容について本やインターネットで調べる	授業の内容と論点を整理する
5	タイの学生生活	授業内容について本やインターネットで調べる	授業の内容と論点を整理する
6	チェンマイを知る	授業内容について本やインターネットで調べる	授業の内容と論点を整理する
7	バンコクを知る	授業内容について本やインターネットで調べる	授業の内容と論点を整理する
8	タイにおける日本	授業内容について本やインターネットで調べる	授業の内容と論点を整理する
9	オンライン交流の準備①:質問事項の検討	タイの大学生に質問したい事柄を考えておく	各自でわかりやすく質問する練習を行う
10	オンライン交流の準備②:タイのマナーを学ぶ	タイ独自のマナーについて調べておく	各自でタイ語でのあいさつを練習を行う
11	オンライン交流の準備③:リハーサル	タイ語であいさつできるようにしておく	上手くいかなかったところを改善しておく
12	オンライン交流会	質問内容を整理・確認しておく	振り返りレポートを作成する
13	オンライン交流会の振り返り	振り返りレポート完成させておく	オンライン交流会で得られた情報や経験をノートにまとめておく
14	プレゼンテーションの準備	これまで学んできたタイに関する事項をまとめておく	パワーポイントを作成する
15	タイから学んだことについてのプレゼンテーション	パワーポイントを完成させておく	期末レポートを作成する

講義名	1000027000 自然科学概論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)		熊谷　晶子		

学習目標(到達目標)

物理学・化学・生物学の基礎を理解し、物理学・化学・生物学の統合された自然科学で生物を説明できる。

授業概要(教育目的)

生物の特徴はその多様性と統一性の両面に見られる。生物体内では絶えず化合と分解の化学変化が行われ、生物体とそれをとりまく外部環境との間には物質の循環がみとめられる。物質の循環は化学変化であるが、光のエネルギーが大きな働きをなす。太陽のエネルギーが姿をかえて、生物体内の化学変化を酵素の存在のもとに行っている。また、機械的な仕事、熱、光、電気、化学現象間はエネルギー概念により結びつけられた。
生命現象を理解するために、これらの自然科学(生物学、化学、物理学)の基礎を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

受講態度と定期試験を総合して評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義において随時紹介する。

講義時使用テキスト

とくに必携テキストは必要としない。必要に応じてプリントなど配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	自然科学概論とは	自然界の成り立ちとこれを支配する法則を調べる。	人類の直面する諸問題の論点を整理する。
2	生物の基本概念と基本構造	生命体の基本的属性を調べる。	生物の多様性と生命の斉一性を理解する。
3	生物の増殖	生物の増殖について調べる。	生物としての増殖には無性生殖と有性生殖があることを理解する。
4	生命と水	生命活動に重要な水の性質を調べる。	生命現象を水との関わりで理解する。
5	タンパク質	タンパク質の構造と機能について調べる。	タンパク質を機能から整理する。
6	糖質	生命活動のエネルギー源としての糖質について調べる。	糖質のエネルギー代謝を理解する。
7	脂質	水に溶けない脂質の役割を調べる。	エネルギー源、生体膜成分等の脂質の役割を整理する。
8	核酸と遺伝子	核酸の構造と機能を調べる。	遺伝子の本体としての核酸の構造を理解する。
9	細胞	生命活動の最小単位としての細胞について調べる。	細胞の構造と機能を理解する。
10	遺伝子DNA	遺伝子の本体のDNAの構造と遺伝情報の関係を調べる。	DNAの二重らせん構造と遺伝情報について理解する。
11	遺伝情報の発現	遺伝情報はタンパク質となり機能する。その仕組みを調べる。	遺伝情報の発現の仕組みを理解する。
12	遺伝情報の翻訳	遺伝情報をタンパク質に翻訳する仕組みを調べる。	遺伝情報の翻訳の仕組みを理解する。
13	生物学的存在としての人間①	人間は周囲の環境と影響し合って生きている。その仕組みを調べる。	人間の生命活動を整理する。
14	生物学的存在としての人間②	60兆個の細胞からなる人間の生体内の恒常性を調べる。	動的平衡で生体内の恒常性を保つ仕組みを理解する。
15	生命誕生	生命誕生について調べる。	受精から生命誕生までの仕組みを整理する。

講義名	1000028000 数学						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)		田村　正文		

学習目標(到達目標)

以下の項目を到達目標とする。
授業で扱った内容について説明できる。
卒業論文や卒業研究など分析を行う際に、授業で扱った内容を応用できる。

授業概要(教育目的)

数学は、抽象的な論理展開を通じて物事の本質を見ようというものである。また、就職に関する試験などでも数学の知識が求められることから、今や数学の知識は社会において必要不可欠であるといえる。
本講義では、学生諸君が各学部・学科において2年次以降の応用科目の中でもよく用いられる、統計学や統計的分析、地域経営学部に関しては経営科学(線形計画法をはじめとしたOR:Operations Research, 3年次以降開講)や経済学などの分析方法の背後にある数学的構造(線形代数、解析学)の基礎的内容を講じる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

履修者が20人以下の場合には、複数回の小テストの結果、ならびにホームワーク(授業の課題)の結果によって評価する。
履修者が21人以上の場合には、定期試験の結果によって評価する。

課題に対するフィードバック

質問などがあれば、個別に対応する。

参考文献

必要に応じて適宜指示するが、授業内容の参考になるものとして以下を上げる。
松阪和夫 『線型代数入門』, 岩波書店.
原岡喜重 『はじめての解析学』, 講談社ブルーバックス.

講義時使用テキスト

使用しない.
講義資料を配布し、それに基づき行う。

資格との関連

学生へのメッセージ

高等学校で数学Ⅱ以降を習っていない場合には、各自で参考書などを購入し補うこと。
数学に限らずどの科目にも言える事であるが、遅刻等をせずに講義に臨むこと。
予習、復習とくに復習は欠かさず行うこと。
ほぼ毎回の授業で練習問題(ホームワーク)が課される。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	この授業の全体のアウトライン。 行列の基本(行と列、対角成分、正方行列)	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。 この授業専用のノートとファイルを用意する。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
2	行列の演算(四則演算)	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
3	逆行列・単位行列 ケリー・ハミルトンの公式	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
4	行列と行列式の違い 行列式の演算(2行2列)	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
5	行列式の演算(3行3列) サラスの方法 余因子展開	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
6	行列を用いた連立方程式の解法 クラーメルの公式	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
7	行列の固有値と写像	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
8	解析の基本事項 関数の連続と無限、平均変化率、極限	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
9	微分可能性と$\varepsilon-\delta$法 導関数と微分係数	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
10	指数関数や対数関数の微分 高次関数の微分 三角関数の微分	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
11	2変数の以上の微分(偏微分) 最適化	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
12	積分の基本事項 原始積分と区間積分	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
13	重積分と線積分	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
14	微分方程式の基礎事項	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
15	授業内容の他分野との関わり 数学と情報理論 数学と統計学	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。

講義名	1000029000 スポーツの科学						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)		泉水　朝宏		

学習目標(到達目標)

以下の事項を到達目標とする。
1. 現代社会におけるスポーツの意義を説明することができる。
2. 自分自身の健康を保つためのスポーツトレーニングを実践することができる。
3. スポーツパフォーマンスを決定する原理原則を説明することができる。

授業概要(教育目的)

現代社会においてスポーツの持つ役割はますます重要なものとなっている。スポーツの本質を理解することは、スポーツの専門家を目指す場合だけではなく、健全な市民として身に付けるべき教養として不可欠なものであり、それは自然科学、人文科学、社会科学をはじめとする諸学問の力を借りる必要がある。本講義では、自らの心身を健康に保つため、そして生涯にわたりスポーツに親しむために必要となるスポーツの科学的知識を理解することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

講義への参加態度(発問への答えなど)、課題、小テストの成績から総合的に評価する。
オムニバス科目であるためそれぞれの教員の評価の総計をもって評価する。
また、原則として再試験・追試験は行わない。

課題に対するフィードバック

・成績を知りたい学生には個別に開示する。
・成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

講義時使用テキスト

テキストは使用しない。

参考文献

・深代千之監修「スポーツを科学しよう!：トレーニング・競技から用具まで」(PHP研究所)
・鹿屋体育大学スポーツトレーニング教育研究センター編；西薗秀嗣著者代表「スポーツ選手と指導者のための体力・運動能力測定法 ：トレーニング科学の活用テクニック」(大修館書店)
・宮西智久編 ； 岡田英孝, 藤井範久著「スポーツバイオメカニクス」(化学同人)
・日本トレーニング指導者協会「トレーニング指導者テキスト」(大修館書店)

資格との関連

本科目は『教育職員免許法施行規則66条の6』に定められた科目の1つであり、中学校、高等学校に限らず教員免許を取得する学生は必ず履修し、修得すること。

学生へのメッセージ

講義会場を変更する場合があるので、掲示に注意すること。
講義科目であるが、実技を行う場合があるので掲示に注意すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 体力とは何か	・参考文献の関連個所を読む。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
2	2. 体力の測定 ①	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
3	3. 体力の測定 ②	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
4	4. 体力の測定 ③	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
5	5. 体力評価の方法	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
6	6. 体力を高める方法(トレーニングの原理と原則)	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
7	7. スポーツ科学とは何か	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
8	8. スポーツと科学の関わり	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
9	9. トレーニングへの体力測定の活用	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
10	10. トレーニングの構成の実際	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
11	11. 生涯スポーツと体力トレーニング①	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
12	12. 生涯スポーツと体力トレーニング①	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
13	13. 運動生理学の基礎①	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
14	14. スポーツのバイオメカニクス ①	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
15	15. スポーツのバイオメカニクス ②	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。

講義名	2020001000 キャリアデザインⅠ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)	柴垣　博孝			

学習目標(到達目標)

1. 大学4年間における自己の学びの意義について説明できる。
2. キャリアデザインの概要を説明できる。
3. 大学生活を通して身に付けるべき諸能力について説明できる。
4. 仲間を作るとともに、仲間内社会から外の世界に出て経験を積むべく行動することができる。

授業概要(教育目的)

大学生活に適応し、意欲をもって学生生活を送ることができるように授業を通して支援する。また、社会的・職業的に自立したシチズンシップを持った社会人へとそのキャリアを発達させることができるように支援する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

振り返りシート、感想文、まとめキャリアシート、授業中の発言などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

コメントシート(振り返りシート)は、次の授業で代表的なものをフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

・この時間を利用して、社会を知り自分を知って、将来を展望し、未来を開いて行ってください。
・全部で8回の内容である。毎週開講する科目ではないので、日程を確認し、忘れずに出席すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション 概論(1) ・キャリアデザインで何を学ぶのか ・どのような力を身に付けるのか (コメントシート使用)	大学生のキャリアデザインについて、あらかじめインターネット等を用いて調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べたり、教員に質問をしたりする。
2	概論(2) キャリアデザインと現在・過去・未来 ・大学進学の理由 ・今のあなたの役割 ・あなたのこれまでの歩み ・大学生活の目標 (コメントシート使用)	学生生活を展望し、授業内容の各項目について、予め考えてまとめておく。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べたり、教員に質問をしたりする。
3	概論(3) キャリアプランについて考える ・あなたのキャリアのイメージは ・キャリアパスとキャリアプランの立て方 ・内的キャリアと外的キャリアの理解 (コメントシート使用)	大学生活での目標を立てるべく、これまでの自身の歴史を振り返り、将来を展望してまとめておく。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べたり、教員に質問をしたりする。
4	学科の学びとキャリアデザイン(1) 地域経営学科、人間健康学科それぞれの学びとキャリア ・各学科で何を学ぶのか (コメントシート使用)	各学科で何を学べるのか、あらかじめ調べてまとめておく。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べたり、教員に質問をしたりする。
5	概論(4) 人生100年時代に向かって君たちはどう生きるか ・モチベーションと行動の観点から考える (コメントシート使用)	社会の動向(過去・現在・未来)について調べ、そのような社会との関係性の中で生きていく自分について、予め考えをまとめておく。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べたり、教員に質問をしたりする。
6	概論(5) キャンパスライフから始めよう ・充実した学生生活を送っていくために ・今を見つめ直す ・目的や目標を立て、DO目標を使いこなす ・勇気を持って行動し、チャレンジする (コメントシート使用)	自分の生き方と時間の使い方について、予め考えてまとめておく。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べたり、教員に質問をしたりする。
7	働くこととキャリアデザイン(1) ブラックバイトとキャリア ・労働法の観点から自分を守る ・働くことと暮らしについて考える (コメントシート使用)	バイトと労働法について、あらかじめインターネットで調べておく。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べたり、教員に質問をしたりする。
8	自己を振り返る ・まとめキャリアシートへの書き込みを通して振り返る ・webクラスへの保存	あらかじめ春学期の自分を振り返り、まとめておく。	まとめキャリアシートの内容を踏まえて、将来のキャリアを展望する。

講義名	2020002000 キャリアデザインⅡ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)	柴垣　博孝			

学習目標(到達目標)

1. 大学4年間における自己の学びの意義について説明できる。
2. キャリアデザインの概要を説明できる。
3. 大学生活を通して身に付けるべき諸能力について説明できる。
4. 仲間を作るとともに、仲間内社会から外の世界に出て経験を積むべく行動することができる。

授業概要(教育目的)

大学生活に適応し、意欲をもって学生生活を送ることができるように授業を通して支援する。また、社会的・職業的に自立したシチズンシップを持った社会人へとそのキャリアを発達させることができるように支援する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

振り返りシート、感想文、キャリアシート、授業中の発言などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題の提出状況等については、希望があれば個別に提示する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

・この時間を利用して、社会を知り自分を知って、将来を展望し、未来を開いて行ってください。
・全部で8回の内容である。毎週開講する科目ではないので、日程を確認し忘れずに出席すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション 自己・他者への気づきと対人関係(1) 「自分を知る意味を考える」 「自分の長所や短所に気づく」 ・長所に目を向け、自己肯定感を高める ・短所克服に向けて、何ができるか考える (コメントシート使用)	授業内容についてインターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
2	自己・他者への気づきと対人関係(2) 「自分の考え方の特徴を知る」 ・考えや感情がネガティブになりすぎることによる悪影響を知る ・出来事に対する自分の捉え方の癖を知る ・出来事に対する自分の捉え方を修正する方法を考える (コメントシート使用)	授業内容についてインターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
3	自己・他者への気づきと対人関係(3) 「怒りの気持ちを冷静に伝える」ことと「上手な頼み方と断り方」 ・イライラしたときでも適切な行動が取れ、適切な伝え方ができる方法を考える。 ・アサーティブな頼み方と断り方について考える。 (コメントシート使用)	授業内容についてインターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
4	自己・他者への気づきと対人関係(4) 「上手に聴こう」 ・人の話に注意深く耳を傾ける大切さに気づく ・ロールプレイを通して「正しい聴き方のポイント」を練習する (コメントシート使用)	授業内容についてインターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
5	働くこととキャリアデザイン(1) 「何のために働くのか」 ・職業に対する価値観を考える ・職業に対する価値観の多様性に気づく (コメントシート使用)	授業内容についてインターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
6	内定者報告会(1) 「よりよい学生生活を送るために」 ・就職活動と学生生活について考える ・将来のキャリアについて考える。 (コメントシート使用)	授業内容についてインターネットなどで調べる。	報告内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
7	学科の学びとキャリアデザイン ・研究演習の説明を通して、キャリア形成について考える ・将来のキャリアについて考える (コメントシート使用)	研究演習のことについて、予め、学習の手引きやはちキャンwebなどで調べておく。	授業内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
8	自己を振り返る ・まとめキャリアシートへの書き込みを通して振り返る ・webクラスへの保存	あらかじめ秋学期の自分を振り返り、まとめておく。	まとめキャリアシートの内容を踏まえて、将来のキャリアを展望する。
9	講演会：仮題「人生について考える」 (コメントシート使用) ＜実施時期は現在のところ未定です、確定し次第連絡します＞	将来のキャリアを「働く・生きる・学ぶ」という観点から考えてみる。	講演内容をまとめて、将来のキャリアを展望する。

講義名	2020003000 キャリアデザインⅢ（地域経営学科）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	柴垣　博孝			

学習目標(到達目標)

1. 将来の進路を明確にし、その進路を実現するために必要な方策を説明できる。
2. 働くことの意義と自身のキャリア形成に関する概略を説明できる。
3. 社会性と自立心、及び忍耐力と自己管理力などを持つことの意義を説明できる。
4. 仲間内社会から外の世界に出て経験を積むべく行動することができる。
5. コミュニケーションの基礎・基本を説明することができる。

授業概要(教育目的)

働くことと生きること、及び学ぶことに関する理解を促進し、自己の将来を確かなものとすべく自己理解・職業理解を図りながら将来を展望し、キャリア形成に関する理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

振り返りシート、感想文、キャリアシート、授業中の発言などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(振り返りシート、感想文)は、次の授業で代表的なものをフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

キャリアデザインを考えることは、就職活動のみならず、人生を考える上でも大変意義のあることです。学生諸君には、意欲を持って、また自身のキャリア形成に役立てるべく授業に臨んで欲しいと思います。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション 自己理解とキャリアデザイン(1) 「時間を通して自分を知ろう」 ・外的キャリアと内的キャリアに基づいて「私」を再評価する。 ・そのために、ワークを通して自己理解を図る。 (発表と共有)(コメントシート記入)	授業内容についてインターネットなどで調べる。	配布資料を読み直し、論点を整理する。
2	自己理解とキャリアデザイン(2) 「環境を通して自分を知る」 ・環境とは何か ・環境と内的キャリアについて考える ・環境と社会性について考える (発表と共有)(コメントシート記入)	授業内容についてインターネットなどで調べる。	配布資料を読み直し、論点を整理する。
3	コミュニケーションとキャリアデザイン(2) コミュニケーションの理論と実際 ・コミュニケーションの演習を行うことによって、理解を深める (発表と共有)(コメントシート記入)	授業内容についてインターネットなどで調べる。	講義の要点と実習のポイントを整理してまとめる。
4	コミュニケーションとキャリアデザイン(3) コミュニケーションの理論と実際 ・コミュニケーションの演習を行うことによって、理解を深める (発表と共有)(コメントシート記入)	授業内容についてインターネットなどで調べる。	講義の要点と実習のポイントを整理してまとめる。
5	自己理解とキャリアデザイン(3) 職業との関わりから自分を知る ・職業と関わるとは ・職業と内的キャリアについて考える 自覚した自分を整理して自分を知る (発表と共有)(コメントシート記入)	授業内容についてインターネットなどで調べる。	配布資料を読み直し、論点を整理する。
6	自己・他者への気づきと対人関係(5) 「トラブルの解決について考えよう」 ・トラブルの場面での自分の行動を振り返る。 ・トラブル解決のポイントを理解する。 ・トラブルの解決方法を練習する。 (発表と共有)(コメントシート記入)	授業内容についてインターネットなどで調べる。	配布資料を読み直し、論点を整理する。
7	自己・他者への気づきと対人関係(6) 「心の危機に対応しよう」 ・心の危機のサインを知る。 ・心の危機に陥った自分自身や友人への対応の仕方を理解する。 ・地域の相談・援助機関を知る。 (発表と共有)(コメントシート記入)	授業内容についてインターネットなどで調べる。	配布資料を読み直し、論点を整理する。
8	自己を振り返る ・まとめキャリアシートへの書き込みを通して振り返る ・webクラスへの保存	あらかじめ春学期の自分を振り返り、まとめておく。	まとめキャリアシートの内容を踏まえて、将来のキャリアを展望する。

講義名	2020004000 キャリアデザインⅣ（地域経営学科）						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)		柴垣　博孝		

学習目標(到達目標)

1.　将来の進路を明確にし、その進路を実現するために必要な方策を説明できる。
2.　働くことの意義と自身のキャリア形成に関する概略を説明できる。
3.　社会性と自立心、及び忍耐力と自己管理力などを持つことの意義を説明できる。
4.　仲間内社会から外の世界に出て経験を積むべく行動することができる。

授業概要(教育目的)

働くことと生きること、及び学ぶことに関する理解を促進し、自己の将来を確かなものとすべく自己理解・職業理解を図りながら将来を展望し、キャリア形成に関する理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

振り返りシート、感想文、キャリアシート、授業中の発言などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(振り返りシート、感想文)は、次の授業で代表的なものをフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

キャリアデザインを考えることは、就職活動のみならず、人生を考える上でも大変意義のあることです。学生諸君には、意欲を持って、また自身のキャリア形成に役立てるべく授業に臨んで欲しいと思います。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション 働くこととキャリアデザイン(1) 「社会の流れを知る」 ・戦後日本社会の動向と経済成長の推移を認識する ・自分がどのような時代に生きているのか認識する (発表と共有)(コメントシート使用)	授業内容について、インターネットなどで、予め調べる。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
2	働くこととキャリアデザイン(2) 「何のために働くのか」 ・職業に対する価値観を考える ・職業に対する価値観の多様性に気づく (コメントシー トを使用) (発表と共有)(コメントシート使用)	授授業内容について、インターネットなどで、予め調べる。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
3	働くこととキャリアデザイン(3) 「働くこととキャリアについて考える」 ・働くことの意味を考える ・ライフロールを描いて、将来を展望し自己の役割について考える (発表と共有)(コメントシート使用)	授業内容について、インターネットなどで、予め調べる。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
4	働くこととキャリアデザイン(4) 「企業の求める人材と今の自分について考える」 ・エンプロイアビリティーについて知り、現在の自分を振り返る ・学生生活を振り返り、将来のキャリアを展望する (発表と共有)(コメントシート使用)	授業内容について、インターネットなどで、予め調べる。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
5	働くこととキャリアデザイン(5) 「自分の職業傾向を知る」 ・ホランドの6領域、DPＴ分類によって職業傾向を知る ・職業選択、将来のキャリアを展望する (コメントシート使用)	授業内容について、インターネットなどで、予め調べる。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
6	働くこととキャリアデザイン(6) 「就職活動全般を理解し、学生生活を展望する」 ・就職活動についての理解を図り、今後の学生生活の「めあて」について考える。 ・就職活動の早期化を見越して、その対応について自分のこととして考える。 (コメントシート使用)	授業内容について、インターネットなどで、予め調べる。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
7	内定者報告会(2) 就職活動と学生生活について考える (コメントシート使用)	就職状況などについて、新聞やインターネットなどで関連する論点を把握しておくこと。	報告の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
8	自己を振り返る ・まとめキャリアシートへの書き込みを通して振り返る ・webクラスへの保存	授業内容について、インターネットなどで、予め調べる。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。

講義名	2020005000 キャリアデザインV（地域経営学科）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	柴垣　博孝			

学習目標(到達目標)

1. 将来の進路を明確にし、その進路を実現するために必要な方策を説明できる。
2. 働くことの意義と自身のキャリア形成に関する概略を説明できる。
3. 社会性と自立心、及び忍耐力と自己管理力などを持つことの意義を説明できる。
4. 仲間内社会から外の世界に出て、インターンシップなどの経験を積むべく行動することができる。
5. コミュニケーションの基礎・基本を説明することができる。

授業概要(教育目的)

働くことと生きること、及び学ぶことに関する理解を促進し、自己の将来を確かなものとすべく自己理解・職業理解を図りながら啓発的な体験活動を経験することによって将来を展望し、キャリア形成に関する理解を深めることによって、大学から職業への移行を円滑に行えるようにする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

振り返りシート、感想文、キャリアシート、授業中の発言などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(振り返りシート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

キャリアデザインについて学ぶことは、社会の中の一員として、これからの長い人生行路を歩んでいく上で、大変意義のあることです。学生諸君には意欲を持って、また自身のキャリア形成に役立てるべく授業に臨んで欲しいと思います。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション 将来のキャリアをイメージする(1) 「超高齢化社会とキャリアデザインについて考える」 ・自分のキャリアをどう設計するか考える (コメントシート使用)	授業内容について、あらかじめインターネットなどで調べる。	授業内容をまとめ、論点を整理する。
2	将来のキャリアをイメージする(2) 「女性とキャリアについて考える」 ・男子学生と共に役割の観点から考える ・男女参画社会とライフワークの観点から考える (コメントシート使用)	授業内容について、あらかじめインターネットなどで調べる。	授業内容をまとめ、論点を整理する。
3	コミュニケーションとキャリアデザイン(4) ・演習を行うことによって、コミュニケーションへの理解を深める ・社会性と自分について考える (コメントシート記入)	授業内容について、インターネットなどで調べる。	授業内容をまとめ、論点を整理する。
4	コミュニケーションとキャリアデザイン(5) ・演習を行うことによって、コミュニケーションへの理解を深める ・社会性と自分について考える (コメントシート記入)	授業内容について、あらかじめインターネットなどで調べる。	授業内容をまとめ、論点を整理する。
5	選択・決定と将来のキャリアについて(1) 「職業適性検査と将来のキャリアについて考える」 (コメントシート使用)	授業内容について、あらかじめインターネットなどで調べる。	授業内容をまとめ、論点を整理する。
6	選択・決定と将来のキャリアについて(2) 就活と将来のキャリアについて考える 「企業研究と公務員対策」 (コメントシート使用)	授業内容について、あらかじめインターネットなどで調べる。	授業内容をまとめ、論点を整理する。
7	選択・決定と将来のキャリアについて(3) 「SPI(言語・非言語)」 (コメントシート使用)	授業内容について、あらかじめインターネットなどで調べる。	授業内容をまとめ、論点を整理する。
8	春学期の振り返り 「まとめキャリアシート」 「SPI(自己分析)」	あらかじめ春学期の自分を振り返り、まとめておく。	まとめキャリアシートの内容を踏まえて、将来のキャリアを展望する。

講義名	2020006000 キャリアデザインVI（地域経営学科）						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	柴垣　博孝			

学習目標(到達目標)

1. 将来の進路を明確にし、その進路を実現するために必要な方策を説明できる。
2. 働くことの意義と自身のキャリア形成に関する概略を説明できる。
3. 社会性と自立心、及び忍耐力と自己管理力などを持つことの意義を説明できる。
4. 仲間内社会から外の世界へ出て、社会体験や職業体験活動を積むべく行動することができる。

授業概要(教育目的)

働くことと生きること、及び学ぶことに関する理解を促進し、自己の将来を確かなものとすべく自己理解・職業理解を図りながら啓発的な体験活動を経験することによって将来を展望し、キャリア形成に関する理解を深めることによって、大学から職業への移行を円滑に行えるようにする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

振り返りシート、感想文、キャリアシート、授業中の発言などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(振り返りシート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

なし。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

学生へのメッセージ

キャリアデザインについて学ぶことは、社会の中の一員として、これからの長い人生航路を歩んでいく上で、大変意義のあることです。学生諸君には意欲を持って、また自身のキャリア形成に役立てるべく授業に臨んで欲しいと思います。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション 選択・決定と将来のキャリアについて(4) 「最新の就職環境と就職準備について」 (コメントシート使用)	授業内容について、新聞やインターネットなどで関連する論点を把握しておくこと。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
2	選択・決定と将来のキャリアについて(5) 「自己分析を通してキャリア選択について考える」 (コメントシート使用)	授業内容について、新聞やインターネットなどで関連する論点を把握しておくこと。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
3	選択・決定と将来のキャリアについて(6) 「履歴書・エントリーシートの書き方について」 (コメントシート使用)	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
4	選択・決定と将来のキャリアについて(7) 「面接についての理解を図る」 ・面接のマナー ・模擬面接など (コメントシート使用)	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
5	将来のキャリアをイメージする(3) 「働き方改革について考える」 ・青森県の場合 ・女性とキャリア（青森なでしこの方からのお話） (コメントシート使用)	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
6	選択・決定と将来のキャリアについて(8) 「ビジネスマナーについて考える」 ・面接の際のマナー ・社会人としてのマナー (コメントシート使用)	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
7	内定者報告会(3) 就職活動とキャリアについて考える ・内定者報告会 (選択・決定のために) (コメントシート使用)	就職状況などについて、新聞やインターネットなどで関連する論点を把握しておくこと。	報告の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
8	秋学期の振り返り ・まとめキャリアシートへの書き込みを通して振り返る ・webクラス入力 ・就職活動について(キャリア支援課)	あらかじめ秋学期の自分を振り返り、まとめておく。	まとめキャリアシートの内容を踏まえて、将来のキャリアを展望する。
9	就職活動に向けて 「直前の総まとめと実際」	あらかじめ秋学期での学習を踏まえて、就職活動についてまとめてみる。	授業の内容を整理して、今後の活動に役立てる。

講義名	2020007000 キャリアデザインⅦ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)	柴垣　博孝			

学習目標(到達目標)

1. 自立して生きていくうえで必要な社会的能力の概要について説明できる。
2. 良好な人間関係を築くために必要なスキル・能力について説明できる。
3. 自己理解、他者理解、関係づくりに関するポイントを説明できる。
4. 将来のワーク・ライフキャリアについて、その概略を説明することができる。

授業概要(教育目的)

・社会人(教員や会社員・公務員等)として自立して生きていく上で、「選択・決定」して大学から社会へと移行した後に、円滑に職場に「適応」して成長していくことができるよう、その基盤となるスキルや考え方を学ぶとともに、自らの在り方・生き方、働き方などを考え、将来のワーク・ライフキャリアを展望する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

課題や感想文、授業中の発言などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題や感想文の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

学生へのメッセージ

本講座は、教員を目指す皆さんや一般企業・公務員等を目指す皆さんを対象として開講します。
本講座では、「適応・成長」の観点から、社会人として、自立して働いていくうえで必要なスキルや考え方などについて学ぶとともに、自身の在り方・生き方、働き方などについて考えていきます。
本講座が生涯学習としての、また社会人としての学びのきっかけとなれば幸いです。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション ・本講座の目的・意義について ・「基礎的・汎用的能力」と社会性に関するスキルについて理解する。 ・生涯学習の観点から、社会人に求められているスキルについて考える	授業内容についてインターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、論点を整理する。
2	挨拶の大切さや印象のよい挨拶について考える ・挨拶の意義、習得、関係性構築などについて理解する ・適切な挨拶について、ロールプレイを通して考える	授業内容についてインターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、論点を整理する。
3	金銭管理について考える。 ・クレジットカードの利用のポイントについて学ぶ ・適切なクレジットカードの利用について、事例に基づいて考える ・リボルビング払いのシュミレーションを行い、その概要を把握する	授業内容についてインターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、論点を整理する。
4	④自己理解(長所・短所)について考える ・エゴグラムの実施して、自分への気づきを深める ・自分の長所・短所を考え、グループで話し合う ・自分の短所を克服する方法を話し合い、今後の目標を立てる	授業内容についてインターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、論点を整理する。
5	教師としての他者理解について考える ・他者理解の大切さについて ・児童・生徒理解と保護者との連携について (振り返りシート)	授業内容についてインターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、論点を整理する。
6	社会人としてのコミュニケーション(気持ちの伝え方)について考える ・怒りを感じる場面での自分の感情や行動について考える ・イライラしたときでも落ち着いて行動できるようにするポイントを学ぶ ・自分の気持ちや思いを伝えるための「I(私)メッセージ」を学び、練習する	授業内容についてインターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、論点を整理する。
7	社会人としてのコミュニケーション(上手な頼み方と断り方)について考える ・上手な頼み方と断り方のポイントを学ぶ ・様々な場面での頼み方・断り方を練習する ・ロールプレイを行い、適切な頼み方・断り方を身につける	授業内容についてインターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、論点を整理する。
8	社会人としてのコミュニケーション(仕事で使う電話)について考える ・電話をする際のポイントを学ぶ ・職場等での電話の受け方・かけ方の流れを学ぶ ・電話の受け方・掛け方を身につける	授業内容についてインターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、論点を整理する。

講義名	2020008000 キャリアデザインⅧ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)	柴垣　博孝			

学習目標(到達目標)

1. 自立して生きていくうえで必要な社会的能力の概要について説明できる。
2. 良好な人間関係を築くために必要なスキル・能力について説明できる。
3. 自己理解、他者理解、関係づくりに関するポイントを説明できる。
4. 将来のワーク・ライフキャリアについて、その概略を説明することができる。

授業概要(教育目的)

・社会人(教員や会社員・公務員等)として自立して生きていく上で、「選択・決定」して大学から社会へと移行した後に、円滑に職場に「適応」して成長していくことができるよう、その基盤となるスキルや考え方を学ぶとともに、自らの在り方・生き方、働き方などを考え、将来のワーク・ライフキャリアを展望する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

課題や感想文、授業中の発言などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題や感想文の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

学生へのメッセージ

本講座は、教員を目指す皆さんや一般企業・公務員等を目指す皆さんを対象として開講します。
本講座では、「適応・成長」の観点から、社会人として、自立して働いていくうえで必要なスキルや考え方などについて学ぶとともに、自身の在り方・生き方、働き方などについて考えていきます。
本講座が生涯学習としての、また社会人としての学びのきっかけとなれば幸いです。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション 社会人としての対人関係(関係維持・「意見を述べる」)について考える ・ブレーンストーミングのポイントを学ぶ ・ブレーンストーミングのポイントを使って話し合いを行う ・ブレーンストーミングの振り返り、意見交換を行う	授業内容について、インターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、論点を整理する。
2	社会人としての対人関係(問題解決・「トラブルの解決」)について考える ・トラブルの場面での自分の行動を振り返る ・トラブル解決のポイントを理解する。 ・トラブルの解決のポイントを使った解決方法を練習する	授業内容について、インターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、論点を整理する。
3	社会人としての対人関係(説明・「上手に伝える」)について考える ・分かりやすい伝え方について ・モデリングと伝え方のポイントについて、 ・伝え方のポイントを使った伝え方の練習	授業内容について、インターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、論点を整理する。
4	ストレス対処(ストレスと上手く付き合う)について考える ・ストレスを感じる場面についての振り返りについて ・善玉ストレッサーと悪玉ストレッサーについて ・ストレス対処方への気づき ・ストレス対処法の効果について	授業内容について、インターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、論点を整理する。
5	ストレス対処(心の危機に対応する)について考える ・心の危機のサインを知る ・心の危機に陥った場合の対応の仕方について学ぶ ・地域の援助機関を知る	授業内容について、インターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、論点を整理する。
6	心身の健康(健康な生活を送るために)について考える ・生活習慣病と予防について学ぶ ・健康に関わる行動について考える ・自身の生活を見直し、今後の改善点を決めて、日常の生活目標を立てる	授業内容について、インターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、論点を整理する。
7	職業観・勤労観(なんのために働くのか)について考える ・職業に対する価値観について ・職業観・勤労観に関するグループでの話し合い ・ロールモデルの記事を読み、自分の価値観を再検討する	授業内容について、インターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、論点を整理する。
8	ボランティア(ちょっとした声掛け)について考える ・街中や交通機関の中などでの援助ポイントについて ・適切な声掛けの方法について ・ロールプレイを通して、適切な声掛けの方法について理解を図る	授業内容について、インターネットなどで調べる。	授業内容を整理し、論点を整理する。

講義名	2020022203 研究演習Ⅰ　バリーゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	バリー・H・グロスマン		

学習目標(到達目標)

This seminar class aims to allow students opportunities for intercultural understanding and engagement as well as English language improvement. Study, projects and fieldwork based on Global Issues and SDGs will help students achieve these goals. This class also supports the students' English language and communication skills, allowing individual and group coursework projects. Through these methods, students will gain an awareness of the overall linguistic and intercultural communicative skills to function in an international and/or English-speaking environment.

授業概要(教育目的)

This class aims to allow students the opportunity for efficient English improvement through the four skills of language learning related to the SDGs. . This will improve both speed and efficiency in learning while supporting a healthy future for the society at large. This class will also support the students' language skills and help motivate them by offering a lasting record of their efforts in the community long after they have graduated. Through these methods, students will gain an awareness of the overall linguistic skills necessary to function in an English-speaking environment.

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

年間を通じて、ゼミ活動での発揮度や協力度、英語での進歩や動力；個人のディスカッション容、英語でのプレゼンテーションを発表するなどにより総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

提示する課題を返し

参考文献

講義時使用テキスト

"Think About Our Future" by Paul Gregory Quinn and Yoshiyuki Okaura. 2023. Sanshusha Publishing.
参考文献は全て授業中に紹介する。英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

資格との関連

ゼミでの授業、活動、宿題、個人研究は全て英語のみですから英語を上達したい学生が申し込んで下さい。積極的に自らの考え方、研究、発表などが自分で伝わりたい気持ちや勇気が大切です。授業以外は倍以上の宿題がありますから、時間をかけたい学生は英語力には恩恵となります。

学生へのメッセージ

ゼミでの授業、活動、宿題、個人研究は全て英語のみですから英語を上達したい学生が申し込んで下さい。積極的に自らの考え方、研究、発表などが自分で伝わりたい気持ちや勇気が大切です。授業以外は倍以上の宿題がありますから、時間をかけたい学生は英語力には恩恵となります。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	A: Class Explanation	Class Explanation	Introductions Task
2	The Power of Technology	Opening Journaling	Closing Journaling
3	Super Mom	Opening Journaling	Closing Journaling
4	Personal Notes Go High-Tech	Opening Journaling	Closing Journaling
5	The 80's: The Decade that Made Us	Opening Journaling	Closing Journaling
6	I'm Trending	Opening Journaling	Closing Journaling
7	Change Everything with the iPhone 6s	Opening Journaling	Closing Journaling
8	Listen to the Water	Opening Journaling	Closing Journaling
9	An Ancient Forest Comes Alive	Opening Journaling	Closing Journaling
10	The Ocean Speaks	Opening Journaling	Closing Journaling
11	Forests Are Our Future	Opening Journaling	Closing Journaling
12	Save Our World	Opening Journaling	Closing Journaling
13	From Trash to Trendy	Opening Journaling	Closing Journaling
14	Presentations (half class)	Opening Journaling	Closing Journaling
15	Presentations (half class)	Opening Journaling	Closing Journaling

講義名	2020022206 研究演習Ⅰ　田中ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田中　哲			

学習目標(到達目標)

2023年度の本演習は、複式簿記の理論的に研究しつつ、日商3級レベルの処理を習得することを目的とする。テキストを熟読し、理解し、さらに自らの言葉で、的確に問題の要請する解答を書くことのできる能力を必要とする。そのことは同時に、「社会人基礎力」を養成することにもつながっていく。

本演習に参加するゼミナリステンは、それぞれの段階の「試験合格」という目標を持った学修を進めていく。さらに、財務諸表を作成する力、読み込む力も身につけることが可能となる。これは、自らの「就職力」を高めていくことにつながっていくと確信する。

将来職業イメージとしては、職業会計人（税理士、国税専門官など）や一般企業の財務・経理担当者、営業職、自治体の財政課職員などである。

授業概要(教育目的)

【年次計画】

＜2年次＞第一に、日本商工会議所簿記検定3級に合格することを目標として、要点の説明を行い、練習問題に取り組む。答え合わせも含めた解説を行い、合格の実力を養成する。第二に、3級に合格した後は2級に挑戦する実力を身に付ける努力をする。

＜3年次＞引き続き資格取得を目標として、理論的関心及び簿記論挑戦の基礎学力を養う。そのため日商2級に合格する実力を養う。平行して、就職活動準備及び実践に取り組む。

＜4年次＞税理士試験（簿記論）受験の基礎学力習得ため、引き続き日商2級合格を目指す。就職活動も引き続き行う。さらに、卒業論文に取り組み、完成させ、発表する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

全ての年次において、出席し、まじめに練習問題に取り組むこと、積極的に発表することが評価の基本である。

課題に対するフィードバック

練習問題逐行ごとに解答を行う。

参考文献

講義時使用テキスト

滝澤ななみ『スッキリわかる日商簿記3級　商業簿記　第14版』TAC出版

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】

自ら決めた目標に挑戦し、それをやり遂げていく実力を身につけるため、堪えざる努力をして欲しい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	第1回　簿記の手順/簿記の基礎	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
2	第2回　商品売買	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
3	第3回　現金/預金(当座預金等)	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
4	第4回　小口現金/手形と電子記録債権(債務)	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
5	第5回　貸付金・借入金・手形貸付金・手形借入金	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
6	第6回　その他の債権債務	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
7	第7回　その他の費用	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
8	第8回　貸倒れと貸倒引当金	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
9	第9回　有形固定資産と減価償却	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
10	第10回　法人税等と消費税	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
11	第11回　費用収益の前払い・前受けと未収・未払い	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
12	第12回　帳簿への記入/試算表	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
13	第13回　伝票と仕訳日計表、証憑	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
14	第14回　精算表と財務諸表1	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
15	第15回　精算表と財務諸表2	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020022209 研究演習Ⅰ　村本ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	村本　卓			

学習目標(到達目標)

デジタルコンテンツに関する実践的な知識を修得し、ビジネスへの活用ができる。

授業概要(教育目的)

従来インターネットを利用したコンテンツ配信を実現するためには、高速大容量な回線・高性能なサーバ機器を必要としてきたが、近年、クラウドコンピューティングにより、自前で情報システムを整備することなくコンテンツ配信ができるようになった。また、オープンデータを活用し、様々なデータを可視化して地域分析を行うことも可能となった。これらの仕組みをビジネスに有効活用しようとする取り組みも増えている。
本ゼミでは、デジタルコンテンツの作成・編集技術やそれらを配信する仕組みについて調査・研究し、地域での活用を目的としたデジタルコンテンツの制作を行いながら、実践的な知識の習得とビジネスへのIT活用能力を培う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

・レポート作成、プレゼンテーション、資格試験への取り組みを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

WebClassにてコメントするとともに、次の授業でフィードバックする。

参考文献

講義時に適宜紹介する。

講義時使用テキスト

使用しない。WebClassに授業資料を掲載する。

資格との関連

学生へのメッセージ

2年次にITパスポート試験、3年次に基本情報技術者試験合格を目標とすること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究演習で使うソフトウェア等の利用説明	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
2	ハードウェア実習①(グループワーク:PCの分解)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
3	ハードウェア実習②(PC構成部品)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
4	ハードウェア実習③(グループワーク:PC組み立て)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
5	プレゼンテーション:PC構成図作成・発表	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
6	ソフトウェア実習①(グループワーク:OSインストール)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
7	ソフトウェア実習②(グループワーク:周辺装置の環境設定)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
8	ネットワーク実習①(グループワーク:クライアントPCネットワーク設定)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
9	ネットワーク実習②(グループワーク:サーバPCのネットワーク設定)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
10	ネットワーク実習③(グループワーク:キャンパスLANの調査)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
11	プレゼンテーション:キャンパスのPC利用環境	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
12	動画作成実習①(企画・撮影)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
13	動画作成実習②(素材取り込み)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
14	動画作成実習③(ビデオ編集・出力)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
15	プレゼンテーション(ビデオ制作作品発表)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。

講義名	2020022212 研究演習Ⅰ　奈良ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	奈良　卓			

学習目標(到達目標)

2年次「研究演習」(春学期)の到達目標は、以下の6点である。
①基本的なマクロ経済指標(GDP及び消費者物価指数)の意味、考え方、見方を身につける。
②地域社会、我が国、世界の現状を、過去から現在にかけての動きも踏まえ、その概要をおおよそ理解する。
③私たちが住む地域で、我が国全体で、あるいは世界中で問題になっていることがらの中から、各自が興味をもつ問題(テーマ)を見つける。(問題(テーマ)を見つける際、多少なりとも、2年後に取り組む卒業論文を念頭におく。)
④各自が見つけた問題(選んだテーマ)につき、1年次のゼミ(「基礎演習」及び「プレゼンテーション」)で学んだ情報検索方法をもとに、掘り下げ、調べる。
⑤調べた内容を、1年次のゼミ(「基礎演習」及び「プレゼンテーション」)で学んだ数々の方法(レポート作成方法、レジュメ作成方法)をもとに、レジュメにまとめる。
⑥まとめた内容を、1年次のゼミ(「基礎演習」及び「プレゼンテーション」)で学んだ方法(プレゼンの方法)をもとに発表していただき、皆で討論(意見交換)する。

授業概要(教育目的)

経済の動きを理解し、テーマを見つけ、調べる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

レジュメの作成、発表、その他の課題等々、ふだんのゼミにおける取組状況を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミの中での各自の発表に対し、また、発表する際に、各自が作成し、使用したレジュメに対し、ゼミの中で、随時、講評し、アドバイスを贈る。

参考文献

ゼミの中で随時、紹介する。

講義時使用テキスト

以下の2点を、章ごとに作成、配布し、教材として用いる。
①担当教員作成のテキスト(「研究演習」要項)
②上記①に付随する統計資料(「研究演習」要項別表・別図)
上記2点については、USBで配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

奈良ゼミでは、データを分析、レジュメの作成等を円滑に行うため、ゼミにノートパソコンを持参し、利用していただきます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	「研究演習」の進め方。	・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
2	私たちが住む地域、我が国及び世界経済が抱える問題(その概要)。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。 ・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
3	私たちが住む地域、我が国及び世界経済が抱える問題(その概要)。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。 ・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
4	GDPと消費者物価指数(その考え方と見方)。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。 ・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
5	GDPと消費者物価指数(その考え方と見方)。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。 ・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
6	GDPと消費者物価指数(その考え方と見方)。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。 ・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
7	我が国の経済の歩みと現状(地域及び世界との関わりの中で)。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。 ・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
8	我が国の経済の歩みと現状(地域及び世界との関わりの中で)。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。 ・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
9	発表と意見交換(討論)に向けて。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。 ・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
10	各自テーマ確定、情報検索と整理・集約方法。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。 ・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
11	図書館を利用しての資料収集。	・図書館での作業に備え、各自資料収集の目的と対象を絞り込む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
12	収集した資料の整理・集約及び発表用レジュメの作成。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。 ・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
13	収集した資料の整理・集約及び発表用レジュメの作成。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。 ・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
14	収集した資料の整理・集約及び発表用レジュメの作成。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。 ・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
15	各自自由テーマで発表及び意見交換。	・発表に備え、レジュメを見直す。 ・発表の際、強調して説明するポイントを確認する。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020022213 研究演習Ⅰ　坂本ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	坂本　貴博			

学習目標(到達目標)

ICT活用方法について理解し、「問題解決」のため色々と試し、楽しみながら情報や情報技術を適切に活用できる。
ICT活用技術としての各種アプリケーションソフトウェアやネットワークの利活用ができる。

授業概要(教育目的)

コンピュータは「電子計算機」と呼ばれていたように、計算の道具として開発されましたが、今では、表現やコミュニケーションの道具として、私たちの日常生活をより豊かにしてくれるようになりました。さらにインターネットの普及拡大に伴い、情報通信技術(Information Communication Technology:ICT)の活用は、クラウドコンピューティングやユビキタスネットワークを中心とする新たな時代になっています。
社会人となる学生にとっては、ICT活用方法について理解し、基礎的能力を身につけておく必要があります。どんな仕事にも難題があるように、近年の社会では「問題解決能力」が求められ、ICTの利活用についても「作る技術」よりも、「使う技術」が求められるようになって来ています。「問題解決」のため色々と試し、楽しみながら情報や情報技術を適切に活用できることが重要な力だと思います。それには、情報や情報技術の知識だけでなく、課題を見つけ出し、仮説を立て、試行錯誤を繰り返しながら、答えに近づいていく、という力が必要です。
本ゼミでは、社会人として身につけるべきICTの知識やICT活用技術としての各種アプリケーションソフトウェアやネットワークの利活用方法を中心に考察します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

課題への取り組み態度・達成度を総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること

参考文献

講義時使用テキスト

使用テキストなし。

資格との関連

「ITパスポート」

学生へのメッセージ

インターネット利用可能なノートパソコンを利用しますので準備してください。
社会のあらゆる分野に興味を持つことと、自身が設定したテーマについては情報の収集、整理、分析等に積極的に取り組む姿勢が必要です。
情報通信技術(ICT)を理解し、活用できる基礎的能力を身につけ、未来をともに切り開いていきましょう。
無断欠席不可。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	電子メールの確認と準備	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	電子メールの基本ルールとマナー	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	電子メールをグループで使う	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	電子メールでファイルを使う	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	インターネットの情報検索	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	公開情報・データ検索と活用	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	グループウェア活用	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	ビジネスメール①(to:1対1)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	ビジネスメール②(cc:1対n)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	ビジネスメール③(Bcc:1対n)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	情報管理の基礎(1次情報と2次情報)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	情報表現(文章表現)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	語彙を増やす	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	慣用句・ことわざ	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	文章を書く	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	2020022215 研究演習Ⅰ　根城ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	根城　隆幸			

学習目標(到達目標)

高等学校教育が抱える様々な問題を自主的に考え、調べ、分析し、発表することを通じて、教師として必要な資質能力を身に付け、生徒に対する教育的愛情と責任感を持ち、社会から尊敬・信頼される人材を育成する。

授業概要(教育目的)

学校が求める人材を模索し、高等学校商業教育の理論と実践を考察するとともに、学生自身の卒業後のライフ・プランニング(人生設計等)にも取り組んでいく。
週1回のゼミナールでは、(1)課題学習及び最新事情 (2)個人研究の経過報告を中心に、学生自身の課題解決に向けて実施する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

授業態度、課題提出、課題発表等により総合的に判断する

課題に対するフィードバック

課題に対しての講評をする

参考文献

講義時使用テキスト

「最新段階式　日商簿記検定問題集」実教出版

資格との関連

日本商工会議所主催　　簿記検定試験
全国商業高等学校協会主催　情報処理検定試験

学生へのメッセージ

高等学校教員免許(商業・情報)を取得するための資質能力の向上を目指す。

実務との関連

高等学校の商業科教諭として青森県内の高等学校や県教育委員会に勤務。実務経験をもとに商業教育の実務について指導する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	簿記1.現金・預金 情報処理:ハードウエアの構成	シラバスを読む	配付資料を読み直す 用語調べる
2	簿記2.商品 情報処理:ソフトウエアの構成	配布資料に必要事項を記入する	配付資料を読み直す
3	簿記3.特殊な商品売買 情報処理:パーソナルコンピュータの操作	配布資料に必要事項を記入する	配布資料を読み直す
4	簿記4.手形取引 情報処理:関連知識	配布資料に必要事項を記入する	配布資料を読み直す
5	簿記5.有価証券 情報処理:通信ネットワークに関する知識	配布資料に必要事項を記入する	配布資料を読み直す
6	簿記6.固定資産 情報処理:情報モラル	配布資料に必要事項を記入する	配布資料を読み直す
7	簿記7.引当金 情報処理:セキュリティ	配布資料に必要事項を記入する	配布資料を読み直す
8	簿記8.株式会社の純資産(資本金) 情報処理:表の計算	配布資料に必要事項を記入する	配布資料を読み直す
9	簿記9.社債 情報処理:関数の利用	配布資料に必要事項を記入する	配布資料を読み直す
10	簿記10.株式会社の税金 情報処理:グラフの作成	配布資料に必要事項を記入する	配布資料を読み直す
11	簿記11.伝票 情報処理:練習問題1	配布資料に必要事項を記入する	配布資料を読み直す
12	簿記12.特殊仕訳帳 情報処理:練習問題2	配布資料に必要事項を記入する	配布資料を読み直す
13	簿記13.本支店会計 情報処理:練習問題3	配布資料に必要事項を記入する	配布資料を読み直す
14	簿記14.決算 情報処理:練習問題4	配布資料に必要事項を記入する	配布資料を読み直す
15	簿記15.損益計算書と貸借対照表 情報処理:練習問題5	配布資料に必要事項を記入する	これまでの内容を振り返る

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020022216 研究演習Ⅰ　幸田ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	幸田　威久矢			

学習目標(到達目標)

・会計学に関する研究を通じて、社会人に必要な情報の収集方法、資料の作成方法およびプレゼンテーション能力を習得する。
・簿記に関して正確かつ迅速な会計処理ができるよう、日商簿記検定試験2級程度の知識を習得する。

授業概要(教育目的)

会計とは、個別経済主体(会社など)における金銭およびその他の財産の変動に係る結果を記録・測定し、それらを利害関係者(株主や債権者など)に報告することである。また、会計は、財産の管理、受託責任の明確化、有用な会計情報の提供などの重要な役割を果たしている。
そこで本演習では、こうした会計(財務会計)の理論的側面(基本的から応用的まで)、ならびに計算的側面の知識を習得することを目的としている。また、会計学の基本書をもとに基礎理論を学ぶとともに、簿記に代表される計算技術の能力向上を図る。また、レジュメの作成・報告を通してプレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

ゼミへの貢献度、課題の提出状況、発表内容などから総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

TAC株式会社(簿記検定講座)編著『よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト 日商簿記3 Ver.13.0』TAC出版
TAC株式会社(簿記検定講座)編著『よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト 日商簿記2級商業簿記 Ver.16.0』TAC出版
TAC株式会社(簿記検定講座)編著『よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト 日商簿記2級工業簿記 Ver.9.1』TAC出版

講義時使用テキスト

適宜、指示する。

資格との関連

日商簿記検定試験2級、3級

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
・本演習は、出席が大前提であり、無断欠席・遅刻は厳禁である。
・検定試験の取得に真剣に取り組むことのできる学生、ならびに会計学を学ぶ意欲の高い学生を歓迎する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	取引と勘定	参考文献に目を通す。	参考文献の関連箇所を読む。
2	仕訳と転記①(仕訳帳)	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
3	仕訳と転記②(総勘定元帳)	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
4	試算表①(役割と種類)	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
5	試算表②(検証とその限界)	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
6	決算手続①(損益勘定への振替)	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
7	決算手続②(帳簿の締め切り)	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
8	決算手続③(繰越試算表の作成)	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
9	決算手続④(損益計算書と貸借対照表の作成)	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
10	決算手続⑤(精算表の作成)	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
11	現金・預金	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
12	商品売買①(分記法と三分法)	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
13	商品売買②(商品有高帳)	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
14	手形	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
15	有価証券・固定資産	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020022218 研究演習Ⅰ　髙須ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	髙須　則行		

学習目標(到達目標)

① 憲法という法を通して、社会生活のルールの意義を説明することができる。
② 基本的人権の各制度を説明することができる。
③ 統治機構の各制度を説明することができる。

授業概要(教育目的)

本研究演習は、基本書、判例などを読み解くことで、具体的事件を解決するための妥当な結論がどのように導き出されているかを理解することによって、法的思考を養成する。そして、最終的には資格試験、公務員試験などの法的問題にも対応できる能力を身につけることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

定期試験、小テストなどを総合して評価する。

課題に対するフィードバック

小テスト等は採点のうえ返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

無し

資格との関連

公務員、行政書士等の基礎的知識

学生へのメッセージ

原則として、必ず出席すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	憲法と立憲主義	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
2	国民主権の原理	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
3	平和主義の原理	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
4	基本的人権の原理	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
5	基本的人権の限界	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
6	包括的基本権と法の下の平等	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
7	精神的自由権(1):内心の自由	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
8	精神的自由権(2):表現の自由	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
9	経済的自由権	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
10	人身の自由	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
11	国務請求権と参政権	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
12	社会権	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
13	国会	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
14	内閣	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
15	裁判所	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020022220 研究演習Ⅰ　崔ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	崔　桓碩			

学習目標(到達目標)

本研究演習では、『保険論』について学習する。まず、保険が日常生活の中でどのように使われており、自分の人生の中でどのように関わっているのかについてに考える。そして保険を活用する基本的な方法または考えた方(いわゆる基礎知識)について身につけてもらい、保険リテラシーを向上させる。

授業概要(教育目的)

本研究演習では、参考文献として定めている『保険論』の教材の約半分に当たる内容を学習する。保険に関する基本的な理解からはじめ、現社会の中で保険がどのような役割を果たしているのかについて勉強し、今後のあり方について考えるのが本研究演習の目的である。たとえば、生命保険とは、偶然事故に関連する経済上の不安定を除去・軽減するために、多数の個別経済主体が結合し、合理的計算にもとづく拠出によって、計画的に共通順Bに財産を形成する経済制度である。本研究演習では、ここでいう『偶然事故』『経済的の不安定を除去・軽減』『合理的計算』などとは何なのかについて勉強する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

研究演習に臨む態度(コミュニケーションなど)と卒業論文の内容により評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

1. 大谷孝一『保険論(第3版)』成文堂

講義時使用テキスト

レジュメ配布

資格との関連

学生へのメッセージ

まずは本研究演習の内容である『保険』について関心を持っていること。そしてその内容について学びたい意欲があること。最後に3年間まじめに続けられること。本研究演習における学習上の留意点としては、この3つが大事である。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	現代社会における保険の役割①(私たちの生活と保険)	・授業内容についてインターネットで調べる	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
2	現代社会における保険の役割②(個人生活・企業活動・社会における保険の役割)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
3	保険の意義と仕組み①(保険の定義と構成要素)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
4	保険の意義と仕組み②(保険の類似制度)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
5	リスクと保険	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
6	保険の分類①(便宜的分類)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
7	保険の分類②(理論的分類)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
8	保険契約	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
9	保険料①(保険料の仕組み)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
10	保険料②(損害保険の保険料)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
11	保険料③(生命保険の保険料)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
12	保険規制①(保険を規制する必要性)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
13	保険規制②(保険規制の歴史と内容)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
14	保険の販売チャネル①(保険販売チャネルの機能)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
15	保険の販売チャネル②(保険販売チャネルの種類と内容)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020022221 研究演習Ⅰ　田村ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	田村　正文		

学習目標(到達目標)

本演習を通じて、自分自身の興味のある課題を見出すことを目標とする。

授業概要(教育目的)

近年、ニュースや新聞などで「地域再生」、「地域活性化」等に資する報道やデータを頻繁に目にする。同時に例えばB級グルメなどに見られるように、地域住民が主体的となって行動し、自らが地域をマネジメントする(地域経営)の役割が大きくなっているともいえる。しかし、地域再生、地域活性化について自分なりに考えてみたところで、過疎化の問題、中心商店街の活性化、地域産業(農業や水産業などの第一次産業)の若年層の雇用、B級グルメ、地域交通、地域観光政策などから垣間見る様々な「切り口」があり、どのように展開すべきか、どのように取り組めばよいのかという課題に直面する。しかし、上述したような課題が多いというのも地域研究の間口の広さであるともいえよう。
　そこで本演習においては、各地域などで公表されているデータを基に、それを分析することで客観的に当該地域が抱えている問題点を浮き彫りにし、それをどのように解決するべきか、についてゼミナリステンが各自で考えてみる。特に地域経済・経営について、それと情報の役割に主眼を置く。ここで、各ゼミナリステンは例えば自分の出身地、関心のある地域や分野を取り上げ、それについて調べ、分析することによって最終的にその選定した地域に対する提言として纏め上げることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

発表内容、レポートに基づき評価を行う。

課題に対するフィードバック

課題、報告については適宜コメントを付して返却する。

参考文献

竹内淳(2012)『高校数学でわかる統計学』, 講談社ブルーバックス.
※その他、データのダウンロード等に必要なホームページのURLについては、追って指示する。

講義時使用テキスト

教科書は使用せず。
必要に応じて資料を配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
情報処理基礎、情報処理応用での基本的な内容を身に着けていること.
2年次以降においては、データ分析をはじめ、情報関連の授業を履修すること.
欠席はできる限りしない事.
演習は、ゼミナリステンが主体であることを理解する事.

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	地域活性化(地域再生)とは何か	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
2	公示データの入手法	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
3	データ分析(1) 代表値	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
4	データ分析(2) 箱ヒゲ図	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
5	データ分析(3) 相関係数と擬似相関	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
6	データ分析(4) 回帰分析の仕方	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
7	自分の出身地の市区町村について調べる	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
8	各自で調べた、市区町村の特徴	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
9	各自で調べた、市区町村について報告と質疑応答①(3人程度)	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
10	各自で調べた、市区町村について報告と質疑応答②(3人程度　前回の続き)	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
11	各自で調べた地域の産業の特徴	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
12	各自で調べた地域の文化の特徴	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
13	各自で調べた地域の歴史的経緯	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
14	各自で調べた地域の課題の抽出	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
15	各自で調べた地域の課題の解決策の提案	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。

講義名	2020022222 研究演習Ⅰ　加来ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	加来　聡伸		

学習目標(到達目標)

農業・食料問題を中心に農業分野の理解度を高め、日本農業の問題・課題に対し考える力を身に付ける。

授業概要(教育目的)

今日の食料、価格・所得、構造、農協、都市と農村の問題について分析し、考察するために、まずは農業とは何か、農業・食料問題とは何かについて概観し、戦後の農業問題、次いで農業・食料問題を歴史的に追及する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

課題・レジュメの作成内容、授業中の発言等、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

適宜、プリント等の資料を配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

ゼミ学習では、基本的に自主的な学習を基礎に運営するため予習は必ず行ってくること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1、農業とは何か	シラバスを確認する	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	2、畑作農業と水田農業	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	3、農業と環境	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	4、資本主義の農業問題	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	5、農民問題と農業政策の登場	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	6、第2次世界大戦後	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	7、戦前期の農業問題	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	8、戦後改革期の農業問題	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	9、経済復興期の農業政策	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	10、第1次高度経済成長と基本法農政	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	11、第2次高度経済成長と総合農政	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	12、高度経済成長がもたらしたもの	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	13、低成長への移行	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	14、低成長期の地域農政	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	15、日米貿易摩擦の時代	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	2020022228 研究演習Ⅰ　鶴見ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	鶴見　浩一郎			

学習目標(到達目標)

担当教員である鶴見は、新規水産物である養殖フジツボの基礎的種苗生産技術を開発した。現状では高級水産物としてわずかに流通するに過ぎないフジツボだが、安定供給、社会への周知により、ウニやアワビなどに匹敵する水産物としてブレイクすることが期待されている。ビジネス化を目指して本学院のプロジェクトとして進行しているが、本ゼミ参加者にはそのプロジェクト・メンバーとして実際に活動する中で、新規商品開発、企業化の実務を体験してもらいたい。
各人の最終的なテーマはフジツボ以外に設定しても構わないが、3年時までは共に活動する中で必要な実務について学習・研究を進める。

授業概要(教育目的)

〈2年次〉 新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、
　　需要調査、流通調査、Web企画製作
〈3年次〉 生産現場調査、市場調査、販売調査、ブランド企画などを加える
〈4年次〉それまでの各人の調査・研究を基に、関心のあるテーマについてレポート・論文作成

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

教科書などない新規分野に挑んでいます。自ら関心のある対象を設定し研究しようとする意欲と積極的な発言・発表を重視します。
学習内容を踏まえての、自分の経験や観察、調査に基づくオリジナリティのある考察、論述を大いに評価します。

課題に対するフィードバック

課題(レポート等)は、次の授業で代表的なものをフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

具体的なテーマとしては水産物を対象とするが、それに限らない新規商品開発・流通あるいは起業に関する、未成立・未知の分野に挑む気概のある諸君の参加を期待する。青森県を始めとして、自分の出身地や興味のある地域などから、関連する情報を収集してほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究およびプロジェクトの方針 〈2年次〉 新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
2	新規水産物「フジツボ」の基本的説明	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
3	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
4	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
5	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
6	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
7	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
8	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
9	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
10	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
11	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
12	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
13	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
14	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
15	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。

講義名	2020022231 研究演習Ⅰ　堤ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	堤　静子		

学習目標(到達目標)

主として青森県内におけるフィールドワークを通して、県内各地域を理解する。
フィールドワーク、ディスカッションおよびプレゼンテーション能力を習得する。
卒業論文作成のために研究テーマの探索・決定する。

授業概要(教育目的)

地域活性化、地域力アップのための国内外の地域事例を学ぶとともに、積極的に地域へ出かけ、自分の目で見て、聞いて、調べるというフィールドワークを主体とします。地域を知ることは、様々な人を知る良い機会となるだけではなく、多くの人と交流することでコミュニケーション能力が高まります。また、様々な地域課題を適切に掘り起し、課題解決策を考え、提言していく力を身につけていくことにつながります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

ゼミ活動におけると取組姿勢やディスカッション、プレゼンテーション、論文等により総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

課題は採点やコメントした上で返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

机上の学問だけではなく、地域全体を学びのフィールドとすることが大切だと考えています。講義時間以外で学外でのフィールドワークを行うこともあります。社会に出てから体験することは非常に難しく、学生だからこそ体験できる貴重な学びの機会です。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	フィールドワークについて	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
2	フィルードワーク先の地域研究【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
3	フィールドワーク先の地域研究【階上町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
4	フィールドワーク先の地域研究【東京】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
5	フィールドワーク先の地域研究【希望地】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
6	農作業の形式化、マニュアル化①基礎理解	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
7	農作業の形式化、マニュアル化②企画	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
8	農作業の形式化・マニュアル化③記録	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
9	農作業の形式化・マニュアル化④撮影	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
10	農作業の形式化・マニュアル化⑤編集	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
11	農作業の形式化・マニュアル化⑥まとめ	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
12	農作業の形式化・マニュアル化⑦報告	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
13	地域経営課題の掘り起こしについて	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
14	地域経営課題解決のための方策検討について	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
15	フィールドワークの総まとめ	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す

講義名	2020022232 研究演習Ⅰ　馬場ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	馬場　祥次		

学習目標(到達目標)

主として青森県内におけるフィールドワークを通して、県内各地域を理解する。
フィールドワーク、ディスカッションおよびプレゼンテーション能力を習得する。
卒業論文作成のために研究テーマの探索・決定する。

授業概要(教育目的)

地域活性化、地域力アップのための国内外の地域事例を学ぶとともに、積極的に地域へ出かけ、自分の目で見て、聞いて、調べるというフィールドワークを主体とします。地域を知ることは、様々な人を知る良い機会となるだけではなく、多くの人と交流することでコミュニケーション能力が高まります。また、様々な地域課題を適切に掘り起し、課題解決策を考え、提言していく力を身につけていくことにつながります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

ゼミ活動におけると取組姿勢やディスカッション、プレゼンテーション、論文等により総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

課題は採点やコメントした上で返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

机上の学問だけではなく、地域全体を学びのフィールドとすることが大切だと考えています。講義時間以外で学外でのフィールドワークを行うこともあります。社会に出てから体験することは非常に難しく、学生だからこそ体験できる貴重な学びの機会です。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	フィールドワークについて	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
2	フィルードワーク先の地域研究【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
3	フィールドワーク先の地域研究【階上町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
4	フィールドワーク先の地域研究【東京】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
5	フィールドワーク先の地域研究【希望地】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
6	農作業の形式化、マニュアル化①基礎理解	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
7	農作業の形式化、マニュアル化②企画	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
8	農作業の形式化・マニュアル化③記録	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
9	農作業の形式化・マニュアル化④撮影	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
10	農作業の形式化・マニュアル化⑤編集	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
11	農作業の形式化・マニュアル化⑥まとめ	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
12	農作業の形式化・マニュアル化⑦報告	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
13	地域経営課題の掘り起こしについて	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
14	地域経営課題解決のための方策検討について	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
15	フィールドワークの総まとめ	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す

講義名	2020022233 研究演習Ⅰ　井上ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	井上　丹		

学習目標(到達目標)

特定の地域を選び、その地域が活性化するための事業計画や企画開発を構築し実施することで、実社会の現場でも役に立つ企画提案力やコミュニケーション能力を身につける。

授業概要(教育目的)

関係各所との調整を行い、フィールドワークやアンケート調査によって情報を収集し、分析結果をもとに企画を構築。それを関係者へ提案し実施、振り返りを行い、最終成果を発表する。事業や企画を検討する際にはマーケティングやマネジメント知識を活用し、提案や発表する際には広報戦略や持続可能性を考える。また、活動を通して地域でのキャリアについても検討していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

ゼミ活動におけると取組姿勢やディスカッション、プレゼンテーション、レポート等により総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

課題は採点やコメントした上で返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

机上の学問だけではなく、地域全体を学びのフィールドとすることが大切だと考えている。講義時間以外で学外でのフィールドワークを行うこともある。社会に出てから体験することは非常に難しく、学生だからこそ体験できる貴重な学びの機会である。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション	自分自身について振り返り、整理しておく	配付資料を読み直す
2	取り扱う研究テーマに関する事前講義	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
3	フィールドワークに関する事前講義	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
4	フィールドワーク先の地域研究	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
5	フィールドワーク①現地見学	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
6	①の振り返り(課題と仮説)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
7	フィールドワーク②企画に向けた資料収集	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
8	②の振り返り(企画提案作成)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
9	フィールドワーク③企画提案発表	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
10	③の振り返り	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
11	地域経営課題の掘り起こしについて	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
12	地域経営課題解決のための方策検討について(グループワーク)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
13	地域経営課題解決に向けた企画作成	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
14	フィールドワーク④企画提案発表2回目	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
15	フィールドワークの振り返りと後期活動計画作成	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す

講義名	2020022234 研究演習Ⅰ　横田ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	横田　将志		

学習目標(到達目標)

①21世紀の国際社会の特徴について理解し、説明できるようになる。
②地球的諸問題およびその構造的要因について理解し、説明できるようになる。
③必要なコミュニケーション・スキルを身につけ、国際社会で活躍できるようになる。

授業概要(教育目的)

私たちは、国際社会のなかで暮らし、世界のさまざまな出来事から影響を受けるだけではなく、地球的諸問題の解決に貢献することも可能である。国際社会の課題に取り組んでいくためには、それに関する基本的な知識が不可欠となる。本演習では、この点を踏まえ、ワークショップやディスカッションをとおして、私たちが生きる時代の国際関係の特徴に関する知識を修得していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

発表やレポートの内容、ワークショップでの取り組みなどを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

グループワークや発表に対してコメントするとともに、学生自身で地球的諸問題の解決策を考えていくために必要なヒントを与える。

参考文献

授業のなかで適宜紹介する。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

学生へのメッセージ

ゼミナール(研究演習)は、大学生活のなかで最も重要な活動の1つであり、学生を主体として進めていく。そのため、積極的な参加と自主的に研究を進めていくことが求められる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	アイス・ブレーキングとアジェンダの共有	関心のある地球的諸問題について確認しておく。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
2	スマートフォンから21世紀の世界の特徴を学ぶ①	ワークショップに向けて準備する。	授業の内容を踏まえ、課題を整理する。
3	スマートフォンから21世紀の世界の特徴を学ぶ②	ワークショップに向けて準備する。	授業の内容を踏まえ、課題を整理する。
4	スマートフォンから21世紀の世界の特徴を学ぶ③	ワークショップに向けて準備する。	授業の内容を踏まえ、課題を整理する。
5	スマートフォンから21世紀の世界の特徴を学ぶ④	これまで実施したワークショップから得られた知識や経験を整理しておく。	これまでのワークショップを通して理解した諸課題の解決策を考える。
6	パーム油をとおして21世紀の世界的課題を考える①	ワークショップに向けて準備する。	授業の内容を踏まえ、課題を整理する。
7	パーム油をとおして21世紀の世界的課題を考える②	ワークショップに向けて準備する。	授業の内容を踏まえ、課題を整理する。
8	パーム油をとおして21世紀の世界的課題を考える③	これまでに実施したワークショップから得られた知識や経験を整理しておく。	これまでのワークショップを通して理解した諸課題の解決策を考える。
9	途上国の発展を阻む構造的要因を理解する①	ワークショップに向けて準備する。	授業の内容を踏まえ、課題を整理する。
10	途上国の発展を阻む構造的要因を理解する②	ワークショップに向けて準備する。	授業の内容を踏まえ、課題を整理する。
11	途上国の発展を阻む構造的要因を理解する③	ワークショップに向けて準備する。	授業の内容を踏まえ、課題を整理する。
12	途上国の発展を阻む構造的要因を理解する④	これまでに実施したワークショップから得られた知識や経験を整理しておく。	これまでのワークショップを通して理解した諸課題の解決策を考える。
13	豊かさと開発について考える①	これまでに実施したワークショップから得られた知識や経験を整理しておく。	ディスカッションの内容を振り返り、自らの考えを整理しておく。
14	豊かさと開発について考える②	これまでに実施したワークショップから得られた知識や経験を整理しておく。	ディスカッションの内容を振り返り、自らの考えを整理しておく。
15	豊かさと開発について考える③	これまでに実施したワークショップから得られた知識や経験を整理しておく。	ディスカッションの内容を振り返り、地球的諸課題の解決に向けて自らに何ができるのか考えておく。

講義名	2020022235 研究演習Ⅰ　アンソニーゼミ ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	グレゴリー・アンソニー			

学習目標(到達目標)

The objective of this research seminar is to improve students' practical English skills, develop learner autonomy, and provide a deeper understanding of foreign cultures, while considering Japan's position through a global perspective in order to prepare and empower students for their lives in a rapidly globalizing Japan.

授業概要(教育目的)

As contending with the English language online, in technology, and with international media can be some of the most immediate and relevant challenges for many Japanese adults, this research seminar aims to employ various technologies and online resources as tools to improve students' English ability, develop learner autonomy, and foster greater international awareness. This seminar requires students to join both an intensive English language study program as well as participate in the Aomori Global Academy in order to enhance communication ability and "glocalization" knowhow. Additionally, this seminar will examine the Sustainable Development Goals (SDG's) as established by the United Nations as well as considering Japan's and other nations' responsibilities and efforts towards realizing these goals. Even without future goals of studying or working overseas, this seminar's approach will enable students to become more capable and confident global citizens within Japan.

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域の産業構造や地場産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

年次計画通り、ゼミ活動の積極的な参加・テスト・宿題・タスク等の実施、英語でのやり取に懸命に取り組むこと。

ゼミ時間中・課題。宿題などでは、積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。タスクを完成するために、毎回必要な事柄を調べ、資料などを持参する。成績も第1日目から評価する。

課題に対するフィードバック

課題は講義中口頭でフィードバックする。
English Centralオンライン教材で各自の評価・工程等は確認できます。

参考文献

講義時使用テキスト

①「Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals (地球市民として生きる：英語でSDGs実践入門)」NAN'UN-DO (ISBN: 9784523179313)

②「English Central」オンライン教材(予約購読サービスのオンラインアクセスカード)＊春学期の「研究演習I」と秋学期の「研究演習II」両方登録学生は1年間の予約購読になる。

＊アクティブラーニングの実施について:この講義にインターネット対応デバイス(スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン)を毎回持参すること。英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものが良い。

資格との関連

①英語検定試験TOEIC(年2回受験)
②CNE1・CLASSMATE英語学習コースの参加・修了書(オンラインもしくは海外)(2年次)
③Aomori Global Academyの参加・修了書(3年次)

学生へのメッセージ

このゼミは基本英語で行う。ゼミの活動・内容・情報共有等の理解・動力するのはゼミ学生一人一人の必要条件。ゼミ学生も基本英語でのコミュニケーションが必要条件。

〈2年次〉〈3年次〉〈4年次〉
①メディアを通じて英語学習・異文化理解(ゼミ活動・プロジェクト等)
②英語検定試験(学内TOEIC等)を年2回受ける
③2年次の間、4週間以上フィリピンのCNE1学校・CLASSMATE等の集中英語学習コースを受講・完了
④3年次の間、青森県の「Aomori Global Academy」を受講・完了(年内週末x3回)
⑤4年次の間、英語で研究発表(プレゼンテーション)を実施

実務との関連

日本でのグローバル向け職業、日本で外国人の対応・英語に関わる職業(日本でのグローバル向け・日本で外国人の対応・英語力(英語検定試験資格も含む))。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	Planning with Online Technologies and Systems Explanation A: Conversation Activity B: Discussion C: Write Journal	シラバスを読むこと	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	CALL - Computer Assisted Language Learning ① A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	SDGs – Global Perspectives ① A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	SDGs – Global Perspectives ② A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	Current News and Media ① A: Conversation Activity B: Investigate and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	CALL - Computer Assisted Language Learning ② A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	SDGs – Climate Change ① A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	SDGs – Climate Change ② A: Conversation Activity B: Listen and Review C: Read and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	Current News and Media ② A: Conversation Activity B: Investigate and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	CALL - Computer Assisted Language Learning ③ A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	SDGs – Water ① A: Conversation Activity B: Listen and Review C: Read and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	SDGs – Water ② A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	Current News and Media ③ A: Conversation Activity B: Investigate and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	CALL - Computer Assisted Language Learning ④ A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	Content Assessment and Planning A: Conversation Activity B: Discussion C: Feedback	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	2020022236 研究演習Ⅰ　大沢宥介ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	大沢　宥介			

学習目標(到達目標)

本研究演習では、ICT活用について理解し、将来教員を目指す学生や社会人として求められる実践的な能力や理論性の基礎を身につけるとともに、学校・教員を巡る様々な問題点を複合的に認識し、解決に向けた分析・解決能力を身につけられるようにする。

授業概要(教育目的)

今では、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。 学生には、求められる実践的な能力や理論性の基礎を身につけるとともに、現代における課題を見つけ出し解決する能力が求められます。

本研究演習では、将来、高校教員目指す学生および社会人としてコンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを中心に学んでいく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力、地域への理解、社会課題の発見力を身につけている。

評価方法

課題への取り組み態度・達成度を総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

・レポート等、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
・成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

使用テキストなし

講義時使用テキスト

随時、配付・説明。

資格との関連

ITパスポート

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
・事前の文献購読と積極的な意見交換を望む。
・インターネット利用可能なノートパソコンを利用しますので各自準備してください。
・無断欠席不可

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1.情報化社会のモラル	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
2	2.情報化社会のセキュリティー	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
3	3.デジタル時代の個人情報	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
4	4.電子メールの確認と準備	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
5	5.電子メールの基礎	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
6	6.電子メールのルールとマナー	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
7	7.SNSの活用リスク	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
8	8.モバイル機器の活用と管理	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
9	9.ビジネスメールのルール	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
10	10.ビジネスメールのマナー	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
11	11.ビジネス文章の基本	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
12	12.ビジネス文章の留意点	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
13	13.基本的な文章作成	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
14	14.図や表の作成、管理	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
15	15.データ処理	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。

講義名	2020022237 研究演習Ⅰ　木村浩哉ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	木村　浩哉		

学習目標(到達目標)

八戸圏域におけるスポーツの活性化について課題を総合的に認識し、解決に向けた分析、解決能力を身につける.

授業概要(教育目的)

将来地域スポーツの牽引車になるために、スポーツを「する」「観る」「支える」の観点から、基礎的な能力や社会性を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

実践の状況、研究演習の発表等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

対話、発表を通じて、自分と他者との意見を比較しながら、課題解決に臨む。

参考文献

八戸市スポーツ推進計画(平成31年3月、八戸市

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

未経験なことについても挑戦してみる積極的な態度を望む。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	八戸市内体育施設見学 YSアリーナ、スポーツ研修センター	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
2	種差海岸(芝生、葦毛崎)散策	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
3	人見絹枝選手(我が国女性初の五輪メダリストの墓見学	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
4	八戸市内体育施設、種差海岸、人見絹枝選手の墓についてスポーツリソースとして価値について発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
5	蕪島散策	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
6	蕪島についてのレポート作成	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
7	種差海岸とスポーツとの関連についてレポート作成	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
8	種差海岸とスポーツとの関連について発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
9	種差海岸(芝生地)スタンプラリー作戦、スタンプカード作成	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
10	種差海岸(釜の口)散策	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
11	階上岳散策	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
12	種差海岸(釜の口)、階上岳とスポーツの関連について発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
13	種差海岸(釜の口)の観光客接遇練習	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
14	種差海岸(釜の口)での観光客・散策者対応	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
15	種差海岸(釜の口)での観光客・散策者対応 についての発表1	インターネット検索	インターネット検索 意見交換

講義名	2020023203 研究演習Ⅱ　バリーゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	バリー・H・グロスマン		

学習目標(到達目標)

This seminar class aims to allow students opportunities for intercultural understanding and engagement as well as English language improvement. Study, projects and fieldwork based on Global Issues and SDGs will help students achieve these goals. This class also supports the students' English language and communication skills, allowing individual and group coursework projects. Through these methods, students will gain an awareness of the overall linguistic and intercultural communicative skills to function in an international and/or English-speaking environment.

授業概要(教育目的)

This class aims to allow students the opportunity for efficient English improvement by way of the four language learning skills related to the SDGs . This will improve both speed and efficiency in learning. This class will also support the students' language skills and help motivate them by offering a lasting record of their efforts in the community long after they have graduated. Through these methods, students will gain an awareness of the overall linguistic skills necessary to function in an English-speaking environment.

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

年間を通じて、ゼミ活動での発揮度や協力度、英語での進歩や動力；個人のディスカッション容、英語でのプレゼンテーションを発表するなどにより総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

提示する課題を返し

参考文献

講義時使用テキスト

"Think About Our Future" by Paul Gregory Quinn and Yoshiyuki Okaura. 2023. Sanshusha Publishing.
参考文献は全て授業中に紹介する。英和・和英辞典を毎回持参すること。
電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

資格との関連

ゼミでの授業、活動、宿題、個人研究は全て英語のみですから英語を上達したい学生が申し込んで下さい。積極的に自らの考え方、研究、発表などが自分で伝わりたい気持ちや勇気が大切です。授業以外は倍以上の宿題がありますから、時間をかけたい学生は英語力には恩恵となります。

実務との関連

学生へのメッセージ

ゼミでの授業、活動、宿題、個人研究は全て英語のみですから英語を上達したい学生が申し込んで下さい。積極的に自らの考え方、研究、発表などが自分で伝わりたい気持ちや勇気が大切です。授業以外は倍以上の宿題がありますから、時間をかけたい学生は英語力には恩恵となります。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	Affordable and Clean Energy	Class Explanation	Introductions Task
2	Affordable and Clean Energy	Opening Journaling	Closing Journaling
3	Decent Work and Economic Growth	Opening Journaling	Closing Journaling
4	Decent Work and Economic Growth	Opening Journaling	Closing Journaling
5	Industry, Innovation, and Infrastructure	Opening Journaling	Closing Journaling
6	Industry, Innovation, and Infrastructure	Opening Journaling	Closing Journaling
7	Reduced Inequalities	Opening Journaling	Closing Journaling
8	Reduced Inequalities	Opening Journaling	Closing Journaling
9	Sustainable Cities and Communities	Opening Journaling	Closing Journaling
10	Sustainable Cities and Communities	Opening Journaling	Closing Journaling
11	Responsible Consumption and Production	Opening Journaling	Closing Journaling
12	Responsible Consumption and Production	Opening Journaling	Closing Journaling
13	Climate Action	Opening Journaling	Closing Journaling
14	Oral Presentation Preparation	Opening Journaling	Closing Journaling
15	Oral Presentations	Opening Journaling	Closing Journaling

講義名	2020023206 研究演習Ⅱ　田中ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田中　哲			

学習目標(到達目標)

2022年度の本演習は、複式簿記の理論的研究を深めつつ、難度が高いといわれる「税理士受験」に向けての準備を行うことを目的とする。テキスト(あるいは参考書)を熟読し、理解し、さらに自らの言葉で、的確に問題の要請する解答を書くことのできる能力を必要とする。そのことは同時に、「社会人基礎力」を養成することにもつながっていく。

本演習に参加するゼミナリステンは、それぞれの段階の「試験合格」という目標を持った学修を進めていく。さらに、財務諸表を作成する力、読み込む力も身につけることが可能となる。これは、自らの「就職力」を高めていくことにつながっていくと確信する。

本演習は主に、経営コース所属の学生を対象とする。将来職業イメージとしては、職業会計人(税理士、国税専門官など)や一般企業の財務・経理担当者、営業職、自治体の財政課職員などである。

授業概要(教育目的)

【年次計画】

＜2年次＞第一に、日本商工会議所簿記検定3級に合格することを目標として、要点の説明を行い、練習問題に取り組む。答え合わせも含めた解説を行い、合格の実力を養成する。第二に、3級に合格した後は2級に挑戦する実力を身に付ける努力をする。

＜3年次＞引き続き資格取得を目標として、理論的関心及び簿記論挑戦の基礎学力を養う。そのため日商2級に合格する実力を養う。平行して、就職活動準備及び実践に取り組む。

＜4年次＞税理士試験(簿記論)受験の基礎学力習得ため、引き続き日商2級合格を目指す。就職活動も引き続き行う。さらに、卒業論文に取り組み、完成させ、発表する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

全ての年次において、出席し、まじめに練習問題に取り組むこと、積極的に発表することが評価の基本である。

課題に対するフィードバック

練習問題を行うごとに解答する。

参考文献

講義時使用テキスト

滝澤ななみ『スッキリわかる日商簿記3級　第14版』TAC出版

資格との関連

日商簿記3級

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】

自ら決めた目標に挑戦し、それをやり遂げていく実力を身につけるため、堪えざる努力をして欲しい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	第1回　練習問題1	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
2	第2回　練習問題2	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
3	第3回　練習問題3	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
4	第4回　練習問題4	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
5	第5回　練習問題5	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
6	第6回　練習問題6	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
7	第7回　練習問題7	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
8	第8回　練習問題8	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
9	第9回　練習問題9	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
10	第10回　練習問題10	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
11	第11回　練習問題11	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
12	第12回　練習問題12	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
13	第13回　練習問題13	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
14	第14回　練習問題14	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
15	第15回　練習問題15	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020023209 研究演習Ⅱ　村本ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	村本　卓			

学習目標(到達目標)

デジタルコンテンツに関する実践的な知識を修得し、ビジネスへの活用ができる。

授業概要(教育目的)

従来インターネットを利用したコンテンツ配信を実現するためには、高速大容量な回線・高性能なサーバ機器を必要としてきたが、近年、クラウドコンピューティングにより、自前で情報システムを整備することなくコンテンツ配信ができるようになった。また、オープンデータを活用し、様々なデータを可視化して地域分析を行うことも可能となった。これらの仕組みをビジネスに有効活用しようとする取り組みも増えている。
本ゼミでは、デジタルコンテンツの作成・編集技術やそれらを配信する仕組みについて調査・研究し、地域での活用を目的としたデジタルコンテンツの制作を行いながら、実践的な知識の習得とビジネスへのIT活用能力を培う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

活動調査に関するレポート作成・プレゼンテーション、資格試験への取り組みを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

WebClassにてコメントするとともに、次の授業でフィードバックする。

参考文献

講義時に適宜紹介する。

講義時使用テキスト

使用しない。WebClassに授業資料を掲載する。

資格との関連

学生へのメッセージ

2年次にITパスポート試験、3年次に基本情報技術者試験合格を目標とすること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究演習用グループウェアの活用説明	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
2	HTMLの学習①(基本的なタグ)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
3	HTMLの学習②(リンク)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
4	HTMLの学習③(CSSの利用)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
5	HTMLの学習④(JavaScriptの利用)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
6	Webコンテンツ企画立案(グループワーク)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
7	Webページの構成(グループワーク)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
8	Webページ作成①(素材準備)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
9	Webページ作成②(素材準備)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
10	Webページ作成③(HTML記述)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
11	Webページ作成④(HTML記述)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
12	Webページ作成⑤(HTML記述)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
13	Webページ作成⑥(HTML記述)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
14	Webページ作成⑦(グループワーク:動作確認・修正)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
15	プレゼンテーション(実習内容のページ作成・発表)	・WebClassにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020023212 研究演習Ⅱ　奈良ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	奈良　卓			

学習目標(到達目標)

2年次「研究演習」(秋学期)の到達目標は、以下の5点である。
⑦データ分析の基本を、各自パソコンを使用しつつ実践し、理解していただく。あつかう内容は、1変数データの分析方法(Excelを用いたデータの集約方法、グラフの作成方法、平均、分散の求め方等)、2変数データの分析方法(Excelを用いたクロス集計表の作成等)である。
⑧基本的なマクロ経済指標(GDP及び消費者物価指数)以外のマクロ経済データ(完全失業率等労働市場に関する指標,日経平均株価等)の、過去から現在にかけての推移を把握し、分析し、考察する。また、インターネットを利用し、マクロ経済データを入手する方法についても学んでいただく。
⑨上記⑧に関連し、各自任意のマクロ経済データを(インターネット等を通じて)入手し、グラフ等にまとめ、考察し、ゼミで発表していただく。
⑩ミクロ経済データ(株価、財務指標等、個々の企業の経営に関連する指標)を把握し、分析し、考察する。また、インターネットを利用し、ミクロ経済データを入手する方法についても学んでいただく。
⑪上記⑩に関連し、各自任意の企業に関するミクロデータを(インターネット等を通じて)入手し、経営の状態を比較することが可能な表等にまとめ、ゼミで発表していただく。

授業概要(教育目的)

経済データの見方、基本的な分析方法を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

レジュメの作成、発表、その他の課題等々、ふだんのゼミにおける取組状況を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミの中での各自の発表に対し、また、発表する際に、各自が作成し、使用したレジュメに対し、ゼミの中で、随時、講評し、アドバイスを贈る。

参考文献

ゼミの中で随時、紹介する。

講義時使用テキスト

以下の2点を、章ごとに作成、配布し、教材として用いる。
①担当教員作成のテキスト(「研究演習」要項)
②上記①に付随する統計資料(「研究演習」要項別表・別図)
上記2点については、USBで配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

奈良ゼミでは、データを分析、レジュメの作成等を円滑に行うため、ゼミにノートパソコンを持参し、利用していただきます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	秋学期2年次ゼミ(「研究演習Ⅱ」)の進め方。	・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
2	データを用いて考察することの意義。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
3	データ分析の基本(1変数データ及び2変数データの分析方法)。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
4	データ分析の基本(1変数データ及び2変数データの分析方法)。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
5	データ分析の基本(1変数データ及び2変数データの分析方法)。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
6	データ分析の基本(1変数データ及び2変数データの分析方法)。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
7	マクロ経済データを用いて考察することの意義と様々なマクロ経済データ。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
8	マクロ経済データ(労働に関するデータ)の考察。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
9	マクロ経済データ(労働に関するデータ)の考察。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
10	マクロ経済データ(ストックに関するデータ)の考察。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
11	マクロ経済データ(ストックに関するデータ及びその他のデータ)の考察。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
12	マクロ経済データの考察(各自発表)。	・発表に備え、レジュメを見直す。 ・発表の際、強調して説明するポイントを確認する。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
13	企業による経済活動に関わるミクロデータを考察することの意義。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
14	企業による経済活動に関わるミクロデータ考察の基礎。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
15	企業による経済活動に関わるミクロデータ考察の基礎。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020023213 研究演習Ⅱ　坂本ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	坂本　貴博		

学習目標(到達目標)

ICT活用方法について理解し、「問題解決」のため色々と試し、楽しみながら情報や情報技術を適切に活用できる。
ICT活用技術としての各種アプリケーションソフトウェアやネットワークの利活用ができる。

授業概要(教育目的)

コンピュータは「電子計算機」と呼ばれていたように、計算の道具として開発されましたが、今では、表現やコミュニケーションの道具として、私たちの日常生活をより豊かにしてくれるようになりました。さらにインターネットの普及拡大に伴い、情報通信技術(Information Communication Technology:ICT)の活用は、クラウドコンピューティングやユビキタスネットワークを中心とする新たな時代になっています。
社会人となる学生にとっては、ICT活用方法について理解し、基礎的能力を身につけておく必要があります。どんな仕事にも難題があるように、近年の社会では「問題解決能力」が求められ、ICTの利活用についても「作る技術」よりも、「使う技術」が求められるようになって来ています。「問題解決」のため色々と試し、楽しみながら情報や情報技術を適切に活用できることが重要な力だと思います。それには、情報や情報技術の知識だけでなく、課題を見つけ出し、仮説を立て、試行錯誤を繰り返しながら、答えに近づいていく、という力が必要です。
本ゼミでは、社会人として身につけるべきICTの知識やICT活用技術としての各種アプリケーションソフトウェアやネットワークの利活用方法を中心に考察します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

課題への取り組み態度・達成度を総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること

参考文献

講義時使用テキスト

使用テキストなし。

資格との関連

「ITパスポート」

学生へのメッセージ

インターネット利用可能なノートパソコンを利用しますので準備してください。
社会のあらゆる分野に興味を持つことと、自身が設定したテーマについては情報の収集、整理、分析等に積極的に取り組む姿勢が必要です。
情報通信技術(ICT)を理解し、活用できる基礎的能力を身につけ、未来をともに切り開いていきましょう。
無断欠席不可。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	色彩・図解表現	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	色とは	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	色と錯覚	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	色の心理的効果	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	文章と色彩	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	図解とグラフ	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	表	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	図解	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	グラフ	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	仮説と検証	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	現状分析	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	分析目的	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	要素の洗い出し	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	要素の関係	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	原因分析	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	2020023215 研究演習Ⅱ　根城ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	根城　隆幸			

学習目標(到達目標)

高等学校教育が抱える様々な問題を自主的に考え、調べ、分析し、発表することを通じて、教師として必要な資質能力を身に付け、生徒に対する教育的愛情と責任感を持ち、社会から尊敬・信頼される人材を育成する。

授業概要(教育目的)

学校が求める人材を模索し、高等学校商業教育の理論と実践を考察するとともに、学生自身の卒業後のライフ・プランニング(人生設計等)にも取り組んでいく。
週1回のゼミナールでは、(1)課題学習及び最新事情 (2)個人研究の経過報告を中心に、学生自身の課題解決に向けて実施する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

授業態度、課題提出、課題発表等により総合的に判断する

課題に対するフィードバック

毎時間の課題に対して講評する。

参考文献

「最新段階式 日商簿記検定問題集」　実教出版
「全商 情報処理検定問題集」　実教出版

講義時使用テキスト

資格との関連

日本商工会議所主催　簿記検定試験
全国商業高等学校協会主催　情報処理検定試験

学生へのメッセージ

高等学校教員免許(商業・情報)を取得するための資質能力の向上を目指す。

実務との関連

高等学校の商業科教諭として青森県内の高等学校や県教育委員会に勤務。実務経験をもとに商業教育の実務について指導する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	簿記1.仕訳1 情報処理:基礎知識1	シラバスを確認する	配付資料を読み直す
2	簿記2.帳簿1 情報処理:基礎知識2	配付資料に必要事項を記入する	配付資料を読み直す
3	簿記3.取引の流れ1 情報処理:基礎知識3	配付資料に必要事項を記入する	配付資料を読み直す
4	簿記4.伝票1 情報処理:基礎知識4	配付資料に必要事項を記入する	配付資料を読み直す
5	簿記5.試算表1 情報処理:基礎知識5	配付資料に必要事項を記入する	配付資料を読み直す
6	簿記6.仕訳2 情報処理:表計算1	配付資料に必要事項を記入する	配付資料を読み直す
7	簿記7.帳簿2 情報処理:表計算2	配付資料に必要事項を記入する	配付資料を読み直す
8	簿記8.取引の流れ2 情報処理:表計算3	配付資料に必要事項を記入する	配付資料を読み直す
9	簿記9.伝票2 情報処理:表計算4	配付資料に必要事項を記入する	配付資料を読み直す
10	簿記10.試算表2 情報処理:表計算5	配付資料に必要事項を記入する	配付資料を読み直す
11	簿記11.仕訳3 叙法処理:表計算6	配付資料に必要事項を記入する	配付資料を読み直す
12	簿記12.帳簿3 情報処理:表計算7	配付資料に必要事項を記入する	配付資料を読み直す
13	簿記13.取引の流れ3 情報処理:表計算8	配付資料に必要事項を記入する	配付資料を読み直す
14	簿記14.伝票3 情報処理:表計算9	配付資料に必要事項を記入する	配付資料を読み直す
15	簿記15.試算表3 情報処理:表計算10	配付資料に必要事項を記入する	これまでの内容を振り返る

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020023216 研究演習Ⅱ　幸田ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	幸田　威久矢			

学習目標(到達目標)

・会計学に関する研究を通じて、社会人に必要な情報の収集方法、資料の作成方法およびプレゼンテーション能力を習得する。
・簿記に関して正確かつ迅速な会計処理ができるよう、日商簿記検定試験2級程度の知識を習得する。

授業概要(教育目的)

会計とは、個別経済主体(会社など)における金銭およびその他の財産の変動に係る結果を記録・測定し、それらを利害関係者(株主や債権者など)に報告することである。また、会計は、財産の管理、受託責任の明確化、有用な会計情報の提供などの重要な役割を果たしている。
そこで本演習では、こうした会計(財務会計)の理論的側面(基本的から応用的まで)、ならびに計算的側面の知識を習得することを目的としている。また、会計学の基本書をもとに基礎理論を学ぶとともに、簿記に代表される計算技術の能力向上を図る。また、レジュメの作成・報告を通してプレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

ゼミへの貢献度、課題の提出状況、発表内容などから総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

TAC株式会社(簿記検定講座)編著『よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト 日商簿記3 Ver.13.0』TAC出版
TAC株式会社(簿記検定講座)編著『よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト 日商簿記2級商業簿記 Ver.16.0』TAC出版
TAC株式会社(簿記検定講座)編著『よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト 日商簿記2級工業簿記 Ver.9.1』TAC出版

講義時使用テキスト

資格との関連

日商簿記検定試験2級、3級

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
・本演習は、出席が大前提であり、無断欠席・遅刻は厳禁である。
・検定試験の取得に真剣に取り組むことのできる学生、ならびに会計学を学ぶ意欲の高い学生を歓迎する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	その他の債権・債務の記帳	参考文献に目を通す。	参考文献の関連箇所を読む。
2	その他の取引	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
3	問題演習	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
4	決算手続①(売上原価の計算)	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
5	決算手続②(貸倒引当金の設定)	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
6	決算手続③(固定資産と減価償却)	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
7	決算手続④(費用・収益の繰延べ)	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
8	決算整理⑤(費用・収益の見越し)	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
9	決算整理⑥(その他の事項)	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
10	試算表	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
11	精算表	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
12	帳簿の締め切り	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
13	損益計算書と貸借対照表の作成	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
14	伝票	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。
15	問題演習	前回の授業の内容、論点を整理する。	参考文献の関連箇所を読む。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020023218 研究演習Ⅱ　髙須ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	髙須　則行			

学習目標(到達目標)

① 民法総則の各制度を説明することができる。
② 物権法の各制度を説明することができる。

授業概要(教育目的)

本研究演習は、基本書、判例などを読み解くことで、具体的事件を解決するための妥当な結論がどのように導き出されているかを理解することで、法的思考を養成する。そして、最終的には資格試験、公務員試験などの法的問題にも対応できる能力を身につけることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

定期試験、小テストなどを総合して評価する。

課題に対するフィードバック

小テスト等は採点のうえ返却する。

参考文献

授業中に、適宜、参考文献を指示する。

講義時使用テキスト

無し。授業中に資料を渡します。

資格との関連

ファイナンシャル・プランナー、宅地建物取引主任者、行政書士等の基礎的知識

学生へのメッセージ

原則として、必ず出席する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	民法を学ぶにあたって	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
2	自然人の権利能力と意思能力	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
3	自然人の行為能力:相手方の保護	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
4	法律行為・意思表示が不完全な場合(心裡留保・通謀虚偽表示)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
5	意思表示が不完全な場合(錯誤・詐欺・強迫)無効・取消しの効果	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
6	代理制度(代理の意義・表見代理と無権代理)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
7	時効制度(取得時効)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
8	時効制度(消滅時効)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
9	物権と債権、物権的請求権	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
10	物権変動と不動産の公示方法(登記制度)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
11	不動産の物権変動と対抗要件	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
12	動産の物権変動と即時取得	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
13	物権の種類(用益物権)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
14	物権の種類(担保物件):抵当権	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
15	物権の種類(担保物件):質権その他	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。

講義名	2020023220 研究演習Ⅱ　崔ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	崔　桓碩			

学習目標(到達目標)

本研究演習では、「保険」について学習する。まず、保険が日常生活の中でどのように使われており、自分の人生の中でどのように係っているのかについてに考える。そして保険を活用する基本的な方法または考えた方(いわゆる基礎知識)について身につけてもらい、保険リテラシーを向上させる。さらには、本研究演習での学習を通じて、自分が持っている問題意識をどのように解決していくのかについて、各自1つのテーマを決めていただき、卒業論文の作成準備を進める。

授業概要(教育目的)

本研究演習では、参考文献として定めている「保険論」の教材の残りの半分について学習する。主な内容としては、保険会社によるディスクロージャー制度、金融商品としての保険、保険会社の破たん処理と契約者保護、各論としての保険などについて説明し、学生の保険に関する理解を深める。さらには社会保障制度とは異なる生命保険の役割を理解した上で、国民多数の福祉のために何が必要なのかについて議論する。いるのかを理解する。その際、新聞記事を事例として適宜引用しながら説明する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

研究演習に臨む態度(コミュニケーションなど)と卒業論文の内容により評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

1. 大谷孝一『保険論(第3版)』成文堂

講義時使用テキスト

レジュメ配布

資格との関連

学生へのメッセージ

まずは本研究演習の内容である「保険」について関心を持っていること。そしてその内容について学びたい意欲があること。最後に3年間まじめに続けられること。本研究演習における学習上の留意点としては、この3つが大事である。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	保険会社によるディスクロージャー制度①(ディスクロージャー制度の概要)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
2	保険会社によるディスクロージャー制度②(保険会社会計の特徴、今後の課題)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
3	金融商品としての保険①(保険の金融商品性)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
4	金融商品としての保険②(金融商品に関する法規制)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
5	保険会社の破綻処理と保険契約者保護①(早期是正措置)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
6	保険会社の破綻処理と保険契約者保護②(保険契約者保護機構)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
7	保険会社の破綻処理と保険契約者保護③(破綻処理)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
8	海上保険①(役割と歴史)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
9	海上保険②(種類と海上危険)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
10	火災保険①(役割と歴史)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
11	火災保険②(種類と地震保険)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
12	自動車保険と新種保険	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
13	生命保険①(役割と歴史)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
14	生命保険②(種類と内容)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
15	社会保険	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す

講義名	2020023221 研究演習Ⅱ　田村ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田村　正文			

学習目標(到達目標)

研究演習Ⅱでは、2年次秋学期を通じて、自分自身の興味・関心のある都市・地域について課題を見出すこと、sを目標とする。

授業概要(教育目的)

近年、ニュースや新聞などで「地域再生」、「地域活性化」等に資する報道やデータを頻繁に目にする。同時に例えばB級グルメなどに見られるように、地域住民が主体的となって行動し、自らが地域をマネジメントする(地域経営)の役割が大きくなっているともいえる。しかし、地域再生、地域活性化について自分なりに考えてみたところで、過疎化の問題、中心商店街の活性化、地域産業(農業や水産業などの第一次産業)の若年層の雇用、B級グルメ、地域交通、地域観光政策などから垣間見る様々な「切り口」があり、どのように展開すべきか、どのように取り組めばよいのかという課題に直面する。しかし、上述したような課題が多いというのも地域研究の間口の広さであるともいえよう。

そこで研究演習Ⅱにおいては、引き続き、研究演習Ⅰで各自で調べた、自分の出身の市区町村について、より詳細に分析することに加えて、地域振興や地域経済・地域経営に関する文献の購読をも併せて行い、各自で調べた内容について理論的な整合性について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

発表の内容およびレポートの提出に基づき評価を行う。

課題に対するフィードバック

レポートや課題については、採点の上、各自返却する。

参考文献

吉本哲郎(2008)『地元学をはじめよう』, 岩波ジュニア新書.
山田浩之編(2002)『地域経済学入門』, 有斐閣コンパクト.
※それ以外の文献は、適宜指示する。

講義時使用テキスト

使用しない。必要に応じて資料を配付する。

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
情報処理基礎、情報処理応用での基本的な内容を身に着けていること.
2年次以降においては、データ分析をはじめ、情報関連の授業を履修すること.
欠席はできる限りしない事.
演習は、ゼミナリステンが主体であることを理解する事.

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究演習Ⅱの進行についての説明	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
2	文献の講読①「地元学」とは：吉本(2008)における地元学の定義	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
3	文献の講読② 地元学の進め方	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
4	文献の講読③ 地元学の先行事例(1):熊本県水俣市	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
5	文献の講読④ 地元学の先行事例(2):宮崎県川南町	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
6	文献の講読⑤ 地元学の先行事例(3):国際的な事例	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
7	文献の講読⑥ 地元学の先行事例(4):リーダーシップ	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
8	各自で研究演習Ⅰで調べた内容について「地元学」の視点からの解釈	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
9	地域の経済学的分析① 地域構造	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
10	地域の経済学的解釈② 地域経済と所得	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
11	地域の経済学的解釈③ 地域成長の経済分析	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
12	地域の経済学的解釈④ 地域交易と人口移動	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
13	地域の経済学的解釈⑤ 産業立地と交通システム	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
14	地域の経済学的解釈⑥ 地方財政と地方分権	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
15	地域活性化、地域再生の経済学的解釈	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。

講義名	2020023222 研究演習Ⅱ　加来ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	加来　聡伸			

学習目標(到達目標)

農業・食料問題を中心に農業分野の理解度を高め、日本農業の問題・課題に対し考える力を身に付ける。

授業概要(教育目的)

研究演習Ⅰを踏まえ、今日の食料、価格・所得、構造、農協、都市と農村の問題について分析し、考察する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

課題・レジュメの作成内容、授業中の発言等、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

適宜、プリント等の資料を配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

ゼミ学習では、基本的に自主的な学習を基礎に運営するため予習は必ず行ってくること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1、グローバル化と農業・食料問題	シラバスを確認する	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	2、農業基本法から新基本法	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	3、世界と日本の食糧問題	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	4、フードシステムとアグリビジネス	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	5、農産物価格の理論と政策	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	6、食管制度	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	7、日本の農家	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	8、農地流動化と集落営農	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	9、農業生産法人と企業の農業進出	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	10、協同組合とは何か	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	11、日本の農協の特徴	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	12、農協の組織と事業	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	13、高度成長と都市農業問題	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	14、グローバル化と中山間地域問題	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	15、都市・農村関係について	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	2020023230 研究演習Ⅱ　鶴見ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	鶴見　浩一郎			

学習目標(到達目標)

担当教員である鶴見は、新規水産物である養殖フジツボの基礎的種苗生産技術を開発した。現状では高級水産物としてわずかに流通するに過ぎないフジツボだが、安定供給、社会への周知により、ウニやアワビなどに匹敵する水産物としてブレイクすることが期待されている。ビジネス化を目指して本学院のプロジェクトとして進行しているが、本ゼミ参加者にはそのプロジェクト・メンバーとして実際に活動する中で、新規商品開発、企業化の実務を体験してもらいたい。
各人の最終的なテーマはフジツボ以外に設定しても構わないが、3年時までは共に活動する中で必要な実務について学習・研究を進める。

授業概要(教育目的)

〈2年次〉 新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、
　　需要調査、流通調査、Web企画製作
〈3年次〉 生産現場調査、市場調査、販売調査、ブランド企画などを加える
〈4年次〉それまでの各人の調査・研究を基に、関心のあるテーマについてレポート・論文作成

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

教科書などない新規分野に挑んでいます。自ら関心のある対象を設定し研究しようとする意欲と積極的な発言・発表を重視します。
学習内容を踏まえての、自分の経験や観察、調査に基づくオリジナリティのある考察、論述を大いに評価します。

課題に対するフィードバック

課題(レポート等)は、次の授業で代表的なものをフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

具体的なテーマとしては水産物を対象とするが、それに限らない新規商品開発・流通あるいは起業に関する、未成立・未知の分野に挑む気概のある諸君の参加を期待する。青森県を始めとして、自分の出身地や興味のある地域などから、関連する情報を収集してほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究およびプロジェクトの方針 〈2年次〉 新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
2	新規水産物「フジツボ」の基本的説明	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
3	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
4	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
5	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
6	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
7	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
8	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
9	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
10	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
11	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
12	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
13	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
14	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。
15	新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、 　　需要調査、流通調査、Web企画製作	文献等各自の興味のある関連分野を調査しておく。	演習内容を整理し、論点を整理する。

講義名	2020023231 研究演習Ⅱ　堤ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	堤　静子			

学習目標(到達目標)

フィールドワーク、ディスカッションおよびプレゼンテーション能力の習得。
研究報告。ゼミ論文の作成。

授業概要(教育目的)

地域活性化、地域力アップのための国内外の地域事例を学ぶとともに、積極的に地域へ出かけ、自分の目で見て、聞いて、調べるというフィールドワークを主体とします。地域を知ることは、様々な人を知る良い機会となるだけではなく、多くの人と交流することでコミュニケーション能力が高まります。また、様々な地域課題を適切に掘り起し、課題解決策を考え、提言していく力を身につけていくことにつながります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

ゼミ活動におけると取組姿勢やディスカッション、プレゼンテーション、論文等により総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

課題は採点、コメントの上返却します。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	フィールドワークについて	シラバスを確認する	配付資料を読み直す
2	昨年度のフィルードワークのふりかえり①【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
3	昨年度のフィルードワークのふりかえり②【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
4	労働力補完システム構築のための基礎調査①【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
5	労働力補完システム構築のための基礎調査②【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
6	労働力補完システム構築のための基礎調査③【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
7	労働力補完システム構築のための基礎調査④【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
8	農作業の形式化、マニュアル化①企画	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
9	農作業の形式化、マニュアル化②記録	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
10	農作業の形式化・マニュアル化③撮影	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
11	農作業の形式化・マニュアル化④編集・まとめ	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
12	農作業の形式化・マニュアル化⑤報告	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
13	地域経営課題の掘り起こしについて	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
14	地域経営課題解決のための方策検討について	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
15	フィールドワークの総まとめ	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す

講義名	2020023232 研究演習Ⅱ　馬場ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	馬場　祥次			

学習目標(到達目標)

フィールドワーク、ディスカッションおよびプレゼンテーション能力の習得。
研究報告。ゼミ論文の作成。

授業概要(教育目的)

地域活性化、地域力アップのための国内外の地域事例を学ぶとともに、積極的に地域へ出かけ、自分の目で見て、聞いて、調べるというフィールドワークを主体とします。地域を知ることは、様々な人を知る良い機会となるだけではなく、多くの人と交流することでコミュニケーション能力が高まります。また、様々な地域課題を適切に掘り起し、課題解決策を考え、提言していく力を身につけていくことにつながります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

ゼミ活動におけると取組姿勢やディスカッション、プレゼンテーション、論文等により総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

課題は採点、コメントの上返却します。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	フィールドワークについて	シラバスを確認する	配付資料を読み直す
2	昨年度のフィルードワークのふりかえり①【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
3	昨年度のフィルードワークのふりかえり②【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
4	労働力補完システム構築のための基礎調査①【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
5	労働力補完システム構築のための基礎調査②【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
6	労働力補完システム構築のための基礎調査③【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
7	労働力補完システム構築のための基礎調査④【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
8	農作業の形式化、マニュアル化①企画	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
9	農作業の形式化、マニュアル化②記録	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
10	農作業の形式化・マニュアル化③撮影	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
11	農作業の形式化・マニュアル化④編集・まとめ	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
12	農作業の形式化・マニュアル化⑤報告	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
13	地域経営課題の掘り起こしについて	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
14	地域経営課題解決のための方策検討について	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
15	フィールドワークの総まとめ	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す

講義名	2020023233 研究演習Ⅱ　井上ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	井上　丹		

学習目標(到達目標)

特定の地域を選び、その地域が活性化するための事業計画や企画開発を構築し実施することで、実社会の現場でも役に立つ企画提案力やコミュニケーション能力を身につける。

授業概要(教育目的)

関係各所との調整を行い、フィールドワークやアンケート調査によって情報を収集し、分析結果をもとに企画を構築。それを関係者へ提案し実施、振り返りを行い、最終成果を発表する。事業や企画を検討する際にはマーケティングやマネジメント知識を活用し、提案や発表する際には広報戦略や持続可能性を考える。また、活動を通して地域でのキャリアについても検討していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

ゼミ活動におけると取組姿勢やディスカッション、プレゼンテーション、レポート等により総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

課題は採点やコメントした上で返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

机上の学問だけではなく、地域全体を学びのフィールドとすることが大切だと考えている。講義時間以外で学外でのフィールドワークを行うこともある。社会に出てから体験することは非常に難しく、学生だからこそ体験できる貴重な学びの機会である。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	事業計画内容の確認とスケジュール調整	自分自身について振り返り、整理しておく	配付資料を読み直す
2	フィールドワーク①事業実施準備	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
3	フィールドワーク②事業実施	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
4	フィールドワーク③事業実施(調査)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
5	振り返り(効果検証)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
6	事業計画の見直し	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
7	フィールドワーク④事業実施準備2回目	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
8	フィールドワーク⑤事業実施2回目	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
9	フィールドワーク⑥事業実施(調査)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
10	振り返り(効果検証2回目)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
11	事業報告書作成に向けた討論(グループワーク)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
12	事業報告書作成	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
13	事業報告書に基づく成果発表資料作成	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
14	成果発表会	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
15	発表会振り返り	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す

講義名	2020023234 研究演習Ⅱ　横田ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	横田　将志			

学習目標(到達目標)

①地球的諸問題の現状、要因、ならびに解決に求められる取り組みについて理解し、説明できるようになる。
②地球的諸問題に解決に向けた取り組みが抱える問題点を理解し、その解決策を考えられるようになる。
③論理的思考力を身につけ、社会のさまざまな課題の解決に向けた取り組みに参画できるようになる。

授業概要(教育目的)

私たちは、国際社会のなかで暮らし、世界のさまざまな出来事から影響を受けるだけではなく、地球的諸問題の解決に貢献することも可能である。国際社会の課題の解決に向けて取り組んでいくためには、これまでに行われてきた国際協力の展開や特徴、問題点について理解しておくことが求められる。本研究演習では、この点を踏まえ「持続可能な開発目標」(SDGs)を題材として、地球的諸問題の解決に向けた国際社会の動きを正確に理解するために必要な知識と視座を修得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

発表や報告の内容、ワークショップおよびディスカッションでの発言などを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

発表の際にコメントするとともに、レポートに対してフィードバックを行う。

参考文献

授業のなかで適宜紹介する。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

学生へのメッセージ

ゼミナール(研究演習)は、大学生活のなかで最も重要な活動の1つであり、学生を主体として進めていく。そのため、積極的な参加と自主的に研究を進めていくことが求められる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	SDGsの意義	SDGsについて調べておく。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
2	SDGsの17のゴールと169のターゲット①	SDGsについて調べておく。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
3	SDGsの17のゴールと169のターゲット②	SDGsについて調べておく。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
4	SDGsが登場したコンテクスト	国連ミレニアム開発目標(MDGs)について調べておく。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
5	SDGsの達成状況	各国のSDGsの達成状況を調べておく。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
6	SDGsの抱える課題①	SDGsに対する疑問を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
7	SDGsの抱える課題②	ディスカッションに向けた準備をしておく。	ディスカッションの内容を振り返り、自らの考えを整理しておく。
8	ひとり歩きしはじめたSDGs	企業等が行っているSDGs関連の取り組みについて調べておく。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
9	Sustainable Developmentの真意①	「われら共通の未来」を読む。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
10	Sustainable Developmentの真意②	ディスカッションに向けた準備をしておく。	ディスカッションの内容を振り返り、自らの考えを整理しておく。
11	Development: 開発と発展①	"Development"という言葉の語源を調べておく。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
12	Development: 開発と発展②	ディスカッションに向けた準備をしておく。	ディスカッションの内容を振り返り、自らの考えを整理しておく。
13	地球的諸問題の解決に向けて①	ワークショップに向けた準備をしておく。	ワークショップの内容を振り返り、自らの考えを整理しておく。
14	地球的諸問題の解決に向けて②	ディスカッションに向けた準備をしておく。	ディスカッションの内容を振り返り、自らの考えを整理しておく。
15	地球的諸問題の解決に向けて③	ディスカッションに向けた準備をしておく。	自らの考える解決策についてレポートにまとめる。

講義名	2020023235 研究演習Ⅱ　アンソニーゼミ ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	グレゴリー・アンソニー			

学習目標(到達目標)

The objective of this research seminar is to improve students' practical English skills, develop learner autonomy, and provide a deeper understanding of foreign cultures, while considering Japan's position through a global perspective in order to prepare and empower students for their lives in a rapidly globalizing Japan.

授業概要(教育目的)

As contending with the English language online, in technology, and with international media can be some of the most immediate and relevant challenges for many Japanese adults, this research seminar aims to employ various technologies and online resources as tools to improve students' English ability, develop learner autonomy, and foster greater international awareness. This seminar requires students to join both an intensive English language study program as well as participate in the Aomori Global Academy in order to enhance communication ability and "glocalization" knowhow. Additionally, this seminar will examine the Sustainable Development Goals (SDG's) as established by the United Nations as well as considering Japan's and other nations' responsibilities and efforts towards realizing these goals. Even without future goals of studying or working overseas, this seminar's approach will enable students to become more capable and confident global citizens within Japan.

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域の産業構造や地場産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

年次計画通り、ゼミ活動の積極的な参加・テスト・宿題・タスク等の実施、英語でのやり取に懸命に取り組むこと。

ゼミ時間中・課題。宿題などでは、積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。タスクを完成するために、毎回必要な事柄を調べ、資料などを持参する。成績も第1日目から評価する。

課題に対するフィードバック

課題は講義中口頭でフィードバックする。
English Centralオンライン教材で各自の評価・工程等は確認できます。

参考文献

講義時使用テキスト

①「Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals (地球市民として生きる：英語でSDGs実践入門)」NAN'UN-DO (ISBN: 9784523179313)

②「English Central」オンライン教材(予約購読サービスのオンラインアクセスカード) ＊春学期の「研究演習I」と秋学期の「研究演習II」両方登録学生は1年間の予約購読になる。

＊アクティブラーニングの実施について:この講義にインターネット対応デバイス(スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン)を毎回持参すること。英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものが良い。

資格との関連

①英語検定試験TOEIC(年2回受験)
②CNE1・CLASSMATE英語学習コースの参加・修了書(オンラインもしくは海外)(2年次)
③Aomori Global Academyの参加・修了書(3年次)

学生へのメッセージ

このゼミは基本英語で行う。ゼミの活動・内容・情報共有等の理解・動力するのはゼミ学生一人一人の必要条件。ゼミ学生も基本英語でのコミュニケーションが必要条件。

〈2年次〉〈3年次〉〈4年次〉
①メディアを通じて英語学習・異文化理解(ゼミ活動・プロジェクト等)
②英語検定試験(学内TOEIC等)を年2回受ける
③2年次の間、4週間以上フィリピンのCNE1学校・CLASSMATE等の集中英語学習コースを受講・完了
④3年次の間、青森県の「Aomori Global Academy」を受講・完了(年内週末x3回)
⑤4年次の間、英語で研究発表(プレゼンテーション)を実施

実務との関連

日本でのグローバル向け職業、日本で外国人の対応・英語に関わる職業
(日本でのグローバル向け・日本で外国人の対応・英語力(英語検定試験資格も含む))。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	Planning with Online Technologies and Systems Explanation A: Conversation Activity B: Discussion C: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	CALL - Computer Assisted Language Learning ① A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	SDGs – Clean Energy ① A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	SDGs – Clean Energy ② A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	Current News and Media ① A: Conversation Activity B: Investigate and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	CALL - Computer Assisted Language Learning ② A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	SDGs – Poverty ① A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	SDGs – Poverty ② A: Conversation Activity B: Listen and Review C: Read and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	Current News and Media ② A: Conversation Activity B: Investigate and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	CALL - Computer Assisted Language Learning ③ A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	SDGs – Hunger ① A: Conversation Activity B: Listen and Review C: Read and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	SDGs – Hunger ② A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	Current News and Media ③ A: Conversation Activity B: Investigate and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	CALL - Computer Assisted Language Learning ④ A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	Content Assessment and Planning A: Conversation Activity B: Discussion C: Feedback	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	2020023236 研究演習Ⅱ　大沢宥介ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	大沢　宥介		

学習目標(到達目標)

本研究演習では、ICT活用について理解し、将来教員を目指す学生や社会人として求められる実践的な能力や理論性の基礎を身につけるとともに、学校・教員を巡る様々な問題点を複合的に認識し、解決に向けた分析・解決能力を身につけられるようにする。

授業概要(教育目的)

今では、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。 学生には、求められる実践的な能力や理論性の基礎を身につけるとともに、現代における課題を見つけ出し解決する能力が求められます。
本研究演習では、将来、高校教員目指す学生および社会人としてコンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを中心に学んでいく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力、地域への理解、社会課題の発見力を身につけている。

評価方法

課題への取り組み態度・達成度を総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

・レポート等、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
・成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

使用テキストなし

講義時使用テキスト

随時、配付・説明

資格との関連

ITパスポート

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
・事前の文献購読と積極的な意見交換を望む。
・インターネット利用可能なノートパソコンを利用しますので各自準備して下さい。
・無断欠席不可。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1.研究演習Ⅱでの学び	研究演習Ⅰの振返り	研究演習Ⅰの資料の見直し
2	2.情報処理に関する演習(グラフ)	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
3	3.情報処理に関する演習(ピボットテーブル)	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
4	4.情報処理に関する演習(情報通信ネットワーク)	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
5	5.情報処理に関する演習(データの活用)	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
6	6.情報処理に関する演習(データ分析)	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
7	7.情報処理に関する演習(度数分布)	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
8	8.情報処理に関する演習(分散と標準偏差)	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
9	9.情報処理に関する演習(散布図と相関)	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
10	10.情報処理に関する演習(平均値・中央値)	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
11	11.情報処理に関する演習(回帰分析)	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
12	12.情報処理に関する演習(重回分析)	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
13	13.テーマ選択	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
14	14.資料の集め方(1)	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。
15	15.資料の集め方(2)	授業内容についてインターネットで調べる。	実践した内容を再度実施する。

講義名	2020023237 研究演習Ⅱ　木村浩哉ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	木村　浩哉			

学習目標(到達目標)

八戸圏域におけるスポーツの活性化について課題を総合的に認識し、解決に向けた分析、解決能力を身につける.

授業概要(教育目的)

将来地域スポーツの牽引車になるために、スポーツを「する」「観る」「支える」の観点から、基礎的な能力や社会性を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

実践の状況、研究演習の発表等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

対話、発表を通じて、自分と他者との意見を比較しながら、課題解決に臨む。

参考文献

八戸市スポーツ推進計画(平成31年3月、八戸市

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

未経験なことについても挑戦してみる積極的な態度を望む。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	種差海岸(釜の口)での観光客・散策者サポートについての整理、分析	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
2	種差海岸(白浜漁港～芝生キャンプ地)散策1	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
3	種差海岸(白浜漁港～芝生キャンプ地)散策2	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
4	八戸市のスケートの歴史	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
5	YSアリーナの活用の実際 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
6	YSアリーナの活用2 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
7	YSアリーナの活用3 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
8	YSアリーナの活用4 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
9	YSアリーナの活用5 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用についてのレポート作成、発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
10	YSアリーナの活用6 アフタースケートから中心街の活性化を考える。レポート作成、発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
11	YSアリーナの活用7 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
12	YSアリーナの活用8 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
13	YSアリーナと中心街の活性化1 スポーツ施設が街の活性化につながっている全国的な例を調査	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
14	YSアリーナと中心街の活性化2 スポーツ施設が街の活性化につながっている全国的な例を調査、発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
15	地域スポーツとしてのスケートの価値 八戸圏域におけるスポーツ文化としてのスケートの意義についてレポート作成、発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換

講義名	2020024203 研究演習Ⅲ　バリーゼミ ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	バリー・H・グロスマン		

学習目標(到達目標)

Students will study and practice in order to have a working knowledge of English. Working knowledge includes both oral and written communication. Practice and improvement in both will be expected. Additionally, classwork, fieldwork, and homework related to the 'Smile Cambodia' project is expected. This may include planning, creation, and implementation of donation collections as well as communication with persons or organizations involved with Cambodia.

授業概要(教育目的)

This class aims to allow students the opportunity for efficient English improvement by way of an online English learning system. This will improve both speed and efficiency in learning. This class will also support the students' language skills and help motivate them by offering a lasting record of their efforts in the community long after they have graduated (via the smartphone application). Through these methods, students will gain an awareness of the overall linguistic skills necessary to function in an English-speaking environment.

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

年間を通じて、ゼミ活動での発揮度や協力度、英語での進歩や動力；個人のディスカッション容、英語でのプレゼンテーションを発表するなどにより総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

オンライン教材でのユーセージデーターはいつもアクセスできる。提示する課題を返し

参考文献

講義時使用テキスト

「English Central」オンライン教材(1年間)
参考文献は全て授業中に紹介する。英和・和英辞典を毎回持参すること。
電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

資格との関連

学生へのメッセージ

ゼミでの授業、活動、宿題、個人研究は全て英語のみですから英語を上達したい学生が申し込んで下さい。積極的に自らの考え方、研究、発表などが自分で伝わりたい気持ちや勇気が大切です。授業以外は倍以上の宿題がありますから、時間をかけたい学生は英語力には恩恵となります。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	Class Explanation & Introductions Task	Class Explanation & Introductions Task	Class Explanation & Introductions Task
2	The Power of Technology	Opening Journaling	Closing Journaling
3	Super Mom	Opening Journaling	Closing Journaling
4	Personal Notes Go High-Tech	Opening Journaling	Closing Journaling
5	The 80's: The Decade that Made Us	Opening Journaling	Closing Journaling
6	I'm Trending	Opening Journaling	Closing Journaling
7	Change Everything with the iPhone 6s	Opening Journaling	Closing Journaling
8	Listen to the Water	Opening Journaling	Closing Journaling
9	An Ancient Forest Comes Alive	Opening Journaling	Closing Journaling
10	The Ocean Speaks	Opening Journaling	Closing Journaling
11	Forests Are Our Future	Opening Journaling	Closing Journaling
12	Save Our World	Opening Journaling	Closing Journaling
13	From Trash to Trendy	Opening Journaling	Closing Journaling
14	Presentations (half class)	Opening Journaling	Closing Journaling
15	Presentations (half class)	Opening Journaling	Closing Journaling

講義名	2020024206 研究演習Ⅲ　田中ゼミ ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田中　哲			

学習目標(到達目標)

2023年度の本演習は、複式簿記の理論的に研究しつつ、日商3級レベルの処理を習得することを目的とする。テキストを熟読し、理解し、さらに自らの言葉で、的確に問題の要請する解答を書くことのできる能力を必要とする。そのことは同時に、「社会人基礎力」を養成することにもつながっていく。

本演習に参加するゼミナリステンは、それぞれの段階の「試験合格」という目標を持った学修を進めていく。さらに、財務諸表を作成する力、読み込む力も身につけることが可能となる。これは、自らの「就職力」を高めていくことにつながっていくと確信する。

将来職業イメージとしては、職業会計人(税理士、国税専門官など)や一般企業の財務・経理担当者、営業職、自治体の財政課職員などである。

授業概要(教育目的)

【年次計画】

＜2年次＞第一に、日本商工会議所簿記検定3級に合格することを目標として、要点の説明を行い、練習問題に取り組む。答え合わせも含めた解説を行い、合格の実力を養成する。第二に、3級に合格した後は2級に挑戦する実力を身に付ける努力をする。

＜3年次＞引き続き資格取得を目標として、理論的関心及び簿記論挑戦の基礎学力を養う。そのため日商2級に合格する実力を養う。平行して、就職活動準備及び実践に取り組む。

＜4年次＞税理士試験(簿記論)受験の基礎学力習得ため、引き続き日商2級合格を目指す。就職活動も引き続き行う。さらに、卒業論文に取り組み、完成させ、発表する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

全ての年次において、出席し、まじめに練習問題に取り組むこと、積極的に発表することが評価の基本である。

課題に対するフィードバック

練習問題終了ごとに解答する。

参考文献

講義時使用テキスト

『スッキリわかる日商簿記2級商業簿記【第15版】』TAC出版

資格との関連

日商簿記2級、税理士試験(簿記論)

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】

自ら決めた目標に挑戦し、それをやり遂げていく実力を身につけるため、堪えざる努力をして欲しい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	第1回　株式の発行、剰余金の配当と処分	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行うこと。
2	第2回　合併と無形固定資産/法人税等と消費税	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行うこと。
3	第3回　商品売買等	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行うこと。
4	第4回　電子記録債権(債務)、その他の債権譲渡	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行うこと。
5	第5回　銀行勘定調整表	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行うこと。
6	第6回　固定資産	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行うこと。
7	第7回　リース取引/研究開発費とソフトウェア	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行うこと。
8	第8回　有価証券	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行うこと。
9	第9回　引当金/外貨換算会計	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行うこと。
10	第10回　税効果会計/収益認識基準	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行うこと。
11	第11回　精算表と財務諸表/帳簿の締切	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行うこと。
12	第12回　本支店会計	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行うこと。
13	第13回　連結会計1	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行うこと。
14	第14回　連結会計2	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行うこと。
15	第15回　製造業会計	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行うこと。

講義名	2020024209 研究演習Ⅲ　村本ゼミ ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	村本　卓			

学習目標(到達目標)

地理情報情報システムに関する実践的な知識を修得し、ビジネスに活用することができる。

授業概要(教育目的)

従来インターネットを利用したコンテンツ配信を実現するためには、高速大容量な回線・高性能なサーバ機器を必要としてきたが、近年、クラウドコンピューティングにより、自前で情報システムを整備することなくシステム構築ができるようになりつつある。また、動画共有サイト等を利用して個人が簡単に情報配信することも可能となり、この仕組みをビジネスに有効活用しようとする取り組みも増えている。
本ゼミでは、デジタルコンテンツの編集技術やそれらを配信する仕組みについて調査・研究し、大学内や地域での活用を目的としたデジタルコンテンツ管理システムの構築・運用を行いながら、実践的な知識の習得とビジネスへのIT活用能力を培う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

実習に関するレポート作成・プレゼンテーション、資格試験への取り組みを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

はちキャンWebにてコメントするとともに、次の授業でフィードバックする。

参考文献

講義時に適宜紹介する。

講義時使用テキスト

使用しない。はちがくキャンパスWebに授業資料を掲載する。

資格との関連

学生へのメッセージ

ITパスポート試験、基本情報技術者試験合格を目標とすること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究演習用アプリの活用説明	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
2	GISの基礎①(GISとは何か、資料購読)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
3	GISの基礎②(グループワーク:GISの利用分野を調べる)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
4	GISの基礎③(グループワーク:GISで利用する地図について調べる)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
5	GISの基礎③(グループワーク:GISによる地域分析の事例を調べる)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
6	GISの基礎④(プレゼンテーション:これまで調べた内容をまとめる)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
7	GIS実習①(QGISのインストール、例題に必要な地図のダウンロード)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
8	GIS実習②(QGISの基本的な使い方1)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
9	GIS実習③(QGISの基本的な使い方2)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
10	GISを活用した地域分析①(グループワーク:企画)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
11	GISを活用した地域分析②(グループワーク:データ収集)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
12	GISを活用した地域分析③(グループワーク:レイヤ作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
13	GISを活用した地域分析④(グループワーク:分析1)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
14	GISを活用した地域分析⑤(グループワーク:分析2)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
15	GISを活用した地域分析⑥(成果発表)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020024212 研究演習Ⅲ　奈良ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	奈良　卓			

学習目標(到達目標)

3年次「研究演習」(春学期)の到達目標は、以下の4点である。
①ミクロ経済データ(財務指標等、個別の企業の経営に関する指標)を把握し、分析し、考察する。インターネットを利用しての(個別の企業に関する)ミクロデータの入手方法についても学んでいただく。
②上記①に関連し、各自任意の個別の企業に関するミクロデータを(インターネット等を通じて)入手し、経営の状態を比較することが可能な表、及びレジュメにまとめ、考察し、ゼミで発表していただく。
③2年次春学期と同様の方法と要領で、また、これまで培った知識と手法を反映させつつ、各自のテーマでレジュメを作成し、発表していただき、皆で討論する。
④上記③に関連し、来年度に卒業論文を作成することを念頭におきつつ、(日本及び世界で問題となっている事柄についての)自らの問題意識と興味を絞り込み、テーマを選択する。

授業概要(教育目的)

経済学的ものの見方、考え方を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

レジュメの作成、発表、その他の課題等々、ふだんのゼミにおける取組状況を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミの中での各自の発表に対し、また、発表する際に、各自が作成し、使用したレジュメに対し、ゼミの中で、随時、講評し、アドバイスを贈る。

参考文献

ゼミの中で随時、紹介する。

講義時使用テキスト

以下の2点を、章ごとに作成、配布し、教材として用いる。
①担当教員作成のテキスト(「研究演習」要項)
②上記①に付随する統計資料(「研究演習」要項別表・別図)
上記2点については、USBで配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

奈良ゼミでは、データを分析、レジュメの作成等を円滑に行うため、ゼミにノートパソコンを持参し、利用していただきます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	3年次「研究演習」の進め方	・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
2	株価指標に関わるミクロデータの考察。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
3	株価指標に関わるミクロデータの考察(各自発表)。	・発表に備え、レジュメを見直す。 ・発表の際、強調して説明するポイントを確認する。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
4	自由テーマでの発表に向けての説明と「テーマ概要」の作成方法。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
5	財務指標、企業経営に関わるミクロデータの考察。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
6	財務指標、企業経営に関わるミクロデータの考察。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
7	財務指標、企業経営に関わるミクロデータの考察。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
8	財務指標、企業経営に関わるミクロデータの考察(各自発表)。	・発表に備え、レジュメを見直す。 ・発表の際、強調して説明するポイントを確認する。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
9	「テーマ概要」の発表。	・発表に備え、レジュメを見直す。 ・発表の際、強調して説明するポイントを確認する。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
10	図書館を利用しての資料収集。	・図書館での作業に備え、各自資料収集の目的と対象を絞り込む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
11	収集した資料の整理・集約及び発表用レジュメの作成方法の説明。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
12	収集した資料の整理・集約及び発表用レジュメの作成。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
13	発表用レジュメの作成。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
14	発表用レジュメの作成。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
15	各自自由テーマで発表及び意見交換。	・発表に備え、レジュメを見直す。 ・発表の際、強調して説明するポイントを確認する。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。

講義名	2020024213 研究演習Ⅲ　坂本ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	坂本　貴博			

学習目標(到達目標)

ICT活用方法について理解し、「問題解決」のため色々と試し、楽しみながら情報や情報技術を適切に活用できる。
ICT活用技術としての各種アプリケーションソフトウェアやネットワークの利活用ができる。

授業概要(教育目的)

コンピュータは「電子計算機」と呼ばれていたように、計算の道具として開発されましたが、今では、表現やコミュニケーションの道具として、私たちの日常生活をより豊かにしてくれるようになりました。さらにインターネットの普及拡大に伴い、情報通信技術(Information Communication Technology:ICT)の活用は、クラウドコンピューティングやユビキタスネットワークを中心とする新たな時代になっています。
社会人となる学生にとっては、ICT活用方法について理解し、基礎的能力を身につけておく必要があります。どんな仕事にも難題があるように、近年の社会では「問題解決能力」が求められ、ICTの利活用についても「作る技術」よりも、「使う技術」が求められるようになって来ています。「問題解決」のため色々と試し、楽しみながら情報や情報技術を適切に活用できることが重要な力だと思います。それには、情報や情報技術の知識だけでなく、課題を見つけ出し、仮説を立て、試行錯誤を繰り返しながら、答えに近づいていく、という力が必要です。
本ゼミでは、社会人として身につけるべきICTの知識やICT活用技術としての各種アプリケーションソフトウェアやネットワークの利活用方法を中心に考察します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

●課題への取り組み態度・達成度を総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること

参考文献

講義時使用テキスト

適時、配布・紹介する。

資格との関連

ITパスポート試験

学生へのメッセージ

●学内外からインターネット利用可能なノートパソコン利用しますので準備してください。
●社会のあらゆる分野に興味を持つことと、自身が設定したテーマについては情報の収集、整理、分析等に積極的に取り組む姿勢が必要です。
●情報通信技術(ICT)を理解し、活用できる基礎的能力を身につけ、未来をともに切り開いていきましょう。
●無断欠席不可。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	データ分析の必要性	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	データの種類と尺度	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	代表値(平均と中央値)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	関数によるデータ集計手法	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	ピボットテーブルによるデータ集計手法	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	度数分布表とヒストグラム	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	累積相対度数とパレート分析	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	分散と標準偏差	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	基準値と偏差値	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	正規分布とシグマの法則	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	散布図と相関	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	回帰分析	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	重回帰分析	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	推測統計	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	点推定と区間推定	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	2020024215 研究演習Ⅲ　根城ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	根城　隆幸		

学習目標(到達目標)

高等学校教育が抱える様々な問題を自主的に考え、調べ、分析し、発表することを通じて、教師として必要な資質能力を身に付け、生徒に対する教育的愛情と責任感を持ち、社会から尊敬・信頼される人材を育成する。

授業概要(教育目的)

学校が求める人材を模索し、高等学校商業教育の理論と実践を考察するとともに、学生自身の卒業後のライフ・プランニング(人生設計等)にも取り組んでいく。
週1回のゼミナールでは、(1)課題学習及び最新事情 (2)個人研究の経過報告を中心に、学生自身の課題解決に向けて実施する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

授業態度、課題提出、課題発表等により総合的に判断する

課題に対するフィードバック

学生同士で実習課題の成果を評価し合う

参考文献

「情報処理検定・模擬試験問題集」　　実教出版

講義時使用テキスト

資格との関連

全国商業高等学校協会主催　情報処理検定試験

学生へのメッセージ

高等学校教員免許(商業・情報)を取得するための資質能力の向上を目指す。

実務との関連

高等学校の商業科教諭として青森県内の高等学校や県教育委員会に勤務。実務経験をもとに商業教育の実務について指導する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	実習課題1・2	実習課題1・2の内容を把握する	実習課題1・2を振り返る
2	実習課題3・4	実習課題3・4の内容を把握する	実習課題3・4を振り返る
3	実習課題5・6	実習課題5・6の内容を把握する	実習課題5・6を振り返る
4	実習課題7・8	実習課題7・8の内容を把握する	実習課題7・8を振り返る
5	実習課題9	実習課題9の内容を把握する	実習課題9を振り返る
6	実習課題10	実習課題10の内容を把握する	実習課題10を振り返る
7	実習課題11	実習課題11の内容を把握する	実習課題11を振り返る
8	実習課題12	実習課題12の内容を把握する	実習課題12を振り返る
9	実習課題13	実習課題13の内容を把握する	実習課題13を振り返る
10	実習課題14	実習課題14の内容を把握する	実習課題15を振り返る
11	実習課題15	実習課題15の内容を把握する	実習課題15を振り返る
12	実習課題16	実習課題16の内容を把握する	実習課題16を振り返る
13	実習課題17	実習課題17の内容を把握する	実習課題17を振り返る
14	実習課題18	実習課題18の内容を把握する	実習課題18を振り返る
15	実習課題19	実習課題19の内容を把握する	実習課題19を振り返る

講義名	2020024216 研究演習Ⅲ　幸田ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	幸田　威久矢			

学習目標(到達目標)

・会計学に関する研究を通じて、社会人に必要な情報の収集方法、資料の作成方法およびプレゼンテーション能力を習得する。
・簿記に関して正確かつ迅速な会計処理ができるよう、日商簿記検定試験2級程度の知識を習得する。

授業概要(教育目的)

2年次に引き続き、会計理論の知識(専門的、応用的)習得および計算能力向上に加え、自己の研究(卒業論文)に向け、研究課程の中で興味や関心のあるテーマについて検討を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

ゼミへの貢献度、課題の提出状況、発表内容などから総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

桜井久勝『財務会計講義(第23版)』 中央経済社
上野清貴『財務会計の基礎(第5版)』中央経済社

講義時使用テキスト

新井清光・川村義則『新版 現代会計学(第3版)』中央経済社

資格との関連

日商簿記検定試験2級、3級

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
・本演習は、出席が大前提であり、無断欠席・遅刻は厳禁である。
・検定試験の取得に真剣に取り組むことのできる学生、ならびに会計学を学ぶ意欲の高い学生を歓迎する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	財務会計の機能と制度①(会計の意義と領域)	テキストに目を通す。	テキストの関連箇所を読む。
2	財務会計の機能と制度②(財務会計の機能)	前回の授業の内容、論点を整理する。	テキストの関連箇所を読む。
3	財務会計の機能と制度③(企業会計の法規制:制度会計)	前回の授業の内容、論点を整理する。	テキストの関連箇所を読む。
4	財務会計の機能と制度④(企業会計の法規制:金融商品取引法)	前回の授業の内容、論点を整理する。	課題レポートを作成する。
5	利益計算の仕組み①(企業活動と財務諸表)	前回の授業の内容、論点を整理する。	テキストの関連箇所を読む。
6	利益計算の仕組み②(複式簿記の構造)	前回の授業の内容、論点を整理する。	テキストの関連箇所を読む。
7	利益計算の仕組み③(利益計算と財務諸表:財産法と損益法)	前回の授業の内容、論点を整理する。	テキストの関連箇所を読む。
8	利益計算の仕組み④(利益計算と財務諸表:貸借対照表と損益計算書の関係)	前回の授業の内容、論点を整理する。	課題レポートを作成する。
9	会計理論と会計基準①(会計基準の必要性)	前回の授業の内容、論点を整理する。	テキストの関連箇所を読む。
10	会計理論と会計基準②(会計基準の設定と問題点)	前回の授業の内容、論点を整理する。	テキストの関連箇所を読む。
11	会計理論と会計基準③(帰納的アプローチ)	前回の授業の内容、論点を整理する。	課題レポートを作成する。
12	会計理論と会計基準④(演繹的アプローチ)	前回の授業の内容、論点を整理する。	課題レポートを作成する。
13	会計理論と会計基準⑤(企業会計原則の一般原則)	前回の授業の内容、論点を整理する。	テキストの関連箇所を読む。
14	会計理論と会計基準⑥(会計情報の質的特質:意思決定有用性)	前回の授業の内容、論点を整理する。	テキストの関連箇所を読む。
15	会計理論と会計基準⑦(会計情報の質的特質:有用性の構成要素)	前回の授業の内容、論点を整理する。	課題レポートを作成する。

講義名	2020024218 研究演習Ⅲ　髙須ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	髙須　則行		

学習目標(到達目標)

① 債権法の各制度を説明することができる。

授業概要(教育目的)

本演習は、基本書、判例などを読み解くことで、具体的事件を解決するための妥当な結論がどのように導き出されているかを理解することで、法的思考を養成する。そして、最終的には資格試験、公務員試験などの法的問題にも対応できる能力を身につけることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

定期試験や小テストなどを総合して評価する。

課題に対するフィードバック

小テストは採点のうえ返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

無し。授業中に資料を渡します。

資格との関連

ファイナンシャル・プランナー、宅地建物取引主任者、行政書士等の基礎的知識

学生へのメッセージ

必ず出席することが基本となる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	債権の目的・債務不履行	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
2	責任財産の保全	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
3	多数当事者の債権・債務	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
4	債権譲渡・債権の消滅	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
5	契約総論	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
6	権利移転型契約	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
7	賃貸借契約	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
8	役務提供型契約	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
9	事務管理	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
10	不法行為	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
11	夫婦	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
12	親子・親権	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
13	相続人・相続の効力	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
14	相続の承認・放棄・	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
15	遺言・遺留分	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。

講義名	2020024220 研究演習Ⅲ　崔ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	崔　桓碩			

学習目標(到達目標)

本研究演習では、「学術論文の書き方」について学習する。また、それとともに「保険論」に関する内容も随時に説明する。研究演習Ⅰ・Ⅱで学習した保険論に関する内容から、各自1つのテーマを決めて卒業論文の作成を進めるが、実際に論文を作成するスキルとして、その方法を解説する。

授業概要(教育目的)

本研究演習では、「学術論文」とは何かという基本的な問いからはじめ、どのような方法で卒業論文を書くのかについて解説する。参考文献として取り上げている『これから研究を書くひとのためのガイドブック』を教材とし、その内容について分かりやすく開設する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

研究演習に臨む態度(コミュニケーションなど)と卒業論文の内容により評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

1. 佐渡島紗織『これから研究を書くひとのためのガイドブック』ひつじ書房

講義時使用テキスト

レジュメ配布

資格との関連

学生へのメッセージ

まずは本研究演習の内容である「保険」について関心を持っていること。そしてその内容について学びたい意欲があること。最後に3年間まじめに続けられること。本研究演習における学習上の留意点としては、この3つが大事である。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	学術的な文章とはどのような文章か	・授業内容についてインターネットで調べる	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
2	「一文一義」で書く	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
3	語句を明確に使う	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
4	「マップ」を作って書く	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
5	「パラグラフ」を作る	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
6	主張を根拠で支える	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
7	論点を整理する	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
8	抽象度の調節をする	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
9	参考文献を示す	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
10	「ブロック引用」をする	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
11	要約引用をする	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
12	図や表を作る	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
13	「私語り」から脱出する	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
14	外来語と専門用語を扱う	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
15	推敲・校正をする	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す

講義名	2020024221 研究演習Ⅲ　田村ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田村　正文			

学習目標(到達目標)

2年次に自分自身で興味を持った内容について、自ら調べ、考えることができるようになることを最終的な到達目標とするが、とくに研究演習Ⅲにおいては、文献の講読を通じて地域の多様性と少子高齢化について理解することを目標とする。

授業概要(教育目的)

近年、ニュースや新聞などで「地域再生」、「地域活性化」等に資する報道やデータを頻繁に目にする。同時に例えばB級グルメなどに見られるように、地域住民が主体的となって行動し、自らが地域をマネジメントする(地域経営)の役割が大きくなっているともいえる。しかし、地域再生、地域活性化について自分なりに考えてみたところで、過疎化の問題、中心商店街の活性化、地域産業(農業や水産業などの第一次産業)の若年層の雇用、B級グルメ、地域交通、地域観光政策などから垣間見る様々な「切り口」があり、どのように展開すべきか、どのように取り組めばよいのかという課題に直面する。しかし、上述したような課題が多いというのも地域研究の間口の広さであるともいえよう。

そこで研究演習Ⅲにおいては、研究演習Ⅰ～Ⅱの内容を踏まえ、とくに人口減少・過疎化における地域経営について文献の講読を通じて理解することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

発表内容およびレポートの提出によって評価を行う。

課題に対するフィードバック

レポート・課題については、採点の上、各自返却する。

参考文献

谷本圭志編・鳥取大学過疎プロジェクト著(2012)『過疎地域の戦略』, 学芸出版社.

講義時使用テキスト

使用しないが、必要に応じて配布資料を用意する。

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
情報処理基礎、情報処理応用での基本的な内容を身に着けていること.
データ分析をはじめ、情報関連の授業を履修すること.
欠席はできる限りしない事.
演習は、ゼミナリステンが主体であることを理解する事.

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究演習Ⅲの概要についての説明	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
2	過疎地域の現状と課題	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
3	集落における相互扶助	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
4	森林価値の変遷と森林の現状	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
5	地方公共交通の必要性と限界	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
6	高齢者の生きがいと健康	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
7	高齢社会における地域防災	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
8	人口減少と地域公共サービス	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
9	地域資源と観光	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
10	地域の多様性と公共サービス	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
11	遠隔医療と在宅医療	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
12	情報通信技術を用いた公共交通	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
13	情報通信技術を用いた地域マーケティング	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
14	人口減少時代における自治体経営	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
15	持続的な行政運営の体制	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。

講義名	2020024222 研究演習Ⅲ　加来ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	加来　聡伸		

学習目標(到達目標)

①資料収集を行い、さまざまな意見から自らの意見をまとめることができる。
②他者の意見を受け入れ、それに対し、自らの意見を発言することができる。
③農山村(地域)の活性化の必要性について、自身の考えを述べることができる。

授業概要(教育目的)

この講義では世界の共通課題として取り上げられる都市と農山村(地域)との人口問題が、なぜ生じるのかを解説するとともに、都市の過剰人口の問題、農山村の過疎問題によって何が起こっているのかを各ゼミ生が調べ、なぜ農山村(地域)を活性化させなければならないかについて議論する。また、そこで求められる視点や論点は何かについても合わせて議論を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

課題・レジュメの作成内容、授業中の発言等、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文等)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

適宜、プリント等の資料を配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
ゼミ学習では、基本的に自主的な学習を基礎に運営するため予習は必ず行ってくること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 人口と経済学	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
2	2. 戦後日本の人口問題	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
3	3. 地域活性化の取り組み	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
4	4. 事例にみる地域活性化の取り組み	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
5	5. 増田レポートに見る人口減による地域の課題	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
6	6. 地域活性化に関する議論①(コミュニティに関する視点)	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
7	7. 地域活性化に関する議論②(田園回帰の視点)	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
8	8. 地域活性化に関する議論③(経済的な視点)	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
9	9. 地域活性化に関する議論④(地域活性化の論理)	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
10	10. 地域活性化に関する議論⑤(里山資本主義の論点)	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
11	11. 青森県における地域の現状と課題に関する議論①(産業の推移)	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
12	12. 青森県における地域の現状と課題に関する議論②(津軽地域の産業の特徴)	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
13	13. 青森県における地域の現状と課題に関する議論③(下北地域の産業の特徴)	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
14	14. 青森県における地域の現状と課題に関する議論④(三八地域の産業の特徴)	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
15	15. 地域活性化に求められる視点や論点	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す

講義名	2020024228 研究演習Ⅲ　鶴見ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	鶴見　浩一郎			

学習目標(到達目標)

・学習目標(到達目標) ・研究を行うための必要な情報を適切な方法で検索することができる。
・研究を行うための基本的な科学文献を読み、その内容が理解できる。
・研究を行うために得た情報をノートなどに整理し、研究計画を立てることができる。

授業概要(教育目的)

〈2年次〉 新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、
　　需要調査、流通調査、Web企画製作
〈3年次〉 生産現場調査、市場調査、販売調査、ブランド企画などを加える
〈4年次〉それまでの各人の調査・研究を基に、関心のあるテーマについてレポート・論文作成

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

学習到達目標を総合的に勘案し、評価を行う。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文等)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

適宜紹介する。

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
　ゼミ学習では、基本的に自主的な学習を基礎に運営するため予習は必ず行ってくること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究テーマの選定①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
2	研究テーマの選定②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
3	研究テーマの選定③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
4	研究テーマの選定④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
5	研究テーマの問題点抽出①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
6	研究テーマの問題点抽出②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
7	文献検索方法の確認	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
8	文献収集①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
9	文献収集②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
10	文献収集③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
11	文献収集④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
12	文献収集⑤	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
13	収集した文献の整理①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
14	収集した文献の整理②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
15	収集した文献の整理③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020024230 研究演習Ⅲ　堤ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	堤　静子		

学習目標(到達目標)

・学習目標(到達目標) ・研究を行うための必要な情報を適切な方法で検索することができる。
・研究を行うための基本的な科学文献を読み、その内容が理解できる。
・研究を行うために得た情報をノートなどに整理し、研究計画を立てることができる。

授業概要(教育目的)

地域活性化、地域力アップのための国内外の地域事例を学ぶとともに、積極的に地域へ出かけ、自分の目で見て、聞いて、調べるというフィールドワークを主体とします。地域を知ることは、様々な人を知る良い機会となるだけではなく、多くの人と交流することでコミュニケーション能力が高まります。また、様々な地域課題を適切に掘り起し、課題解決策を考え、提言していく力を身につけていくことにつながります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

学習到達目標を総合的に勘案し、評価を行う。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文等)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

適宜紹介する。

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
ゼミ学習では、基本的に自主的な学習を基礎に運営するため予習は必ず行ってくること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究テーマの選定①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
2	研究テーマの選定②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
3	研究テーマの選定③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
4	研究テーマの選定④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
5	研究テーマの問題点抽出①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
6	研究テーマの問題点抽出②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
7	文献検索方法の確認	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
8	文献収集①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
9	文献収集②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
10	文献収集③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
11	文献収集④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
12	文献収集⑤	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
13	収集した文献の整理①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
14	収集した文献の整理②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
15	収集した文献の整理③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。

講義名	2020024231 研究演習Ⅲ　馬場ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	馬場　祥次		

学習目標(到達目標)

主として青森県内におけるフィールドワークを通して、県内各地域を理解する。
フィールドワーク、ディスカッションおよびプレゼンテーション能力を習得する。
卒業論文作成のために研究テーマの探索・決定する。

授業概要(教育目的)

地域活性化、地域力アップのための国内外の地域事例を学ぶとともに、積極的に地域へ出かけ、自分の目で見て、聞いて、調べるというフィールドワークを主体とします。地域を知ることは、様々な人を知る良い機会となるだけではなく、多くの人と交流することでコミュニケーション能力が高まります。また、様々な地域課題を適切に掘り起し、課題解決策を考え、提言していく力を身につけていくことにつながります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

ゼミ活動におけると取組姿勢やディスカッション、プレゼンテーション、論文等により総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

課題は採点やコメントした上で返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

机上の学問だけではなく、地域全体を学びのフィールドとすることが大切だと考えています。講義時間以外で学外でのフィールドワークを行うこともあります。社会に出てから体験することは非常に難しく、学生だからこそ体験できる貴重な学びの機会です。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	フィールドワークについて	シラバスを確認する	配付資料を読み直す
2	フィルードワーク先の地域研究【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
3	フィールドワーク先の地域研究【階上町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
4	フィールドワーク先の地域研究【東京】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
5	フィールドワーク先の地域研究【希望地】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
6	農作業の形式化、マニュアル化①基礎理解	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
7	農作業の形式化、マニュアル化②企画	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
8	農作業の形式化・マニュアル化③記録	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
9	農作業の形式化・マニュアル化④撮影	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
10	農作業の形式化・マニュアル化⑤編集	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
11	農作業の形式化・マニュアル化⑥まとめ	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
12	農作業の形式化・マニュアル化⑦報告	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
13	地域経営課題の掘り起こしについて	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
14	地域経営課題解決のための方策検討について	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
15	フィールドワークの総まとめ	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す

講義名	2020024232 研究演習Ⅲ　井上ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	井上　丹		

学習目標(到達目標)

特定の地域を選び、その地域が活性化するための事業計画や企画開発を構築し実施することで、実社会の現場でも役に立つ企画提案力やコミュニケーション能力を身につける。

授業概要(教育目的)

関係各所との調整を行い、フィールドワークやアンケート調査によって情報を収集し、分析結果をもとに企画を構築。それを関係者へ提案し実施、振り返りを行い、最終成果を発表する。事業や企画を検討する際にはマーケティングやマネジメント知識を活用し、提案や発表する際には広報戦略や持続可能性を考える。また、活動を通して地域でのキャリアについても検討していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

ゼミ活動におけると取組姿勢やディスカッション、プレゼンテーション、レポート等により総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

課題は採点やコメントした上で返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

机上の学問だけではなく、地域全体を学びのフィールドとすることが大切だと考えている。講義時間以外で学外でのフィールドワークを行うこともある。社会に出てから体験することは非常に難しく、学生だからこそ体験できる貴重な学びの機会である。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション	自分自身について振り返り、整理しておく	配付資料を読み直す
2	取り扱う研究テーマに関する事前講義	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
3	フィールドワークに関する事前講義	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
4	フィールドワーク先の地域研究	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
5	フィールドワーク①現地見学	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
6	①の振り返り(課題と仮説)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
7	フィールドワーク②企画に向けた資料収集	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
8	②の振り返り(企画提案作成)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
9	フィールドワーク③企画提案発表	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
10	③の振り返り	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
11	地域経営課題の掘り起こしについて	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
12	地域経営課題解決のための方策検討について(グループワーク)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
13	地域経営課題解決に向けた企画作成	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
14	フィールドワーク④企画提案発表2回目	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
15	フィールドワークの振り返りと後期活動計画作成	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す

講義名	2020024233 研究演習Ⅲ　横田ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	横田　将志		

学習目標(到達目標)

①国際関係・国際政治に関する主要な理論について理解し、説明できるようになる。
②国際関係理論を参照しながら、現実の世界情勢を読み解けるようになる。
③論理的思考力を身につけ、地球的諸問題の解決策を提案できるようになる。

授業概要(教育目的)

私たちは、国際社会のなかで暮らし、世界のさまざまな出来事から影響を受けるだけではなく、地球的諸問題の解決に貢献することも可能である。国際社会の課題に取り組んでいくためには、国際関係についての諸理論を理解し、活用できるようになることが求められる。本演習では、この点を踏まえ、国際関係論の代表的な著作を学び、主要な国際関係理論を修得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

発表や報告の内容、ディスカッションでの発言などを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

発表の際にコメントするとともに、レポートに対してフィードバックを行う。

参考文献

授業のなかで適宜紹介する。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

学生へのメッセージ

ゼミナール(研究演習)は、大学生活のなかで最も重要な活動の1つであり、学生を主体として進めていく。そのため、積極的な参加と自主的に研究を進めていくことが求められる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	理論と現実	参考文献の関連個所を読む。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
2	国際関係理論の展開	参考文献の関連個所を読む。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
3	リベラリズム①	参考文献の関連個所を読む。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
4	リベラリズム②	参考文献の関連個所を読む。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
5	リアリズム①	参考文献の関連個所を読む。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
6	リアリズム②	参考文献の関連個所を読む。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
7	ネオリアリズム①	参考文献の関連個所を読む。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
8	ネオリアリズム②	参考文献の関連個所を読む。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
9	ネオリベラリズム①	参考文献の関連個所を読む。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
10	ネオリベラリズム②	参考文献の関連個所を読む。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
11	コンストラクティヴィズム①	参考文献の関連個所を読む。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
12	コンストラクティヴィズム②	参考文献の関連個所を読む。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
13	新しい国際関係理論①	参考文献の関連個所を読む。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
14	新しい国際関係理論②	参考文献の関連個所を読む。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
15	国際関係理論との向き合い方	参考文献の関連個所を読む。	授業の内容を整理し、論点を整理する。

講義名	2020024234 研究演習Ⅲ　アンソニーゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	グレゴリー・アンソニー			

学習目標(到達目標)

The objective of this research seminar is to improve students' practical English skills, develop learner autonomy, and provide a deeper understanding of foreign cultures, while considering Japan's position through a global perspective in order to prepare and empower students for their lives in a rapidly globalizing Japan.

授業概要(教育目的)

As contending with the English language online, in technology, and with international media can be some of the most immediate and relevant challenges for many Japanese adults, this research seminar aims to employ various technologies and online resources as tools to improve students' English ability, develop learner autonomy, and foster greater international awareness. This seminar requires students to join both an intensive English language study program as well as participate in the Aomori Global Academy in order to enhance communication ability and "glocalization" knowhow. Additionally, this seminar will examine the Sustainable Development Goals (SDG's) as established by the United Nations as well as considering Japan's and other nations' responsibilities and efforts towards realizing these goals. Even without future goals of studying or working overseas, this seminar's approach will enable students to become more capable and confident global citizens within Japan.

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域の産業構造や地場産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

年次計画通り、ゼミ活動の積極的な参加・テスト・宿題・タスク等の実施、英語でのやり取に懸命に取り組むこと。

ゼミ時間中・課題。宿題などでは、積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。タスクを完成するために、毎回必要な事柄を調べ、資料などを持参する。成績も第1日目から評価する。

課題に対するフィードバック

課題は講義中口頭でフィードバックする。
English Centralオンライン教材で各自の評価・工程等は確認できます。

参考文献

講義時使用テキスト

①「Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals (地球市民として生きる：英語でSDGs実践入門)」NAN'UN-DO (ISBN: 9784523179313)

②「English Central」オンライン教材(予約購読サービスのオンラインアクセスカード)＊春学期の「研究演習I」と秋学期の「研究演習II」両方登録学生は1年間の予約購読になる。

＊アクティブラーニングの実施について:この講義にインターネット対応デバイス(スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン)を毎回持参すること。英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

資格との関連

①英語検定試験TOEIC(年2回受験)
②CNE1・CLASSMATE英語学習コースの参加・修了書(オンラインもしくは海外)(2年次)
③Aomori Global Academyの参加・修了書(3年次)

学生へのメッセージ

このゼミは基本英語で行う。ゼミの活動・内容・情報共有等の理解・動力するのはゼミ学生一人一人の必要条件。ゼミ学生も基本英語でのコミュニケーションが必要条件。

〈2年次〉〈3年次〉〈4年次〉
①メディアを通じて英語学習・異文化理解(ゼミ活動・プロジェクト等)
②英語検定試験(学内TOEIC等)を年2回受ける
③2年次の間、4週間以上フィリピンのCNE1学校・CLASSMATE等の集中英語学習コースを受講・完了
④3年次の間、青森県の「Aomori Global Academy」を受講・完了(年内週末x3回)
⑤4年次の間、英語で研究発表(プレゼンテーション)を実施

実務との関連

日本でのグローバル向け職業、日本で外国人の対応・英語に関わる職業
(日本でのグローバル向け・日本で外国人の対応・英語力(英語検定試験資格も含む))。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	Planning with Online Technologies and Systems Explanation A: Conversation Activity B: Discussion C: Write Journal	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	CALL - Computer Assisted Language Learning ① A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	SDGs – Children ① A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	SDGs – Children ② A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	Current News and Media ① A: Conversation Activity B: Investigate and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	CALL - Computer Assisted Language Learning ② A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	SDGs – Gender ① A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	SDGs – Gender ② A: Conversation Activity B: Listen and Review C: Read and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	Current News and Media ② A: Conversation Activity B: Investigate and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	CALL - Computer Assisted Language Learning ③ A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	SDGs – Refugees ① A: Conversation Activity B: Listen and Review C: Read and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	SDGs – Refugees ② A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	Current News and Media ③ A: Conversation Activity B: Investigate and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	CALL - Computer Assisted Language Learning ④ A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	Content Assessment and Planning A: Conversation Activity B: Discussion C: Feedback	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	2020024235 研究演習Ⅲ　大沢宥介ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	大沢　宥介		

学習目標(到達目標)

本研究演習では、ICT活用について理解し、将来教員を目指す学生や社会人として求められる実践的な能力や理論性の基礎を身につけるとともに、学校・教員を巡る様々な問題点を複合的に認識し、解決に向けた分析・解決能力を身につけられるようにする。

授業概要(教育目的)

今では、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。 学生には、求められる実践的な能力や理論性の基礎を身につけるとともに、現代における課題を見つけ出し解決する能力が求められます。
本研究演習では、将来、高校教員目指す学生および社会人としてコンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを中心に学んでいく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力、地域への理解、社会課題の発見力を身につけている。

評価方法

課題への取り組み態度・達成度を総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

・レポート等、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
・成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

使用テキストなし

講義時使用テキスト

随時、配付、説明。

資格との関連

ITパスポート

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
・事前の文献購読と積極的な意見交換を望む。
・インターネット利用可能なノートパソコンを利用しますので各自準備して下さい。
・無断欠席不可。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1.研究演習Ⅲについて	研究演習Ⅱを振り返る	これから学習する内容について調べる
2	2.学校の歴史	インターネット等で調べる。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
3	3.学校体系	インターネット等で調べる。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
4	4.教育政策	インターネット等で調べる。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
5	5.情報科の設置	インターネット等で調べる。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
6	6.情報科の変遷	インターネット等で調べる。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
7	7.情報と情報技術を活用した問題発見	インターネット等で調べる。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
8	8.情報と情報技術を活用した解決	インターネット等で調べる。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
9	9.情報社会の問題	インターネット等で調べる。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
10	10.情報社会と問題解決	インターネット等で調べる。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
11	11.情報社会における法規	インターネット等で調べる。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
12	12.情報社会における制度	インターネット等で調べる。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
13	13.テーマ選択　グループワーク(1)	関心がある問題を調べる。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
14	14.テーマ選択　グループワーク(2)	関心がある問題を調べる。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
15	15.研究演習Ⅲ振返り	これまでの資料を整理する。	授業の内容を整理し、論点を整理する。

講義名	2020024236 研究演習Ⅲ　木村浩哉ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)	木村　浩哉			

学習目標(到達目標)

八戸圏域におけるスポーツの活性化について課題を総合的に認識し、解決に向けた分析、解決能力と発表する力を身につける.

授業概要(教育目的)

将来地域スポーツの牽引車になるために、スポーツを「する」「観る」「支える」の観点から、基礎的・応用的な能力と社会性を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

実践の状況、研究演習の発表等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

対話、発表を通じて、自分と他者との意見を比較しながら、課題解決に臨む。

参考文献

八戸市スポーツ推進計画(平成31年3月、八戸市

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

未経験なことについても挑戦してみる積極的な態度を望む。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	種差海岸(釜の口)での観光客・散策者サポートについての整理、分析	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
2	種差海岸(白浜漁港～芝生キャンプ地)散策1	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
3	種差海岸(白浜漁港～芝生キャンプ地)散策2	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
4	八戸市のスケートの歴史	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
5	YSアリーナの活用の実際 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
6	YSアリーナの活用2 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
7	YSアリーナの活用3 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
8	YSアリーナの活用4 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
9	YSアリーナの活用5 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用についてのレポート作成、発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
10	YSアリーナの活用6 アフタースケートから中心街の活性化を考える。レポート作成、発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
11	YSアリーナの活用7 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
12	YSアリーナの活用8 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
13	YSアリーナと中心街の活性化1 スポーツ施設が街の活性化につながっている全国的な例を調査	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
14	YSアリーナと中心街の活性化2 スポーツ施設が街の活性化につながっている全国的な例を調査、発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
15	地域スポーツとしてのスケートの価値 八戸圏域におけるスポーツ文化としてのスケートの意義についてレポート作成、発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換

講義名	2020025203 研究演習Ⅳ　バリーゼミ ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	バリー・H・グロスマン		

学習目標(到達目標)

Students will study and practice in order to have a working knowledge of English. Working knowledge includes both oral and written communication. Practice and improvement in both will be expected. Additionally, classwork, fieldwork, and homework related to the 'Smile Cambodia' project is expected. This may include planning, creation, and implementation of donation collections as well as communication with persons or organizations involved with Cambodia.

授業概要(教育目的)

This class aims to allow students the opportunity for efficient English improvement by way of an online English learning system. This will improve both speed and efficiency in learning. This class will also support the students' language skills and help motivate them by offering a lasting record of their efforts in the community long after they have graduated (via the smartphone application). Through these methods, students will gain an awareness of the overall linguistic skills necessary to function in an English-speaking environment.

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

年間を通じて、ゼミ活動での発揮度や協力度、英語での進歩や動力；個人のディスカッション容、英語でのプレゼンテーションを発表するなどにより総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

オンライン教材でのユーセージデーターはいつもアクセスできる。提示する課題を返し

参考文献

講義時使用テキスト

English Central」オンライン教材
参考文献は全て授業中に紹介する。英和・和英辞典を毎回持参すること。
電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

資格との関連

学生へのメッセージ

ゼミでの授業、活動、宿題、個人研究は全て英語のみですから英語を上達したい学生が申し込んで下さい。積極的に自らの考え方、研究、発表などが自分で伝わりたい気持ちや勇気が大切です。授業以外は倍以上の宿題がありますから、時間をかけたい学生は英語力には恩恵となります。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	A: Class Explanation B: Finding Lost Worlds	Class Explanation & Introductions Task	Class Explanation & Introductions Task
2	Are you a Good Liar?	Opening Journaling	Closing Journaling
3	Santa's Magical Sleigh	Opening Journaling	Closing Journaling
4	Science is for Girls, too	Opening Journaling	Closing Journaling
5	Date your Hypothesis, Never Marry it	Opening Journaling	Closing Journaling
6	Why do we Laugh?	Opening Journaling	Closing Journaling
7	The iPhone 6 Health App	Opening Journaling	Closing Journaling
8	Cat Videos Keep the Doctor Away	Opening Journaling	Closing Journaling
9	Lose Weight with Small Plates	Opening Journaling	Closing Journaling
10	Clenching Fists Boosts Memory	Opening Journaling	Closing Journaling
11	Never Too Young for Science	Opening Journaling	Closing Journaling
12	The Distracted Mind	Opening Journaling	Closing Journaling
13	From Trash to Trendy	Opening Journaling	Closing Journaling
14	And They Finally Meet	Opening Journaling	Closing Journaling
15	Presentations	Opening Journaling	Closing Journaling

講義名	2020025206 研究演習Ⅳ　田中ゼミ ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田中　哲			

学習目標(到達目標)

2023年度の本演習は、複式簿記の理論的に研究しつつ、日商3級レベルの処理を習得することを目的とする。テキストを熟読し、理解し、さらに自らの言葉で、的確に問題の要請する解答を書くことのできる能力を必要とする。そのことは同時に、「社会人基礎力」を養成することにもつながっていく。

本演習に参加するゼミナリステンは、それぞれの段階の「試験合格」という目標を持った学修を進めていく。さらに、財務諸表を作成する力、読み込む力も身につけることが可能となる。これは、自らの「就職力」を高めていくことにつながっていくと確信する。

将来職業イメージとしては、職業会計人（税理士、国税専門官など）や一般企業の財務・経理担当者、営業職、自治体の財政課職員などである。

授業概要(教育目的)

【年次計画】

＜2年次＞第一に、日本商工会議所簿記検定3級に合格することを目標として、要点の説明を行い、練習問題に取り組む。答え合わせも含めた解説を行い、合格の実力を養成する。第二に、3級に合格した後は2級に挑戦する実力を身に付ける努力をする。

＜3年次＞引き続き資格取得を目標として、理論的関心及び簿記論挑戦の基礎学力を養う。そのため日商2級に合格する実力を養う。平行して、就職活動準備及び実践に取り組む。

＜4年次＞税理士試験（簿記論）受験の基礎学力習得ため、引き続き日商2級合格を目指す。就職活動も引き続き行う。さらに、卒業論文に取り組み、完成させ、発表する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

全ての年次において、出席し、まじめに練習問題に取り組むこと、積極的に発表することが評価の基本である。

課題に対するフィードバック

練習問題逐行ごとに解答する。

参考文献

講義時使用テキスト

『スッキリわかる日商簿記2級　工業簿記　第11版』TAC出版

資格との関連

日商簿記2級

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】

自ら決めた目標に挑戦し、それをやり遂げていく実力を身につけるため、堪えざる努力をして欲しい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	第1回　工業簿記の基礎	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
2	第2回　材料費	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
3	第3回　労務費	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
4	第4回　経費	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
5	第5回　個別原価計算	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
6	第6回　部門別個別原価計算	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
7	第7回　総合原価計算①	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
8	第8回　総合原価計算②	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
9	第9回　総合原価計算③	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
10	第10回　工業簿記における財務諸表	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
11	第11回　本社工場会計	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
12	第12回　標準原価計算①	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
13	第13回　標準原価計算②	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
14	第14回　直接原価計算①	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
15	第15回　直接原価計算②	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020025209 研究演習Ⅳ　村本ゼミ ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	村本　卓			

学習目標(到達目標)

・地理情報システムに関する実践的な知識を修得し、ビジネスに活用することができる。
・データ可視化のためのWebページを作成することができる。

授業概要(教育目的)

従来インターネットを利用したコンテンツ配信を実現するためには、高速大容量な回線・高性能なサーバ機器を必要としてきたが、近年、クラウドコンピューティングにより、自前で情報システムを整備することなくシステム構築ができるようになりつつある。また、動画共有サイト等を利用して個人が簡単に情報配信することも可能となり、この仕組みをビジネスに有効活用しようとする取り組みも増えている。
本ゼミでは、デジタルコンテンツの編集技術やそれらを配信する仕組みについて調査・研究し、大学内や地域での活用を目的としたデジタルコンテンツ管理システムの構築・運用を行いながら、実践的な知識の習得とビジネスへのIT活用能力を培う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

活動調査に関するレポート作成・プレゼンテーション、資格試験への取り組みを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

はちキャンWebにてコメントするとともに、次の授業でフィードバックする。

参考文献

講義時に適宜紹介する。

講義時使用テキスト

使用しない。はちがくキャンパスWebに授業資料を掲載する。

資格との関連

学生へのメッセージ

ITパスポート試験、基本情報技術者試験合格を目標とすること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究演習用グループウェアの活用説明	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
2	オープンデータの利活用①(グループワーク:概要)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
3	オープンデータの利活用②(グループワーク:公開状況の調査)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
4	統計GISによる地域分析①(グループワーク:地域分析事例調査)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
5	統計GISによる地域分析②(GISの基本操作)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
6	統計GISによる地域分析③(レイヤの作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
7	統計GISによる地域分析④(属性・空間検索)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
8	統計GISによる地域分析⑤(レポート作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
9	プレゼンテーション(地域分析発表)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
10	JavaScriptによるデータ可視化①(JavaScriptの基本1)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
11	JavaScriptによるデータ可視化②(JavaScriptの基本2)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
12	JavaScriptによるデータ可視化③(グループワーク:企画)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
13	JavaScriptによるデータ可視化④(グループワーク:ページデザイン)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
14	JavaScriptによるデータ可視化⑤(プログラム記述)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。
15	プレゼンテーション(オープンデータの活用)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・レポート課題が提示された場合は、期限までに提出すること。

講義名	2020025212 研究演習Ⅳ　奈良ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	奈良　卓			

学習目標(到達目標)

3年次「研究演習」(秋学期)の到達目標は、以下の3点である。
⑤財政に関する各種指標の意味、考え方、また、それらの指標を収録した統計資料の見方、仕組みを学んでいただくとともに、とりわけ私たちが生まれ育ったふるさとの財政の状況を理解していただく。
⑥経済学に関わる様々な問題をカバーする書籍、雑誌記事、論文等を題材とし、輪読する方法の基礎を学んでいただく。
⑦卒業論文計画書の作成方法を学んでいただく。

授業概要(教育目的)

経済学的ものの見方、考え方を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

レジュメの作成、発表、その他の課題等々、ふだんのゼミにおける取組状況を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミの中での各自の発表に対し、また、発表する際に、各自が作成し、使用したレジュメに対し、ゼミの中で、随時、講評し、アドバイスを贈る。

参考文献

ゼミの中で随時、紹介する。

講義時使用テキスト

以下の2点を、章ごとに作成、配布し、教材として用いる。
①担当教員作成のテキスト(「研究演習」要項)
②上記①に付随する統計資料(「研究演習」要項別表・別図)
上記2点については、USBで配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

奈良ゼミでは、データを分析、レジュメの作成等を円滑に行うため、ゼミにノートパソコンを持参し、利用していただきます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	秋学期3年次ゼミ(「研究演習Ⅳ」)の進め方。	・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
2	財政に関する各種指標の考察と統計資料の見方。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
3	財政に関する各種指標の考察と統計資料の見方。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
4	財政に関する各種指標の考察と統計資料の見方。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
5	財政に関する各種指標の考察と統計資料の見方。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
6	財政に関する各種指標の考察と統計資料の見方。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
7	財政に関する各種指標の考察と統計資料の見方。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
8	財政に関する各種指標の考察と統計資料の見方(各自発表)。	・発表に備え、レジュメを見直す。 ・発表の際、強調して説明するポイントを確認する。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
9	経済学に関わる文献を輪読する方法(基礎編)。	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
10	経済学に関わる文献を輪読する方法(基礎編:各自発表)。	・発表に備え、レジュメを見直す。 ・発表の際、強調して説明するポイントを確認する。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
11	経済学に関わる文献を輪読する方法(基礎編:各自発表)。	・発表に備え、レジュメを見直す。 ・発表の際、強調して説明するポイントを確認する。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
12	経済学に関わる文献を輪読する方法(基礎編:各自発表)。	・発表に備え、レジュメを見直す。 ・発表の際、強調して説明するポイントを確認する。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
13	経済学に関わる文献を輪読する方法(基礎編:各自発表)。	・発表に備え、レジュメを見直す。 ・発表の際、強調して説明するポイントを確認する。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
14	経済学に関わる文献を輪読する方法(基礎編:各自発表)。	・発表に備え、レジュメを見直す。 ・発表の際、強調して説明するポイントを確認する。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
15	経済学に関わる文献を輪読する方法(基礎編:各自発表)。	・発表に備え、レジュメを見直す。 ・発表の際、強調して説明するポイントを確認する。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。

講義名	2020025213 研究演習Ⅳ　坂本ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	坂本　貴博		

学習目標(到達目標)

ICT活用方法について理解し、「問題解決」のため色々と試し、楽しみながら情報や情報技術を適切に活用できる。
ICT活用技術としての各種アプリケーションソフトウェアやネットワークの利活用ができる。

授業概要(教育目的)

コンピュータは「電子計算機」と呼ばれていたように、計算の道具として開発されましたが、今では、表現やコミュニケーションの道具として、私たちの日常生活をより豊かにしてくれるようになりました。さらにインターネットの普及拡大に伴い、情報通信技術(Information Communication Technology:ICT)の活用は、クラウドコンピューティングやユビキタスネットワークを中心とする新たな時代になっています。
社会人となる学生にとっては、ICT活用方法について理解し、基礎的能力を身につけておく必要があります。どんな仕事にも難題があるように、近年の社会では「問題解決能力」が求められ、ICTの利活用についても「作る技術」よりも、「使う技術」が求められるようになって来ています。「問題解決」のため色々と試し、楽しみながら情報や情報技術を適切に活用できることが重要な力だと思います。それには、情報や情報技術の知識だけでなく、課題を見つけ出し、仮説を立て、試行錯誤を繰り返しながら、答えに近づいていく、という力が必要です。
本ゼミでは、社会人として身につけるべきICTの知識やICT活用技術としての各種アプリケーションソフトウェアやネットワークの利活用方法を中心に考察します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

●課題への取り組み態度・達成度を総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること

参考文献

講義時使用テキスト

適時、配布・説明。

資格との関連

学生へのメッセージ

●学内外からインターネット利用可能なノートパソコン利用しますので準備してください。
●社会のあらゆる分野に興味を持つことと、自身が設定したテーマについては情報の収集、整理、分析等に積極的に取り組む姿勢が必要です。
●情報通信技術(ICT)を理解し、活用できる基礎的能力を身につけ、未来をともに切り開いていきましょう。
●無断欠席不可。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	データ分析の必要性(演習)	授業内容について演習の準備を行う	演習課題を作成する
2	データの種類と尺度(演習)	授業内容について演習の準備を行う	演習課題を作成する
3	代表値(平均と中央値)(演習)	授業内容について演習の準備を行う	演習課題を作成する
4	関数によるデータ集計手法 (演習)	授業内容について演習の準備を行う	演習課題を作成する
5	ピボットテーブルによるデータ集計手法 (演習)	授業内容について演習の準備を行う	演習課題を作成する
6	度数分布表とヒストグラム(演習)	授業内容について演習の準備を行う	演習課題を作成する
7	累積相対度数とパレート分析(演習)	授業内容について演習の準備を行う	演習課題を作成する
8	分散と標準偏差 (演習)	授業内容について演習の準備を行う	演習課題を作成する
9	基準値と偏差値 (演習)	授業内容について演習の準備を行う	演習課題を作成する
10	正規分布とシグマの法則(演習)	授業内容について演習の準備を行う	演習課題を作成する
11	散布図と相関 (演習)	授業内容について演習の準備を行う	演習課題を作成する
12	回帰分析 (演習)	授業内容について演習の準備を行う	演習課題を作成する
13	重回帰分析 (演習)	授業内容について演習の準備を行う	演習課題を作成する
14	推測統計 (演習)	授業内容について演習の準備を行う	演習課題を作成する
15	点推定と区間推定 (演習)	授業内容について演習の準備を行う	演習課題を作成する

講義名	2020025215 研究演習Ⅳ　根城ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	根城　隆幸			

学習目標(到達目標)

高等学校教育が抱える様々な問題を自主的に考え、調べ、分析し、発表することを通じて、教師として必要な資質能力を身に付け、生徒に対する教育的愛情と責任感を持ち、社会から尊敬・信頼される人材を育成する。

授業概要(教育目的)

学校が求める人材を模索し、高等学校商業教育の理論と実践を考察するとともに、学生自身の卒業後のライフ・プランニング(人生設計等)にも取り組んでいく。
週1回のゼミナールでは、(1)課題学習及び最新事情 (2)個人研究の経過報告を中心に、学生自身の課題解決に向けて実施する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

授業態度、課題提出、課題発表等により総合的に判断する

課題に対するフィードバック

学生同士で協議し、指導方法を学ぶ

参考文献

「最新段階式　日商簿記検定問題集」　実教出版
「情報処理検定・模擬試験問題集」　実教出版

講義時使用テキスト

資格との関連

日本商工会議所主催　簿記検定試験
全国商業高等学校協会主催　情報処理検定試験

学生へのメッセージ

高等学校教員免許(商業・情報)を取得するための資質能力の向上を目指す。

実務との関連

高等学校の商業科教諭として青森県内の高等学校や県教育委員会に勤務。実務経験をもとに商業教育の実務について指導する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	簿記:現金・現金過不足 情報:模擬問題1	簿記の要点を読む 模擬問題の内容を把握する	簿記・情報の内容を振り返る
2	簿記:当座預金 情報:模擬問題2	簿記の要点を読む 模擬問題の内容を把握する	簿記・情報の内容を振り返る
3	簿記:小口現金 情報:模擬問題3	簿記の要点を読む 模擬問題の内容を把握する	簿記・情報の内容を振り返る
4	簿記:商品売買 情報:模擬問題4	簿記の要点を読む 模擬問題の内容を把握する	簿記・情報の内容を振り返る
5	簿記:仕入帳・売上帳 情報:模擬問題5	簿記の要点を読む 模擬問題の内容を把握する	簿記・情報の内容を振り返る
6	簿記:商品有高帳 情報:模擬問題6	簿記の要点を読む 模擬問題の内容を把握する	簿記・情報の内容を振り返る
7	簿記:売掛金・買掛金 情報:模擬問題7	簿記の要点を読む 模擬問題の内容を把握する	簿記・情報の内容を振り返る
8	簿記:貸し倒れ・貸倒引当金 情報:模擬問題8	簿記の要点を読む 模擬問題の内容を把握する	簿記・情報の内容を振り返る
9	簿記:受取手形・支払手形 情報:模擬問題9	簿記の要点を読む 模擬問題の内容を把握する	簿記・情報の内容を振り返る
10	簿記:その他の債権・債務 情報:模擬問題10	簿記の要点を読む 模擬問題の内容を把握する	簿記・情報の内容を振り返る
11	簿記:有価証券 情報:模擬問題11	簿記の要点を読む 模擬問題の内容を把握する	簿記・情報の内容を振り返る
12	簿記:固定資産・減価償却 情報:模擬問題12	簿記の要点を読む 模擬問題の内容を把握する	簿記・情報の内容を振り返る
13	簿記:営業費 情報:模擬問題13	簿記の要点を読む 模擬問題の内容を把握する	簿記・情報の内容を振り返る
14	簿記:資本金・引出金 情報:模擬問題14	簿記の要点を読む 模擬問題の内容を把握する	簿記・情報の内容を振り返る
15	簿記:税金 情報:模擬問題15	簿記の要点を読む 模擬問題の内容を把握する	簿記・情報の内容を振り返る

講義名	2020025216 研究演習Ⅳ　幸田ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	幸田　威久矢			

学習目標(到達目標)

・会計学に関する研究を通じて、社会人に必要な情報の収集方法、資料の作成方法およびプレゼンテーション能力を習得する。
・簿記に関して正確かつ迅速な会計処理ができるよう、日商簿記検定試験2級程度の知識を習得する。

授業概要(教育目的)

2年次に引き続き、会計理論の知識(専門的、応用的)習得および計算能力向上に加え、自己の研究(卒業論文)に向け、研究課程の中で興味や関心のあるテーマについて検討を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

ゼミへの貢献度、課題の提出状況、発表内容などから総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

桜井久勝『財務会計講義(第23版)』中央経済社
上野清貴『財務会計の基礎(第5版)』中央経済社

講義時使用テキスト

新井清光・川村義則『新版 現代会計学(第3版)』中央経済社

資格との関連

日商簿記検定試験2級、3級

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
・本演習は、出席が大前提であり、無断欠席・遅刻は厳禁である。
・検定試験の取得に真剣に取り組むことのできる学生、ならびに会計学を学ぶ意欲の高い学生を歓迎する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	現金主義会計と発生主義会計①(収益・費用の認識と測定)	テキストに目を通す。	テキストの関連箇所を読む。
2	現金主義会計と発生主義会計②(現金主義会計)	前回の授業の内容、論点を整理する。	テキストの関連箇所を読む。
3	現金主義会計と発生主義会計③(発生主義会計:発生原則)	前回の授業の内容、論点を整理する。	課題のレポートを作成する。
4	現金主義会計と発生主義会計④(発生主義会計:実現原則)	前回の授業の内容、論点を整理する。	課題のレポートを作成する。
5	資産評価の基準①(諸基準)	前回の授業の内容、論点を整理する。	テキストの関連箇所を読む。
6	資産評価の基準②(取得原価)	前回の授業の内容、論点を整理する。	テキストの関連箇所を読む。
7	資産評価の基準③(割引現在価値)	前回の授業の内容、論点を整理する。	課題のレポートを作成する。
8	財務諸表の体系	前回の授業の内容、論点を整理する。	課題のレポートを作成する。
9	損益計算書①(表示原則)	前回の授業の内容、論点を整理する。	テキストの関連箇所を読む。
10	損益計算書②(包括利益の測定と表示)	前回の授業の内容、論点を整理する。	課題のレポートを作成する。
11	貸借対照表①(諸概念)	前回の授業の内容、論点を整理する。	テキストの関連箇所を読む。
12	貸借対照表②(純資産の構成)	前回の授業の内容、論点を整理する。	課題のレポートを作成する。
13	貸借対照表③(払込資本)	前回の授業の内容、論点を整理する。	テキストの関連箇所を読む。
14	株主資本等変動計算書	前回の授業の内容、論点を整理する。	課題のレポートを作成する。
15	キャッシュ・フロー計算書	前回の授業の内容、論点を整理する。	課題のレポートを作成する。

講義名	2020025218 研究演習Ⅳ　髙須ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	髙須　則行			

学習目標(到達目標)

現代社会における紛争解決の最終的手段である司法の在り方とそこで用いられている法的思考の道具立てを理解することを目的とする。

授業概要(教育目的)

本研究演習Ⅳは、行政法を中心に、基本書、判例などを読み解くことで、行政法上の具体的事件を解決するための妥当な結論がどのように導き出されているかを理解することで、法的思考を涵養する。そして、最終的には資格試験、公務員試験などの法的問題にも対応できる能力を身につけることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

定期試験・小テストなどを総合して評価する。

課題に対するフィードバック

小テストを採点のうえ返却する。

参考文献

授業中、適宜、参考文献を指示する。

講義時使用テキスト

特になし。授業中に資料を渡します。

資格との関連

公務員試験、行政書士等の基礎的知識

学生へのメッセージ

必ず出席することが基本となる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	行政法の基本構造	テテキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
2	行政法の基本原理と行政上の法律関係	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
3	行政組織法	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
4	行政作用法(1)行政行為の意義と効力	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
5	行政作用法(2)行政行為の種類と、瑕疵論、取消と撤回	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
6	行政作用法(3)行政裁量、行政立法	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
7	行政作用法(4)行政契約、行政指導	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
8	行政手続と行政法上の強制	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
9	行政救済法の仕組みと国家賠償(1)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
10	国家賠償(2)と損失補償	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
11	行政事件訴訟法(1)概観と取消訴訟	テテキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
12	行政事件訴訟法(2)取消訴訟の審理、判決、執行停止	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。テキストの該当箇所を読む。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
13	行政事件訴訟法(3)その他の訴訟	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
14	行政不服申立て	テテキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。
15	地方自治	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、論点をレポートにまとめる。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020025220 研究演習Ⅳ　崔ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	崔　桓碩			

学習目標(到達目標)

本研究演習では、「学術論文の書き方」について続いて解説する。研究演習Ⅲでの開設が卒業論文を作成するに当たって、基礎的な内容だったとすれば、本研究演習ではその内容をさらに深め、実際に論文を作成する観点から解説を進める。また、同時並行に論文も作成し始める。

授業概要(教育目的)

本研究演習では、参考文献として取り上げている『これから研究を書くひとのためのガイドブック』の内容に基づき、研究演習Ⅲで学習した残りの部分を続いて学習する。自分が決めた1つのテーマに従い、どのような研究方法を採るのかを実際に決めていただき、先行研究のリサーチも含め、論文作成に取り組む。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

研究演習に臨む態度(コミュニケーションなど)と卒業論文の内容により評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

1. 佐渡島紗織『これから研究を書くひとのためのガイドブック』ひつじ書房

講義時使用テキスト

レジュメ配布

資格との関連

学生へのメッセージ

まずは本研究演習の内容である「保険」について関心を持っていること。そしてその内容について学びたい意欲があること。最後に3年間まじめに続けられること。本研究演習における学習上の留意点としては、この3つが大事である。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	学術論文とは何か―「文献研究」「実証研究」	・授業内容についてインターネットで調べる	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
2	文献研究と実証研究の性質と選択、論文の構成	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
3	テーマの選択	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
4	領域の下調べをする	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
5	アウトラインを考える	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
6	一回目の序論ろ書く	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
7	一次資料と二次資料	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
8	情報を整理する	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
9	画像を読む	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
10	データを読む	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
11	結論を書く	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
12	一回目の序章を書く	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
13	先行研究の章を書く	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
14	研究方法を決める	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
15	研究方法の章を書く	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020025221 研究演習Ⅳ　田村ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田村　正文			

学習目標(到達目標)

文献の講読を通じて、各自で都市・地域が抱える課題について見出し、その解決策を考える事ができるようになることを目標とする。

授業概要(教育目的)

近年、ニュースや新聞などで「地域再生」、「地域活性化」等に資する報道やデータを頻繁に目にする。同時に例えばB級グルメなどに見られるように、地域住民が主体的となって行動し、自らが地域をマネジメントする(地域経営)の役割が大きくなっているともいえる。しかし、地域再生、地域活性化について自分なりに考えてみたところで、過疎化の問題、中心商店街の活性化、地域産業(農業や水産業などの第一次産業)の若年層の雇用、B級グルメ、地域交通、地域観光政策などから垣間見る様々な「切り口」があり、どのように展開すべきか、どのように取り組めばよいのかという課題に直面する。しかし、上述したような課題が多いというのも地域研究の間口の広さであるともいえよう。

そこで研究演習Ⅳにおいては、春学期の研究演習Ⅲに引き続き、文献の講読を通じて、現在における都市・地域再生・活性化に関して理解する。先行文献を読み解くことで、各自が客観的にそれぞれの地域が抱えている問題点を浮き彫りにし、それをどのように解決するべきか、についてゼミナリステンが各自で考えることとする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

発表内容およびレポートの提出に基づき評価を行う。

課題に対するフィードバック

レポート・課題については、採点の上、各自返却する。

参考文献

ジェイン・ジェイコブズ著, 中村達也訳(2012)『発展する地域衰退する地域』, ちくま学芸文庫.
ジェイン・ジェイコブズ著, 黒川紀章訳(1977)『アメリカ大都市の死と生』, 鹿島出版会.

講義時使用テキスト

使用せず。必要に応じて資料を配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
情報処理基礎、情報処理応用での基本的な内容を身に着けていること.
データ分析をはじめ、情報関連の授業を履修すること.
欠席はできる限りしない事.
演習は、ゼミナリステンが主体であることを理解する事.

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究演習Ⅳの概要についての説明	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
2	ジェイン・ジェイコブズ『発展する地域・衰退する地域』の講読 ①:第1章	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
3	ジェイン・ジェイコブズ『発展する地域・衰退する地域』の講読 ②:第2章	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
4	ジェイン・ジェイコブズ『発展する地域・衰退する地域』の講読 ③:第3章	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
5	ジェイン・ジェイコブズ『発展する地域・衰退する地域』の講読 ④:第4章	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
6	ジェイン・ジェイコブズ『発展する地域・衰退する地域』の講読 ⑤:第5章	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
7	ジェイン・ジェイコブズ『発展する地域・衰退する地域』の講読 ⑥:第6章	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
8	ジェイン・ジェイコブズ『発展する地域・衰退する地域』の講読 ⑦:第7章	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
9	ジェイン・ジェイコブズ『発展する地域・衰退する地域』の講読 ⑧:第8章	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
10	ジェイン・ジェイコブズ『発展する地域・衰退する地域』の講読 ⑨:第9章	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
11	ジェイン・ジェイコブズ『発展する地域・衰退する地域』の講読 ⑩:第10章	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
12	ジェイン・ジェイコブズ『発展する地域・衰退する地域』の講読 ⑪:第11章	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
13	ジェイン・ジェイコブズ『発展する地域・衰退する地域』の講読 ⑫:第12章	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
14	ジェイン・ジェイコブズ『発展する地域・衰退する地域』の講読 ⑬:第13－14章	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
15	講読文献の視点の整理	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。

講義名	2020025222 研究演習Ⅳ　加来ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	加来　聡伸		

学習目標(到達目標)

①社会調査とは何かを理解し、調査を実施できる能力を身につける。

授業概要(教育目的)

研究演習Ⅲを踏まえ、具体的に地域の課題を見出すために社会調査の手法を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

課題・レジュメの作成内容、授業中の発言等、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

適宜、プリント等の資料を配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
ゼミ学習では、基本的に自主的な学習を基礎に運営するため予習は必ず行ってくること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 社会調査とは	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	2. 社会調査の事前準備	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	3. 社会調査の設計・企画	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	4. 社会調査の基本ルール	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	5. 調査票の作成	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	6. サンプリングの原理	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	7. サンプリングの種類と方法	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	8. 調査票調査のプロセスとデータ化作業	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	9. 調査結果の基礎的な分析	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	10. 質的調査の方法	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	11. 質的調査の実践	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	12. 社会調査の企画・設計の作成(資料収集、目的の設定)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	13. 社会調査の企画・設計の作成(調査票の作成)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	14. 社会調査の企画・設計の作成(発表)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	15. 社会調査の企画・設計の作成(修正・再構成)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	2020025228 研究演習Ⅳ　鶴見ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	鶴見　浩一郎			

学習目標(到達目標)

・学生が研究を行うために必要な情報を適切な方法で検索できる。
・学生が研究を行うために得た情報を適切な方法で整理できる。
・学生が研究計画を立てることができる。

授業概要(教育目的)

〈2年次〉 新規水産物「フジツボ」の基本的理解、飼育技術、新規商品開発とは何か、
　　需要調査、流通調査、Web企画製作
〈3年次〉 生産現場調査、市場調査、販売調査、ブランド企画などを加える
〈4年次〉 それまでの各人の調査・研究を基に、関心のあるテーマについてレポート・論文作成

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

達成目標を総合的に勘案し、評価を行う。

課題に対するフィードバック

課題(レポート)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

適宜紹介する。

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
　ゼミ学習では、基本的に自主的な学習を基礎に運営するため予習は必ず行ってくること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	収集した文献の整理①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
2	収集した文献の整理②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
3	収集した文献の整理③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
4	収集した文献の整理④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
5	収集した文献の整理⑤	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
6	収集した文献の整理⑥	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
7	入手した文献の内容紹介①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
8	入手した文献の内容紹介②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
9	入手した文献の内容紹介③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
10	入手した文献の内容紹介④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
11	入手した文献の内容紹介⑤	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
12	研究計画書作成①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
13	研究計画書作成②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
14	研究計画書作成③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
15	研究計画書作成④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。

講義名	2020025230 研究演習Ⅳ　堤ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	堤　静子			

学習目標(到達目標)

・学生が研究を行うために必要な情報を適切な方法で検索できる。
・学生が研究を行うために得た情報を適切な方法で整理できる。
・学生が研究計画を立てることができる。

授業概要(教育目的)

地域活性化、地域力アップのための国内外の地域事例を学ぶとともに、積極的に地域へ出かけ、自分の目で見て、聞いて、調べるというフィールドワークを主体とします。地域を知ることは、様々な人を知る良い機会となるだけではなく、多くの人と交流することでコミュニケーション能力が高まります。また、様々な地域課題を適切に掘り起し、課題解決策を考え、提言していく力を身につけていくことにつながります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

達成目標を総合的に勘案し、評価を行う。

課題に対するフィードバック

課題(レポート)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

適宜紹介する。

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
ゼミ学習では、基本的に自主的な学習を基礎に運営するため予習は必ず行ってくること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	収集した文献の整理①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
2	収集した文献の整理②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
3	収集した文献の整理③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
4	収集した文献の整理④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
5	収集した文献の整理⑤	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
6	収集した文献の整理⑥	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
7	入手した文献の内容紹介①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
8	入手した文献の内容紹介②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
9	入手した文献の内容紹介③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
10	入手した文献の内容紹介④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
11	入手した文献の内容紹介⑤	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
12	研究計画書作成①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
13	研究計画書作成②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
14	研究計画書作成③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
15	研究計画書作成④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。

講義名	2020025231 研究演習Ⅳ　馬場ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	馬場　祥次			

学習目標(到達目標)

フィールドワーク、ディスカッションおよびプレゼンテーション能力の習得。
研究報告。ゼミ論文の作成。

授業概要(教育目的)

地域活性化、地域力アップのための国内外の地域事例を学ぶとともに、積極的に地域へ出かけ、自分の目で見て、聞いて、調べるというフィールドワークを主体とします。地域を知ることは、様々な人を知る良い機会となるだけではなく、多くの人と交流することでコミュニケーション能力が高まります。また、様々な地域課題を適切に掘り起し、課題解決策を考え、提言していく力を身につけていくことにつながります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

ゼミ活動におけると取組姿勢やディスカッション、プレゼンテーション、論文等により総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

課題は採点、コメントの上返却します。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	フィールドワークについて	シラバスを確認する	配付資料を読み直す
2	昨年度のフィルードワークのふりかえり①【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
3	昨年度のフィルードワークのふりかえり②【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
4	労働力補完システム構築のための基礎調査①【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
5	労働力補完システム構築のための基礎調査②【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
6	労働力補完システム構築のための基礎調査③【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
7	労働力補完システム構築のための基礎調査④【三戸町】	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
8	農作業の形式化、マニュアル化①企画	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
9	農作業の形式化、マニュアル化②記録	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
10	農作業の形式化・マニュアル化③撮影	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
11	農作業の形式化・マニュアル化④編集・まとめ	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
12	農作業の形式化・マニュアル化⑤報告	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
13	地域経営課題の掘り起こしについて	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
14	地域経営課題解決のための方策検討について	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
15	フィールドワークの総まとめ	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す

講義名	2020025232 研究演習Ⅳ　井上ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	井上　丹		

学習目標(到達目標)

特定の地域を選び、その地域が活性化するための事業計画や企画開発を構築し実施することで、実社会の現場でも役に立つ企画提案力やコミュニケーション能力を身につける。

授業概要(教育目的)

関係各所との調整を行い、フィールドワークやアンケート調査によって情報を収集し、分析結果をもとに企画を構築。それを関係者へ提案し実施、振り返りを行い、最終成果を発表する。事業や企画を検討する際にはマーケティングやマネジメント知識を活用し、提案や発表する際には広報戦略や持続可能性を考える。また、活動を通して地域でのキャリアについても検討していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

ゼミ活動におけると取組姿勢やディスカッション、プレゼンテーション、レポート等により総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

課題は採点やコメントした上で返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

机上の学問だけではなく、地域全体を学びのフィールドとすることが大切だと考えている。講義時間以外で学外でのフィールドワークを行うこともある。社会に出てから体験することは非常に難しく、学生だからこそ体験できる貴重な学びの機会である。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	事業計画内容の確認とスケジュール調整	自分自身について振り返り、整理しておく	配付資料を読み直す
2	フィールドワーク①事業実施準備	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
3	フィールドワーク②事業実施	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
4	フィールドワーク③事業実施(調査)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
5	振り返り(効果検証)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
6	事業計画の見直し	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
7	フィールドワーク④事業実施準備2回目	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
8	フィールドワーク⑤事業実施2回目	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
9	フィールドワーク⑥事業実施(調査)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
10	振り返り(効果検証2回目)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
11	事業報告書作成に向けた討論(グループワーク)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
12	事業報告書作成	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
13	事業報告書に基づく成果発表資料作成	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
14	成果発表会	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
15	発表会振り返り	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す

講義名	2020025233 研究演習Ⅳ　横田ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	横田　将志			

学習目標(到達目標)

①国際社会に関する研究課題を自ら設定できるようになる。
②先行研究を検討し、その意義を把握したうえで、問題点を指摘できるようになる。
③研究目的に沿った分析手法を選択し、仮説を立てることができるようになる。

授業概要(教育目的)

私たちは、国際社会のなかで暮らし、世界のさまざまな出来事から影響を受けるだけではなく、地球的諸問題の解決に貢献することも可能である。国際社会の課題に取り組んでいくためには、その現状と背景・要因を自ら読み解くことが求められる。本演習では、この点を踏まえ、履修者が各自選択した事例を題材として、地球的諸問題の因果関係を把握するために必要な能力を習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

発表や報告の内容、ディスカッションでの発言などを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

発表の際にコメントするとともに、レポートに対してフィードバックを行う。

参考文献

授業のなかで適宜紹介する。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

学生へのメッセージ

ゼミナール(研究演習)は、大学生活のなかで最も重要な活動の1つであり、学生を主体として進めていく。そのため、積極的な参加と自主的に研究を進めていくことが求められる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	学術論文の書き方①	配布資料を読んでおく。	授業内容を整理しておく。
2	学術論文の書き方②	配布資料を読んでおく。	授業内容を整理しておく。
3	研究対象の選定①	卒業研究で扱うテーマとその選定理由を説明できるようにしておく。	アドバイスを踏まえ、テーマを再検討する。
4	研究対象の選定②	卒業研究で扱うテーマとその選定理由を説明できるようにしておく。	アドバイスを踏まえ、テーマを再検討する。
5	先行研究の調査①	インターネット上のデータベース等を用いて、テーマに関連する文献を検索しておく。	文献を入手し、精読する。
6	先行研究の調査②	インターネット上のデータベース等を用いて、テーマに関連する文献を検索しておく。	文献を入手し、精読する。
7	先行研究の検証①	先行研究の内容をノート等に整理し、説明できるようにしておく。	先行研究の課題を指摘できるようにしておく。
8	先行研究の検証②	先行研究の内容をノート等に整理し、説明できるようにしておく。	先行研究の課題を指摘できるようにしておく。
9	先行研究の検証③	先行研究の内容をノート等に整理し、説明できるようにしておく。	先行研究の課題を指摘できるようにしておく。
10	研究手法の選定①	国際関係理論についての理解を深めておく。	アドバイスを踏まえて、卒業研究にてどの理論を用いるか考える。
11	研究手法の選定②	国際関係理論についての理解を深めておく。	アドバイスを踏まえて、卒業研究にてどの理論を用いるか考える。
12	研究手法の選定③	国際関係理論についての理解を深めておく。	アドバイスを踏まえて、卒業研究にてどの理論を用いるか考える。
13	仮説の設定①	卒業研究にて何をどう明らかにするのか説明できるようにしておく。	アドバイスを踏まえて、仮説を修正する。
14	仮説の設定②	卒業研究にて何をどう明らかにするのか説明できるようにしておく。	アドバイスを踏まえて、仮説を修正する。
15	仮説の設定③	卒業研究にて何をどう明らかにするのか説明できるようにしておく。	アドバイスを踏まえて、仮説を修正する。

講義名	2020025234 研究演習Ⅳ　アンソニーゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	グレゴリー・アンソニー			

学習目標(到達目標)

The objective of this research seminar is to improve students' practical English skills, develop learner autonomy, and provide a deeper understanding of foreign cultures, while considering Japan's position through a global perspective in order to prepare and empower students for their lives in a rapidly globalizing Japan.

授業概要(教育目的)

As contending with the English language online, in technology, and with international media can be some of the most immediate and relevant challenges for many Japanese adults, this research seminar aims to employ various technologies and online resources as tools to improve students' English ability, develop learner autonomy, and foster greater international awareness. This seminar requires students to join both an intensive English language study program as well as participate in the Aomori Global Academy in order to enhance communication ability and "glocalization" knowhow. Additionally, this seminar will examine the Sustainable Development Goals (SDG's) as established by the United Nations as well as considering Japan's and other nations' responsibilities and efforts towards realizing these goals. Even without future goals of studying or working overseas, this seminar's approach will enable students to become more capable and confident global citizens within Japan.

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域の産業構造や地場産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

年次計画通り、ゼミ活動の積極的な参加・テスト・宿題・タスク等の実施、英語でのやり取に懸命に取り組むこと。

ゼミ時間中・課題。宿題などでは、積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。タスクを完成するために、毎回必要な事柄を調べ、資料などを持参する。成績も第1日目から評価する。

課題に対するフィードバック

課題は講義中口頭でフィードバックする。
English Centralオンライン教材で各自の評価・工程等は確認できます。

参考文献

講義時使用テキスト

①「Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals (地球市民として生きる：英語でSDGs実践入門)」NAN'UN-DO (ISBN: 9784523179313)

②「English Central」オンライン教材(予約購読サービスのオンラインアクセスカード) ＊春学期の「研究演習I」と秋学期の「研究演習II」両方登録学生は1年間の予約購読になる。

＊アクティブラーニングの実施について:この講義にインターネット対応デバイス(スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン)を毎回持参すること。英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

資格との関連

①英語検定試験TOEIC(年2回受験)
②CNE1・CLASSMATE英語学習コースの参加・修了書(オンラインもしくは海外)(2年次)
③Aomori Global Academyの参加・修了書(3年次)

学生へのメッセージ

このゼミは基本英語で行う。ゼミの活動・内容・情報共有等の理解・動力するのはゼミ学生一人一人の必要条件。ゼミ学生も基本英語でのコミュニケーションが必要条件。

〈2年次〉〈3年次〉〈4年次〉
①メディアを通じて英語学習・異文化理解(ゼミ活動・プロジェクト等)
②英語検定試験(学内TOEIC等)を年2回受ける
③2年次の間、4週間以上フィリピンのCNE1学校・CLASSMATE等の集中英語学習コースを受講・完了
④3年次の間、青森県の「Aomori Global Academy」を受講・完了(年内週末x3回)
⑤4年次の間、英語で研究発表(プレゼンテーション)を実施

実務との関連

日本でのグローバル向け職業、日本で外国人の対応・英語に関わる職業
(日本でのグローバル向け・日本で外国人の対応・英語力(英語検定試験資格も含む))。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	Planning with Online Technologies and Systems Explanation A: Conversation Activity B: Discussion C: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	CALL - Computer Assisted Language Learning ① A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	SDGs – Insects ① A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	SDGs – Insects ② A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	Current News and Media ① A: Conversation Activity B: Investigate and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	CALL - Computer Assisted Language Learning ② A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	SDGs – Vegetarianism ① A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	SDGs – Vegetarianism ② A: Conversation Activity B: Listen and Review C: Read and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	Current News and Media ② A: Conversation Activity B: Investigate and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	CALL - Computer Assisted Language Learning ③ A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	SDGs - Plastic Waste ① A: Conversation Activity B: Listen and Review C: Read and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	SDGs - Plastic Waste ② A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	Current News and Media ③ A: Conversation Activity B: Investigate and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	CALL - Computer Assisted Language Learning ④ A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	Content Assessment and Planning A: Conversation Activity B: Discussion C: Feedback	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	2020025235 研究演習Ⅳ　大沢宥介ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	大沢　宥介		

学習目標(到達目標)

本研究演習では、ICT活用について理解し、将来教員を目指す学生や社会人として求められる実践的な能力や理論性の基礎を身につけるとともに、学校・教員を巡る様々な問題点を複合的に認識し、解決に向けた分析・解決能力を身につけられるようにする。

授業概要(教育目的)

今では、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。 学生には、求められる実践的な能力や理論性の基礎を身につけるとともに、現代における課題を見つけ出し解決する能力が求められます。
本研究演習では、将来、高校教員目指す学生および社会人としてコンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを中心に学んでいく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力、地域への理解、社会課題の発見力を身につけている。

評価方法

発表や報告の内容、ディスカッションでの発言などを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・レポート等、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
・成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

授業のなかで適宜紹介する。

講義時使用テキスト

随時、配付、説明。

資格との関連

ITパスポート

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
・事前の文献購読と積極的な意見交換を望む。
・インターネット利用可能なノートパソコンを利用しますので各自準備して下さい。
・無断欠席不可。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1.研究演習Ⅳについて	配布資料を読んでおく。	授業内容を整理しておく。
2	2.卒業論文に向けた到達目標	配布資料を読んでおく。	授業内容を整理しておく。
3	3.論文の基本構成について	配布資料を読んでおく。	アドバイスを踏まえ、テーマを再検討する。
4	4.論文作成の手順について	配布資料を読んでおく。	アドバイスを踏まえ、テーマを再検討する。
5	5.研究対象の選定(1)	インターネット上のデータベース等を用いて、テーマに関連する文献を検索しておく。	文献を入手し、精読する。
6	6.研究対象の選定(2)	インターネット上のデータベース等を用いて、テーマに関連する文献を検索しておく。	文献を入手し、精読する。
7	7.文献や資料の分析について	配布資料を読んでおく。	授業内容を整理しておく。
8	8.表記や引用のしかたについて	配布資料を読んでおく。	授業内容を整理しておく。
9	9.見出しのつけかたについて	配布資料を読んでおく。	授業内容を整理しておく。
10	10.図表の入れ方について	配布資料を読んでおく。	授業内容を整理しておく。
11	11.注のいれかたについて	配布資料を読んでおく。	授業内容を整理しておく。
12	12.注のつけかたと必要な場合	配布資料を読んでおく。	授業内容を整理しておく。
13	13.注の表記方法について	配布資料を読んでおく。	授業内容を整理しておく。
14	14.引用のしかたについて	配布資料を読んでおく。	授業内容を整理しておく。
15	15.参考文献の書き方について	配布資料を読んでおく。	授業内容を整理しておく。

講義名	2020025236 研究演習Ⅳ　木村浩哉ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)	木村　浩哉			

学習目標(到達目標)

八戸圏域におけるスポーツの活性化について課題を総合的に認識し、解決に向けた分析、解決能力を身につける.

授業概要(教育目的)

将来地域スポーツの牽引車になるために、スポーツを「する」「観る」「支える」の観点から、基礎的な能力や社会性を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

実践の状況、研究演習の発表等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

対話、発表を通じて、自分と他者との意見を比較しながら、課題解決に臨む。

参考文献

八戸市スポーツ推進計画(平成31年3月、八戸市

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

未経験なことについても挑戦し試みようとする積極的な態度を望む。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	種差海岸(釜の口)での観光客・散策者サポートについての整理、分析	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
2	種差海岸(白浜漁港～芝生キャンプ地)散策1	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
3	種差海岸(白浜漁港～芝生キャンプ地)散策2	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
4	八戸市のスケートの歴史	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
5	YSアリーナの活用の実際 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
6	YSアリーナの活用2 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
7	YSアリーナの活用3 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
8	YSアリーナの活用4 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
9	YSアリーナの活用5 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用についてのレポート作成、発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
10	YSアリーナの活用6 アフタースケートから中心街の活性化を考える。レポート作成、発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
11	YSアリーナの活用7 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
12	YSアリーナの活用8 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
13	YSアリーナと中心街の活性化1 スポーツ施設が街の活性化につながっている全国的な例を調査	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
14	YSアリーナと中心街の活性化2 スポーツ施設が街の活性化につながっている全国的な例を調査、発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
15	地域スポーツとしてのスケートの価値 八戸圏域におけるスポーツ文化としてのスケートの意義についてレポート作成、発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換

講義名	2020026203 研究演習Ⅴ　バリーゼミ ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	バリー・H・グロスマン			

学習目標(到達目標)

Students will study and practice in order to have a working knowledge of English. Working knowledge includes both oral and written communication. Practice and improvement in both will be expected. Additionally, classwork, fieldwork, and homework related to the 'Smile Cambodia' project is expected. This may include planning, creation, and implementation of donation collections as well as communication with persons or organizations involved with Cambodia.

授業概要(教育目的)

This class aims to allow students the opportunity for efficient English improvement by way of an online English learning system. This will improve both speed and efficiency in learning. This class will also support the students' language skills and help motivate them by offering a lasting record of their efforts in the community long after they have graduated (via the smartphone application). Through these methods, students will gain an awareness of the overall linguistic skills necessary to function in an English-speaking environment.

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

年間を通じて、ゼミ活動での発揮度や協力度、英語での進歩や動力；個人のディスカッション容、英語でのプレゼンテーションを発表するなどにより総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

オンライン教材でのユーセージデーターはいつもアクセスできる。提示する課題を返し

参考文献

講義時使用テキスト

「English Central」オンライン教材(1年間)
参考文献は全て授業中に紹介する。英和・和英辞典を毎回持参すること。
電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

資格との関連

英和・和英辞典を毎回持参すること。
電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

学生へのメッセージ

ゼミでの授業、活動、宿題、個人研究は全て英語のみですから英語を上達したい学生が申し込んで下さい。積極的に自らの考え方、研究、発表などが自分で伝わりたい気持ちや勇気が大切です。授業以外は倍以上の宿題がありますから、時間をかけたい学生は英語力には恩恵となります。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	Class Explanation & Introductions Task	Class Explanation & Introductions Task	Class Explanation & Introductions Task
2	The Power of Technology	Opening Journaling	Closing Journaling
3	Super Mom	Opening Journaling	Closing Journaling
4	Personal Notes Go High-Tech	Opening Journaling	Closing Journaling
5	The 80's: The Decade that Made Us	Opening Journaling	Closing Journaling
6	I'm Trending	Opening Journaling	Closing Journaling
7	Change Everything with the iPhone 6s	Opening Journaling	Closing Journaling
8	Listen to the Water	Opening Journaling	Closing Journaling
9	An Ancient Forest Comes Alive	Opening Journaling	Closing Journaling
10	The Ocean Speaks	Opening Journaling	Closing Journaling
11	Forests Are Our Future	Opening Journaling	Closing Journaling
12	Save Our World	Opening Journaling	Closing Journaling
13	From Trash to Trendy	Opening Journaling	Closing Journaling
14	Presentations (half class)	Opening Journaling	Closing Journaling
15	Presentations (half class)	Opening Journaling	Closing Journaling

講義名	2020026206 研究演習Ⅴ　田中ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田中　哲			

学習目標(到達目標)

2023年度の本演習は、複式簿記の理論的に研究しつつ、日商3級レベルの処理を習得することを目的とする。テキストを熟読し、理解し、さらに自らの言葉で、的確に問題の要請する解答を書くことのできる能力を必要とする。そのことは同時に、「社会人基礎力」を養成することにもつながっていく。

本演習に参加するゼミナリステンは、それぞれの段階の「試験合格」という目標を持った学修を進めていく。さらに、財務諸表を作成する力、読み込む力も身につけることが可能となる。これは、自らの「就職力」を高めていくことにつながっていくと確信する。

将来職業イメージとしては、職業会計人(税理士、国税専門官など)や一般企業の財務・経理担当者、営業職、自治体の財政課職員などである。

授業概要(教育目的)

【年次計画】

＜2年次＞第一に、日本商工会議所簿記検定3級に合格することを目標として、要点の説明を行い、練習問題に取り組む。答え合わせも含めた解説を行い、合格の実力を養成する。第二に、3級に合格した後は2級に挑戦する実力を身に付ける努力をする。

＜3年次＞引き続き資格取得を目標として、理論的関心及び簿記論挑戦の基礎学力を養う。そのため日商2級に合格する実力を養う。平行して、就職活動準備及び実践に取り組む。

＜4年次＞税理士試験(簿記論)受験の基礎学力習得ため、引き続き日商2級合格を目指す。就職活動も引き続き行う。さらに、卒業論文に取り組み、完成させ、発表する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

全ての年次において、出席し、まじめに練習問題に取り組むこと、積極的に発表することが評価の基本である。

課題に対するフィードバック

練習問題遂行ごとに解答する。

参考文献

講義時使用テキスト

『みんなが欲しかった税理士簿記論4　構造論点・その他』TAC出版

資格との関連

日商簿記2級、税理士試験簿記論

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】

自ら決めた目標に挑戦し、それをやり遂げていく実力を身につけるため、堪えざる努力をして欲しい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	第1回　会計上の変更・誤謬の訂正	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
2	第2回　外貨建取引等	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
3	第3回　本支店会計	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
4	第4回　製造業会計	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
5	第5回　組織再編1	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
6	第6回　組織再編2	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
7	第7回　連結財務諸表1	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
8	第8回　連結財務諸表2	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
9	第9回　連結財務諸表3	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
10	第10回　キャッシュ・フロー計算書	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
11	第11回　練習問題1	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
12	第12回　練習問題2	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
13	第13回　練習問題3	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
14	第14回　練習問題4	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
15	第15回　練習問題5	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020026209 研究演習Ⅴ　村本ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	村本　卓			

学習目標(到達目標)

卒業研究を通じて、ITを活用した問題解決を提案することができる。

授業概要(教育目的)

従来インターネットを利用したコンテンツ配信を実現するためには、高速大容量な回線・高性能なサーバ機器を必要としてきたが、近年、クラウドコンピューティングにより、自前で情報システムを整備することなくシステム構築ができるようになりつつある。また、動画共有サイト等を利用して個人が簡単に情報配信することも可能となり、この仕組みをビジネスに有効活用しようとする取り組みも増えている。
本ゼミでは、デジタルコンテンツの編集技術やそれらを配信する仕組みについて調査・研究し、大学内や地域での活用を目的としたデジタルコンテンツ管理システムの構築・運用を行いながら、実践的な知識の習得とビジネスへのIT活用能力を培う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

卒業制作、卒業論文への取り組みを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

はちキャンWebにてコメントするとともに、次の授業でフィードバックする。

参考文献

講義時に適宜紹介する。

講義時使用テキスト

使用しない。はちがくキャンパスWebに授業資料を掲載する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	グループウェアの利用	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
2	卒業研究テーマの説明	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
3	卒業研究①(研究テーマの決定)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
4	卒業研究②(研究目的)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
5	卒業研究③(研究方法)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
6	卒業研究④(研究計画の作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
7	プレゼンテーション(中間発表会)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
8	卒業研究⑤(研究方法等の見直し)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
9	卒業研究⑥(先行事例の調査指導)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
10	卒業研究⑦(先行事例の調査1)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
11	卒業研究⑧(先行事例の調査2)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
12	卒業研究⑨(先行事例の調査3)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
13	卒業研究⑩(先行事例の調査4)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
14	プレゼンテーション(中間発表会)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
15	研究計画等の見直し	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。

講義名	2020026212 研究演習Ⅴ　奈良ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	奈良　卓			

学習目標(到達目標)

4年次「研究演習」の到達目標は、以下の2点である。
①これまで2年間のゼミ活動を通じ、培った問題意識に立脚し、各自、選択したテーマについて、卒業論文を作成し、発表し、大学における学習の集大成としていただく。
②卒論発表時のみならず、平素のゼミにおいても、2年次及び3年次以上に、質疑、討論に、積極的に参加していただき、「議論する力」を大いに高めていただく。

授業概要(教育目的)

最終学年を迎えた4年次「研究演習」(奈良ゼミ)の目的は、卒業論文を作成することにより、2年次及び3年次に培った、「調べる力」と「議論する力」、つまり、経済学に関わる様々な問題を調べ、考察し、分析し、まとめ、討論する方法をさらに高め、様々な局面で、それらを応用する力を身に着けることである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

レジュメの作成、発表、その他の課題等々、平素のゼミにおける取組状況を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミの中での各自の発表に対し、また、発表する際に、各自が作成し、使用したレジュメに対し、ゼミの中で、随時、講評し、アドバイスを贈る。

参考文献

講義時使用テキスト

以下の2点を、教材として用いる。
①担当教員作成のテキスト(「研究演習」要項)、
②その他、インターネットを通じ入手する資料。

資格との関連

学生へのメッセージ

奈良ゼミでは、データを分析、レジュメの作成等を円滑に行うため、ゼミにノートパソコンを持参し、利用していただきます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	4年次「研究演習」の進め方。	スケジュールを確認する。	ゼミで配布された資料の読み直し。
2	文献の輪読(応用編)レジュメ作成方法。	スケジュールを確認する。	ゼミで配布された資料の読み直し。
3	「卒業論文計画」の作成方法 & 文献の輪読(応用編)レジュメ作成。	スケジュールを確認する。	ゼミで配布された資料の読み直し。
4	特定のテーマに基づく討論。	スケジュールを確認する。	ゼミで配布された資料の読み直し。
5	文献の輪読(応用編)発表。	各自作成したレジュメを確認する等、発表の準備をする。	発表時のアドバイスを踏まえ、レジュメを見直す。
6	特定のテーマに基づく討論 & 「卒業論文計画」の作成。	スケジュールを確認する。	ゼミで配布された資料の読み直し。
7	「卒業論文計画」の発表。	各自作成した「卒業論文計画」を確認する等、発表の準備をする。	発表時のアドバイスを踏まえ、「卒業論文計画」を見直す。
8	「卒業論文計画」の発表 & 特定のテーマに基づく討論。	各自作成した「卒業論文計画」を確認する等、発表の準備をする。	発表時のアドバイスを踏まえ、「卒業論文計画」を見直す。
9	卒業論文中間発表レジュメ作成方法。	スケジュールを確認する。	ゼミで配布された資料の読み直し。
10	特定のテーマに基づく討論 & 卒業論文中間発表レジュメ作成。	スケジュールを確認する。	ゼミで配布された資料の読み直し。
11	特定のテーマに基づく討論 & 卒業論文中間発表レジュメ作成。	スケジュールを確認する。	ゼミで配布された資料の読み直し。
12	特定のテーマに基づく討論 & 卒業論文中間発表レジュメ作成。	スケジュールを確認する。	ゼミで配布された資料の読み直し。
13	特定のテーマに基づく討論 & 卒業論文中間発表レジュメ作成。	スケジュールを確認する。	ゼミで配布された資料の読み直し。
14	卒業論文中間発表。	各自作成したレジュメを確認する等、発表の準備をする。	発表時のアドバイスを踏まえ、レジュメを見直す。
15	卒業論文中間発表 & 特定のテーマに基づく討論。	各自作成したレジュメを確認する等、発表の準備をする。	発表時のアドバイスを踏まえ、レジュメを見直す。

講義名	2020026213 研究演習Ⅴ　坂本ゼミ ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	坂本　貴博			

学習目標(到達目標)

ICT活用方法について理解し、「問題解決」のため色々と試し、楽しみながら情報や情報技術を適切に活用できる。
ICT活用技術としての各種アプリケーションソフトウェアやネットワークの利活用ができる。

授業概要(教育目的)

コンピュータは「電子計算機」と呼ばれていたように、計算の道具として開発されましたが、今では、表現やコミュニケーションの道具として、私たちの日常生活をより豊かにしてくれるようになりました。さらにインターネットの普及拡大に伴い、情報通信技術(Information Communication Technology:ICT)の活用は、クラウドコンピューティングやユビキタスネットワークを中心とする新たな時代になっています。
社会人となる学生にとっては、ICT活用方法について理解し、基礎的能力を身につけておく必要があります。どんな仕事にも難題があるように、近年の社会では「問題解決能力」が求められ、ICTの利活用についても「作る技術」よりも、「使う技術」が求められるようになって来ています。「問題解決」のため色々と試し、楽しみながら情報や情報技術を適切に活用できることが重要な力だと思います。それには、情報や情報技術の知識だけでなく、課題を見つけ出し、仮説を立て、試行錯誤を繰り返しながら、答えに近づいていく、という力が必要です。
本ゼミでは、社会人として身につけるべきICTの知識やICT活用技術としての各種アプリケーションソフトウェアやネットワークの利活用方法を中心に考察します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

●課題への取り組み態度・達成度を総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること

参考文献

講義時使用テキスト

適時、配布・説明。

資格との関連

ITパスポート試験

学生へのメッセージ

●学内外からインターネット利用可能なノートパソコン利用しますので準備してください。
●社会のあらゆる分野に興味を持つことと、自身が設定したテーマについては情報の収集、整理、分析等に積極的に取り組む姿勢が必要です。
●情報通信技術(ICT)を理解し、活用できる基礎的能力を身につけ、未来をともに切り開いていきましょう。
●無断欠席不可。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究テーマ検討①	図書館やWEBサイトから関連情報を検索する	情報収集した情報を絞り込む
2	研究テーマ検討②	図書館やWEBサイトから関連情報を検索する	情報収集した情報を絞り込む
3	研究テーマ決定	図書館やWEBサイトから関連情報を検索する	情報収集した情報を絞り込む
4	調査研究①	図書館やWEBサイトから関連情報を検索する	情報収集した情報を絞り込む
5	調査研究②	図書館やWEBサイトから関連情報を検索する	情報収集した情報を絞り込む
6	調査研究③	図書館やWEBサイトから関連情報を検索する	情報収集した情報を絞り込む
7	調査研究④	図書館やWEBサイトから関連情報を検索する	情報収集した情報を絞り込む
8	調査研究⑤	図書館やWEBサイトから関連情報を検索する	情報収集した情報を絞り込む
9	調査研究⑥	図書館やWEBサイトから関連情報を検索する	情報収集した情報を絞り込む
10	調査研究中間報告①	ここまでの調査研究結果をまとめる	不足している情報等について情報収集する
11	調査研究⑦	図書館やWEBサイトから関連情報を検索する	情報収集した情報を絞り込む
12	調査研究⑧	図書館やWEBサイトから関連情報を検索する	情報収集した情報を絞り込む
13	調査研究⑨	図書館やWEBサイトから関連情報を検索する	情報収集した情報を絞り込む
14	調査研究⑩	図書館やWEBサイトから関連情報を検索する	情報収集した情報を絞り込む
15	調査研究中間報告②	ここまでの調査研究結果をまとめる	不足している情報等について情報収集する

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020026215 研究演習Ⅴ　根城ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	根城　隆幸		

学習目標(到達目標)

①自分が選んだ社会テーマの意義について説明することができる。
②自分が選んだ社会的テーマの論文構成について説明することができる。

授業概要(教育目的)

本演習は、自分が選んだ社会的テーマについて、資料(基本書、判例など)を読み解くことで、当該テーマの意義、その論理構成を他者に報告することによってコミュニケーション能力を高めるとともに、法的問題にも対応できる能力を身につけることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

発表内容・レジュメなどを総合して評価する。

課題に対するフィードバック

課題(発表等)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

授業中、適宜、参考文献を指示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

必ず出席することが基本となる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	卒論テーマの選定(1):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
2	卒論テーマの選定(2):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
3	卒論テーマの選定(3):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
4	卒論テーマの選定(4):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
5	卒論テーマの資料の発表(1):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
6	卒論テーマの資料の発表(2):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
7	卒論テーマの資料の発表(3):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
8	卒論テーマの資料の発表(4):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
9	卒論の論文構成の発表(1):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
10	卒論の論文構成の発表(2):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
11	卒論の論文構成の発表(3):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
12	卒論の論文構成の発表(4):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
13	卒論の論文構成の発表(5):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
14	卒論の論文構成の発表(6):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
15	卒論の論文構成の発表(7):発表者A・B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。

講義名	2020026216 研究演習Ⅴ　幸田ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	幸田　威久矢		

学習目標(到達目標)

・会計学に関する研究を通じて、社会人に必要な情報の収集方法、資料の作成方法およびプレゼンテーション能力を習得する。
・簿記に関して正確かつ迅速な会計処理ができるよう、日商簿記検定試験2級程度の知識を習得する。

授業概要(教育目的)

自己の研究(研究課程の中で興味や関心のあるテーマ)について、作成・発表を行いながら卒業論文を完成させる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

ゼミへの貢献度、課題の提出状況、発表内容などから総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

適宜、指示する。

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
・本演習は、出席が大前提であり、無断欠席・遅刻は厳禁である。
・検定試験の取得に真剣に取り組むことのできる学生、ならびに会計学を学ぶ意欲の高い学生を歓迎する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	卒業論文について(テーマ設定・書き方)	卒業論文について調べる。	授業の内容、論点を整理する。
2	先行研究の方法(CiNiiの利用)	前回の授業の内容、論点を整理する。	授業の内容、論点を整理する。
3	先行研究の方法(図書館の利用)	前回の授業の内容、論点を整理する。	授業の内容、論点を整理する。
4	研究テーマの検討・報告①(第1組)	前回の授業の内容、論点を整理する。	授業の内容、論点を整理する。
5	研究テーマの検討・報告①(第2組)	前回の授業の内容、論点を整理する。	授業の内容、論点を整理する。
6	研究テーマの検討・報告②(第1組)	前回の授業の内容、論点を整理する。	授業の内容、論点を整理する。
7	研究テーマの検討・報告②(第2組)	前回の授業の内容、論点を整理する。	授業の内容、論点を整理する。
8	研究テーマの検討・報告③(第1組)	前回の授業の内容、論点を整理する。	授業の内容、論点を整理する。
9	研究テーマの検討・報告③(第2組)	前回の授業の内容、論点を整理する。	授業の内容、論点を整理する。
10	プレゼンテーション資料の作成方法①(パワーポイント)	前回の授業の内容、論点を整理する。	授業の内容、論点を整理する。
11	プレゼンテーション資料の作成方法②(レジュメ)	前回の授業の内容、論点を整理する。	授業の内容、論点を整理する。
12	卒業論文の進捗状況報告①(第1組)	前回の授業の内容、論点を整理する。	授業の内容、論点を整理する。
13	卒業論文の進捗状況報告①(第2組)	前回の授業の内容、論点を整理する。	授業の内容、論点を整理する。
14	卒業論文の進捗状況報告②(第1組)	前回の授業の内容、論点を整理する。	授業の内容、論点を整理する。
15	卒業論文の進捗状況報告②(第2組)	前回の授業の内容、論点を整理する。	授業の内容、論点を整理する。

講義名	2020026218 研究演習Ⅴ　髙須ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	髙須　則行		

学習目標(到達目標)

①自分が選んだ社会テーマの意義について説明することができる。
②自分が選んだ社会的テーマの論文構成について説明することができる。

授業概要(教育目的)

本演習は、自分が選んだ社会的テーマについて、資料(基本書、判例など)を読み解くことで、当該テーマの意義、その論理構成を他者に報告することによってコミュニケーション能力を高めるとともに、法的問題にも対応できる能力を身につけることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

発表内容・レジュメなどを総合して評価する。

課題に対するフィードバック

課題(発表等)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

授業中、適宜、参考文献を指示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

必ず出席することが基本となる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	卒論テーマの選定(1):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
2	卒論テーマの選定(2):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
3	卒論テーマの選定(3):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
4	卒論テーマの選定(4):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
5	卒論テーマの資料の発表(1):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
6	卒論テーマの資料の発表(2):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
7	卒論テーマの資料の発表(3):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
8	卒論テーマの資料の発表(4):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
9	卒論の論文構成の発表(1):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
10	卒論の論文構成の発表(2):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
11	卒論の論文構成の発表(3):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
12	卒論の論文構成の発表(4):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
13	卒論の論文構成の発表(5):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
14	卒論の論文構成の発表(6):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
15	卒論の論文構成の発表(7):発表者A・B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。

講義名	2020026220 研究演習Ⅴ　崔ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	崔　桓碩			

学習目標(到達目標)

本研究演習では、各自決めたテーマに従い、実際に卒業論文を作成しながら、その時々に注意すべき点について解説する。インタビューまたは実証研究する場合の方法・注意点も踏まえて説明する。到達目標としては、本研究演習の期間内に卒業論文の草案を書き終える。

授業概要(教育目的)

本研究演習では、参考文献として取り上げている『これから研究を書くひとのためのガイドブック』の残りの内容について学習し、それと同時並行的に卒業論文を作成する。11回目の授業までに、卒業論文の草案を書き終えるのが到達目標であり、それ以後は2人ずつペアで発表を行い、その内容についてディスカッション、または指導を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

研究演習に臨む態度(コミュニケーションなど)と卒業論文の内容により評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

1. 佐渡島紗織『これから研究を書くひとのためのガイドブック』ひつじ書房

講義時使用テキスト

レジュメ配布

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
　まずは本研究演習の内容である「保険」について関心を持っていること。そしてその内容について学びたい意欲があること。最後に3年間まじめに続けられること。本研究演習における学習上の留意点としては、この3つが大事である。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	フォーマル・インタビューを行う	・授業内容についてインターネットで調べる	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
2	インフォーマル・インタビューを行う	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
3	実証データの整理をする①(実証研究の内容)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
4	実証データの整理をする②(実証研究としてのデータ処理)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
5	研究結果の章を書く	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
6	考察と結論の章を書く	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
7	題名をつける、要旨を書く	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
8	論文を評価する	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
9	研究計画書を書く	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
10	研究における倫理的な問題	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
11	論文指導の内容とスケジュール	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
12	論文指導①(2人による発表と評価)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
13	論文指導②(2人による発表と評価)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
14	論文指導③(2人による発表と評価)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
15	1回目の論文指導の総評と今後の課題	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す

講義名	2020026221 研究演習Ⅴ　田村ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田村　正文			

学習目標(到達目標)

研究演習Ⅴにおいては、RESASを用いて地域のデータ分析を行い、研究演習Ⅰ～Ⅳで学んだ内容を踏まえて考察し、その中から各自が興味・関心を有した卒業論文のテーマを設定するをことを目標とする。

授業概要(教育目的)

近年、ニュースや新聞などで「地域再生」、「地域活性化」等に資する報道やデータを頻繁に目にする。同時に例えばB級グルメなどに見られるように、地域住民が主体的となって行動し、自らが地域をマネジメントする(地域経営)の役割が大きくなっているともいえる。しかし、地域再生、地域活性化について自分なりに考えてみたところで、過疎化の問題、中心商店街の活性化、地域産業(農業や水産業などの第一次産業)の若年層の雇用、B級グルメ、地域交通、地域観光政策などから垣間見る様々な「切り口」があり、どのように展開すべきか、どのように取り組めばよいのかという課題に直面する。しかし、上述したような課題が多いというのも地域研究の間口の広さであるともいえよう。

研究演習Ⅴでは、今までの研究演習Ⅰ～Ⅳで学んだ内容を踏まえ、前半部分ではRESASによる地域経済の現状の把握、RESASの使用の仕方について理解することを目的とし、後半では、卒業論文のテーマを各自で考え、テーマを決定する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

発表内容およびレポートの提出に基づき評価を行う。

課題に対するフィードバック

レポート・課題については、採点の上、各自返却する。

参考文献

日経ビッグデータ編(2016)『RESASの教科書』, 日経BP社.
それ以外については、適宜指示する。

講義時使用テキスト

使用しない。必要に応じて資料を配付する。

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
情報処理基礎、情報処理応用での基本的な内容を身に着けていること.
データ分析をはじめ、情報関連の授業を履修すること.
欠席はできる限りしない事.
演習は、ゼミナリステンが主体であることを理解する事.

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	RESAS(地域経済分析システム)の概要の説明	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
2	RESASの実習①:産業マップ(特化係数、賃金構造、企業財務比較)	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
3	RESASの実習②:産業マップ(立地動向、輸出入、花火図)	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
4	RESASの実習③:地域経済循環マップ	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
5	RESASの実習④:農林水産業マップ	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
6	RESASの実習⑤:観光マップ(滞在人口、メッシュ分析、目的地分析)	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
7	RESASの実習⑥:観光マップ(外国人観光客の動向)	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
8	RESASの実習⑦:人口マップ	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
9	RESASの実習⑧:消費マップ	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
10	RESASの実習⑨:自治体比較マップ	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
11	卒業論文のテーマについて①(3人程度報告)	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
12	卒業論文のテーマについて②(3人程度報告)	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
13	卒業論文の概要(対象とする内容、地域や分析方法)①(3人程度報告)	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
14	卒業論文の概要(対象とする内容、地域や分析方法)②(3人程度報告)	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
15	卒業論文のテーマの決定	各自で指示された文献や資料を読んでおく。発表の準備を心がける。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。

講義名	2020026222 研究演習Ⅴ　加来ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	加来　聡伸		

学習目標(到達目標)

①卒業論文の執筆について学び、卒業論文を完成させる能力を身につける。

授業概要(教育目的)

研究演習Ⅲ、Ⅳを踏まえ、自ら社会的な課題を抽出および設定を行い、卒業論文の構成を考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

課題・レジュメの作成内容、授業中の発言等、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

【【学習上の留意点】
卒業論文の作成は自主性が求められる。計画に基づき、行動しなければ論文を完成させることは難しい。就職活動等で多忙になる4年次生は、徹底したスケジュール管理が求められるとともに、時間を有効的に活用することが望まれる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 論文とは	授業内容についてインターネットで調べる。	授業内容を整理し、論点を整理する。
2	2. 卒業論文の課題設定	前回の授業内容を整理し、論点を整理する。	授業内容を整理し、論点を整理する。
3	3. 卒業論文作成に向けた計画の作成	前回の授業内容を整理し、論点を整理する。	授業内容を整理し、論点を整理する。
4	4. 卒業論文の目的、計画の報告(Aチーム1)	前回の授業内容を整理し、論点を整理する。	授業内容を整理し、論点を整理する。
5	5. 卒業論文の目的、計画の報告(Bチーム1	前回の授業内容を整理し、論点を整理する。	授業内容を整理し、論点を整理する。
6	6. 卒業論文の目的、計画の報告(Cチーム1)	前回の授業内容を整理し、論点を整理する。	授業内容を整理し、論点を整理する。
7	7. 卒業論文の仮テーマの決定	前回の授業内容を整理し、論点を整理する。	授業内容を整理し、論点を整理する。
8	8. 卒業論文の進捗報告(Aチーム1)	前回の授業内容を整理し、論点を整理する。	授業内容を整理し、論点を整理する。
9	9. 卒業論文の進捗報告(Bチーム1)	前回の授業内容を整理し、論点を整理する。	授業内容を整理し、論点を整理する。
10	10. 卒業論文の進捗報告(Cチーム1)	前回の授業内容を整理し、論点を整理する。	授業内容を整理し、論点を整理する。
11	11. 卒業論文の進捗報告(Aチーム2)	前回の授業内容を整理し、論点を整理する。	授業内容を整理し、論点を整理する。
12	12. 卒業論文の進捗報告(Bチーム2)	前回の授業内容を整理し、論点を整理する。	授業内容を整理し、論点を整理する。
13	13. 卒業論文の進捗報告(Cチーム2)	前回の授業内容を整理し、論点を整理する。	授業内容を整理し、論点を整理する。
14	14. 社会調査を行う諸注意	前回の授業内容を整理し、論点を整理する。	授業内容を整理し、論点を整理する。
15	15. 卒業論文の中間報告	前回の授業内容を整理し、論点を整理する。	授業内容を整理し、論点を整理する。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020026227 研究演習Ⅴ　鶴見ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	鶴見　浩一郎		

学習目標(到達目標)

①自分が選んだ社会テーマの意義について説明することができる。
②自分が選んだ社会的テーマの論文構成について説明することができる。

授業概要(教育目的)

本演習は、自分が選んだ社会的テーマについて、資料(基本書、判例など)を読み解くことで、当該テーマの意義、その論理構成を他者に報告することによってコミュニケーション能力を高めるとともに、法的問題にも対応できる能力を身につけることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

発表内容・レジュメなどを総合して評価する。

課題に対するフィードバック

課題(発表等)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

授業中、適宜、参考文献を指示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

必ず出席することが基本となる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	卒論テーマの選定(1):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
2	卒論テーマの選定(2):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
3	卒論テーマの選定(3):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
4	卒論テーマの選定(4):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
5	卒論テーマの資料の発表(1):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
6	卒論テーマの資料の発表(2):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
7	卒論テーマの資料の発表(3):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
8	卒論テーマの資料の発表(4):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
9	卒論の論文構成の発表(1):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
10	卒論の論文構成の発表(2):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
11	卒論の論文構成の発表(3):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
12	卒論の論文構成の発表(4):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
13	卒論の論文構成の発表(5):発表者A	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
14	卒論の論文構成の発表(6):発表者B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。
15	卒論の論文構成の発表(7):発表者A・B	資料・インターネット等で発表内容を調べる	発表内容とそれに関連する質疑応答を踏まえて、論点を整理する。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020026229 研究演習Ⅴ　横田ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	横田　将志			

学習目標(到達目標)

①仮説の検証に求められる事例を適切に選択できるようになる。
②仮説の検証に必要な情報を得るための文献調査やフィールドワークを各自で行えるようになる。
③仮説の検証をとおして、地球的諸問題の因果関係を自ら読み解くことができるようになる。

授業概要(教育目的)

私たちは、国際社会のなかで暮らし、世界のさまざまな出来事から影響を受けるだけではなく、地球的諸問題の解決に貢献することも可能である。国際社会に存在する課題に取り組んでいくためには、その因果関係を自ら読み解くことが不可欠である。本演習では、この点を踏まえ、履修者が各自立てた仮説を立証するために求められる適切な事例の選定手法およびその検証に係る文献の批判的検討やフィールドワークに係る能力を身につけていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

発表や報告の内容、ディスカッションでの発言などを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

発表やディスカッションの際にコメントするとともに、レポートおよび論文の草稿に対してフィードバックを行う。

参考文献

授業のなかで適宜紹介する。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

学生へのメッセージ

ゼミナール(研究演習)は、大学生活のなかで最も重要な活動の1つであり、学生を主体として進めていく。そのため、積極的な参加と自主的に研究を進めていくことが求められる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	事例の決定①	設定した仮説の検証に用いる国際関係上の現象を選択する。	アドバイスを踏まえて、扱う事例を再検討する。
2	事例の決定②	設定した仮説の検証に用いる国際関係上の現象を選択する。	アドバイスを踏まえて、扱う事例を再検討する。
3	卒業論文のアウトラインの検討①	卒業論文の目次を作成する。	アドバイスを踏まえて、目次を修正する。
4	卒業論文のアウトラインの検討②	卒業論文の目次を作成する。	アドバイスを踏まえて、目次を修正する。
5	卒業論文のアウトラインの検討③	卒業論文の目次を作成する。	アドバイスを踏まえて、目次を修正する。
6	事例の検証①	各自設定した事例に関する文献調査やフィールドワークを行い、その成果をまとめる。	アドバイスを踏まえ、今後必要な調査内容を整理する。
7	事例の検証②	各自設定した事例に関する文献調査やフィールドワークを行い、その成果をまとめる。	アドバイスを踏まえ、今後必要な調査内容を整理する。
8	事例の検証③	各自設定した事例に関する文献調査やフィールドワークを行い、その成果をまとめる。	アドバイスを踏まえ、今後必要な調査内容を整理する。
9	事例の検証④	各自設定した事例に関する文献調査やフィールドワークを行い、その成果をまとめる。	アドバイスを踏まえ、今後必要な調査内容を整理する。
10	事例の検証⑤	各自設定した事例に関する文献調査やフィールドワークを行い、その成果をまとめる。	アドバイスを踏まえ、今後必要な調査内容を整理する。
11	仮説の検証①	事例検証結果を用いて、仮説が立証されるか検討する。	議論の内容を踏まえ、自らの仮説の妥当性について検討する。
12	仮説の検証②	事例検証結果を用いて、仮説が立証されるか検討する。	議論の内容を踏まえ、自らの仮説の妥当性について検討する。
13	仮説の検証③	事例検証結果を用いて、仮説が立証されるか検討する。	議論の内容を踏まえ、自らの仮説の妥当性について検討する。
14	結論の導出①	仮説の検証から得られた諸点を整理する。	アドバイスを踏まえ、結論を修正する。
15	結論の導出②	仮説の検証から得られた諸点を整理する。	アドバイスを踏まえ、結論を修正する。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020026230 研究演習Ⅴ　堤ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	堤　静子			

学習目標(到達目標)

・学習目標(到達目標) ・研究を行うための必要な情報を適切な方法で検索することができる。
・研究を行うための基本的な科学文献を読み、その内容が理解できる。
・研究を行うために得た情報をノートなどに整理し、研究計画を立てることができる。

授業概要(教育目的)

地域活性化、地域力アップのための国内外の地域事例を学ぶとともに、積極的に地域へ出かけ、自分の目で見て、聞いて、調べるというフィールドワークを主体とします。地域を知ることは、様々な人を知る良い機会となるだけではなく、多くの人と交流することでコミュニケーション能力が高まります。また、様々な地域課題を適切に掘り起し、課題解決策を考え、提言していく力を身につけていくことにつながります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

学習到達目標を総合的に勘案し、評価を行う。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文等)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

適宜紹介する。

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
ゼミ学習では、基本的に自主的な学習を基礎に運営するため予習は必ず行ってくること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究テーマの選定①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
2	研究テーマの選定②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
3	研究テーマの選定③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
4	研究テーマの選定④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
5	研究テーマの問題点抽出①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
6	研究テーマの問題点抽出②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
7	文献検索方法の確認	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
8	文献収集①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
9	文献収集②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
10	文献収集③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
11	文献収集④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
12	文献収集⑤	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
13	収集した文献の整理①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
14	収集した文献の整理②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
15	収集した文献の整理③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020026231 研究演習Ⅴ　馬場ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	馬場　祥次			

学習目標(到達目標)

・学習目標(到達目標) ・研究を行うための必要な情報を適切な方法で検索することができる。
・研究を行うための基本的な科学文献を読み、その内容が理解できる。
・研究を行うために得た情報をノートなどに整理し、研究計画を立てることができる。

授業概要(教育目的)

地域活性化、地域力アップのための国内外の地域事例を学ぶとともに、積極的に地域へ出かけ、自分の目で見て、聞いて、調べるというフィールドワークを主体とします。地域を知ることは、様々な人を知る良い機会となるだけではなく、多くの人と交流することでコミュニケーション能力が高まります。また、様々な地域課題を適切に掘り起し、課題解決策を考え、提言していく力を身につけていくことにつながります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

学習到達目標を総合的に勘案し、評価を行う。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文等)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

適宜紹介する。

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
　ゼミ学習では、基本的に自主的な学習を基礎に運営するため予習は必ず行ってくること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究テーマの選定①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
2	研究テーマの選定②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
3	研究テーマの選定③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
4	研究テーマの選定④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
5	研究テーマの問題点抽出①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
6	研究テーマの問題点抽出②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
7	文献検索方法の確認	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
8	文献収集①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
9	文献収集②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
10	文献収集③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
11	文献収集④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
12	文献収集⑤	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
13	収集した文献の整理①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
14	収集した文献の整理②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
15	収集した文献の整理③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。

講義名	2020026232 研究演習Ⅴ　井上ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	井上　丹		

学習目標(到達目標)

特定の地域を選び、その地域が活性化するための事業計画や企画開発を構築し実施することで、実社会の現場でも役に立つ企画提案力やコミュニケーション能力を身につける。

授業概要(教育目的)

関係各所との調整を行い、フィールドワークやアンケート調査によって情報を収集し、分析結果をもとに企画を構築。それを関係者へ提案し実施、振り返りを行い、最終成果を発表する。事業や企画を検討する際にはマーケティングやマネジメント知識を活用し、提案や発表する際には広報戦略や持続可能性を考える。また、活動を通して地域でのキャリアについても検討していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

ゼミ活動におけると取組姿勢やディスカッション、プレゼンテーション、レポート等により総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

課題は採点やコメントした上で返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

机上の学問だけではなく、地域全体を学びのフィールドとすることが大切だと考えている。講義時間以外で学外でのフィールドワークを行うこともある。社会に出てから体験することは非常に難しく、学生だからこそ体験できる貴重な学びの機会である。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	事業計画内容の確認とスケジュール調整	自分自身について振り返り、整理しておく	配付資料を読み直す
2	フィールドワーク①事業実施準備	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
3	フィールドワーク②事業実施	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
4	フィールドワーク③事業実施(調査)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
5	振り返り(効果検証)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
6	事業計画の見直し	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
7	フィールドワーク④事業実施準備2回目	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
8	フィールドワーク⑤事業実施2回目	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
9	フィールドワーク⑥事業実施(調査)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
10	振り返り(効果検証2回目)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
11	事業報告書作成に向けた討論(グループワーク)	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
12	事業報告書作成	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
13	事業報告書に基づく成果発表資料作成	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
14	成果発表会	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
15	発表会振り返り	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す

講義名	2020026233 研究演習Ⅴ　大沢宥介ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	大沢　宥介			

学習目標(到達目標)

本研究演習では、ICT活用について理解し、将来教員を目指す学生や社会人として求められる実践的な能力や理論性の基礎を身につけるとともに、学校・教員を巡る様々な問題点を複合的に認識し、解決に向けた分析・解決能力を身につけられるようにする。

授業概要(教育目的)

今では、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。 学生には、求められる実践的な能力や理論性の基礎を身につけるとともに、現代における課題を見つけ出し解決する能力が求められます。

本研究演習では、将来、高校教員目指す学生および社会人としてコンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを中心に学んでいく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力、地域への理解、社会課題の発見力を身につけている。

評価方法

発表や報告の内容、ディスカッションでの発言などを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・レポート等、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
・成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

授業のなかで適宜紹介する。

講義時使用テキスト

随時、配付、説明

資格との関連

ITパスポート

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
・事前の文献購読と積極的な意見交換を望む。
・インターネット利用可能なノートパソコンを利用しますので各自準備して下さい。
・無断欠席不可。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1.研究演習Ⅴについて	自分自身について振り返り、整理しておく	配付資料を読み直す
2	2.卒業論文の作成と留意点について	インターネット等で調べておく	配付資料を読み直す
3	3.論文を検索して読んでみる	インターネット等で調べておく	配付資料を読み直す
4	4.研究テーマの選定(1)	インターネットや書籍で調べてみる。	配付資料を読み直す
5	5.研究テーマの選定(2)	インターネットや書籍で調べてみる。	配付資料を読み直す
6	6.研究テーマの発表	自分自身について振り返り、整理しておく	配付資料を読み直す
7	7.資料収集(書籍)	大学図書館で調べてみる	配付資料を読み直す
8	8.資料収集(インターネット等)	インターネットや書籍で調べてみる。	配付資料を読み直す
9	9.卒業論文計画書作成(1)	資料整理をしておく	配付資料を読み直す
10	10.卒業論文計画書作成(2)	資料整理をしておく	配付資料を読み直す
11	11.卒業論文計画書の提出	資料整理をしておく	配付資料を読み直す
12	12.先行研究の調査	インターネットや書籍で調べてみる。	配付資料を読み直す
13	13.先行研究の調査	インターネットや書籍で調べてみる。	配付資料を読み直す
14	14.先行研究の調査	インターネットや書籍で調べてみる。	配付資料を読み直す
15	15.先行研究の調査	インターネットや書籍で調べてみる。	配付資料を読み直す

講義名	2020026234 研究演習Ⅴ　木村浩哉ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	木村　浩哉		

学習目標(到達目標)

八戸圏域におけるスポーツの活性化について課題を総合的に認識し、解決に向けた分析、解決能力を身につけ、活用できる。

授業概要(教育目的)

将来地域スポーツの牽引車になるために、スポーツを「する」「観る」「支える」の観点から、基礎的な能力や広い社会性を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

実践の状況、研究演習の発表等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

対話、発表を通じて、自分と他者との意見を比較しながら、課題解決に臨む。

参考文献

八戸市スポーツ推進計画（平成31年3月、八戸市

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

未経験なことについても挑戦してみる積極的な態度を望む。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	八戸市内体育施設見学 YSアリーナ、スポーツ研修センター	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
2	種差海岸(芝生、葦毛崎)散策	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
3	人見絹枝選手(我が国女性初の五輪メダリストの墓見学	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
4	八戸市内体育施設、種差海岸、人見絹枝選手の墓についてスポーツリソースとして価値について発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
5	蕪島散策	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
6	蕪島についてのレポート作成	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
7	種差海岸とスポーツとの関連についてレポート作成	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
8	種差海岸とスポーツとの関連について発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
9	種差海岸(芝生地)スタンプラリー作戦、スタンプカード作成	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
10	種差海岸(釜の口)散策	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
11	階上岳散策	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
12	種差海岸(釜の口)、階上岳とスポーツの関連について発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
13	種差海岸(釜の口)の観光客接遇練習	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
14	種差海岸(釜の口)での観光客・散策者対応	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
15	種差海岸(釜の口)での観光客・散策者対応 についての発表1	インターネット検索	インターネット検索 意見交換

講義名	2020026235 研究演習Ⅴ　アンソニーゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	グレゴリー・アンソニー			

学習目標(到達目標)

The objective of this research seminar is to improve students' practical English skills, develop learner autonomy, and provide a deeper understanding of foreign cultures, while considering Japan's position through a global perspective in order to prepare and empower students for their lives in a rapidly globalizing Japan.

授業概要(教育目的)

As contending with the English language online, in technology, and with international media can be some of the most immediate and relevant challenges for many Japanese adults, this research seminar aims to employ various technologies and online resources as tools to improve students' English ability, develop learner autonomy, and foster greater international awareness. This seminar requires students to join both an intensive English language study program as well as participate in the Aomori Global Academy in order to enhance communication ability and "glocalization" knowhow. Additionally, this seminar will examine the Sustainable Development Goals (SDG's) as established by the United Nations as well as considering Japan's and other nations' responsibilities and efforts towards realizing these goals. Even without future goals of studying or working overseas, this seminar's approach will enable students to become more capable and confident global citizens within Japan.

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域の産業構造や地場産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

年次計画通り、ゼミ活動の積極的な参加・テスト・宿題・タスク等の実施、英語でのやり取に懸命に取り組むこと。

ゼミ時間中・課題。宿題などでは、積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。タスクを完成するために、毎回必要な事柄を調べ、資料などを持参する。成績も第1日目から評価する。

課題に対するフィードバック

課題は講義中口頭でフィードバックする。
English Centralオンライン教材で各自の評価・工程等は確認できます。

参考文献

講義時使用テキスト

①「Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals (地球市民として生きる：英語でSDGs実践入門)」NAN'UN-DO (ISBN: 9784523179313)

②「English Central」オンライン教材(予約購読サービスのオンラインアクセスカード)＊春学期の「研究演習I」と秋学期の「研究演習II」両方登録学生は1年間の予約購読になる。

＊アクティブラーニングの実施について:この講義にインターネット対応デバイス(スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン)を毎回持参すること。英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものが良い。

資格との関連

①英語検定試験TOEIC(年2回受験)
②CNE1・CLASSMATE英語学習コースの参加・修了書(オンラインもしくは海外)(2年次)
③Aomori Global Academyの参加・修了書(3年次)

学生へのメッセージ

このゼミは基本英語で行う。ゼミの活動・内容・情報共有等の理解・動力するのはゼミ学生一人一人の必要条件。ゼミ学生も基本英語でのコミュニケーションが必要条件。

〈2年次〉〈3年次〉〈4年次〉
①メディアを通じて英語学習・異文化理解(ゼミ活動・プロジェクト等)
②英語検定試験(学内TOEIC等)を年2回受ける
③2年次の間、4週間以上フィリピンのCNE1学校・CLASSMATE等の集中英語学習コースを受講・完了
④3年次の間、青森県の「Aomori Global Academy」を受講・完了(年内週末x3回)
⑤4年次の間、英語で研究発表(プレゼンテーション)を実施

実務との関連

日本でのグローバル向け職業、日本で外国人の対応・英語に関わる職業
(日本でのグローバル向け・日本で外国人の対応・英語力(英語検定試験資格も含む))。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	Planning with Online Technologies and Systems Explanation A: Conversation Activity B: Discussion C: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	CALL - Computer Assisted Language Learning ① A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	SDGs – Shopping ① A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	SDGs – Shopping ② A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	Current News and Media ① A: Conversation Activity B: Investigate and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	CALL - Computer Assisted Language Learning ② A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	SDGs – Partnerships ① A: Conversation Activity B: Read and Review C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	SDGs - Partnerships ② A: Conversation Activity B: Listen and Review C: Read and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	Current News and Media ② A: Conversation Activity B: Investigate and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	CALL - Computer Assisted Language Learning ③ A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	Research Project Preparation ① A: Conversation Activity B: Review and Feedback C: Preparation D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	Research Project Preparation ② A: Conversation Activity B: Review and Feedback C: Preparation D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	Current News and Media ③ A: Conversation Activity B: Investigate and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	CALL - Computer Assisted Language Learning ④ A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	Content Assessment and Planning A: Conversation Activity B: Discussion C: Feedback	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	2020027203 研究演習Ⅵ　バリーゼミ ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	バリー・H・グロスマン			

学習目標(到達目標)

Students will study and practice in order to have a working knowledge of English. Working knowledge includes both oral and written communication. Practice and improvement in both will be expected. Additionally, classwork, fieldwork, and homework related to the 'Smile Cambodia' project is expected. This may include planning, creation, and implementation of donation collections as well as communication with persons or organizations involved with Cambodia.

授業概要(教育目的)

This class aims to allow students the opportunity for efficient English improvement by way of an online English learning system. This will improve both speed and efficiency in learning. This class will also support the students' language skills and help motivate them by offering a lasting record of their efforts in the community long after they have graduated (via the smartphone application). Through these methods, students will gain an awareness of the overall linguistic skills necessary to function in an English-speaking environment.

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

年間を通じて、ゼミ活動での発揮度や協力度、英語での進歩や動力；個人のディスカッション容、英語でのプレゼンテーションを発表するなどにより総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

オンライン教材でのユーセージデーターはいつもアクセスできる。提示する課題を返し

参考文献

講義時使用テキスト

「English Central」オンライン教材(1年間)
参考文献は全て授業中に紹介する。英和・和英辞典を毎回持参すること。
電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

資格との関連

英和・和英辞典を毎回持参すること。
電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

実務との関連

学生へのメッセージ

ゼミでの授業、活動、宿題、個人研究は全て英語のみですから英語を上達したい学生が申し込んで下さい。積極的に自らの考え方、研究、発表などが自分で伝わりたい気持ちや勇気が大切です。授業以外は倍以上の宿題がありますから、時間をかけたい学生は英語力には恩恵となります。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	A: Class Explanation B: Finding Lost Worlds	Class Explanation & Introductions Task	Class Explanation & Introductions Task
2	Are you a Good Liar?	Opening Journaling	Closing Journaling
3	Santa's Magical Sleigh	Opening Journaling	Closing Journaling
4	Science is for Girls, too	Opening Journaling	Closing Journaling
5	Date your Hypothesis, Never Marry it	Opening Journaling	Closing Journaling
6	Why do we Laugh?	Opening Journaling	Closing Journaling
7	The iPhone 6 Health App	Opening Journaling	Closing Journaling
8	Cat Videos Keep the Doctor Away	Opening Journaling	Closing Journaling
9	Lose Weight with Small Plates	Opening Journaling	Closing Journaling
10	Clenching Fists Boosts Memory	Opening Journaling	Closing Journaling
11	Never Too Young for Science	Opening Journaling	Closing Journaling
12	The Distracted Mind	Opening Journaling	Closing Journaling
13	From Trash to Trendy	Opening Journaling	Closing Journaling
14	And They Finally Meet	Opening Journaling	Closing Journaling
15	Presentations	Opening Journaling	Closing Journaling

講義名	2020027206 研究演習Ⅵ　田中ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田中　哲			

学習目標(到達目標)

2023年度の本演習は、複式簿記の理論的に研究しつつ、日商3級レベルの処理を習得することを目的とする。テキストを熟読し、理解し、さらに自らの言葉で、的確に問題の要請する解答を書くことのできる能力を必要とする。そのことは同時に、「社会人基礎力」を養成することにもつながっていく。

本演習に参加するゼミナリステンは、それぞれの段階の「試験合格」という目標を持った学修を進めていく。さらに、財務諸表を作成する力、読み込む力も身につけることが可能となる。これは、自らの「就職力」を高めていくことにつながっていくと確信する。

将来職業イメージとしては、職業会計人（税理士、国税専門官など）や一般企業の財務・経理担当者、営業職、自治体の財政課職員などである。

授業概要(教育目的)

【年次計画】

＜2年次＞第一に、日本商工会議所簿記検定3級に合格することを目標として、要点の説明を行い、練習問題に取り組む。答え合わせも含めた解説を行い、合格の実力を養成する。第二に、3級に合格した後は2級に挑戦する実力を身に付ける努力をする。

＜3年次＞引き続き資格取得を目標として、理論的関心及び簿記論挑戦の基礎学力を養う。そのため日商2級に合格する実力を養う。平行して、就職活動準備及び実践に取り組む。

＜4年次＞税理士試験（簿記論）受験の基礎学力習得ため、引き続き日商2級合格を目指す。就職活動も引き続き行う。さらに、卒業論文に取り組み、完成させ、発表する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

全ての年次において、出席し、まじめに練習問題に取り組むこと、積極的に発表することが評価の基本である。

課題に対するフィードバック

執筆後、修正点を指摘する。

参考文献

講義時使用テキスト

政岡光宏編『初めて学ぶ財務諸表分析　三訂版』同文舘出版、平成25年

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】

自ら決めた目標に挑戦し、それをやり遂げていく実力を身につけるため、堪えざる努力をして欲しい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	第1回　工業簿記の基礎	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
2	第2回　材料費	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
3	第3回　労務費	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
4	第4回　経費	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
5	第5回　個別原価計算	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
6	第6回　部門別個別原価計算	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
7	第7回　総合原価計算①	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
8	第8回　総合原価計算②	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
9	第9回　総合原価計算③	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
10	第10回　工業簿記における財務諸表	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
11	第11回　本社工場会計	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
12	第12回　標準原価計算①	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
13	第13回　標準原価計算②	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
14	第14回　直接原価計算①	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。
15	第15回　直接原価計算②	テキストの該当箇所を読む。	練習問題を反復して行う。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020027209 研究演習Ⅵ　村本ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	村本　卓			

学習目標(到達目標)

卒業論文・卒業制作を通じて、ITを活用した問題解決の提案ができる。

授業概要(教育目的)

従来インターネットを利用したコンテンツ配信を実現するためには、高速大容量な回線・高性能なサーバ機器を必要としてきたが、近年、クラウドコンピューティングにより、自前で情報システムを整備することなくシステム構築ができるようになりつつある。また、動画共有サイト等を利用して個人が簡単に情報配信することも可能となり、この仕組みをビジネスに有効活用しようとする取り組みも増えている。
本ゼミでは、デジタルコンテンツの編集技術やそれらを配信する仕組みについて調査・研究し、大学内や地域での活用を目的としたデジタルコンテンツ管理システムの構築・運用を行いながら、実践的な知識の習得とビジネスへのIT活用能力を培う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

卒業制作、卒業論文への取り組みを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

はちキャンWebにてコメントするとともに、次の授業でフィードバックする。

参考文献

講義時に適宜紹介する。

講義時使用テキスト

使用しない。はちがくキャンパスWebに授業資料を掲載する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	研究演習用グループウェアの活用説明	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
2	卒業論文・卒業制作の説明	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
3	卒業論文・卒業制作の計画作成	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
4	卒業論文・卒業制作①(指導・作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
5	卒業論文・卒業制作②(指導・作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
6	卒業論文・卒業制作③(指導・作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
7	卒業論文・卒業制作④(指導・作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
8	卒業論文・卒業制作⑤(指導・作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
9	プレゼンテーション(中間発表会)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
10	卒業論文・卒業制作⑥(指導・作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
11	卒業論文・卒業制作⑦(指導・作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
12	卒業論文・卒業制作⑧(指導・作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
13	卒業論文・卒業制作⑨(指導・作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
14	卒業論文・卒業制作⑩(まとめ)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
15	プレゼンテーション(卒業論文・卒業制作の発表)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020027212 研究演習Ⅵ　奈良ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	奈良　卓			

学習目標(到達目標)

4年次「研究演習」の到達目標は、以下の2点である。
①これまで2年間のゼミ活動を通じ、培った問題意識に立脚し、各自、選択したテーマについて、卒業論文を作成し、発表し、大学における学習の集大成としていただく。
②卒論発表時のみならず、平素のゼミにおいても、2年次及び3年次以上に、質疑、討論に、積極的に参加していただき、「議論する力」を大いに高めていただく。

授業概要(教育目的)

最終学年を迎えた4年次「研究演習」(奈良ゼミ)の目的は、卒業論文を作成することにより、2年次及び3年次に培った、「調べる力」と「議論する力」、つまり、経済学に関わる様々な問題を調べ、考察し、分析し、まとめ、討論する方法をさらに高め、様々な局面で、それらを応用する力を身に着けることである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

レジュメの作成、発表、その他の課題等々、平素のゼミにおける取組状況を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミの中での各自の発表に対し、また、発表する際に、各自が作成し、使用したレジュメに対し、ゼミの中で、随時、講評し、アドバイスを贈る。

参考文献

講義時使用テキスト

以下の2点を、教材として用いる。
①担当教員作成のテキスト(「研究演習」要項)、
②その他、インターネットを通じ入手する資料。

資格との関連

学生へのメッセージ

奈良ゼミでは、データを分析、レジュメの作成等を円滑に行うため、ゼミにノートパソコンを持参し、利用していただきます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	卒業論文中間発表レジュメの具体例と注意事項。	スケジュールを確認する。	ゼミで配布された資料の読み直し。
2	特定のテーマに基づく討論 & 卒業論文中間発表レジュメ作成。	スケジュールを確認する。	ゼミで配布された資料の読み直し。
3	特定のテーマに基づく討論 & 卒業論文中間発表レジュメ作成。	スケジュールを確認する。	ゼミで配布された資料の読み直し。
4	特定のテーマに基づく討論 & 卒業論文中間発表レジュメ作成。	スケジュールを確認する。	ゼミで配布された資料の読み直し。
5	特定のテーマに基づく討論 & 卒業論文中間発表レジュメ作成。	スケジュールを確認する。	ゼミで配布された資料の読み直し。
6	卒業論文中間発表。	各自作成したレジュメを確認する等、発表の準備をする。	発表時のアドバイスを踏まえ、レジュメを見直す。
7	卒業論文中間発表。	各自作成したレジュメを確認する等、発表の準備をする。	発表時のアドバイスを踏まえ、レジュメを見直す。
8	特定のテーマに基づく討論 & 卒業論文中間発表レジュメ作成。	スケジュールを確認する。	ゼミで配布された資料の読み直し。
9	特定のテーマに基づく討論 & 卒業論文中間発表レジュメ作成。	スケジュールを確認する。	ゼミで配布された資料の読み直し。
10	特定のテーマに基づく討論 & 卒業論文中間発表レジュメ作成。	スケジュールを確認する。	ゼミで配布された資料の読み直し。
11	卒業論文中間発表。	各自作成したレジュメを確認する等、発表の準備をする。	発表時のアドバイスを踏まえ、レジュメを見直す。
12	卒業論文中間発表 & 卒業論文完成版の作成方法。	各自作成したレジュメを確認する等、発表の準備をする。	・発表時のアドバイスを踏まえ、レジュメを見直す。 ・ゼミで配布された資料の読み直し。
13	卒業論文中間発表 & 卒業論文完成版の作成方法。	各自作成したレジュメを確認する等、発表の準備をする。	・発表時のアドバイスを踏まえ、レジュメを見直す。 ・ゼミで配布された資料の読み直し。
14	特定のテーマに基づく討論 & 卒業論文完成版作成。	スケジュールを確認する。	・発表時のアドバイスを踏まえ、レジュメを見直す。 ・発表時のアドバイスを踏まえ、レジュメを見直す。
15	特定のテーマに基づく討論 & 卒業論文完成版の提出。	・スケジュールを確認する。 ・卒論の提出に備え、最終確認する。	・アドバイスを反芻する。

講義名	2020027213 研究演習Ⅵ　坂本ゼミ ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	坂本　貴博			

学習目標(到達目標)

ICT活用方法について理解し、「問題解決」のため色々と試し、楽しみながら情報や情報技術を適切に活用できる。
ICT活用技術としての各種アプリケーションソフトウェアやネットワークの利活用ができる。

授業概要(教育目的)

コンピュータは「電子計算機」と呼ばれていたように、計算の道具として開発されましたが、今では、表現やコミュニケーションの道具として、私たちの日常生活をより豊かにしてくれるようになりました。さらにインターネットの普及拡大に伴い、情報通信技術(Information Communication Technology:ICT)の活用は、クラウドコンピューティングやユビキタスネットワークを中心とする新たな時代になっています。
社会人となる学生にとっては、ICT活用方法について理解し、基礎的能力を身につけておく必要があります。どんな仕事にも難題があるように、近年の社会では「問題解決能力」が求められ、ICTの利活用についても「作る技術」よりも、「使う技術」が求められるようになって来ています。「問題解決」のため色々と試し、楽しみながら情報や情報技術を適切に活用できることが重要な力だと思います。それには、情報や情報技術の知識だけでなく、課題を見つけ出し、仮説を立て、試行錯誤を繰り返しながら、答えに近づいていく、という力が必要です。
本ゼミでは、社会人として身につけるべきICTの知識やICT活用技術としての各種アプリケーションソフトウェアやネットワークの利活用方法を中心に考察します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

●課題への取り組み態度・達成度を総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること

参考文献

講義時使用テキスト

適時、配布・説明。

資格との関連

ITパスポート試験

学生へのメッセージ

●学内外からインターネット利用可能なノートパソコン利用しますので準備してください。
●社会のあらゆる分野に興味を持つことと、自身が設定したテーマについては情報の収集、整理、分析等に積極的に取り組む姿勢が必要です。
●情報通信技術(ICT)を理解し、活用できる基礎的能力を身につけ、未来をともに切り開いていきましょう。
●無断欠席不可。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	文献読解と整理・保管①	研究調査段階で収集した情報を精読し情報を整理する	必要な情報を見極め、取捨選択する
2	文献読解と整理・保管②	研究調査段階で収集した情報を精読し情報を整理する	必要な情報を見極め、取捨選択する
3	文献読解と整理・保管③	研究調査段階で収集した情報を精読し情報を整理する	必要な情報を見極め、取捨選択する
4	文献読解と整理・保管④	研究調査段階で収集した情報を精読し情報を整理する	必要な情報を見極め、取捨選択する
5	文献読解と整理・保管⑤	研究調査段階で収集した情報を精読し情報を整理する	必要な情報を見極め、取捨選択する
6	文献読解と整理・保管⑥	研究調査段階で収集した情報を精読し情報を整理する	必要な情報を見極め、取捨選択する
7	仮アウトライン作成	論文の展開を考える	第三者にも分かるように整理する
8	仮執筆①	執筆を進め、試行錯誤しながら章立て考える	必要な情報を見極め、取捨選択する
9	仮執筆②	執筆を進め、試行錯誤しながら章立て考える	序論や主張、根拠を明らかにして順番を考える
10	仮執筆③	執筆を進め、試行錯誤しながら章立て考える	序論や主張、根拠を明らかにして順番を考える
11	仮執筆④	執筆を進め、試行錯誤しながら章立て考える	序論や主張、根拠を明らかにして順番を考える
12	仮執筆⑤	執筆を進め、試行錯誤しながら章立て考える	序論や主張、根拠を明らかにして順番を考える
13	最終アウトライン作成	章立てを確定する	下書きを推敲する
14	出典の表記確認	参考文献の情報を整理する	参考文献を明記する
15	仕上げ・提出	下書き推敲を繰り返し、提出前に確認する	提出後の論文を再確認する

講義名	2020027215 研究演習Ⅵ　根城ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	根城　隆幸		

学習目標(到達目標)

現代社会における紛争解決の最終的手段である司法の在り方とそこで用いられている法的思考の道具立てを理解することを目的とする。

授業概要(教育目的)

本演習は、基本書、判例などを読み解くことで、具体的事件を解決するための妥当な結論がどのように導き出されているかを理解することで、法的思考を養成する。そして、最終的には資格試験、公務員試験などの法的問題にも対応できる能力を身につけることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

発表内容・レジュメなどを総合して評価する。

課題に対するフィードバック

卒論報告に対するコメントを行う。

参考文献

講義時使用テキスト

授業中、適宜、参考文献を指示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

原則として、必ず出席すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	卒論の報告(1)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
2	卒論の報告(2)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
3	卒論の報告(3)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
4	卒論の報告(4)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
5	卒論の報告(5)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
6	卒論の再報告(1)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
7	卒論の再報告(2)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
8	卒論の再報告(3)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
9	卒論の再報告(4)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
10	卒論の再報告(5)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
11	卒論の再々報告(1)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
12	卒論の再々報告(2)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
13	卒論の再々報告(3)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
14	卒論の再々報告(4)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
15	卒論の再々報告(5)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。

講義名	2020027216 研究演習Ⅵ　幸田ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	幸田　威久矢			

学習目標(到達目標)

・会計学に関する研究を通じて、社会人に必要な情報の収集方法、資料の作成方法およびプレゼンテーション能力を習得する。
・簿記に関して正確かつ迅速な会計処理ができるよう、日商簿記検定試験2級程度の知識を習得する。

授業概要(教育目的)

自己の研究(研究課程の中で興味や関心のあるテーマ)について、作成・発表を行いながら卒業論文を完成させる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

ゼミへの貢献度、課題の提出状況、発表内容などから総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

適宜、指示する。

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
・本演習は、出席が大前提であり、無断欠席・遅刻は厳禁である。
・検定試験の取得に真剣に取り組むことのできる学生、ならびに会計学を学ぶ意欲の高い学生を歓迎する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	卒業論文の進捗状況報告①(第1組)	卒業論文の内容、論点を整理する。	卒業論文の内容、論点を整理する。
2	卒業論文の進捗状況報告①(第2組)	卒業論文の内容、論点を整理する。	卒業論文の内容、論点を整理する。
3	卒業論文の進捗状況報告②(第1組)	卒業論文の内容、論点を整理する。	卒業論文の内容、論点を整理する。
4	卒業論文の進捗状況報告②(第2組)	卒業論文の内容、論点を整理する。	卒業論文の内容、論点を整理する。
5	プレゼンテーション資料の添削(第1組)	卒業論文の内容、論点を整理する。	卒業論文の内容、論点を整理する。
6	プレゼンテーション資料の添削(第2組)	卒業論文の内容、論点を整理する。	卒業論文の内容、論点を整理する。
7	卒業論文の中間報告(第1組)	卒業論文の内容、論点を整理する。	卒業論文の内容、論点を整理する。
8	卒業論文の中間報告(第2組)	卒業論文の内容、論点を整理する。	卒業論文の内容、論点を整理する。
9	プレゼンテーション資料の修正・報告(第1組)	卒業論文の内容、論点を整理する。	卒業論文の内容、論点を整理する。
10	プレゼンテーション資料の修正・報告(第2組)	卒業論文の内容、論点を整理する。	卒業論文の内容、論点を整理する。
11	卒業論文の進捗状況報告③(第1組)	卒業論文の内容、論点を整理する。	卒業論文の内容、論点を整理する。
12	卒業論文の進捗状況報告③(第2組)	卒業論文の内容、論点を整理する。	卒業論文の内容、論点を整理する。
13	卒業論文の発表(第1組)	卒業論文の内容、論点を整理する。	卒業論文の内容、論点を整理する。
14	卒業論文の発表(第2組)	卒業論文の内容、論点を整理する。	卒業論文の内容、論点を整理する。
15	卒業論文の提出	卒業論文の内容、論点を整理する。	卒業論文の内容、論点を整理する。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020027218 研究演習Ⅵ　髙須ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	髙須　則行			

学習目標(到達目標)

現代社会における紛争解決の最終的手段である司法の在り方とそこで用いられている法的思考の道具立てを理解することを目的とする。

授業概要(教育目的)

本演習は、基本書、判例などを読み解くことで、具体的事件を解決するための妥当な結論がどのように導き出されているかを理解することで、法的思考を養成する。そして、最終的には資格試験、公務員試験などの法的問題にも対応できる能力を身につけることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

発表内容・レジュメなどを総合して評価する。

課題に対するフィードバック

卒論報告に対するコメントを行う。

参考文献

講義時使用テキスト

授業中、適宜、参考文献を指示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

原則として、必ず出席すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	第1回:卒論の報告(1)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
2	第2回:卒論の報告(2)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
3	第3回:卒論の報告(3)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
4	第4回:卒論の報告(4)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
5	第5回:卒論の報告(5)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
6	第6回:卒論の再報告(1)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
7	第7回:卒論の再報告(2)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
8	第8回:卒論の再報告(3)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
9	第9回:卒論の再報告(4)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
10	第10回:卒論の再報告(5)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
11	第11回:卒論の再々報告(1)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
12	第12回:卒論の再々報告(2)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
13	第13回:卒論の再々報告(3)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
14	第14回:卒論の再々報告(4)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
15	第15回:卒論の再々報告(5)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020027220 研究演習Ⅵ　崔ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	崔　桓碩			

学習目標(到達目標)

本研究演習では、卒業論文の作成を完了させることを到達目標と定めている。研究演習Ⅴまでに1回目の論文発表と指導を終え、本研究演習では、2回にわたる論文発表と指導を通じ、最終の卒業論文を完成させ、提出する。

授業概要(教育目的)

本研究演習では、論文発表とその内容に対する指導を行う。毎回1人ずつ自分が作成した論文について発表し、その内容についてディスカッションと指導を行う。その後、もう一回発表と指導を通じて、卒業論文の内容をさらに充実させる。15回目の授業では、学生同士の総合発表と意見交換を通じて、最終的に卒業論文を提出する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

研究演習に臨む態度(コミュニケーションなど)と卒業論文の内容により評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

1. 佐渡島紗織『これから研究を書くひとのためのガイドブック』ひつじ書房

講義時使用テキスト

レジュメ配布

資格との関連

学生へのメッセージ

まずは本研究演習の内容である「保険」について関心を持っていること。そしてその内容について学びたい意欲があること。最後に3年間まじめに続けられること。本研究演習における学習上の留意点としては、この3つが大事である。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	論文指導Ⅰ①(1人による発表と評価)	・授業内容についてインターネットで調べる	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
2	論文指導Ⅰ②(1人による発表と評価)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
3	論文指導Ⅰ③(1人による発表と評価)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
4	論文指導Ⅰ④(1人による発表と評価)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
5	論文指導Ⅰ⑤(1人による発表と評価)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
6	論文指導Ⅰ⑥(1人による発表と評価)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
7	2回目の論文指導の総評と今後の課題	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
8	論文指導Ⅱ①(1人による発表と評価)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
9	論文指導Ⅱ②(1人による発表と評価)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
10	論文指導Ⅱ③(1人による発表と評価)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
11	論文指導Ⅱ④(1人による発表と評価)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
12	論文指導Ⅱ⑤(1人による発表と評価)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
13	論文指導Ⅱ⑥(1人による発表と評価)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
14	3回目の論文指導の総評と今後の課題	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
15	総合発表と意見交換	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す

講義名	2020027221 研究演習Ⅵ　田村ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田村　正文			

学習目標(到達目標)

自分自身の関心のあるテーマに沿って、卒業論文を完成させることが、到達目標である。

授業概要(教育目的)

近年、ニュースや新聞などで「地域再生」、「地域活性化」等に資する報道やデータを頻繁に目にする。同時に例えばB級グルメなどに見られるように、地域住民が主体的となって行動し、自らが地域をマネジメントする(地域経営)の役割が大きくなっているともいえる。しかし、地域再生、地域活性化について自分なりに考えてみたところで、過疎化の問題、中心商店街の活性化、地域産業(農業や水産業などの第一次産業)の若年層の雇用、B級グルメ、地域交通、地域観光政策などから垣間見る様々な「切り口」があり、どのように展開すべきか、どのように取り組めばよいのかという課題に直面する。しかし、上述したような課題が多いというのも地域研究の間口の広さの特徴でもある。

研究演習Ⅵにおいては、今迄の研究演習Ⅰから研究演習Ⅴで学んだ内容を踏まえて、卒業論文を各自で執筆し、自身の関心について取りまとめる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

卒業論文の内容に基づき評価を行う。

課題に対するフィードバック

卒業論文については、執筆状況、文献・資料などについてコメント等を付して返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

(教科書)
使用しない。
卒業論文のテーマに応じて、個別に紹介する。

(参考文献)
澤田昭夫(1977)『論文の書き方』,講談社学術文庫.

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
情報処理基礎、情報処理応用での基本的な内容を身に着けていること.
データ分析をはじめ、情報関連の授業を履修すること.
欠席はできる限りしない事.
演習は、ゼミナリステンが主体であることを理解する事.

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	卒業論文の構成、タイトル	各自で指示された文献や資料を読んでおく。卒業論文の執筆を行う。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
2	参考文献、参考資料の報告	各自で指示された文献や資料を読んでおく。卒業論文の執筆を行う。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
3	卒業論文の目次、章構成	各自で指示された文献や資料を読んでおく。卒業論文の執筆を行う。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
4	卒業論文の執筆(1)　文献のレビュー	各自で指示された文献や資料を読んでおく。卒業論文の執筆を行う。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
5	卒業論文の執筆(2)　分析対象の概観	各自で指示された文献や資料を読んでおく。卒業論文の執筆を行う。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
6	卒業論文の執筆(3)　分析対象のデータ収集	各自で指示された文献や資料を読んでおく。卒業論文の執筆を行う。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
7	卒業論文の執筆(4)　分析対象のデータ分析	各自で指示された文献や資料を読んでおく。卒業論文の執筆を行う。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
8	卒業論文の執筆(5)　データ分析の結果	各自で指示された文献や資料を読んでおく。卒業論文の執筆を行う。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
9	卒業論文の執筆(6)　データ分析結果の解釈	各自で指示された文献や資料を読んでおく。卒業論文の執筆を行う。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
10	中間報告と質疑応答	各自で指示された文献や資料を読んでおく。卒業論文の執筆を行う。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
11	卒業論文の加筆・充実	各自で指示された文献や資料を読んでおく。卒業論文の執筆を行う。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
12	卒業論文の修正(1)　データや図表	各自で指示された文献や資料を読んでおく。卒業論文の執筆を行う。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
13	卒業論文の修正(2)　用語の使用法	各自で指示された文献や資料を読んでおく。卒業論文の執筆を行う。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
14	体裁の整理と脚注の確認	各自で指示された文献や資料を読んでおく。卒業論文の執筆を行う。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。
15	卒業論文の完成と提出	各自で指示された文献や資料を読んでおく。卒業論文の執筆を行う。	授業で質問を受けた箇所などについて不十分な所は、調べなおす。

講義名	2020027222 研究演習Ⅵ　加来ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	加来　聡伸			

学習目標(到達目標)

①卒業論文の執筆について学び、卒業論文を完成させる能力を身につける。
②卒業論文を完成させ、自身の考えを発表する能力を身につける。

授業概要(教育目的)

研究演習Ⅴを踏まえ、卒業論文を完成させ、それらをまとめ発表する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

卒業論文の内容および発表によって評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
卒業論文の作成は自主性が求められる。計画に基づき、行動しなければ論文を完成させることは難しい。就職活動等で多忙になる4年次生は、徹底したスケジュール管理が求められるとともに、時間を有効的に活用することが望まれる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業論文の進捗報告(Aチーム3)	シラバスを確認する	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	2. 卒業論文の進捗報告(Bチーム3)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	3. 卒業論文の進捗報告(Cチーム3)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	4. 卒業論文の進捗報告(Aチーム4)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	5. 卒業論文の進捗報告(Bチーム4)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	6. 卒業論文の進捗報告(Cチーム4)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	7. 卒業論文の進捗報告(Aチーム5)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	8. 卒業論文の進捗報告(Bチーム5)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	9. 卒業論文の進捗報告(Cチーム5)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	10. 卒業論文の仮提出および卒業論文発表資料の作成(Aチーム1)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	11. 卒業論文の仮提出および卒業論文発表資料の作成(Bチーム1	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	12. 卒業論文の仮提出および卒業論文発表資料の作成(Cチーム1)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	13. 卒業論文発表資料の作成	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	14. 卒業論文プレ発表(練習)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	15. 卒業論文の提出および発表会	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	2020027227 研究演習Ⅵ　鶴見ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	鶴見　浩一郎			

学習目標(到達目標)

現代社会における紛争解決の最終的手段である司法の在り方とそこで用いられている法的思考の道具立てを理解することを目的とする。

授業概要(教育目的)

本演習は、基本書、判例などを読み解くことで、具体的事件を解決するための妥当な結論がどのように導き出されているかを理解することで、法的思考を養成する。そして、最終的には資格試験、公務員試験などの法的問題にも対応できる能力を身につけることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

発表内容・レジュメなどを総合して評価する。

課題に対するフィードバック

卒論報告に対するコメントを行う。

参考文献

講義時使用テキスト

授業中、適宜、参考文献を指示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

原則として、必ず出席すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	卒論の報告(1)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
2	卒論の報告(2)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
3	卒論の報告(3)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
4	卒論の報告(4)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
5	卒論の報告(5)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
6	卒論の再報告(1)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
7	卒論の再報告(2)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
8	卒論の再報告(3)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
9	卒論の再報告(4)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
10	卒論の再報告(5)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
11	卒論の再々報告(1)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
12	卒論の再々報告(2)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
13	卒論の再々報告(3)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
14	卒論の再々報告(4)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。
15	卒論の再々報告(5)	文献資料の該当箇所を通読し、論点をまとめておく	報告内容に対する批判点を整理し、分からない点があれば調べておく。

講義名	2020027229 研究演習Ⅵ　横田ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	横田　将志			

学習目標(到達目標)

①国際社会の諸課題の因果関係を自ら解明し、説明できるようになる。
②これまでの研究成果を論文としてまとめ、自らの考えを論理的に表現できる能力を身につける。
③地球的諸問題に対する解決策を自ら導出し、よりよい世界の実現に向けて行動できるようになる。

授業概要(教育目的)

私たちは、国際社会のなかで暮らし、世界のさまざまな出来事から影響を受けるだけではなく、地球的諸問題の解決に貢献することも可能である。国際社会に存在する課題に取り組んでいくためには、その因果関係を自ら解き明かし、論理的に説明できるようになることが不可欠である。本演習では、この点を踏まえ、履修者が各自、卒業研究を進め、その結果を論文としてまとめるとともに、発表も行い、グローバル・アクターとして求められる地球的諸問題に対する論理的思考力を定着させると同時に、プレゼンテーション能力の向上を図る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

発表や報告の内容、ディスカッションでの発言などを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

発表やディスカッションの際にコメントするとともに、レポートおよび論文の草稿に対してフィードバックを行う。

参考文献

授業のなかで適宜紹介する。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

学生へのメッセージ

ゼミナール(研究演習)は、大学生活のなかで最も重要な活動の1つであり、学生を主体として進めていく。そのため、積極的な参加と自主的に研究を進めていくことが求められる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	卒業論文の中間発表①	これまでの研究成果を論文にまとめるとともに、その内容をレジュメに要約しておく。	アドバイスをもとに、論文を修正する。
2	卒業論文の中間発表②	これまでの研究成果を論文にまとめるとともに、その内容をレジュメに要約しておく。	アドバイスをもとに、論文を修正する。
3	卒業論文の中間発表③	これまでの研究成果を論文にまとめるとともに、その内容をレジュメに要約しておく。	アドバイスをもとに、論文を修正する。
4	卒業論文の中間発表④	これまでの研究成果を論文にまとめるとともに、その内容をレジュメに要約しておく。	アドバイスをもとに、論文を修正する。
5	卒業論文の草稿の発表①	これまでの研究成果を論文にまとめるとともに、その内容をレジュメに要約しておく。	アドバイスをもとに、論文を修正する。
6	卒業論文の草稿の発表②	これまでの研究成果を論文にまとめるとともに、その内容をレジュメに要約しておく。	アドバイスをもとに、論文を修正する。
7	卒業論文の草稿の発表③	これまでの研究成果を論文にまとめるとともに、その内容をレジュメに要約しておく。	アドバイスをもとに、論文を修正する。
8	卒業論文の草稿の発表④	これまでの研究成果を論文にまとめるとともに、その内容をレジュメに要約しておく。	アドバイスをもとに、論文を修正する。
9	卒業論文(初稿)の検討①	これまでの研究成果を論文にまとめるとともに、その内容をレジュメに要約しておく。	アドバイスをもとに、論文を完成させる。
10	卒業論文(初稿)の検討②	これまでの研究成果を論文にまとめるとともに、その内容をレジュメに要約しておく。	アドバイスをもとに、論文を完成させる。
11	卒業論文(初稿)の検討③	これまでの研究成果を論文にまとめるとともに、その内容をレジュメに要約しておく。	アドバイスをもとに、論文を完成させる。
12	卒業論文(初稿)の検討④	これまでの研究成果を論文にまとめるとともに、その内容をレジュメに要約しておく。	アドバイスをもとに、論文を完成させる。
13	卒業論文の発表会①	卒業論文(決定稿)の内容をパワーポイントにまとめておく。	必要な場合は該当箇所を修正したうえで、論文を提出する。
14	卒業論文の発表会②	卒業論文(決定稿)の内容をパワーポイントにまとめておく。	必要な場合は該当箇所を修正したうえで、論文を提出する。
15	卒業論文の発表会③	卒業論文(決定稿)の内容をパワーポイントにまとめておく。	必要な場合は該当箇所を修正したうえで、論文を提出する。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020027230 研究演習Ⅵ　堤ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	堤　静子			

学習目標(到達目標)

・学生が研究を行うために必要な情報を適切な方法で検索できる。
・学生が研究を行うために得た情報を適切な方法で整理できる。
・学生が研究計画を立てることができる。

授業概要(教育目的)

地域活性化、地域力アップのための国内外の地域事例を学ぶとともに、積極的に地域へ出かけ、自分の目で見て、聞いて、調べるというフィールドワークを主体とします。地域を知ることは、様々な人を知る良い機会となるだけではなく、多くの人と交流することでコミュニケーション能力が高まります。また、様々な地域課題を適切に掘り起し、課題解決策を考え、提言していく力を身につけていくことにつながります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

達成目標を総合的に勘案し、評価を行う。

課題に対するフィードバック

課題(レポート)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

適宜紹介する。

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
ゼミ学習では、基本的に自主的な学習を基礎に運営するため予習は必ず行ってくること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	収集した文献の整理①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
2	収集した文献の整理②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
3	収集した文献の整理③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
4	収集した文献の整理④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
5	収集した文献の整理⑤	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
6	収集した文献の整理⑥	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
7	入手した文献の内容紹介①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
8	入手した文献の内容紹介②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
9	入手した文献の内容紹介③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
10	入手した文献の内容紹介④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
11	入手した文献の内容紹介⑤	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
12	研究計画書作成①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
13	研究計画書作成②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
14	研究計画書作成③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
15	研究計画書作成④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2020027231 研究演習Ⅵ　馬場ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	馬場　祥次			

学習目標(到達目標)

・学生が研究を行うために必要な情報を適切な方法で検索できる。
・学生が研究を行うために得た情報を適切な方法で整理できる。
・学生が研究計画を立てることができる。

授業概要(教育目的)

地域活性化、地域力アップのための国内外の地域事例を学ぶとともに、積極的に地域へ出かけ、自分の目で見て、聞いて、調べるというフィールドワークを主体とします。地域を知ることは、様々な人を知る良い機会となるだけではなく、多くの人と交流することでコミュニケーション能力が高まります。また、様々な地域課題を適切に掘り起し、課題解決策を考え、提言していく力を身につけていくことにつながります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

達成目標を総合的に勘案し、評価を行う。

課題に対するフィードバック

課題(レポート)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

適宜紹介する。

資格との関連

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
　ゼミ学習では、基本的に自主的な学習を基礎に運営するため予習は必ず行ってくること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	収集した文献の整理①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
2	収集した文献の整理②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
3	収集した文献の整理③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
4	収集した文献の整理④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
5	収集した文献の整理⑤	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
6	収集した文献の整理⑥	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
7	入手した文献の内容紹介①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
8	入手した文献の内容紹介②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
9	入手した文献の内容紹介③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
10	入手した文献の内容紹介④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
11	入手した文献の内容紹介⑤	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
12	研究計画書作成①	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
13	研究計画書作成②	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
14	研究計画書作成③	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
15	研究計画書作成④	興味・関心のある研究対象について関連書籍やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。

講義名	2020027232 研究演習Ⅵ　井上ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	井上　丹			

学習目標(到達目標)

特定の地域を選び、その地域が活性化するための事業計画や企画開発を構築し実施することで、実社会の現場でも役に立つ企画提案力やコミュニケーション能力を身につける。

授業概要(教育目的)

関係各所との調整を行い、フィールドワークやアンケート調査によって情報を収集し、分析結果をもとに企画を構築。それを関係者へ提案し実施、振り返りを行い、最終成果を発表する。事業や企画を検討する際にはマーケティングやマネジメント知識を活用し、提案や発表する際には広報戦略や持続可能性を考える。また、活動を通して地域でのキャリアについても検討していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

ゼミ活動におけると取組姿勢やディスカッション、プレゼンテーション、レポート等により総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

課題は採点やコメントした上で返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

机上の学問だけではなく、地域全体を学びのフィールドとすることが大切だと考えている。講義時間以外で学外でのフィールドワークを行うこともある。社会に出てから体験することは非常に難しく、学生だからこそ体験できる貴重な学びの機会である。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	卒業論文計画とスケジュール確認	自分自身について振り返り、整理しておく	配付資料を読み直す
2	研究計画作成	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
3	研究資料整理	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
4	卒業論文作成指導①	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
5	卒業論文作成指導②	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
6	卒業論文作成指導③	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
7	中間発表資料作成	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
8	ゼミ内中間発表会	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
9	卒業論文作成指導④	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
10	卒業論文作成指導⑤	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
11	卒業論文作成指導⑥	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
12	卒業論文完成	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
13	卒業論文発表資料作成	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
14	卒業論文発表会	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
15	発表会振り返り	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す

講義名	2020027233 研究演習Ⅵ　大沢宥介ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	大沢　宥介		

学習目標(到達目標)

本研究演習では、ICT活用について理解し、将来教員を目指す学生や社会人として求められる実践的な能力や理論性の基礎を身につけるとともに、学校・教員を巡る様々な問題点を複合的に認識し、解決に向けた分析・解決能力を身につけられるようにする。

授業概要(教育目的)

今では、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。 学生には、求められる実践的な能力や理論性の基礎を身につけるとともに、現代における課題を見つけ出し解決する能力が求められます。

本研究演習では、将来、高校教員目指す学生および社会人としてコンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを中心に学んでいく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力、地域への理解、社会課題の発見力を身につけている。

評価方法

発表や報告の内容、ディスカッションでの発言などを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・レポート等、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
・成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

授業の中で随時紹介する。

講義時使用テキスト

随時、配付、説明する。

資格との関連

ITパスポート

学生へのメッセージ

【学習上の留意点】
・事前の文献購読と積極的な意見交換を望む。
・インターネット利用可能なノートパソコンを利用しますので各自準備して下さい。
・無断欠席不可。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1.研究演習Ⅵについて	自分自身について振り返り、整理しておく	配付資料を読み直す
2	2.卒業論文の作成	卒業論文の執筆および資料の整理	指摘箇所の修正および読み直し
3	3.卒業論文の作成	卒業論文の執筆および資料の整理	指摘箇所の修正および読み直し
4	4.卒業論文の作成	卒業論文の執筆および資料の整理	指摘箇所の修正および読み直し
5	5.卒業論文の作成	卒業論文の執筆および資料の整理	指摘箇所の修正および読み直し
6	6.卒業論文の作成	卒業論文の執筆および資料の整理	指摘箇所の修正および読み直し
7	7.卒業論文の作成	卒業論文の執筆および資料の整理	指摘箇所の修正および読み直し
8	8.中間発表	資料の見直し	指摘部分の修正
9	9.中間発表	資料の見直し	指摘部分の修正
10	10.中間発表(修正版)	資料の見直し	指摘部分の修正
11	11.中間発表(修正版)	資料の見直し	指摘部分の修正
12	12.プレゼンテーション資料の作成(1)	資料の見直し	指摘部分の修正
13	13.プレゼンテーション資料の作成(2)	資料の見直し	指摘部分の修正
14	14.卒論発表(1)	資料の見直し	指摘部分の修正
15	15.卒論発表(2)	資料の見直し	指摘部分の修正

講義名	2020027234 研究演習Ⅵ　木村浩哉ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	木村　浩哉			

学習目標(到達目標)

八戸圏域におけるスポーツの活性化について課題を総合的に認識し、解決に向けた分析、解決能力を身につける.

授業概要(教育目的)

将来地域スポーツの牽引車になるために、スポーツを「する」「観る」「支える」の観点から、基礎的な能力や広い社会性を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

実践の状況、研究演習の発表等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

対話、発表を通じて、自分と他者との意見を比較しながら、課題解決に臨む。

参考文献

八戸市スポーツ推進計画(平成31年3月、八戸市

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

未経験なことについても挑戦してみる積極的な態度を望む。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	種差海岸(釜の口)での観光客・散策者サポートについての整理、分析	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
2	種差海岸(白浜漁港～芝生キャンプ地)散策1	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
3	種差海岸(白浜漁港～芝生キャンプ地)散策2	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
4	八戸市のスケートの歴史	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
5	YSアリーナの活用の実際 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
6	YSアリーナの活用2 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
7	YSアリーナの活用3 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
8	YSアリーナの活用4 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
9	YSアリーナの活用5 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用についてのレポート作成、発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
10	YSアリーナの活用6 アフタースケートから中心街の活性化を考える。レポート作成、発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
11	YSアリーナの活用7 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
12	YSアリーナの活用8 日本で3箇所のみの屋内400mスピードスケートリンクの有効活用の実際	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
13	YSアリーナと中心街の活性化1 スポーツ施設が街の活性化につながっている全国的な例を調査	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
14	YSアリーナと中心街の活性化2 スポーツ施設が街の活性化につながっている全国的な例を調査、発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換
15	地域スポーツとしてのスケートの価値 八戸圏域におけるスポーツ文化としてのスケートの意義についてレポート作成、発表	インターネット検索	インターネット検索 意見交換

講義名	2020027235 研究演習Ⅵ　アンソニーゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	グレゴリー・アンソニー			

学習目標(到達目標)

The objective of this research seminar is to improve students' practical English skills, develop learner autonomy, and provide a deeper understanding of foreign cultures, while considering Japan's position through a global perspective in order to prepare and empower students for their lives in a rapidly globalizing Japan.

授業概要(教育目的)

As contending with the English language online, in technology, and with international media can be some of the most immediate and relevant challenges for many Japanese adults, this research seminar aims to employ various technologies and online resources as tools to improve students' English ability, develop learner autonomy, and foster greater international awareness. This seminar requires students to join both an intensive English language study program as well as participate in the Aomori Global Academy in order to enhance communication ability and "glocalization" knowhow. Additionally, this seminar will examine the Sustainable Development Goals (SDG's) as established by the United Nations as well as considering Japan's and other nations' responsibilities and efforts towards realizing these goals. Even without future goals of studying or working overseas, this seminar's approach will enable students to become more capable and confident global citizens within Japan.

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域の産業構造や地場産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

年次計画通り、ゼミ活動の積極的な参加・テスト・宿題・タスク等の実施、英語でのやり取に懸命に取り組むこと。

ゼミ時間中・課題。宿題などでは、積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。タスクを完成するために、毎回必要な事柄を調べ、資料などを持参する。成績も第1日目から評価する。

課題に対するフィードバック

課題は講義中口頭でフィードバックする。
English Centralオンライン教材で各自の評価・工程等は確認できます。

参考文献

講義時使用テキスト

①「Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals (地球市民として生きる：英語でSDGs実践入門)」NAN'UN-DO (ISBN: 9784523179313)

②「English Central」オンライン教材(予約購読サービスのオンラインアクセスカード) ＊春学期の「研究演習I」と秋学期の「研究演習II」両方登録学生は1年間の予約購読になる。

＊アクティブラーニングの実施について:この講義にインターネット対応デバイス(スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン)を毎回持参すること。英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものが良い。

資格との関連

①英語検定試験TOEIC(年2回受験)
②CNE1・CLASSMATE英語学習コースの参加・修了書(オンラインもしくは海外)(2年次)
③Aomori Global Academyの参加・修了書(3年次)

学生へのメッセージ

このゼミは基本英語で行う。ゼミの活動・内容・情報共有等の理解・動力するのはゼミ学生一人一人の必要条件。ゼミ学生も基本英語でのコミュニケーションが必要条件。

〈2年次〉〈3年次〉〈4年次〉
①メディアを通じて英語学習・異文化理解(ゼミ活動・プロジェクト等)
②英語検定試験(学内TOEIC等)を年2回受ける
③2年次の間、4週間以上フィリピンのCNE1学校・CLASSMATE等の集中英語学習コースを受講・完了
④3年次の間、青森県の「Aomori Global Academy」を受講・完了(年内週末x3回)
⑤4年次の間、英語で研究発表(プレゼンテーション)を実施

実務との関連

日本でのグローバル向け職業、日本で外国人の対応・英語に関わる職業
(日本でのグローバル向け・日本で外国人の対応・英語力(英語検定試験資格も含む))。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	Planning with Online Technologies and Systems Explanation A: Conversation Activity B: Discussion C: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	CALL - Computer Assisted Language Learning ① A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	Research Project Preparation ① A: Conversation Activity B: Review and Feedback C: Preparation D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	Research Project Preparation ② A: Conversation Activity B: Review and Feedback C: Preparation D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	Current News and Media ① A: Conversation Activity B: Investigate and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	CALL - Computer Assisted Language Learning ② A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	Research Project Preparation ③ A: Conversation Activity B: Review and Feedback C: Preparation D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	Research Project Preparation ④ A: Conversation Activity B: Review and Feedback C: Preparation D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	Current News and Media ② A: Conversation Activity B: Investigate and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	CALL - Computer Assisted Language Learning ③ A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	Research Project Preparation ⑤ A: Conversation Activity B: Review and Feedback C: Preparation D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	Research Project Preparation ⑥ A: Conversation Activity B: Review and Feedback C: Preparation D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	Current News and Media ③ A: Conversation Activity B: Investigate and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	CALL - Computer Assisted Language Learning ④ A: Conversation Activity B: Practice and Review C: Discussion D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	Content Assessment and Planning A: Conversation Activity B: Discussion C: Feedback	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	2520009000 経営学						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)		堤　静子		

学習目標(到達目標)

経営学を体系的に初めて学ぶことを前提に講義内容を構成している。本講義の学習目標は2つ。企業及び組織の経営・管理に関する理論及び企業・公共事業体等組織が直面する課題と対応を理解できること。

1. 経営学の基本的知識の習得
2. 現代社会における“経営”のあり方を把握することで、基本的な経営学の理論と実例を説明できる。
3. 積極的に学ぶ意欲を保持できるようになること。企業及び組織の経営・管理に関する理論及び
企業・公共事業体等組織が直面する課題と対応を理解できること。

授業概要(教育目的)

本講義では、経営学をいつくかのテーマに沿った形式で講義を進める。そもそも経営学の意義とは、経営とは何か等から始め、現代の資本主義社会の重要なファクターである企業経営を中心に、企業の成り立ち、利益を上げる仕組みや健全な経営、経営組織で働く人々の尊重等々について、事例を用いた講義を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている

評価方法

小テストや定期試験により総合的に評価する

課題に対するフィードバック

小テストや課題は採点の上返却する

参考文献

講義中に適宜紹介する

講義時使用テキスト

毎回講義レジュメを配付する

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	第1回:ガイダンス・・経営学の概要と学習の意義、講義の説明	授業内容についてインターネットで調べる	授業内容をまとめておくこと。
2	第2回:企業経営の全体像・・企業を取り巻く環境、企業活動とは	前回の配布資料とノートを読み直す	授業内容をまとめておくこと。
3	第3回:経営学の全体像・・稼ぐと儲けることの相違、経営学の対象とは	前回の配布資料とノートを読み直す	授業内容をまとめておくこと。
4	第4回:企業と会社・・会社の誕生、企業形態と株式会社の成立	前回の配布資料とノートを読み直す	授業内容をまとめておくこと。
5	第5回:企業創業と経営理念・・起業家精神の重要性、経営理念の意義	前回の配布資料とノートを読み直す	授業内容をまとめておくこと。
6	第6回:企業と市場の関係・・インプット市場とアウトプット市場、利益の本質	前回の配布資料とノートを読み直す	授業内容をまとめておくこと。
7	第7回:戦略から経営戦略へ・・戦略とは何か、経営戦略の考え方	前回の配布資料とノートを読み直す	授業内容をまとめておくこと。
8	第8回:競争戦略のマネジメント・・競争優位の戦略、競争要因と基本戦略	前回の配布資料とノートを読み直す	授業内容をまとめておくこと。
9	第9回:企業の社会的責任・・CSRとは何か、CSRの多様性	前回の配布資料とノートを読み直す	授業内容をまとめておくこと。
10	第10回:大企業の経営・・大企業経営の特徴と組織構造	前回の配布資料とノートを読み直す	授業内容をまとめておくこと。
11	第11回:中小企業・ベンチャー企業の経営・・中小企業・ベンチャー企業経営の特徴と組織構造	前回の配布資料とノートを読み直す	授業内容をまとめておくこと。
12	第12回:ファミリービジネスの経営・・ファミリービジネス経営の特徴と組織構造	前回の配布資料とノートを読み直す	授業内容をまとめておくこと。
13	第13回:高公共性事業組織の経営・・社会的企業、病院、教育機関などの高公共性事業組織の経営	前回の配布資料とノートを読み直す	授業内容をまとめておくこと。
14	第14回:企業と人的資源・・企業組織を構成する人的資源の育成とキャリア開発	前回の配布資料とノートを読み直す	授業内容をまとめておくこと。
15	第15回:総括・・本科目の体系的理解とまとめ	前回の配布資料とノートを読み直す	授業内容をまとめておくこと。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2520010000 経済学入門						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)		奈良　卓		

学習目標(到達目標)

以下の①～④を講義の到達目標とする。
①学問としての経済学の存在意義(経済学とは何か、何のために存在するのか)を把握する。
②私たちが暮らす経済・社会のしくみを理解し、経済学の視点に基づく、物事の見方、考え方の基礎を学び、身につける。
③学問体系としての経済学が創始され、発展してきた歴史的な経緯を学び、把握する。
(八戸学院大学地域経営学部の2年生以上に配当される予定の経済学に関連する科目を念頭におき、経済学の一分野であるミクロ経済学、及びマクロ経済学は、いかなる社会の状況、背景のもと生み出されたのかを理解する。)
④上記③のミクロ経済学、マクロ経済学等、八戸学院大学地域経営学部で開講される2年生以上配当の経済学に関連する科目を理解するに必要な基礎を身につける。

授業概要(教育目的)

「経済学入門」は、私たちが暮らす経済・社会の基本的な仕組み、また、経済学の視点に立脚した考え方の基本、さらに、八戸学院大学における2年次以上配当の経済学関連科目(「ミクロ経済学」、「公共経済学」、「マクロ経済学」、「経済政策論」等)を学ぶための基礎的な知識、考え方を身につけることを目的とする。
「経済学入門」では、はじめに、学問としての経済学が創始された歴史的背景、その時々の社会の状況を反映しつつ、ミクロ経済学、マクロ経済学といった新たな学問領域の成立に至る経緯をあつかう。次に、経済主体、経済活動、及び、市場における取引と、それによる価格決定、(GDP等)一国全体における経済指標の表し方といった経済・社会の在り方を考察するに必要な考え方の基本をあつかう。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

授業中に随時実施する小テスト、その他課題を総合して評価する。

課題に対するフィードバック

・小テストの模範解答を配布し、適宜、解説を行う。

参考文献

講義時間中に随時説明する。

講義時使用テキスト

(必携)担当教員作成の講義資料を章ごとに配布し、メインテキストとして使用する。

資格との関連

学生へのメッセージ

「経済学入門」は必修科目であり、経済学関連の科目だけではなく、地域経営学部のすべての専門科目を学ぶ基礎となります。しっかり授業に出席し、しっかり理解することに努めて下さい。また、「経済学入門」で学んだ知識を確認し、経済学に対する興味を深めるためにも、新聞を読み、社会の動きを知り、問題意識を養って下さい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	「経済学入門」の目的と内容	・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
2	経済学の歴史を学ぶことの意義	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
3	古典派経済学の背景と内容	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
4	自由な経済活動と貿易の利益	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
5	新古典派経済学の背景と内容	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
6	自由な経済活動がもたらす弊害と政府の役割	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
7	新古典派経済学に関連する現代社会の考察:電力自由化と電力システム改革	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
8	ケインズ経済学の背景と内容	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
9	総需要の拡大と経済波及効果	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
10	ケインズ経済学に関連する現代社会の考察:地域の衰退と地域活性化のための事業	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
11	経済主体と経済活動	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
12	経済活動と財・サービス市場	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
13	需要・供給分析の具体例	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
14	GDPと経済循環	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
15	地域経営学部における経済学関連科目の概要と相互の関連	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。

講義名	2520011000 法学概論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	髙須　則行		

学習目標(到達目標)

①裁判と裁判所の種類について説明することができる。
②制定法の種類を説明することができる。
③犯罪の成立要件を説明することができる。
④近代憲法の原理について説明することができる。
⑤家族法における家族関係と相続関係の規律を説明することができる。
⑥財産関係における原理を説明することができる。

授業概要(教育目的)

今日の社会では、さまざまな価値観や利害が交錯しており、これまでの常識やモラルだけで物事を処理することが難しくなってきている。そこで、多様な観点を包摂する法は、ますますその役割が期待されている。法学概論では、法的なものの考え方とその道具立てを学ぶものである。具体的には、法とその他の社会規範の関係、法の種類、法の支配の重要性、裁判の在り方と裁判所制度、法的思考としての法的三段論法、裁判員裁判制度を念頭に置いて犯罪の成立と罪刑法定主義、法解釈の方法等を学ぶものである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験や小テスト等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストの模範解答を示す。

参考文献

講義時使用テキスト

高橋雅夫編著『法学』(弘文堂)

資格との関連

学生へのメッセージ

【履修上の注意】
テキストを必ず持ってくること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	法学概論へのいざない:日常生活と法	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
2	日本における近代法制の輸入:五大法律学校と近代法制	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
3	裁判の仕組み(1):裁判の種類	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
4	裁判の仕組み(2):裁判所の種類	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
5	法の存在形式(1):国家機関が制定する法:憲法・条約・法律・命令(政令・省令)・議員規則・最高裁判所規則・条例	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
6	犯罪と刑罰に関する法(1):罪刑法定主義と責任主義	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
7	犯罪と刑罰に関する法(2):犯罪の成立要件(ⅰ):行為性・構成要件該当性・違法性・有責性	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
8	前半のまとめ	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
9	日本国憲法(人権)	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
10	日本国憲法(統治)	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
11	家族と法	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
12	財産と法	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
13	企業と法	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
14	行政と法	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
15	情報と法	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。

講義名	2520012000	簿記原理Ⅰ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	幸田　威久矢			

学習目標(到達目標)

会計関連科目の基礎である簿記の基礎原理ならびに記帳技術の基礎を習得することを目的とする。具体的な到達目標は、簿記と財務諸表の関係と簿記一巡の流れを理解し、仕訳技術の基礎を習得することである。

授業概要(教育目的)

簿記は、財務諸表作成の基礎となる重要な技術である。社会における複式簿記の意義とその原理、そこから生み出される財務諸表への理解を促す。簿記原理Ⅰでは、会計学関連科目の理解に必要となる利益計算構造に関する知識の習得を目的としている。会計主体を最も単純な個人商店と想定し、簡単な事例を用いて、その活動を複式簿記のルールに従い、記録・集計し、貸借対照表ならびに損益計算書を作成、利益を確定するまでのプロセスを学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験(100%)

課題に対するフィードバック

定期試験の成績について疑問のある学生は「成績に関する申立書」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『検定簿記講義 3級 商業簿記 2023年度版』中央経済社
渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『検定簿記ワークブック 3級 商業簿記』中央経済社

資格との関連

日商簿記検定3級の導入部。

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	簿記の基礎概念、簿記一巡の手続き	テキストの1頁から5頁を読んでおく。	簿記の意義や種類について把握しておくこと。 簿記一巡の流れを正確に把握しておくこと。
2	資産・負債・純資産(資本)	テキストの6頁から9頁を読んでおく。	資産・負債・資本(純資産)の特徴を把握しておくこと。
3	収益・費用	テキストの10頁から13頁を読んでおく。	収益・費用の特徴を把握しておくこと。
4	貸借対照表と損益計算書	テキストの15頁から18頁を読んでおく。 第2回第3回の講義内容を再度確認しておくこと。	15頁から16頁の注水例をよく読み、理解しておくこと。
5	取引①(意義と種類)	テキストの22頁から23頁を読んでおくこと。	取引の意義と種類を確認しておくこと。
6	取引②(8要素と結合関係)	テキストの24頁から26頁を読んでおくこと。	テキスト27頁の例題を解いておくこと。
7	勘定記入法、貸借平均の原理	テキストの19頁から21頁を読んでおくこと。	テキスト21頁の表を把握しておくこと。
8	仕訳(仕訳帳)	テキストの29頁、37頁から39頁を読んでおくこと。	テキスト29頁から30頁を再度読み勘定科目や勘定記入の再確認をする。 仕訳のフォームを正確に把握しておくこと。
9	転記(総勘定元帳)	テキストの30頁から31頁、40頁を読んでおくこと。	テキストの31頁から33頁をよく読み、再度例題を解いてみること。 テキスト41頁から43頁の例題を再度解いてみること。 補助簿の種類について把握しておくこと。
10	決算手続①(試算表の作成)	テキストの44頁から47頁を読んでおくこと。 テキストの51頁から54頁を読んでおくこと。	48頁から51頁の例題や問題を解いておくこと。 決算振替仕訳について再度確認しておくこと。
11	決算手続②(精算表の作成)	テキストの227頁から230頁を読んで、最終的に作成する8桁精算表についても概観しておくこと。	テキストの60頁から63頁までの問題を再度解いてみること。 精算表の意義を簿記一巡の中で、把握しておくこと。
12	商品売買①(記帳)	テキストの84頁から92頁を読んでおくこと。	第8回から12回までの内容で理解が不十分な部分を再度復習しておくこと。
13	商品売買②(補助簿)	テキストの93頁から100頁を読んでおくこと。	テキストの93頁から103頁までの問題を再度解いてみること。
14	現金・預金等取引①(現金)	テキストの64頁から69頁を読んでおくこと。	テキストの66頁から70頁までの問題を再度解いてみること。
15	現金・預金等取引②(預金)	テキストの71頁から80頁を読んでおくこと。	テキストの74頁から83頁までの問題を再度解いてみること。

講義名	2520013000 会計学原理						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田中　哲			

学習目標(到達目標)

以下の事項を到達目標とする。
1.「会計とは何か」について、定義し、それについて説明できる。
2.財務諸表(貸借対照表・損益計算書)の内容について説明できる。
テーマ:会計の原理的な内容の把握

授業概要(教育目的)

会計とは、事業体の経済活動を期間を定めて、貨幣額で記録・計算し、その結果を報告するシステムである(桜井久勝・須田一幸『財務会計・入門[第16版]』有斐閣、2023年)。この定義を基礎として、本講義では、事業体の種類、経済活動の内容(資金調達・資金投下・営業)、(複式簿記という)記録方式の説明、「勘定」による計算、決算、「報告」を要請する制度的基盤(法的規制)について説明する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

学期末試験の成績により評価する。

課題に対するフィードバック

期末試験成績に疑義のある学生は「成績に関する申立書」を提出すること。

参考文献

講義中に「会計学原理ノート」を配布する。

講義時使用テキスト

桜井久勝・須田一幸『財務会計・入門【第16版】』有斐閣、2023年

資格との関連

税理士試験「財務諸表論」の基礎的知識の習得

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1.会計とは何か ①…会計の定義とその説明	1.テキストの該当箇所を読む。	1.配布資料をよむ。
2	2.会計とは何か ②…財務会計と管理会計	1.テキストの該当箇所を読む。	1.配布資料をよむ。
3	3. 会計の規則 ①…会計制度についての概略を押さえる	1.テキストの該当箇所を読む。	1.配布資料をよむ。
4	4. 会計の規則 ②…金融商品取引法、会社法などの会計規定の説明	1.テキストの該当箇所を読む。	1.配布資料をよむ。
5	5. 会計の役割…各種の情報利用者にとっての会計の役割の説明	1.テキストの該当箇所を読む。	1.配布資料をよむ。
6	6. 経済活動と会計 ①…資金調達活動と会計	1.テキストの該当箇所を読む。	1.配布資料をよむ。
7	7. 経済活動と会計 ②…資金投下活動と会計	1.テキストの該当箇所を読む。	1.配布資料をよむ。
8	8. 経済活動と会計 ③…営業活動と会計	1.テキストの該当箇所を読む。	1.配布資料をよむ。
9	9. 損益計算の基本原則 ①…収益・費用の認識と測定	1.テキストの該当箇所を読む。	1.配布資料をよむ。
10	10. 損益計算の基本原則 ②…費用収益対応の原則等についての説明	1.テキストの該当箇所を読む。	1.配布資料をよむ。
11	11. 財産計算の基本原則 ①…評価とは何か	1.テキストの該当箇所を読む。	1.配布資料をよむ。
12	12. 財産計算の基本原則 ②…費用配分の原則等についての説明	1.テキストの該当箇所を読む。	1.配布資料をよむ。
13	13. 財務諸表概論①…損益計算書概論	1.テキストの該当箇所を読む。	1.配布資料をよむ。
14	14. 財務諸表概論②…貸借対照表概論	1.テキストの該当箇所を読む。	1.配布資料をよむ。
15	15. 再び、会計とは何か…会計の定義の再確認と説明	1.テキストの該当箇所を読む。	1.配布資料をよむ。

講義名	2520014000 コンピュータサイエンス						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	坂本　貴博		

学習目標(到達目標)

1. コンピュータの歴史・特徴・種類を説明できる。
2. コンピュータの構成と役割を説明できる。
3. OSの役割と種類を説明できる。
4. ネットワークの特徴としくみを説明できる。
5. 情報モラルとセキュリティについて説明できる。

授業概要(教育目的)

情報技術は，私たちの生活に深く浸透し，今や重要な社会インフラになっている．あらゆるシステムに情報処理技術が使われており，さまざまな場面において開発者側，利用者側といった区別なく，職業人として益々，情報技術に関する基礎知識が必要とされている．
　この講義は，コンピュータの世界の内部の構造を話題として，情報処理に関する基礎的な事項について講義を進めて行く．情報処理技術者(ITパスポート試験)への最初の入口となり，受験そして合格への足がかりになることを目的としている．

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験，小テスト状況等により総合的に評価する．

課題に対するフィードバック

WEB小テストの成績は、自動採点され個別に成績確認ができる．
試験の成績を知りたい学生には個別に開示する．

参考文献

必要に応じ、講義時に紹介する．

講義時使用テキスト

購入必携「これだけは知っておこう　情報リテラシー　noa出版」

資格との関連

高等学校教諭一種免許(情報) に関する科目

学生へのメッセージ

1. 使用テキストの学習するステップごとに，小テストを実施するので，テキストは必ず購入準備すること．
2. 各ステップごとにスキルチェックし，自身のレベルの確認を行うこと．

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ユビキタス社会について	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料を読み直す
2	コンピュータと情報	事前配布資料を読む	授業内容を整理し論点を整理する
3	コンピュータの歴史・特徴・種類	事前配布資料とテキスト該当箇所を読む	授業内容を整理し論点を整理する
4	コンピュータの構成と役割	事前配布資料とテキスト該当箇所を読む	授業内容を整理し論点を整理する
5	マザーボードとCPU	事前配布資料とテキスト該当箇所を読む	授業内容を整理し論点を整理する
6	メモリと補助記憶装置	事前配布資料とテキスト該当箇所を読む	授業内容を整理し論点を整理する
7	出力装置（表示装置と印刷装置）	事前配布資料とテキスト該当箇所を読む	授業内容を整理し論点を整理する
8	入力装置の役割と種類（入出力インタフェース） 講義第2回～第8回までに学習したハードウェア分野に関するWEB小テストを実施する。	事前配布資料とテキスト該当箇所を読む	授業内容を整理し論点を整理する ハードウェア分野に関するWEB小テストで合格点に達するまで繰り返し受験すること
9	OSの役割と種類	事前配布資料とテキスト該当箇所を読む	授業内容を整理し論点を整理する
10	アプリケーションソフトウェア 講義第9回～第10回までに学習したソフトウェア分野に関するWEB小テストを実施する。	事前配布資料とテキスト該当箇所を読む	授業内容を整理し論点を整理する ソフトウェア分野に関するWEB小テストで合格点に達するまで繰り返し受験すること
11	情報通信ネットワークの特徴と基礎	事前配布資料とテキスト該当箇所を読む	授業内容を整理し論点を整理する
12	LANの方式とハードウェア	事前配布資料とテキスト該当箇所を読む	授業内容を整理し論点を整理する
13	インターネットのしくみとサービス	事前配布資料とテキスト該当箇所を読む	授業内容を整理し論点を整理する
14	セキュリティ 講義第11回～第14回までに学習したネットワーク＆セキュリティ分野に関するWEB小テストを実施する。	事前配布資料とテキスト該当箇所を読む	授業内容を整理し論点を整理する ネットワーク＆セキュリティ分野に関するWEB小テストで合格点に達するまで繰り返し受験すること
15	情報モラル	事前配布資料とテキスト該当箇所を読む	授業内容を整理し論点を整理する

講義名	2520021000 経営史						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)		田村　正文		

学習目標(到達目標)

1. 経営の歴史的内容を説明できる。
2. 国内外の代表的な企業の史的展開を理解し、経営学的な立場から説明できる。
3. わが国の近代化の過程を説明できる。

授業概要(教育目的)

有名企業や大規模企業といえども、当然、創業より現在まで、様々な社会情勢に直面してきたといえる。経営史は、単に個別の企業の歴史を説明するのではなく、企業を中心に据えつつも、その企業が直面してきた社会情勢や企業内での組織の変遷など、時間的経過に伴ってどのように変化し、現在に至るかを考察するものである。

この授業では、前半部分ではアメリカの代表的な企業の事例を説明し、後半部分ではわが国の事例について解説する。具体的にはアメリカおよび日本の経営体の事例を通じて、歴史的視点から、どのような変化があり、その違いはどこから生じてきたのかについて検討することが本講義の目的である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験(100%)によって評価する。

課題に対するフィードバック

質問などがある場合には、個別に対応する。

参考文献

A.D.チャンドラーJr, 有賀裕子訳『組織は戦略に従う』, ダイヤモンド社. 2004年。
前田正名『興業意見』, 光生館. 1971年。
三和良一『概説日本経済史　近現代』、東京大学出版会、1993年。
作道洋太郎・三島康郎・安岡重明・井上洋一郎共著『日本経営史』、ミネルヴァ書房、昭和62年。

その他の参考文献は適宜指示する。

講義時使用テキスト

適宜、レジュメおよび資料を配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

履修にあたり、経営学、経営管理論を履修し、その知識を有していることが望ましい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	経営史とは 経営史とは何であるか 経営史と経済史	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
2	アメリカの歴史の概略 アメリカの国土、地理の特徴 農業と近代アメリカの貿易(綿花と煙草)	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
3	アメリカの企業 石油、鉄鉱石などの自然資源と鉄道 地域独占と企業買収	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
4	『組織は戦略にしたがう』① デュポン社の事例	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
5	『組織は戦略にしたがう』② GM社の事例	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
6	『組織は戦略にしたがう』③ スタンダード石油ニュージャージー社の事例	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
7	『組織は戦略にしたがう』④ シアーズ・ローバック社の事例	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
8	アメリカの4社の変遷のまとめ	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
9	日本の資本主義発展と企業の近代化	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
10	近代的紡績企業の発展とその後 クラボウの歴史と社会的企業 カネボウの歴史とベンタゴン経営	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
11	豊田織機からトヨタ自動車 豊田織機から産まれたトヨタ	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
12	殖産興業と地域経済① 前田正名『興業意見』と地域の産業化	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
13	殖産興業と地域経済② グンゼ(郡是)からみる殖産興業 殖産興業と現代	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
14	近年の情報化と経営史 GAFAMにみる急速な企業成長 情報化の進展と企業活動の変化	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
15	授業のまとめ	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す

講義名	2520022000 金融入門						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	崔　桓碩			

学習目標(到達目標)

本講義は、金融について初めて学ぶ学生が主な対象である。学生本人の人生とお金に関する基礎知識を身につけてもらい、金融リテラシーを向上させる。そして各自の人生のデザインを描き、社会人として自立する能力を確立するための学習を行う。さらに、本講義での学習を通じ、FP(ファイナンシャルプランナー)3級程度のレベルに達することを到達目標とする。

授業概要(教育目的)

金融入門は、金融を初めて勉強する学生のための入門コースである。「人生とお金」に関して身につけていただきたい知恵を紹介し、学生の金融リテラシーの向上を目指す。授業概要は、金融広報中央委員会が発行している『大学生のための人生とお金の知恵』を中心に、大きく①人生のデザインとお金、②お金の知恵、③不確実な人生に船出するというカテゴリについてそれぞれ説明する。また、新聞に報道される金融に関する記事を紹介し、金融という制度がわれわれの日常生活にどのように関係しているのかを理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

本講義の評価は、課題(レポート)2回と定期試験1回により評価する。レポート1回につき15点で合計30点、定期試験を70点にして、総合100点で評価する。

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

講義時使用テキスト

1. 金融広報中央委員会著『大学生のための人生とお金の知恵』(無料教材、第1回目の授業で配布)
2. レジュメ配布

参考文献

1. 畳間文彦著『金融論(第2版)』新世社
2. 小林照義『金融政策(ベーシック+)』中央経済社
3. 永野良佑『これだけは知っておきたい「金融」の基礎と常識』フォレスト出版
4. 谷内満著『入門金融の現実と理論(第2版)』センゲージラーニング
5. 植田和男『大学4年間の金融学が10時間でざっと学べる』株式会社KADOKAWA

資格との関連

本講義の内容は、現在国家検定として実施されている「FP試験」とも深く関係している。受講者は、本講義の受講を通じてFP資格の獲得に挑戦できる。

学生へのメッセージ

本講義は、1年生を対象としている。金融を初めて勉強する学生が多いと思われるので、金融の基礎知識を身につけるためにできる限り「予習→授業→復習」という3段階の学習を行っていただきたい。なお、新聞や雑誌などに掲載されている金融関連の記事を読むことは本講義の内容に関する理解度を高めると思われる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	人生のデザインとお金①(これまでにかかったお金)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
2	人生のデザインとお金②(ライフプラン)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
3	人生のデザインとお金③(人生とお金)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
4	人生のデザインとお金④(働くこととお金)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
5	人生のデザインとお金⑤(人生の不確実性と意思決定)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
6	お金の知恵①(お金の機能や特徴を理解する)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
7	お金の知恵②(収入と支出を把握する)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
8	お金の知恵③(お金の使い方を考える)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
9	お金の知恵④(お金を貯める/運用する)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
10	お金の知恵⑤(運用する/借りる)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
11	お金の知恵⑥(損失に備える)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
12	不確実な人生に船出する①(人生の不確実性に向き合う)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
13	不確実な人生に船出する②(不確実性の下で意思決定する)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
14	不確実な人生に船出する③(セーフティネットを理解する)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
15	不確実な人生に船出する④(お金に関するトラブルを避ける)	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・テキストの該当箇所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す

講義名	2520023000 人的資源管理						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)		井上　丹		

学習目標(到達目標)

企業の経営資源には、物的資源(モノ)財務的資源(カネ)情報的資源(情報)人的資源(ヒト)とあるが、唯一自ら意志を持ち、自発的に他の経営資源を有効活用することができる資源が人的資源(人材)である。しかしながら経営資源と異なり、人的資源(ヒト)は感情や欲求を保有する生き物であることによるマネジメントの難しさが発生する。人的資源(ヒト)はマネジメントが難しい経営資源ではあるが、非合理的発想による創造性やオリジナリティがあるので、企業とヒト自身を成長・発展させることができる可能性を秘めた存在なのである。
本講義では、情報社会における倫理の重要性をベースとして、上記の4つの経営資源の中でも特に経営情報との関係における人的資源管理と人材マネジメントを中心に事例を活用した講義を展開する。
　到達目標は、人的資源管理のフレームワークを理解することと、人材のマネジメントに関する生きがいに基づく働き方や人材教育・キャリア開発を理解し、自ら問題意識をもつこと。

授業概要(教育目的)

　企業の経営資源の中で、唯一自ら意志を持ち、自発的に他の経営資源を活用する能力を持つ経営資源が人的資源である。またそれゆえに人間を経営資源としてマネジメントすること自体の難しさが発生するが、他方では企業を成長させる原動力としての可能性を持つ経営資源でもある。本講義では、旧来の人事・労務管理の理解から新に人的資源管理へと発展した経緯と主な理由、そして人的資源管理論の構成内要素についておよび将来の働く社会人・組織人として実務に有用な講義を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

期末に実施する定期試験(60%)と授業時に行うミニレポート(40%)により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

個別に対応する。

参考文献

宮川公男『経営情報入門』実教出版、1999年4月。
西川清之『人的資源管理論の基礎』学分社、2010年5月。
平野文彦・幸田浩文 編著『新版 人的資源管理（21世紀経営学シリーズ8)』学文社、2014年1月。

講義時使用テキスト

守島基博・島貫智行 編著『グラフィック ヒューマン・リソース・マネジメント』新世社、2023年2月。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	第1回：企業経営と人的資源管理(ヒューマン・リソース・マネジメント) 理解度確認ミニレポートあり	テキストを読んでおくこと。	授業内容をまとめておくこと。
2	第2回：戦略人事 理解度確認ミニレポートあり	テキストを読んでおくこと。	授業内容をまとめておくこと。
3	第3回：雇用区分制度と社員格付け制度 理解度確認ミニレポートあり	テキストを読んでおくこと。	授業内容をまとめておくこと。
4	第4回：採用と定着 理解度確認ミニレポートあり	テキストを読んでおくこと。	授業内容をまとめておくこと。
5	第5回：人材育成とキャリア 理解度確認ミニレポートあり	テキストを読んでおくこと。	授業内容をまとめておくこと。
6	第6回：人事評価 理解度確認ミニレポートあり	テキストを読んでおくこと。	授業内容をまとめておくこと。
7	第7回：報酬管理 理解度確認ミニレポートあり	テキストを読んでおくこと。	授業内容をまとめておくこと。
8	第8回：昇進管理と異動・配置 理解度確認ミニレポートあり	テキストを読んでおくこと。	授業内容をまとめておくこと。
9	第9回：高年齢者と退職管理 理解度確認ミニレポートあり	テキストを読んでおくこと。	授業内容をまとめておくこと。
10	第10回：労働時間管理とワークライフバランス 理解度確認ミニレポートあり	テキストを読んでおくこと。	授業内容をまとめておくこと。
11	第11回：非正社員と人材ポートフォリオ 理解度確認ミニレポートあり	テキストを読んでおくこと。	授業内容をまとめておくこと。
12	第12回：国際経営とダイバーシティ・マネジメント 理解度確認ミニレポートあり	テキストを読んでおくこと。	授業内容をまとめておくこと。
13	第13回：労使関係管理 理解度確認ミニレポートあり	テキストを読んでおくこと。	授業内容をまとめておくこと。
14	第14回：地域社会における人的資源管理 理解度確認ミニレポートあり	テキストを読んでおくこと。	授業内容をまとめておくこと。
15	第15回：総括　授業の復習とまとめ	テキストを読んでおくこと。	授業内容をまとめておくこと。

講義名	2520024000 地域経営論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	井上　丹		

学習目標(到達目標)

地域のさまざまな問題を理解することによって、地域の課題について説明できる。

授業概要(教育目的)

地域経営とは地域社会の中核である地方自治体を中心として、地域社会が主体をもって自ら有する経営資源を最高限度に活用し、地域活性化を図る政策実践である。地域はそれぞれ特有の条件を有しているので、経済開発に傾注するか、社会開発を優先させていくか、その方向は大きく異なる。本講義においては地域社会の様々な事例を取り上げながら、地域活性化に対する提言を示していきたい。到達目標として、地域問題を理解することでグローバルな視点を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

授業中のワークシート、期末試験の成績によって評価する。

課題に対するフィードバック

期末試験成績に疑義のある学生は「成績に関する申立書」を提出すること。

参考文献

山崎史郎・小黒一正編著『どうする地方創生』、日経プレミアシリーズ、2018年。
曽我謙悟『日本の地方政府』、中央公論新社、2019年。
枝廣淳子『地元経済を創りなおす』、岩波書店、2020年。
川島典子編著『人口減少社会の地域経営政策』、晃洋書房、2022年。

講義時使用テキスト

毎回授業においてレジュメ・資料を配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

地域の様々な事例を研究課題とする。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	地域経営への導入	参考文献の関連個所を読む	課題のレポートを作成する
2	地域の歩み	参考文献の関連個所を読む	課題のレポートを作成する
3	地域の成り立ち	参考文献の関連個所を読む	課題のレポートを作成する
4	地域社会と地方自治	参考文献の関連個所を読む	課題のレポートを作成する
5	地方財政問題	参考文献の関連個所を読む	課題のレポートを作成する
6	地域産業と地域経済	参考文献の関連個所を読む	課題のレポートを作成する
7	地域のありたい姿を描く	参考文献の関連個所を読む	課題のレポートを作成する
8	ローカルとグローバル	参考文献の関連個所を読む	課題のレポートを作成する
9	地域政策と地域経営	参考文献の関連個所を読む	課題のレポートを作成する
10	地域連携と官民協働	参考文献の関連個所を読む	課題のレポートを作成する
11	地域コミュニティ振興	参考文献の関連個所を読む	課題のレポートを作成する
12	地域防災と危機管理	参考文献の関連個所を読む	課題のレポートを作成する
13	観光地域づくり	参考文献の関連個所を読む	課題のレポートを作成する
14	地域活動とまちづくり	参考文献の関連個所を読む	課題のレポートを作成する
15	10年後の地域経営を考える	参考文献の関連個所を読む	課題のレポートを作成する

印刷日：2023年09月29日

講義名	2520025000 日本経済論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	加来　聡伸			

学習目標(到達目標)

本講義の目的は、日本及び世界の経済事情について概括し、学生自身が理解を深め、説明できるようになることである。

授業概要(教育目的)

本講義の目的は、日本及び世界の経済事情について、理解できるようになることである。具体的には、マクロ経済学、金融論、環境経済学、社会保障論、労働経済学の観点から、所得格差、環境・エネルギー問題、金融問題、災害復興の状況、社会保障の問題、などをキーワードに日本経済を理解していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

担当教員ごとで課されるレポートや小テストなどにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(コメントシート、リアクションペーパー)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

宮川努、細野薫、細谷圭、川上淳之「日本経済論(第2版)」中央経済社　2021年

講義時使用テキスト

授業はレジュメ(ハンズアウト)に沿って進行する。レジュメ(ハンズアウト)は学内サイトに掲載予定。

資格との関連

学生へのメッセージ

授業に出ることで世の中を見る目が変わってくる(複眼的になる)。より深く理解したいという人にはまずは新聞(または新聞社などのニュースサイト)、とくに『デーリー東北』、『日本経済新聞』の購読をすすめたい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	イントロダクション(日本経済論への招待)	各回に掲げたキーワードをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む。学内サイトの小テストを解く
2	高度成長はなぜ実現できたのか	各回に掲げたキーワードをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む。学内サイトの小テストを解く
3	バブルとその後の長期停滞	各回に掲げたキーワードをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む。学内サイトの小テストを解く
4	労働市場の構造変化と所得格差	各回に掲げたキーワードをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む。学内サイトの小テストを解く
5	近代資本主義社会における法制度	各回に掲げたキーワードをインターネット、新聞などで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む。学内サイトの小テストを解く
6	修正資本主義社会における法制度	各回に掲げたキーワードをインターネット、新聞などで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む。学内サイトの小テストを解く
7	中小企業・ベンチャー企業の役割	各回に掲げたキーワードをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む。学内サイトの小テストを解く
8	産業構造の変化と日本経済の盛衰	タイトルに関連する新聞記事、雑誌記事等を探し、目を通す。	・配布資料とノートを読み直す。 ・講義で説明された内容を確認し、論点と重要なポイントを整理する。
9	環境・エネルギー問題の克服	タイトルに関連する新聞記事、雑誌記事等を探し、目を通す。	・配布資料とノートを読み直す。 ・講義で説明された内容を確認し、論点と重要なポイントを整理する。
10	日本の金融システムと金融政策	各回に掲げたキーワードをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む。学内サイトの小テストを解く
11	ICT化社会と日本経済	各回に掲げたキーワードをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む。学内サイトの小テストを解く
12	財政政策と日本経済	各回に掲げたキーワードをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む。学内サイトの小テストを解く
13	地域経済と政府の役割	各回に掲げたキーワードをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む。学内サイトの小テストを解く
14	少子高齢化と社会保障	各回に掲げたキーワードをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む。学内サイトの小テストを解く
15	国際経済の中の日本経済	各回に掲げたキーワードをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む。学内サイトの小テストを解く

講義名	2520026000 民法Ⅰ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	髙須　則行			

学習目標(到達目標)

民法Ⅰでは、民法総則、物権法の内容の授業を行う。
① 自然人の権利能力・意思能力・行為能力の意味内容を説明することができる。
② 法律行為における意思と表示が食い違った場合の法的対応を説明することができる。
③ 代理制度の意義と表見代理と無権代理の法的効果の違いを説明することができる。
④ 時効制度の意義と取得時効・消滅時効を説明することができる。
⑤ 物権と債権の違いを説明することができる。
⑥ 物権の種類と物権的請求権を説明することができる。
⑦ 不動産と動産の対抗要件の違いを説明することができる。
⑧ 用益物権と担保物権の種類を説明することができる。

授業概要(教育目的)

民法は、財産法と家族法に分類することができる。本授業では、財産法の中でもその総則と物権法を中心に講義をする。授業の概要としては、自然人の権利能力・意思能力・行為能力、法律行為の定義と意思と表示の不一致の場合の対応、代理制度、時効制度、物権と債権の違い、物権的請求権とその種類、登記制度と物権の対抗要件、用益物権を担保物権の種類等の財産法の基本的な知識の習得を目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験や小テストにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストの模範解答を示す。

参考文献

他の参考書、参考資料は、講義の中で適宜紹介する。

講義時使用テキスト

『民法概説(五訂版)』(司法協会・2021)

資格との関連

公務員試験・ファイナンシャルプランナー試験・宅地建物取引士試験・行政書士試験

学生へのメッセージ

テキストは必ず持ってくること。
法制度に関して、新聞・TVなどの報道には関心を持ってほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	民法を学ぶにあたって－その基礎となること－	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
2	自然人の権利能力と意思能力	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
3	自然人の行為能力(未成年者・成年後見・保佐・補助)：相手方の保護	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
4	法律行為・意思表示が不完全な場合(心裡留保、通謀虚偽表示)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
5	意思表示が不完全な場合(錯誤、詐欺・強迫)無効・取消しの効果、法律行為の有効要件	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
6	代理制度(代理の意義・表見代理と無権代理)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
7	時効制度(取得時効)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
8	時効制度(消滅時効)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
9	物権と債権、物権的請求権	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
10	物権変動と不動産の公示方法(登記制度)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
11	不動産の物権変動と対抗要件	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
12	動産の物権変動と即時取得	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
13	物権の種類(用益物権)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
14	物権の種類(担保物権):抵当権	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
15	物権の種類(担保物権)：根抵当権	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。

講義名	2520027000 市民社会論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	横田　将志		

学習目標(到達目標)

①市民社会の登場背景、特徴、および役割について説明できるようになる。
②市民社会をさまざまな学問的アプローチを用いて説明できるようになる。
③市民社会に参加し、社会の抱える課題解決に取り組むことができるようになる。

授業概要(教育目的)

現代社会が抱える課題の解決に向けて、政府や市場(企業)だけではなく、市民社会による取り組みも重要である。この授業では、市民社会の登場背景や特徴、役割、機能について学び、一人ひとりが主体的に市民社会に参加し、社会の課題解決に貢献していくために必要な知識を獲得することを目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

授業内レポートと期末試験を総合して評価する。

課題に対するフィードバック

授業のなかでICT機器を用いて実施するアンケートや理解度確認のためのミニレポートについては、次の授業およびWebClassにて結果を紹介したり特徴的な意見に対してフィードバックしたりする。

参考文献

坂本治也編『市民社会論――理論と実証の最前線』法律文化社、2017年。
五十嵐誠一『東アジアの新しい地域主義と市民社会――ヘゲモニーと規範の批判的地域主義アプローチ』勁草書房、2018年。

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

市民社会論の理解には法学、政治学、経済学、および社会学の知識が必要となることから、これらの科目を修得したうえでの履修を勧める。そのため、1年次から履修可能であるが、2年次以降の履修が望ましい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	市民社会論を学ぶ意義	市民社会とは何か考えておくこと	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	市民社会の特徴と担い手	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	市民社会の台頭と役割	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	世界を動かす市民社会	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	国家を変える市民社会	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	地域を支える市民社会	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	社会運動①	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	社会運動②	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	NGO/NPO①	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	NGO/NPO②	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	利益団体論から考える市民社会	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	熟議民主主義論から考える市民社会	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	ソーシャル・キャピタル論から考える市民社会	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	価値観から考える市民社会	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	市民社会の課題	市民社会の抱える課題の克服策を考えておくこと	授業の内容を整理し、論点を整理する

印刷日：2023年09月29日

講義名	2520028000	簿記原理Ⅱ					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	幸田　威久矢			

学習目標(到達目標)

商業簿記における主要項目(個別取引)の詳細な処理と記帳方法、決算手続を学び、貸借対照表および損益計算書を作成することを到達目標とする。

授業概要(教育目的)

会計とは、企業の経済活動を貨幣額などによって記録・測定し、その結果を報告書にまとめて利害関係者に伝達するための仕組みである。一方、簿記とは「帳簿記録」を略したものと言われ、企業の経済活動を帳簿に記録・集計し、その結果を整理して報告するための技術のことである。本講義では、会計(財務会計)の理論的側面から簿記に代表される計算的側面までの基礎知識を習得することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験(100%)

課題に対するフィードバック

定期試験の成績について疑問のある学生は「成績に関する申立書」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『検定簿記講義 3級 商業簿記(2023年度版)』中央経済社
渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『検定簿記ワークブック 3級 商業簿記』中央経済社

資格との関連

日商簿記検定3級

学生へのメッセージ

【履修上の注意】
1年次配当科目である「簿記原理Ⅰ」を履修済み(単位取得・認定)であることが望ましい。
また、問題演習を行うため、12桁以上の電卓が必携である。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	会計と簿記の意義	テキストに目を通す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
2	売上債権と仕入債務	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
3	その他の債権債務①(貸付金・借入金など)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
4	その他の債権債務②(仮払金・仮受金など)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
5	貸倒れと貸倒引当金	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
6	固定資産と減価償却	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
7	収益と費用の見越・繰延	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
8	税金	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
9	決算手続①(試算表の作成)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
10	決算手続②(精算表の作成)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
11	決算手続③(帳簿の締め切り)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
12	決算手続④(貸借対照表と損益計算書の作成)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
13	株式の発行	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
14	剰余金の配当と処分	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
15	証ひょうと伝票	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。

講義名	2520029000 中級簿記						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田中　哲			

学習目標(到達目標)

株式会社を会計主体とし、そこで展開される経済活動を会計事象として認識し、記帳する技術を習得することを到達目標とする。

授業概要(教育目的)

企業において複式簿記は、財務諸表作成に欠かせない技術である。本講義においては、会計主体を株式会社とし、中級レベルの商業簿記の知識の習得を目的とする。

中級レベルとは、日商簿記検定2級出題範囲のうち銀行勘定調整表、手形、有価証券、商品売買、固定資産、本支店会計などの基本的処理を想定している。

簿記原理Ⅰならびに簿記原理Ⅱで学んだ簿記原理を基礎とし、実際の株式会社の活動における取引の記録を実践し、株式会社の財務諸表作成のための簿記の技術を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験(100%)

課題に対するフィードバック

定期試験については、成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『検定簿記ワークブック2級商業簿記』中央経済社
片山覚・渡部裕亘編著『段階式　日商簿記ワークブック2級商業簿記』税務経理協会

講義時使用テキスト

片山覚監修『新　中級商業簿記』創成社

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	現金預金(現金・当座預金・銀行勘定調整表・クレジット売掛金)	テキスト第1章を読む。	テキスト第1章の例題をもう一度解く。
2	手形①(約束手形と為替手形・手形の裏書譲渡と割引)	テキスト第2章を読む。	テキスト第2章の例題をもう一度解く。
3	手形②(不渡・金融手形・手形の更改・電子記録債権と電子記録債務)	テキスト第2章を読む。	テキスト第2章の例題をもう一度解く。
4	有価証券①(有価証券の範囲と種類・売買目的有価証券・満期保有目的債券)	テキスト第3章を読む。	テキスト第3章の例題をもう一度解く。
5	有価証券②(子会社関連会社株式・その他有価証券・有価証券の取得と売却)	テキスト第3章を読む。	テキスト第3章の例題をもう一度解く。
6	商品売買①(売上原価・商品の払出単価と期末棚卸高)	テキスト第4章を読む。	テキスト第4章の例題をもう一度解く。
7	商品売買②(棚卸減耗損と商品評価損・仕入割引と売上割引)	テキスト第4章を読む。	テキスト第4章の例題をもう一度解く。
8	固定資産①(固定資産とは・有形固定資産・減価償却)	テキスト第6章を読む。	テキスト第6章の例題をもう一度解く。
9	固定資産②(無形固定資産)	テキスト第7章を読む。	テキスト第7章の例題をもう一度解く。
10	引当金(引当金の概要・貸倒引当金・退職給付引当金・修繕引当金)	テキスト第9章を読む。	テキスト第9章の例題をもう一度解く。
11	株式会社会計①(純資産の分類・株式会社の設立・増資)	テキスト11章を読む。	テキスト第11章の例題をもう一度解く。
12	株式会社会計②(利益および損失の処理・株主資本等変動計算書・企業の合併)	テキスト第11章を読む。	テキスト第11章の例題をもう一度解く。
13	決算手続きと決算整理	テキスト第12章を読む。	テキスト第12章の例題をもう一度解く。
14	本支店会計①(本支店会計とは・本支店間取引・支店間取引)	テキスト第13章を読む。	テキスト第13章の例題をもう一度解く。
15	本支店会計②(本支店合併財務諸表の作成)	テキスト第13章を読む。	テキスト第13章の例題をもう一度解く。

講義名	2520030000 工業簿記						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)		幸田 威久矢		

学習目標(到達目標)

工業簿記の勘定構造を理解し、費目別計算、部門別計算、製品別計算及び勘定記入(仕訳と転記)ができることを到達目標とする。

授業概要(教育目的)

工業簿記とは、製造業を営む企業に適用される簿記であり、材料の購買や製品の販売などの外部活動だけではなく、製造(内部)活動から生じた取引についても記録・計算を行う。そこで本講義では、問題演習を通して、工業簿記の勘定記入、製造原価計算(費目別計算、部門別計算、製品別計算)などの工業簿記の基礎的な構造を理解することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

小テスト(20%)、定期試験(80%)により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

定期試験の成績について疑問のある学生は「成績に関する申立書」を提出すること。

参考文献

岡本清『原価計算(六訂版)』 国元書房
岡本清・廣本敏郎『検定簿記ワークブック 2級工業簿記』中央経済社

講義時使用テキスト

岡本清・廣本敏郎『検定簿記講義 2級工業簿記(2023年度版)』中央経済社

資格との関連

日商簿記検定2級

学生へのメッセージ

【履修上の注意】
1年次配当科目である「簿記原理Ⅰ・Ⅱ」が履修済み(単位取得・認定)であることが望ましい。
また、問題演習を行うため、12桁以上の電卓が必携である。
なお、本講義は、2年次配当科目である「原価計算論」を学ぶための基礎として位置づけられる科目である。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ガイダンス 工業簿記の基礎①(意義)	テキストに目を通す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
2	工業簿記の基礎②(計算手続)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
3	工業簿記の基礎③(勘定記入)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
4	材料費計算①(分類、購入原価の計算)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
5	材料費計算②(消費額の計算)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
6	労務費計算①(分類、支払賃金の計算)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
7	労務費計算②(消費賃金の計算)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
8	経費計算	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
9	製造間接費計算①(賦課と配賦)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
10	製造間接費計算②(予定配賦率の決定)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
11	製造間接費計算③(予定配賦、差異分析)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
12	個別原価計算(意義、計算手続)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
13	部門別個別原価計算①(部門費の第1次集計)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
14	部門別個別原価計算②(部門費の第2次集計)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
15	部門別個別原価計算③(予定配賦)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。

講義名	2520031000 財務諸表論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	田中　哲		

学習目標(到達目標)

以下の事項を到達目標とする。
1. 財務諸表の各項目についてその意義を説明できる。
2. 財務諸表の理論問題を解き明かすことができる。
テーマ:財務諸表の内容の説明と把握

授業概要(教育目的)

本講義では、会計学原理を受けて、財務諸表に表示される個々の項目について、経済活動(資金調達・資金投下・営業)の流れに沿って説明する。そこでは、企業の設立と資金調達、仕入・生産活動、販売活動、設備投資と研究開発、資金の管理と運用などに係る財務諸表項目について、理論的課題を明らかにする。その際、現場においてどのような会計処理がなされるのかということにも注意を払う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

学期末試験の成績により評価する。

課題に対するフィードバック

期末試験成績に疑義のある学生は「成績に関する申立書」を提出すること。

参考文献

講義中に「財務諸表論ノート」を配布する。

講義時使用テキスト

桜井久勝・須田一幸『財務会計・入門【第16版】』有斐閣、2023年

資格との関連

日商簿記1～2級

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 企業の設立と資金調達の会計 ①(会社法上の会社の種類と株式会社の設立)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
2	2. 企業の設立と資金調達の会計 ②(自己資本と他人資本)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
3	3. 企業の設立と資金調達の会計 ③(増資と社債)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
4	4. 仕入・生産活動の会計 ①(営業循環と棚卸資産/取得原価)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
5	5. 仕入・生産活動の会計 ②(製品の製造原価)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
6	6. 仕入・生産活動の会計 ③(人材雇用と人件費の会計/引当金)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
7	7. 販売活動の会計 ①(売上の認識と測定)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
8	8. 販売活動の会計 ②(売上原価の計算)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
9	9. 販売活動の会計 ③(売上代金の回収/棚卸資産の期末評価)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
10	10. 設備投資と研究開発の会計 ①(固定資産の種類)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
11	11. 設備投資と研究開発の会計 ②(有形固定資産の取得原価)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
12	12. 設備投資と研究開発の会計 ③(減価償却/無形固定資産)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
13	13. 資金の管理と運用の会計 ①(余剰資金の運用)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
14	14. 資金の管理と運用の会計 ②(有価証券)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
15	15. 資金の管理と運用の会計 ③(キャッシュフロー計算書)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。

講義名	2520032000 インターネット						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	馬場　祥次			

学習目標(到達目標)

1. 情報通信ネットワークの構成要素とその役割について説明できる。
2. インターネットを安全に利用するために、その仕組みを説明できる。
3. 家庭、企業の部署内といった小規模なLANを構築し、運用管理ができる。

授業概要(教育目的)

情報通信技術の高度化によって、国際的な広がりで企業はもちろんのこと、家庭生活の中にもコンピュータネットワークが浸透した。インターネットを活用したWebサービスは我々の生活やビジネスに急激に普及し、高度情報化社会を支える社会基盤として重要な役割を担っている。本講義では、インターネットの全体像についてその歴史も含めて知識を習得し、さらにネットワークを構成する機器やソフトウェア、構築・運用方法について理解することで、実際にインターネットを活用する能力を育成することを目的としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験および課題の提出状況により評価する。
定期試験6割、課題提出を4割として合計で評価する。

課題に対するフィードバック

授業支援システム(WebClass)にてコメントするとともに、次の授業でフィードバックする。

参考文献

・「教養としてのコンピュータサイエンス」(日経BP)
・講義の予習復習教材として、IPSJ MOOC(情報処理学会　公開教材)
(https://sites.google.com/a.ipsj.or.jp/mooc/)を利用する。利用方法は講義時に説明する。
・その他講義時に適宜紹介する。

講義時使用テキスト

・使用しない。

資格との関連

情報免許状コースの教科に関する科目

学生へのメッセージ

授業支援システム(WebClass)に授業資料を掲載するので、予習復習に利用すること。
予習課題、復習課題も含め提出期限があるので、必ず期限内に提出すること。(後日の提出は認めない)

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	情報通信ネットワークの構成と機能	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
2	情報通信のモデル	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
3	情報通信の基礎技術①(符号化)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
4	情報通信の基礎技術②(誤り制御) ※理解度確認のため、はちキャンWebで確認テスト実施(スマホ等利用)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
5	LANの仕組み①(LANの構成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
6	LANの仕組み②(ネットワークトポロジ)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
7	LANの仕組み③(交換方式)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
8	LANの仕組み④(プロトコル) ※理解度確認のため、はちキャンWebで確認テスト実施(スマホ等利用)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
9	インターネット①(概要・歴史)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
10	インターネット②(TCP/IP) ※理解度確認のため、はちキャンWebで確認テスト実施(スマホ等利用)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
11	インターネット③(アプリケーション)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
12	インターネット④(セキュリティ) ※理解度確認のため、はちキャンWebで確認テスト実施(スマホ等利用)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
13	LANの構築	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
14	LANの運用管理	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
15	情報通信ネットワークの最新技術	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。

講義名	2520033000 統計学						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1・2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田村　正文			

学習目標(到達目標)

- 統計学の基礎的内容について活用できる。
- 各種調査等で得たデータを活用できる。
- 統計データの特徴から、ふさわしい検定方法を選択できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

本講義は、期末試験のみによって評価する。

講義時使用テキスト

使用せず。配布資料を用意する。

資格との関連

実務との関連

授業概要(教育目的)

現在、私たちの日常生活においてデータを目にしない日は皆無であるといっても過言ではない。本授業においては、データの分析方法として用いられる統計学の基礎的な内容を講じる。
より具体的には、記述統計学、確率の基礎、推測統計学の基礎的内容と方法を中心に、その計算方法や得られた結果の見方(説明の仕方)について説明する。
本講義の到達目標として、最終的には、受講者自身が統計学の基礎的内容を習得し、2年次以降に配当されている応用科目で統計学の方法を活用できることが挙げられる。

課題に対するフィードバック

ホームワークや練習問題について、採点の上、各自に返却する。
また、適宜ホームワークを行い、計算手順などを理解できるようにする。

参考文献

宮川公男『基本統計学(第4版)』,有斐閣.
栗原伸一『入門統計学　検定から多変量解析・実験計画法まで』,オーム社.
東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』,東京大学出版会.

学生へのメッセージ

授業の専用のノート、計算機(平方根:√を計算できるもの)を必ず用意しておくこと。
全ての授業に言えることではあるが、1度欠席すると、それ以降の授業内容が分からなくなる場合もあることから、欠席しないこと。止むを得ず欠席した場合には、WebClassから資料をダウンロードし自習することで欠席を補うことが要求される。
春学期に開設されている数学を履修することが求められる。
授業の内容は、前後する場合もある。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	統計学の範囲 ・統計学を履修する上での注意事項 ・この授業で扱う、授業の範囲の説明	予め配布資料を読んでおく。	授業の内容を整理し、練習問題に取り組む。
2	データの種類:数量データとカテゴリー・データ データの大小比較性と計算可能性	予め配布資料を読んでおく。	授業の内容を整理し、練習問題に取り組む。
3	データの整理 階級と度数、度数分布表・度数分布図(ヒストグラム)	予め配布資料を読んでおく。	授業の内容を整理し、練習問題に取り組む。
4	代表値 平均値、中央値、最頻値(並数) 四分位数と箱ヒゲ図 外れ値	予め配布資料を読んでおく。	授業の内容を整理し、練習問題に取り組む。
5	平均値と平均値からのズレ 算術平均値と分散 標準偏差	予め配布資料を読んでおく。	授業の内容を整理し、練習問題に取り組む。
6	2変数での記述統計的分析 散布図、相関、相関係数 回帰分析(説明変数、被説明変数)	予め配布資料を読んでおく。	授業の内容を整理し、練習問題に取り組む。
7	正規分布 標準正規分布 正規分布図の特徴 標準誤差と信頼区間 正規分布表	予め配布資料を読んでおく。	授業の内容を整理し、練習問題に取り組む。
8	推測統計学の導入 母集団と標本 自由度 標本平均 不偏分散・不偏偏差	予め配布資料を読んでおく。	授業の内容を整理し、練習問題に取り組む。
9	仮説・検定 帰無仮説と対立仮説 有意水準 片側検定と両側検定 棄却域	予め配布資料を読んでおく。	授業の内容を整理し、練習問題に取り組む。
10	t分布と1変量でのt検定 正規分布とt分布 1変量でのt検定(統計量) t分布表	予め配布資料を読んでおく。	授業の内容を整理し、練習問題に取り組む。
11	t検定(対応の有無) 対応が有る場合のt検定 対応が無い場合のt検定	予め配布資料を読んでおく。	授業の内容を整理し、練習問題に取り組む。
12	χ2乗分布と1変量でのχ2乗検定 正規分布とχ2乗分布 1変量でのχ2乗検定	予め配布資料を読んでおく。	授業の内容を整理し、練習問題に取り組む。
13	ノンパラメトリックでのχ2乗検定(2変量) カテゴリー・データ 分割表 χ2乗検定による独立性の分析 χ2乗検定における適合度の分析 ノンパラメトリック検定 マン・ウィットニーのU統計量 重回帰分析・多変量解析	予め配布資料を読んでおく。	授業の内容を整理し、練習問題に取り組む。
14	仮説・検定からベイズ統計学へ 条件付き確率(ベイジアン) ベイズの定理 事前確率と事後確率 仮説・検定による有意水準とベイズ確率の違い	予め配布資料を読んでおく。	授業の内容を整理し、練習問題に取り組む。
15	統計学の応用 経済学・経営学における統計学の応用 将来の人口予測などに見られる「予測」の概念 統計学の意義と限界	予め配布資料を読んでおく。	授業の内容を整理し、練習問題に取り組む。

講義名	2520034000 統計演習（Aクラス）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田村　正文			

学習目標(到達目標)

・各自で表計算ソフトを用いてデータの分析ができる。
・表計算ソフトの統計分析のツールを使いこなすことができる。
・各自で統計的分析を行うことができる。

授業概要(教育目的)

近年、情報化の進展が著しい社会情勢においてデータ分析が果たす役割は大きい。このことは、企業経営においても、例えば市場ニーズや環境の変化などを多角的かつ迅速に分析する必要がある。さらには、地域活性化や振興策を講じる上でもデータ分析は必要不可欠であると言える。その様な中で、近年では，表計算ソフトを用いた統計的データ処理の形態が一般的になり、統計パッケージと同等の分析処理が容易にできるようになった．本講義では、表計算ソフトを利用し、実際のデータの統計処理の実習通じて、統計データ分析の基本的な手法や計算によって得られた結果の見方等を習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

授業中に行う小テスト(課題)の内容およびレポートによって評価する。

課題に対するフィードバック

演習課題は、課題完成度の確認結果をフィードバックする．
成績を知りたい学生には個別に開示する．

参考文献

①統計学の理論的な内容に関して
東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』，東京大学出版会．
栗原伸一『入門 統計学 第2版』，オーム社．
秋山　裕『統計学基礎講義』，慶應義塾大学出版会．
②Excelなどの統計ソフトの利用に関して
豊田裕貴『Excel分析ツール完全詳解』，秀和システム．
荒川俊也『Excelによるやさしい統計解析』，オーム社．
③多変量解析に関して
大平　平『今日から使える統計解析 普及版』，講談社ブルーバックス．
石村貞夫・有馬哲『多変量解析のはなし』，東京書籍．

その他の参考文献等については、適宜指示する。

講義時使用テキスト

特定の教科書は使用しない。
授業の講義資料および例題のデータなど、授業開始時にダウンロードできるようにし、その内容に基づいて実習を進める。

資格との関連

高等学校教諭一種免許(情報)に関わる科目

学生へのメッセージ

情報処理基礎(1年次春学期)で扱ったエクセルについて理解している事を前提に講義・実習を進める。
実習室のパソコンの台数にも限りがあるため、1年次秋学期の統計学の単位修得者のみの受講を認める。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	表計算ソフト(エクセル)の概要と特徴 エクセルの「データ分析」ツールの概要 基本統計量	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
2	記述統計学の基礎的内容 データの集計(度数分布図・度数分布表) 代表値、分散、偏差	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
3	2変数の分析 散布図の作成 相関係数と分析結果の見方	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
4	単回帰分析(2変数での回帰，最小二乗法) 回帰分析の意味と概要 従属変数、独立変数、決定係数 分析結果の見方	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
5	仮説検定 帰無仮説、対立仮説 分散分析入門 データ分析における分散の重要性について	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
6	t検定 1変数でのt検定 標本数が少ない場合での仮説検定	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
7	t検定 2変数でのt検定(対応のある場合)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
8	t検定(対応の無い場合) z検定(正規分布の検定)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
9	質的データの分析 クロス集計(ピボットテーブル)による分割表の作成 期待度数	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
10	カイ2乗検定 カイ2乗分析による独立性・適合度の検定	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
11	多変量解析入門 多変量解析とは 多変量解析の種類	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
12	重回帰分析	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
13	主成分分析	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
14	各自で、データを仮説検定する①	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
15	各自で、データを仮説検定する②	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する

講義名	2520034001 統計演習（Bクラス）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田村　正文			

学習目標(到達目標)

・各自で表計算ソフトを用いてデータの分析ができる。
・表計算ソフトの統計分析のツールを使いこなすことができる。
・各自で統計的分析を行うことができる。

授業概要(教育目的)

近年、情報化の進展が著しい社会情勢においてデータ分析が果たす役割は大きい。このことは、企業経営においても、例えば市場ニーズや環境の変化などを多角的かつ迅速に分析する必要がある。さらには、地域活性化や振興策を講じる上でもデータ分析は必要不可欠であると言える。その様な中で、近年では，表計算ソフトを用いた統計的データ処理の形態が一般的になり、統計パッケージと同等の分析処理が容易にできるようになった．本講義では、表計算ソフトを利用し、実際のデータの統計処理の実習通じて、統計データ分析の基本的な手法や計算によって得られた結果の見方等を習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

授業中に行う小テスト(課題)の内容およびレポートによって評価する。

課題に対するフィードバック

演習課題は、課題完成度の確認結果をフィードバックする．
成績を知りたい学生には個別に開示する．

参考文献

①統計学の理論的な内容に関して
東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』，東京大学出版会．
栗原伸一『入門 統計学 第2版』，オーム社．
秋山　裕『統計学基礎講義』，慶應義塾大学出版会．
②Excelなどの統計ソフトの利用に関して
豊田裕貴『Excel分析ツール完全詳解』，秀和システム．
荒川俊也『Excelによるやさしい統計解析』，オーム社．
③多変量解析に関して
大平　平『今日から使える統計解析 普及版』，講談社ブルーバックス．
石村貞夫・有馬哲『多変量解析のはなし』，東京書籍．

その他の参考文献等については、適宜指示する。

講義時使用テキスト

特定の教科書は使用しない。
授業の講義資料および例題のデータなど、授業開始時にダウンロードできるようにし、その内容に基づいて実習を進める。

資格との関連

高等学校教諭一種免許(情報)に関わる科目

学生へのメッセージ

情報処理基礎(1年次春学期)で扱ったエクセルについて理解している事を前提に講義・実習を進める。
実習室のパソコンの台数にも限りがあるため、1年次秋学期の統計学の単位修得者のみの受講を認める。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	表計算ソフト(エクセル)の概要と特徴 エクセルの「データ分析」ツールの概要 基本統計量	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
2	記述統計学の基礎的内容 データの集計(度数分布図・度数分布表) 代表値、分散、偏差	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
3	2変数の分析 散布図の作成 相関係数と分析結果の見方	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
4	単回帰分析(2変数での回帰，最小二乗法) 回帰分析の意味と概要 従属変数、独立変数、決定係数 分析結果の見方	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
5	仮説検定 帰無仮説、対立仮説 分散分析入門 データ分析における分散の重要性について	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
6	t検定 1変数でのt検定 標本数が少ない場合での仮説検定	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
7	t検定 2変数でのt検定(対応のある場合)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
8	t検定(対応の無い場合) z検定(正規分布の検定)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
9	質的データの分析 クロス集計(ピボットテーブル)による分割表の作成 期待度数	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
10	カイ2乗検定 カイ2乗分析による独立性・適合度の検定	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
11	多変量解析入門 多変量解析とは 多変量解析の種類	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
12	重回帰分析	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
13	主成分分析	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
14	各自で、データを仮説検定する①	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
15	各自で、データを仮説検定する②	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する

講義名	2520035000 経営管理論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田村　正文			

学習目標(到達目標)

経営管理の理論と技法を理解するとともに、経営管理の活動主体である経営管理者の原則・機能・役割等について理解・説明でき、積極的に学ぶ意欲をもつことができるようになること。

授業概要(教育目的)

本講義では、経営管理の理論と経営管理者の職能について、テーマに沿った形式で講義を進める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

期末試験100%で評価する。

課題に対するフィードバック

個別に対応する。

参考文献

塩次喜代明・高橋伸夫・小林忠男『経営管理　新版』有斐閣アルマ.
高橋伸夫編『よくわかる経営管理』, ミネルヴァ書房.

その他、必要に応じて紹介する。

講義時使用テキスト

上野恭裕・馬場大治編著『経営管理論』【ベーシック＋】,中央経済社.

資格との関連

学生へのメッセージ

≪履修上の注意事項≫
・授業では担当教員の指示に従うこと。
・テキスト(教科書)は必ず用意すること。
・授業中は私語厳禁

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. ガイダンス 経営管理論の概要、学習の目的、講義の説明	授業内容について教科書やインターネットで調べる。また、教科書の該当範囲を読んでおく。	授業内容を各自でノートにまとめておくこと。また教科書の該当ページを読み直しておくこと。
2	2. 経営理念はなぜ必要か マネジメントとは何か マネジメントはなぜ必要か？	授業内容について教科書やインターネットで調べる。また、教科書の該当範囲を読んでおく。	授業内容を各自でノートにまとめておくこと。また教科書の該当ページを読み直しておくこと。
3	3. 企業とは何か 企業の役割 企業の社会的責任	授業内容について教科書やインターネットで調べる。また、教科書の該当範囲を読んでおく。	授業内容を各自でノートにまとめておくこと。また教科書の該当ページを読み直しておくこと。
4	4. 株式会社とその仕組み 株式会社とは何か 株式会社は誰が所有するのか 経営と所有の分離	授業内容について教科書やインターネットで調べる。また、教科書の該当範囲を読んでおく。	授業内容を各自でノートにまとめておくこと。また教科書の該当ページを読み直しておくこと。
5	5.マネジメントの誕生 科学的管理法 人間関係論	授業内容について教科書やインターネットで調べる。また、教科書の該当範囲を読んでおく。	授業内容を各自でノートにまとめておくこと。また教科書の該当ページを読み直しておくこと。
6	6. 組織マネジメント 個人と組織 組織とは(バーナードとマーチ・サイモン)	授業内容について教科書やインターネットで調べる。また、教科書の該当範囲を読んでおく。	授業内容を各自でノートにまとめておくこと。また教科書の該当ページを読み直しておくこと。
7	7.組織構造 官僚制組織 ライン組織とラインアンドスタッフ組織	授業内容について教科書やインターネットで調べる。また、教科書の該当範囲を読んでおく。	授業内容を各自でノートにまとめておくこと。また教科書の該当ページを読み直しておくこと。
8	8. モティベーションとリーダーシップ モティベーションとは モティベーションを産み出すマネジメント リーダーシップとは リーダーシップの役割と種類	授業内容について教科書やインターネットで調べる。また、教科書の該当範囲を読んでおく。	授業内容を各自でノートにまとめておくこと。また教科書の該当ページを読み直しておくこと。
9	9. 組織文化のマネジメント 組織文化とは何か 組織文化の形成と変革	授業内容について教科書やインターネットで調べる。また、教科書の該当範囲を読んでおく。	授業内容を各自でノートにまとめておくこと。また教科書の該当ページを読み直しておくこと。
10	10.外部環境のマネジメント 組織戦略のマネジメント 競争戦略のマネジメント	授業内容について教科書やインターネットで調べる。また、教科書の該当範囲を読んでおく。	授業内容を各自でノートにまとめておくこと。また教科書の該当ページを読み直しておくこと。
11	11.日本的経営 日本的経営の特徴 なぜ日本的経営といわれるのか	授業内容について教科書やインターネットで調べる。また、教科書の該当範囲を読んでおく。	授業内容を各自でノートにまとめておくこと。また教科書の該当ページを読み直しておくこと。
12	12.人材マネジメント ゲストスピーカーによる講義	授業内容について教科書やインターネットで調べる。また、教科書の該当範囲を読んでおく。	授業内容を各自でノートにまとめておくこと。また教科書の該当ページを読み直しておくこと。
13	13.日本企業の人材育成 人材育成とは 企業内人材育成	授業内容について教科書やインターネットで調べる。また、教科書の該当範囲を読んでおく。	授業内容を各自でノートにまとめておくこと。また教科書の該当ページを読み直しておくこと。
14	14.生産管理と日本的経営 生産管理と品質管理 デミングによる統計的品質管理 トヨタ生産方式	授業内容について教科書やインターネットで調べる。また、教科書の該当範囲を読んでおく。	授業内容を各自でノートにまとめておくこと。また教科書の該当ページを読み直しておくこと。
15	15.総括 授業の復習とまとめ	授業内容について教科書やインターネットで調べる。また、教科書の該当範囲を読んでおく。	授業内容を各自でノートにまとめておくこと。また教科書の該当ページを読み直しておくこと。

講義名	2520036000 経営戦略論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	堤　静子		

学習目標(到達目標)

1. 経営戦略の基本的概念を学び、企業経営における戦略策定から実行までのフレームワークについて説明できる
2. 経営戦略の基礎的理論や分析ツールについて説明できる

授業概要(教育目的)

経営戦略は企業の持続的成長、発展のための重要な指標であり、経営戦略の策定・実行は企業にとって必要不可欠なものである。本講義では、経営戦略についての様々な理論や分析ツールを理解するとともに、現実の企業の具体的事例を織り交ぜながら、理論と実際の企業における戦略策定から実行までを学び、戦略的思考の基礎を身につけていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

小テストや定期試験により総合的に評価する

課題に対するフィードバック

小テストや課題は採点の上返却する

参考文献

講義中に適宜紹介する

講義時使用テキスト

毎回講義レジュメを配付する

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 経営戦略とは	講義内容をインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
2	2. 経営戦略の定義と階層	講義内容をインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
3	3. 経営戦略策定のプロセス	講義内容をインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
4	4. 全社戦略策定と理論	講義内容をインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
5	5. 事業戦略策定と理論	講義内容をインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
6	6. 機能戦略策定と理論	講義内容をインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
7	7. 外部環境分析	講義内容をインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
8	8. 内部資源分析	講義内容をインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
9	9. SWOT分析	講義内容をインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
10	10. 戦略マネジメント	講義内容をインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
11	11. 成長と多角化の戦略	講義内容をインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
12	12. 競争戦略	講義内容をインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
13	13. 参入戦略	講義内容をインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
14	14. 事業再生戦略	講義内容をインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
15	15. グローバル時代の戦略	講義内容をインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す

講義名	2520037000 経営情報論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田村　正文			

学習目標(到達目標)

・経営情報論の内容を説明できると同時に実際のビジネスの場で経営情報論の内容を応用できる。
・経営における「情報化」および「情報システム」の役割を理解できる。

授業概要(教育目的)

情報化は、日常生活の多くの場で取り入れられており、経営の現場においても例外ではない。特に近年ではインターネット上の通信販売や独自サービスなども積極的に展開されており、情報化の進展により従来のビジネスモデルも大きく変わろうとしている。
本講義は、経営に関する「情報」の役割・位置づけについて基礎的内容を学びながら、実際のビジネスの現場でどのようにそれが用いられているかについて講じる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験によって評価する。

課題に対するフィードバック

採点の結果等について、要望があれば開示する。

参考文献

必要に応じて参考資料を作成し配布する。
また、適宜指示する。

講義時使用テキスト

遠山暁・村田潔・古賀広志『現代経営情報論』, 有斐閣アルマ。

資格との関連

学生へのメッセージ

経営学、経営管理論、経営戦略論といった経営学に関する科目に加え、インターネット、情報通信ネットワークなどの情報関連の科目の知識が求められる。
本科目は、高等学校第1種教員免許(情報)の資格を得る上で、必修科目となっているが、教員免許状を取得する意思を有している学生は、将来、教員として相応しい態度で授業に臨むことが要求される。
教科書は、各自で必ず用意すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	情報通信技術(ICT)が社会に与えたインパクト	教科書を事前に読んでおく。	教科書やノート、配布資料を見直す。
2	情報化におけるネットワークの外部性	教科書を事前に読んでおく。	教科書やノート、配布資料を見直す。
3	経営情報の基礎理論(経営組織論、経営戦略論、意思決定論の概略)	教科書を事前に読んでおく。	教科書やノート、配布資料を見直す。
4	経営情報システムの変遷	教科書を事前に読んでおく。	教科書やノート、配布資料を見直す。
5	企業におけるインターネットの活用	教科書を事前に読んでおく。	教科書やノート、配布資料を見直す。
6	データベースとコンピュータネットワーク	教科書を事前に読んでおく。	教科書やノート、配布資料を見直す。
7	情報システムとアウトソーシング	教科書を事前に読んでおく。	教科書やノート、配布資料を見直す。
8	情報処理システムの管理	教科書を事前に読んでおく。	教科書やノート、配布資料を見直す。
9	ネット・ビジネスとWEB2.0	教科書を事前に読んでおく。	教科書やノート、配布資料を見直す。
10	インターネット等を通じた調査によるマーケティングの拍頭	教科書を事前に読んでおく。	教科書やノート、配布資料を見直す。
11	インターネット時代の広告	教科書を事前に読んでおく。	教科書やノート、配布資料を見直す。
12	ロングテール、「すきま」ビジネスの拍頭	教科書を事前に読んでおく。	教科書やノート、配布資料を見直す。
13	顧客管理、顧客満足	教科書を事前に読んでおく。	教科書やノート、配布資料を見直す。
14	コミュニケーションとメディア	教科書を事前に読んでおく。	教科書やノート、配布資料を見直す。
15	情報通信技術と企業(情報化時代の企業の社会的責任)、情報化の進展とこれからのビジネス	教科書を事前に読んでおく。	教科書やノート、配布資料を見直す。

講義名	2520038000 経営科学						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田村　正文			

学習目標(到達目標)

・経営科学の基礎的な分析方法である「OR(オペレーションズ・リサーチ)」や「統計学を用いた品質管理」の基礎的内容を説明でき、実際のビジネスの現場での使用をイメージできる。
・ORの基礎的内容の理解。
・品質管理についての、統計的処理、QC(Quality Control)に関する理解。

授業概要(教育目的)

本講義では、経営の計画などに必要不可欠であるORの基礎的内容について講じる。特に、需要予測、品質管理、待ち行列など実際のビジネスの現場において、いかに効率よくそれを実現できるかといった内容について、具体的事例などを取り上げながら、理論と現実との整合性について講じる。また、講義が主体であるが必要に応じてエクセルなどを使い、理論的内容を直感的に理解できるようにする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験(履修者が少ない場合にはレポート)によって評価する。

課題に対するフィードバック

授業時の小テストについて採点後に返却する。

参考文献

松井泰子・根本俊男・宇野毅明『入門オペレーションズリサーチ』, 東海大学出版部.
ガス著・小山昭雄訳『線形計画法』, 好学社.
小山昭雄『ダイナミック・システム(上・下)』, 岩波書店.
東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』, 東京大学出版会.
加藤昭吉『計画の科学』, 講談社ブルーバックス.
齊藤芳正『はじめてのOR』, 講談社ブルーバックス.
品質管理については、「QC検定」の4級～2級の各参考書・問題集などが有益である。

講義時使用テキスト

使用せず。
授業の資料を配付し、それに基づき進行する。

資格との関連

学生へのメッセージ

数学、情報処理基礎、統計学、統計演習、経営学、ミクロ経済学を履修していることが望まれる。
授業の第2回～第8回の授業については、微分・積分の計算ができること。
第9回～第15回は、統計学(推測統計学)について、理解していること。
これらを前提に授業をすすめる。
本科目は、高等学校第1種教員免許(情報)の資格を得る上で、必修科目となっているが、教員免許状を取得する意思を有している学生は、将来、教員として相応しい態度で授業に臨むことが要求される。
授業中にスマートフォンなどを操作している学生に対しては、厳しく対処する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	経営科学とは何か ケース・スタディとデータ・スタディ	授業内容についてインターネットで調べる	ノートや配布資料、教科書等を見直す。 演習問題等に取組む。
2	ORの考え方とモデル化(モデルとは何か？)	授業内容についてインターネットで調べる	ノートや配布資料、教科書等を見直す。 演習問題等に取組む。
3	線形計画法の基礎(目的関数と制約条件)	授業内容についてインターネットで調べる	ノートや配布資料、教科書等を見直す。 演習問題等に取組む。
4	単体法(シンプレックス法)	授業内容についてインターネットで調べる	ノートや配布資料、教科書等を見直す。 演習問題等に取組む。
5	線形計画法の幾何的解釈と凸集合	授業内容についてインターネットで調べる	ノートや配布資料、教科書等を見直す。 演習問題等に取組む。
6	双対性と相補性	授業内容についてインターネットで調べる	ノートや配布資料、教科書等を見直す。 演習問題等に取組む。
7	ネットワーク計画法(ネットワーク、枝、グラフ)	授業内容についてインターネットで調べる	ノートや配布資料、教科書等を見直す。 演習問題等に取組む。
8	最短経路問題と輸送問題	授業内容についてインターネットで調べる	ノートや配布資料、教科書等を見直す。 演習問題等に取組む。
9	品質管理における確率的・統計的考え方 確率分布 標準正規分布 ポアソン分布	授業内容についてインターネットで調べる	ノートや配布資料、教科書等を見直す。 演習問題等に取組む。
10	カイ2乗検定による仮説・検定	授業内容についてインターネットで調べる	ノートや配布資料、教科書等を見直す。 演習問題等に取組む。
11	不良品率に関する仮説検定	授業内容についてインターネットで調べる	ノートや配布資料、教科書等を見直す。 演習問題等に取組む。
12	分散分析と実験計画	授業内容についてインターネットで調べる	ノートや配布資料、教科書等を見直す。 演習問題等に取組む。
13	相関と回帰	授業内容についてインターネットで調べる	ノートや配布資料、教科書等を見直す。 演習問題等に取組む。
14	抜き取り検査	授業内容についてインターネットで調べる	ノートや配布資料、教科書等を見直す。 演習問題等に取組む。
15	管理図	授業内容についてインターネットで調べる	ノートや配布資料、教科書等を見直す。 演習問題等に取組む。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2520039000	中小企業・ベンチャー企業論					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	川守田　景子			

学習目標(到達目標)

1. ベンチャービジネスについての正しい理解を深める。
2. 自らの就職活動、将来の人生設計にも有益な基礎知識を得る。
3. ビジネスプランの作成実習で、将来、自らベンチャー起業家としてチャレンジする事を想定し、検討する。

授業概要(教育目的)

日本の全企業に占める中小企業の割合は99%を超えている。中小企業が経済の中心であることは事実であり、青森県でも地場産業の担い手である多くの中小企業が活躍している。一方で、成熟した日本の経済界において様々な格差で苦戦する青森県では、ベンチャー企業が経済活性化の鍵を握っている。八戸はITベンチャー企業の集積も進みつつあり、全国からも注目を浴びはじめている。さらには、学生や社会人の間でも、起業が現実的な選択肢のひとつとして考えられつつあり、ベンチャー企業の存在感はさらに増していくことが予想される。一方で、ベンチャービジネスはハイリスクハイリターンという事実もある。
本講義では、ベンチャー企業の可能性とリスクを総合的に学ぶ。ベンチャービジネスの学習のみならず、自身の就職活動や進路選定の参考になる内容とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている

評価方法

前回講義にて随時実施する小課題やレポート課題などを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストや課題は採点の上返却する

参考文献

授業を理解するうえで必要不可欠と思われる資料(作品写真・映像・参考資料・図書等)については、必要に応じて適宜紹介する。

講義時使用テキスト

毎回講義資料を配付する

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

企業家・起業家としての実現を果たすための準備や起業家精神について、そして成功に向けてのマネジメント能力向上に関することを、国内/海外での起業経験にもとずいた話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション:ベンチャーとは	授業内容についてインターネットで調べる	参考文献の関連箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する
2	事例(1):ベンチャーの光と影	授業内容についてインターネットで調べる	参考文献の関連箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する
3	事例(2):働き方とベンチャー	授業内容についてインターネットで調べる	参考文献の関連箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する
4	事例(3):コンセプト	授業内容についてインターネットで調べる	参考文献の関連箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する
5	青森県とベンチャー企業	授業内容についてインターネットで調べる	参考文献の関連箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する
6	マーケティング(1):マーケティング基礎	授業内容についてインターネットで調べる	参考文献の関連箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する
7	マーケティング(2):ベンチャーのマーケティング	授業内容についてインターネットで調べる	参考文献の関連箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する
8	ビジネスモデル(1):ビジネスモデル基礎	授業内容についてインターネットで調べる	参考文献の関連箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する
9	ビジネスモデル(2):ベンチャーのビジネスモデル	授業内容についてインターネットで調べる	参考文献の関連箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する
10	ビジネスプラン(1):ビジネスプラン基礎	授業内容についてインターネットで調べる	参考文献の関連箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する
11	ビジネスプラン(2):ベンチャーのビジネスプラン	授業内容についてインターネットで調べる	参考文献の関連箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する
12	モラル(1):CSR・社会課題解決	授業内容についてインターネットで調べる	参考文献の関連箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する
13	モラル(2):企業のありかた	授業内容についてインターネットで調べる	参考文献の関連箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する
14	ビジネスプラン作成(1):基礎(グループワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	参考文献の関連箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する
15	ビジネスプラン作成(2):リーンスタートアップ(グループワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	参考文献の関連箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	2520040000 金融経済論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	崔　桓碩			

学習目標(到達目標)

本講義は、金融に関する基礎知識をもっている学生が主な対象である。今まで勉強した金融の基礎知識をさらに深め、最近の金融経済の動きを実際と理論の両面から学習する。なお、金融経済の学習を通じて、適切な金融政策のあり方について実際に検討することを学習の到達目標とする。

授業概要(教育目的)

本講義は、金融に関する基礎知識をもっている中級レベル以上の学生のためのコースである。経済、財政、国際金融などの関連分野についての学習を通じて、金融経済の実際と理論を理解することを教育の一次目的とする。それは、われわれの日常生活に深く関係している金融システムを把握するためである。
そして、「バーゼルⅢ」、「インフレ・ターゲティング」、「テイラールール」など、新しい金融経済の課題について取り上げ、なぜそのような現象が発生しているのか。その基本的な疑問からはじめ、われわれの生活を取り囲んでいる金融システムを健全にするためにはどのような政策が必要なのかについて考えることを教育の二次目的とする。その際、新聞記事を事例として適宜引用しながら説明する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験や小テストにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

1. 谷内満著『入門金融の現実と理論(第2版)』センゲージラーニング
2. 吉野直行・山上秀文著『金融経済　実際と理論』慶應義塾大学出版会
3. 小林照義『金融政策(ベーシック＋)』中央経済社
4. 晝間文彦著『金融論(第2版)』新世社

講義時使用テキスト

レジュメ配布

資格との関連

学生へのメッセージ

本講義は、2年生以上を対象としている。金融に関する基礎知識をもっている学生を想定しているので、基礎コースである「金融入門」授業の聴講をお勧めする。なお、金融経済の実際と理論の両面を学習するに当たって、新聞や雑誌などに掲載されている金融関連の記事を読むことは本講義の内容に関する理解度を高めると思われる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	金融経済の基礎知識(経済と金融の関係)	・授業内容についてインターネットで調べる	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
2	経済主体における金融行動①(家計)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
3	経済主体における金融行動②(企業)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
4	経済主体における金融行動③(政府)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
5	日本の金融機関と金融市場①(金融機関について)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
6	日本の金融機関と金融市場②(金融市場について)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
7	金融機関の仲介機能①(銀行業)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
8	金融機関の仲介機能②(証券業)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
9	金融機関の仲介機能③(保険業)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
10	金融行政と金融政策①(金融行政について)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
11	金融行政と金融政策②(金融政策について)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
12	金融危機の発生要因と対策	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
13	金融規制の課題と仕組み	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
14	金融のマクロ理論	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
15	金融のミクロ理論	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す

講義名	2520041000 保険論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	崔　桓碩			

学習目標(到達目標)

本講義は、保険の基礎理論と実務の内容に関する学習を通じて、保険の知識を身につけることを目標とする。さらに、第8回の授業では、前半での学習を生かして、実際に保険を利用した生活設計を受講生のみなさんと行う。それにより、単なる保険内容の説明のみでなく、身近にある保険をどのように利用するのかについて実際の生活設計を行い、保険の経済的な効用を感じることを目標とする。
なお、グループワークを通じて、自分のコミュニケーションスキルを向上させることも学習・教育の目標である。

授業概要(教育目的)

保険論は、15回の講義を大きく2つに分けて、前半は保険の基礎理論に関する内容を、後半は保険の経営に関する実務的な内容を説明する。前半の保険の基礎理論については、現代社会における保険の役割を説明し、保険の歴史から仕組みまで保険の全般的な基礎理論について学習することを目標とする。後半の保険の経営については、保険事業をめぐる全般的な事情について説明し、保険事業における販売チャネルと資産運用の現状と課題について説明する。そして、保険事業をめぐる規制状況、社会的責任、今後の課題についても説明する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験や小テストにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

1. 近見正彦・堀田一吉・江澤雅彦著『保険学(補訂版)』有斐閣
2. 大谷幸一編著『保険論』成文堂
3. 水島一也著『現代保険経済(第8版)』千倉書房

講義時使用テキスト

レジュメ配布

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	現代社会における保険の役割	・授業内容についてインターネットで調べる	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
2	保険の歴史(生成と発展)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
3	リスクマネジメントと保険	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
4	保険の種類と仕組み	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
5	保険料の構成、算出方法	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
6	保険商品の種類と構造	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
7	保険の契約	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
8	保険を利用した生活設計	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
9	保険事業の特徴①(保険産業の事情)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
10	保険事業の特徴②(保険会社の販売チャネルにおける現状と課題)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
11	保険事業の特徴③(保険会社の資産運用における現状と課題)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
12	保険事業に関する規制	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
13	保険会社における社会的責任(CSR)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
14	保険事業・政策における課題	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
15	保険事業のグローバル化と規制	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す

講義名	2520042000 労働問題						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	井上　丹			

学習目標(到達目標)

1. 労働問題について考察する上で必要な基本的な知識等をマスターする。
2. 社会人として身に付けておきたい基本的な法律知識等をマスターする。

授業概要(教育目的)

大学を卒業すると、多くの学生は企業や官公署に就職し、学生から社会人になる。社会人になると、企業等の社員(職員)としての側面と、一個人の労働者としての側面を持つことになる。現在起きている労働問題は労働法によって判断されることが多いが、これらの問題を未然に防ぐ観点からも、労働法の基本的な法律を正しく理解しておくことは必要である。
本講義では、労働問題について考察する上で必要となる基本的な事項や、働く前に身に付けておきたい基本的な事項を、代表的な労働法や社会保険に関する法律等を取り上げて学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

授業中に実施する確認小テストや確認レポート、定期試験などを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

個別に対応する。

参考文献

講義時使用テキスト

必要に応じて講義ペーパーを用意する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 働くということ－労働の基本 確認レポートあり	授業内容についてインターネットで調べる	授業内容をまとめておくこと。
2	2. 雇用形態を理解しよう－正規労働、非正規労働、自営業 確認レポートあり	授業内容についてインターネットで調べる	授業内容をまとめておくこと。
3	3. 仕事について考える 確認レポートあり	授業内容についてインターネットで調べる	授業内容をまとめておくこと。
4	4. 労働法の基本事項①－労働基準法など 確認小テストあり	授業内容についてインターネットで調べる	授業内容をまとめておくこと。
5	5. 労働法の基本事項②－労働基準法など 確認小テストあり	授業内容についてインターネットで調べる	授業内容をまとめておくこと。
6	6. 労働法の基本事項③と就業規則の重要性－労働基準法など 確認小テストあり	授業内容についてインターネットで調べる	授業内容をまとめておくこと。
7	7. 職場環境について考える－労働安全衛生法、男女雇用機会均等法など 確認小テストあり	授業内容についてインターネットで調べる	授業内容をまとめておくこと。
8	8. 業務上または通勤中にケガ等をしたら－労働者災害補償保険法 確認小テストあり	授業内容についてインターネットで調べる	授業内容をまとめておくこと。
9	9. 失業時以外にも有用なセーフティーネット－雇用保険法 確認小テストあり	授業内容についてインターネットで調べる	授業内容をまとめておくこと。
10	10. 労働者'(被保険者)及び被扶養者が業務外にケガ等をしたら－健康保険法 確認小テストあり	授業内容についてインターネットで調べる	授業内容をまとめておくこと。
11	11. 老後や障害時、及び遺族に給付される公的年金の基本事項①－国民年金法、厚生年金法など 確認小テストあり	授業内容についてインターネットで調べる	授業内容をまとめておくこと。
12	12. 老後や障害時、及び遺族に給付される公的年金の基本事項②－国民年金法、厚生年金法など 確認小テストあり	授業内容についてインターネットで調べる	授業内容をまとめておくこと。
13	13. 就職・退職の際に注意すること 確認レポートあり	授業内容についてインターネットで調べる	授業内容をまとめておくこと。
14	14. 報酬と賃金について 確認レポートあり	授業内容についてインターネットで調べる	授業内容をまとめておくこと。
15	15. 企業の人事部・労務部の仕事 確認レポートあり	授業内容についてインターネットで調べる	授業内容をまとめておくこと。

講義名	2520043000 地域イノベーション・マネジメント						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	堤　静子		

学習目標(到達目標)

1. 地域イノベーションの概念の変遷・現代の意義を説明できる
2. 地域課題の抽出法を身につけ、課題解決の思考力、想像力を高める

授業概要(教育目的)

イノベーション＝技術革新と解釈されていた時代は終わり、新たな価値観を創造し、社会に大きな変革をもたらすことへと変化した。加えて、地域の競争力やとサステイナビリティの概念にも着目し様々な地域づくりの事例を学ぶとともに、自ら地域課題を抽出し、具体的な課題解決策の策定を試みる。
地域イノベーションの可能性を学び、実際の地域資源の分析、理解を深め、地域資源を活用したビジネスモデルの構築や実現等、サステイナブルな地域づくりを目指し未来を切り拓く人材へと成長することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

グループワークや小テスト、課題により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストや課題は採点のうえ返却する

参考文献

講義中に適宜紹介する。

講義時使用テキスト

使用しない。
講義ごとに配布するレジュメ(プリント)と板書によって講義を行う。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	地域イノベーションとは	授業内容についてインターネットで調べる	配付資料を読み直す
2	地域イノベーション・システム	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
3	デザイン・ドリブン・イノベーション	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
4	資源戦略・競争戦略	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
5	地域イノベーションと地域再生	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
6	地域イノベーション×農林水産業	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
7	地域イノベーション×卸小売業	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
8	地域課題の抽出とその視点	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
9	課題解決の仕組みづくり	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
10	地域産業の創出とサステイナブルな地域づくり維持	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
11	グローバル・イノベーション	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
12	地域課題×マーケティング思考	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
13	地域課題×デザイン思考	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
14	起業・創業による新たな価値創造	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
15	ビジネスモデル構築	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す

講義名	2520044000 マーケティング論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	堤　静子			

学習目標(到達目標)

1. マーケティングの基礎的な概念・理論を説明できる
2. マーケティング思考を身につける

授業概要(教育目的)

現代のビジネス・組織活動において、マーケティングは欠くことのできない市場創造活動である。今日のマーケティングは、企業活動において中心的役割を果たすに至っており、営利企業のみならず、自治体、大学、病院等、公共組織・非営利組織においても、マーケティングの必要性が唱えられる時代となっている。本講義では、具体的な事例を取り上げ、 日常生活に関連させながら、マーケティングの基礎知識を身につけることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

グループワークや課題、小テスト、定期試験により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストや課題は採点のうえ返却する

参考文献

講義中に適宜紹介する

講義時使用テキスト

毎回講義資料を配付する

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

マーケティング会社の経営者として各種マーケティング支援や調査・分析に携わった経験をもとに、企業や消費者の行動、各種調査分析について話をする

授業計画表

	内容	予習	復習
1	マーケティングとは	授業内容についてインターネットで調べる	配付資料を読み直す
2	マーケティングの歴史	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
3	マーケティングコンセプトの変遷	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
4	マーケティング活動①環境分析	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
5	マーケティング活動②セグメンテーション	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
6	マーケティング活動③ターゲッティング	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
7	マーケティング活動④ポジショニング	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
8	マーケティング活動④マーケティングミックス	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
9	マーケティングミックス①製品・サービス	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
10	マーケティングミックス②価格	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
11	マーケティングミックス③販売促進	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
12	マーケティングミックス④流通	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
13	マーケティング・リサーチ	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
14	消費者行動の理解①経済学的アプローチ	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
15	消費者行動の理解②心理学的アプローチ	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す

講義名	2520045000 地域マーケティング						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	堤　静子			

学習目標(到達目標)

1. 地域におけるマーケティング活動の重要性、必要性を説明できる
2. 実際の各種地域課題とのマーケティング事例を知り、課題解決手法を理解する

授業概要(教育目的)

地域の価値を高め、創造するための地域課題抽出および地域住民など様々な主体による地域課題解決のツールとしてマーケティング手法がある。その理論と実践事例を理解し、地域経営、地域活性化、地域ブランド等、地域の価値を高めるためのマーケティング思考を鍛え、課題解決および各種手法を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

グループワークや課題、小テスト、定期試験により総合的に評価する

課題に対するフィードバック

小テストや課題は採点のうえ返却する

参考文献

講義中に適宜紹介する

講義時使用テキスト

毎回講義資料を配付する

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

マーケティング会社の経営者として、様々な市町村でのマーケティング手法による地域活性化事業に携わった経験をもとに、地域課題解決手法や各種マーケティング手法の話をする

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 地域を学ぶ意義	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を見直す
2	2. 地域のマネジメント	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を見直す
3	3. 地域資源とは	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を見直す
4	4. 地域資源を活用した新たな商品・サービスの開発	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を見直す
5	5. 地域資源を活用した事業事例①まちづくり	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を見直す
6	6. 地域資源を活用した事業事例②ものづくり	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を見直す
7	7. 地域資源を活用した事業事例③ひと	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を見直す
8	8. 海外地域モデル	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を見直す
9	9. 国内地域モデル	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を見直す
10	10. 超高齢社会・人口減少社会における地域経営	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を見直す
11	11. 地域資源の付加価値力	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を見直す
12	12. 地域資源を活かし地域力を高める	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を見直す
13	13. 地域活性化に向けた地域ブランドの確立	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を見直す
14	14. 地域ブランド戦略	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を見直す
15	15. 地域の今後の課題と方向性	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を見直す

講義名	2520046000 消費者行動論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	堤　静子		

学習目標(到達目標)

1. 消費者社会の変遷や消費者の基本的な行動原理、意思決定について説明できる。
2. 消費者の行動に関する各種分析手法を習得できる。

授業概要(教育目的)

消費者行動の研究は、これまでマーケティングの分野において最も活発に行われてきたが、現代社会における消費者行動の多様性と変化を捉えることが重要視されるにつれて、経済学、経営学のみならず、社会学、社会心理学、文化人類学の分野など、様々な学問分野の視点で活発に研究されるようになってきている。
本講義では、具体的な事例を取り上げ、身近な消費行動に関連させながら、消費者行動の内的・外的要因のダイナミクスを考察することにより、消費者の基本的な行動原理や消費者行動の分析手法等について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

小テストや定期試験により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストや課題は採点の上返却する

参考文献

講義中に適宜紹介する

講義時使用テキスト

毎回講義資料を配付する

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

マーケティング会社の経営者として各種マーケティング支援や調査・分析に携わった経験をもとに、企業や消費者の行動、各種調査分析について話をする

授業計画表

	内容	予習	復習
1	消費者行動とは	授業内容についてインターネットで調べる	配付資料を読み直す
2	消費社会の変遷①戦後～1960年代	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
3	消費社会の変遷② 1970年～	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
4	マーケティングと消費者行動	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
5	消費者行動と企業行動	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
6	需要と供給	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
7	家計の行動	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
8	消費行動と経済波及効果	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
9	各種消費行動分析手法	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
10	消費者行動分析①(実習)回帰分析の基礎	配付資料の該当箇所を読む	課題のEXCELファイルを見直す
11	消費者行動分析②(実習)単回帰分析・相関分析	配付資料の該当箇所を読む	課題のEXCELファイルを見直す
12	消費者行動分析③(実習)重回帰分析	配付資料の該当箇所を読む	課題のEXCELファイルを見直す
13	消費者行動分析④(実習)価格感度分析	配付資料の該当箇所を読む	課題のEXCELファイルを見直す
14	消費者の購買意思決定プロセス	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す
15	消費者の購買行動における心理的プロセス	配付資料の該当箇所を読む	配付資料を読み直す

講義名	2520047000 地域産業論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	鶴見　浩一郎			

学習目標(到達目標)

国全体の産業配置を俯瞰した上で見えてくる地域の特徴や問題点を、立地理論や国際的な比較などを通して、一般理論も考慮したなかで具体的に説明できる。

授業概要(教育目的)

近年、地域の人口減少・産業の衰退が問題となっているが、過去の地域の成長・産業の発展がどのような条件の下に達成され、変化し、現状に至っているかを立地論を元に理論的に理解する。あわせて、青森県及び八戸市地域の産業構造や地場産業の現状と課題について紹介し、それらを通じて、地域産業における地域の特性や優位性、成長の方策などを考察する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

　期中の小テスト、および論述を中心とした期末試験。
　試験では参考資料にある記述を参照するだけではなく、講義内容を踏まえての、自分の経験や観察、調査に基づく記述を重視する。難しいことを書く必要はない。むしろ、自分が街の中で実感したオリジナリティのある考察、論述を大いに評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをフィードバックする。
試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

1. 島田晴雄「産業創出の地域構造」、東洋経済新報社、1996年
2. 関　満博「地域産業の未来」、有閣斐選書、2002年

講義時使用テキスト

富田和暁「地域と産業　新版」、原書房、2006年
新刊書は高価。アマゾンなどでの古書購入でもかまわない。

資格との関連

学生へのメッセージ

八戸を始めとして、自分の出身地や興味のある地域などから、受講する学生諸君それぞれの関心のある産業に関する情報を収集して欲しい。そして眼前に現れている現象だけでなく、その背後にある歴史的経緯や先人が築いた一般理論も知ることによって、現在我々が居住しており、将来そこで仕事をして生きていくであろう地域で起きている産業活動の様々な事象の理解を目指して欲しい。
　将来どこに住むことになろうとも、諸君が日常の暮らしを送っている場所が「地域」「地元」であり、そこでの生活を通して諸君の人生を豊かなものにしていくために、地域の産業のあり方を理解しよう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 地域経済の発展と変化・危機	地域経済・地域産業の定義について、また現在問題となっている地域の衰退について調査しておく。	講義の内容を整理し、自分の考えと一般的な理解を整理する。
2	2. 産業立地論1　チューネンの理論	チューネンの「孤立国」について教科書、参考書等を調べておく。	チューネンの孤立国概念で今の地元小都市の説明ができるよう、講義を整理する。
3	3. 産業立地論2　ウェーバーの理論	ウェーバーの「工業立地論」について、教科書の該当箇所や一般の資料を読んでおく。	工業立地の原理となる原料指数についてノートに定義をまとめておく。
4	4. 産業立地論3　クリスタラーの理論	クリスタラーの「中心地理論」「立地階層化」について教科書の該当箇所や一般の資料を読んでおく。	孤立国概念から工業立地論、中心地理論への理論の発展を自分の知る実例に照らし合わせてノートにまとめる。
5	5. 産業立地論4　オフィス立地論	教科書のオフィス立地論を通読した上で、工業社会から情報社会への変遷とはどういうことなのか調べておく。	オフィス立地論の概念について自分なりの理解をノートにまとめ、都市間競争やストロー現象について自分の知る都市の実例を考えてみる。
6	6. 産業立地政策の変遷:政府方針	TVA、「全国総合開発計画」と高度経済成長政策について調べておく。	鉄道、高速道路網、地域空港整備の変遷について歴史的観点からノートにまとめる。
7	7. 工業化時代の産業立地:大企業	八戸キャニオンとは何か、また八戸セメントという会社の歴史について調べておく。	八戸における代表的大企業の立地について、再度工業立地論的観点から実例を調べてみる。
8	8. 中小企業政策と地域経済	八戸地区・青森・東北・自分の出身地などの自分に身近な企業のがなぜそこに立地しているのか調べておく。	地域に共通する問題や成功の要因についてノートにまとめる。
9	9. 地元資本・地域ベンチャービジネス	自分の地元と地元資本・地域発ベンチャービジネスとしての代表例にどのような企業があるかを調べておく。	成功事例・衰退事例についてその要因をノートにまとめる。
10	10. 地域産業をになう商店街・中小零細企業	自分の地元に特徴的な地域産業や商店街、地元特産品・産業の特徴について調べておく。	自分が調べた地域でその産業・製品などが成立した要因についてまとめる。
11	11. 地域経済・産業の空洞化	自分の地元の地域経済・商店街の立地条件を産業立地論の中で再検討してみる。	地元の中小零細企業・商店街の今後のあるべき姿についてまとめえる。
12	12. 商店街・都市の成立条件、繁栄・衰退のサイクル	「商店街」とは何か、その定義と歴史、法制、後継者問題について調べておく。	発展している企業・業種の特徴についてノートにまとめておく。
13	13. グローバル資本主義と地域経済	ウォーラーステインの「帝国」について概略を調べておく。	ヘゲモニー国家の歴史的推移について自分の理解をまとめておく。
14	14. 未来型産業支援施設の展開	青森市の「アウガ」、八戸市の「はっち」について、過去に何が起こったのかネットなどで経緯を調べておく。	アウガの教訓と他都市の成功例について比較し、相違点など気付いたことをまとめておく。
15	15. 地域産業を支える人材・労働力	教科書の中心地理論・オフィス立地論を概観し、自分はどのような場所で働きたいか考えてみる。	将来自分が就きたい職業とその立地論的特性についてまとめる。自分はどの地域で働くのが良いのか、その場所の将来について立地論的観点から考えてみよう。

講義名	2520048000 農業概論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)		佐々木 伸介		

学習目標(到達目標)

1. 日本農業の現状と農政の移り変わり、農業組織及び時事問題等を説明できる。
2. 農畜産物及び農業の状況を理解し、農ビジネスの将来性等について説明できる。

授業概要(教育目的)

農業の成り立ち、農業や農家の現状、各農畜産物の特徴、日本農政の移り変わり、農業を支える組織及び時事問題等について理解し、どのように対応していくべきかを学ぶことを目的とする。
総論として、国際化に対応できる日本農業の将来と、農業で起業するために必要な知識等を得ると共に、農ビジネスの将来性を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

毎回のリアクションペーパー及び、最終課題レポート等の内容により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

内容に応じて、講義時に紹介する。

講義時使用テキスト

毎回講義資料を配付する。

資格との関連

学生へのメッセージ

1. 日々報道される、食料、農業、農村に関する情報に関心を持つことで、より理解が深まる。
2. 農業そのものに対して興味・関心が高まるよう、適宜演習や青森県内の特色ある事例等の紹介(動画上映)を取り入れることとする。
※演習ではグループワークを数回予定しているので、誰とでもグループになれるよう、また、グループ内では協力して作業を行うよう心掛けておくこと。
※感染症対策の観点から、グループワークについては中止することもある。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	日本農業の基礎知識 「農政時事」の内容紹介、日本農業の特徴 など	授業内容についてインターネットで調べる	参考文献の関連個所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 配布資料とノートを読み直す
2	日本の農政 農地改革、農業基本法、総合農政、食料・農業・農村基本法 など	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	参考文献の関連個所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 配布資料とノートを読み直す
3	肥料と農業の基礎知識 肥料、農薬 など	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	参考文献の関連個所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 配布資料とノートを読み直す
4	日本農業を支える組織 農林水産省、青森県農林水産部、JA など	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	参考文献の関連個所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 配布資料とノートを読み直す
5	世界経済の中の日本農業 GATT、GTO、EPAとFTA など	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	参考文献の関連個所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 配布資料とノートを読み直す
6	加速する農業のビジネス化 農業法人、企業の農業参入、植物工場、産直 など	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	参考文献の関連個所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 配布資料とノートを読み直す
7	農業を進化させるテクノロジー バイオテクノロジー、IT・ロボットの活用 など	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	参考文献の関連個所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 配布資料とノートを読み直す
8	持続可能な農業に向けて 有機農業、環境保全型農業、GAP など	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	参考文献の関連個所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 配布資料とノートを読み直す
9	米のイロハ 米の種類、日本の稲作クローズアップ、米の品種 など	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	参考文献の関連個所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 配布資料とノートを読み直す
10	畑のイロハⅠ 日本の畑作クローズアップ、野菜の種類、豆の種類 など	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	参考文献の関連個所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 配布資料とノートを読み直す
11	畑のイロハⅡ 小麦について、大麦・裸麦について、果樹を知ろう など	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	参考文献の関連個所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
12	畜産のイロハ 日本の畜産クローズアップ、牛を知ろう、豚を知ろう、鶏を知ろう など	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	参考文献の関連個所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
13	日本の食料事情 日本の食生活の変化と食料自給率の推移、トレーサビリティ、遺伝子組換え作物 など	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	参考文献の関連個所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
14	日本の食をめぐる動き ブランド野菜、農家レストラン、グリーンツーリズム など	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	参考文献の関連個所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
15	世界の食料事情と食をめぐる問題 世界の食料事情、育種法 など	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	参考文献の関連個所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する

講義名	2520049000 農業経済学						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)		加来　聡伸		

学習目標(到達目標)

食料・農業・農村の諸問題に対し、経済理論を用いて解釈および説明することができる。

授業概要(教育目的)

本講義は、農業経済学の基礎理論を学ぶことを目的とする。具体的には、日本農業が抱える担い手の不足と農村の衰退問題、拡大する農産物貿易の問題、世界的な飢餓と飢饉による食糧問題、食の安全性の問題、自然環境との関わりの中での農業の課題などの実例を紹介し、それらの諸問題および課題に対し、経済学のアプローチから理解を深めていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

試験結果によって評価する。

課題に対するフィードバック

授業中に行う小テストやレポートは、次回以降の授業においてフィードバックする。

参考文献

田代洋一著『農業・食料問題入門』大月書店,2012年

講義時使用テキスト

荏開津典夫,鈴木宜弘『農業経済学』岩波書店、2020年、第5版

資格との関連

学生へのメッセージ

農業を体系的に理解するため、農業に関する基礎的知識を事前に予習しておくことが望ましい。また、農業に関心のある学生には、同じく基礎科目農業経営学、応用科目として食料経済学を合わせて受講されることが望まれる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1、農業経済学の概要	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントをノートに整理する。
2	2、経済発展と農業	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントをノートに整理する。
3	3、食料の需要と供給	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントをノートに整理する。
4	4、農業生産と土地	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントをノートに整理する。
5	5、農業の経営組織	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントをノートに整理する。
6	6、農産物の市場組織	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントをノートに整理する。
7	7、農産物貿易と農業保護政策①(穀物貿易の特質、国内農業保護政策、農産物の過剰生産)	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントをノートに整理する。
8	8、農産物貿易と農業保護政策②(GATT、WTO、FTA等に対する変遷過程)	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントをノートに整理する。
9	9、世界の人口と食料	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントをノートに整理する。
10	10、食生活の成熟とフード・システム	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントをノートに整理する。
11	11、農業の近代化	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントをノートに整理する。
12	12、資源・環境と農業	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントをノートに整理する。
13	13、日本の農業と食料①(日本の農業・食料問題、農業基本法と構造改善、食管法と米の問題)	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントをノートに整理する。
14	14、日本の農業と食料②(食料の内外価格差、食料・農業・農村基本法、21世紀の日本農業と農業政策)	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントをノートに整理する。
15	15、農業政策と農業経済学	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントをノートに整理する。

講義名	2520050000 農業経営学						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	加来　聡伸			

学習目標(到達目標)

①現在の農業経営に求められる資質が何かを説明できる。
②農業経営の経営計画の基本的枠組みを理解し作成できる。

授業概要(教育目的)

近年の日本の農業経営は、グローバル化の進展に伴い、ますます競争が激しくなることが予想される。これに対応するように日本農政は、食糧法の改正による自由販売の拡充、農地制度の改正に伴う農業生産法人の参入緩和措置などを決定し、さらには6次産業化策の推進や海外市場開拓など市場経済に対応する農業経営を新たな担い手として求めている。つまり、これまでの家業的な農業から脱皮し一般企業と同様に“企業的”な活動が農業経営に求められているといえる。本講義では、これからの農業経営に必要な基本的な視点を説明すると同時に、本講義の後半以降では、刻々と環境が変化することに合わせ、現代的な農業経営の姿も説明していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

授業中に課すレポート(発表も含む)や試験結果によって評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

『現代農業のマネジメント―農業経営学のフロンティア―』2008年，日本経済評論社

講義時使用テキスト

大泉一貫、津谷好人、木下幸雄ほか『農業経営概論』実教出版、2016年10月

資格との関連

学生へのメッセージ

農業事情、農業経済学の科目を受講することで、より農業の理解が深まるので合わせて受講することをお勧めする。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	農業の動向と農業経営	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
2	現代の農業経営	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
3	農業経営の主体と目標、生産要素	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
4	農業経営組織	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
5	農業経営の運営	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
6	農業経営と情報	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
7	農業経営のマーケティング	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
8	農業経営の社会環境	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
9	農業経営の会計①(簿記の基礎)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
10	農業経営の会計②(各種取引の基調と決算)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
11	農業経営の会計③(農産物の原価計算)	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントをノートに整理する。
12	農業経営の診断	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントをノートに整理する。
13	農業経営の設計	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントをノートに整理する。
14	ICT活用による農業経営	ICT活用と農業についてインターネット、書籍などで事前に調べる。	授業のポイントをノートに整理する。
15	6次産業化の現状	6次産業化についてインターネット、書籍などで事前に調べる。	授業のポイントをノートに整理する。

講義名	2520051000 食料経済学						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)		加来　聡伸		

学習目標(到達目標)

①フードシステム(フードチェーン)とは何かを説明できる。
②戦後日本から現在までの食糧(料)に関する環境変化について説明できる。

授業概要(教育目的)

本講義では、フードシステム論(ないしはフードチェーン)の観点から、普段何気なく食している食料、食品の本質について探ることを目的としている。昨今の“食”と“農”を囲む環境は、“農業の工業化”、バイオエタノール利用、地球温暖化の影響等によって、大きな変化がみられる。一方では食と農の乖離を促進するような動きと他方でこれらを取り戻そうとする動きである。これらの動向を客観的に捉え、受講生にとって、将来の食について一人ひとりが考えるきっかけとなることを目指している。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

テストの結果と授業中に課すレポートによって評価する。

課題に対するフィードバック

授業中にフィードバックを行う。

参考文献

1. 時子山ひろみ　荏開津典生『フードシステムの経済学』医歯薬出版
2. 高橋正郎『フードシステムと食品流通』農林統計協会
3. 高橋正郎　斉藤修『フードシステム学の理論と体系』農林統計協会
4. 明治大学農学部食料環境政策学科『食料環境政策学を学ぶ』日経評論社

講義時使用テキスト

高橋正郎監修、清水みゆき編著『食料経済−フードシステムからみた食料問題　第6版』オーム社, 2022年3月

資格との関連

学生へのメッセージ

その他の農業関連の科目（農業経済学、農業経営学）を受講することが望ましい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	食糧環境論とは	テキストの該当箇所を読んでくる。	授業のポイントをノートに整理する。
2	食生活の変遷と特徴	テキストの該当箇所を読んでくる。	授業のポイントをノートに整理する。
3	成熟期における食の需給	テキストの該当箇所を読んでくる。	授業のポイントをノートに整理する。
4	食の外部化	テキストの該当箇所を読んでくる。	授業のポイントをノートに整理する。
5	農畜水産物の生産	テキストの該当箇所を読んでくる。	授業のポイントをノートに整理する。
6	食品製造業と食品企業の展開	テキストの該当箇所を読んでくる。	授業のポイントをノートに整理する。
7	食品の流通	テキストの該当箇所を読んでくる。	授業のポイントをノートに整理する。
8	食料・食品輸入の増加	テキストの該当箇所を読んでくる。	授業のポイントをノートに整理する。
9	世界の食料問題	テキストの該当箇所を読んでくる。	授業のポイントをノートに整理する。
10	日本の食料政策と食品政策	テキストの該当箇所を読んでくる。	授業のポイントをノートに整理する。
11	食品の安全性と食をめぐる資源・環境問題	テキストの該当箇所を読んでくる。	授業のポイントをノートに整理する。
12	放射能事故と農産物の事故対応	放射能事故によって起こった食料の問題は何があるのか、雑誌・新聞記事、インターネット等で調べよ。	授業のポイントをノートに整理する。
13	食育基本法の制定と食育の課題	食育基本法について調べよ。	授業のポイントをノートに整理する。
14	日本の食料問題を考える	テキストの該当箇所を読んでくる。	授業のポイントをノートに整理する。
15	食料について考える。講義では映像を視聴し、ワークシートを用いて考えをまとめる。	これまでの授業内容を総体的に概観し、人と食料について考えをまとめておく。	授業のポイントをノートに整理する。

講義名	2520052000 水産経済論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)		鶴見　浩一郎		

学習目標(到達目標)

我が国の水産物生産、水産市場の構造、水産物流通の組織、水産加工業の業態等について基本的に説明できる。
また国際社会における水産業の現状と我が国との関係について基本的な理解を持つ。

授業概要(教育目的)

本講義では、水産物に係る生産・市場・流通・加工について基礎的な知見を得るため、我が国の水産業の生産体制、市場(マーケット)の構造と特質、水産物の流通システムとその変容、水産加工業の業態、国際的な位置づけや地球環境との関係などについて学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

論述を中心とした期末試験。その他、課題提出等により総合的に評価する。
講義内容を踏まえての、自分の経験や観察、調査に基づくオリジナリティのある考察、論述を大いに評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の講義で代表的なものをフィードバックする。
試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時に適時紹介する。

講義時使用テキスト

廣吉勝治・佐野雅昭「ポイント整理で学ぶ水産経済」北斗書房　2008年
新刊書は高価。アマゾンなどでの古書購入でもかまわない。

資格との関連

学生へのメッセージ

2018年、政府は70年ぶりとなる漁業制度の見直しを含む漁業法の改正を公布し、水産改革の方針を打ち出した。法の施行以前から水産都市八戸もその周辺も世代交代に伴う水産業の大きな構造変革が迫られていることは明白だった。一般市民にとっては回転寿司やスーパーの鮮魚コーナー以外で直接目にすることは少ない水産物だが、国民生活にとっては大変重要な食料資源であり、その生産・流通・消費に関する知識は地域経営を専攻する諸君にとっても一通り理解しておくべき分野である。
生産体制・流通・消費・国際関係・環境との関係などを概観することで「水産業」の基本的理解を目指す。

実務との関連

新規水産物である養殖フジツボの育成事業に関するセシルラボ株式会社の社主として、水産事業に係わった知見を活かして、水産物に係わる市場・流通・加工についての知識を得るために、わが国の水産物市場(マーケット)の構造と特質、水産物の流通システムとその変容、水産加工業の業態などを説明することができるよう講義する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 水産と我々の食生活の関係について・外食業務需要	あなたの普段の食生活で水産物と呼ばれるものについて、最近食べたり利用したものについてリストアップしておく。	GDPに占める水産の比率をネット上の統計を利用してノートに記録しておく。
2	2. 水産の生産構造・漁業	漁業と養殖業は何が違うのか、確認しておく。	200海里規制が日本の水産業にどのような影響を与えたのか、ノートにまとめておく。
3	3. 水産の生産構造・養殖業	代表的な水産養殖品目について、確認しておく。	国際的な漁獲規制と養殖の関係についてノートにまとめる。
4	4. 漁業経営	現在の漁業経営について何が問題となっているのか、ネットなどで最新状況を調べておく。	日本の水産漁業経営について、近い将来どうなると予想されるか、ノートにまとめる。
5	5. 漁業労働力・漁業就労	水産業に特徴的な就労形態について、過去にどのような特徴があったか調べておく。	農業との違いについてノートにまとめる。
6	6. 漁業制度・漁業政策	漁業法・水産業協同組合法について、ネットなどで概観しておく。	国の水産行政の方向性と、将来の漁業経営についてまとめる。
7	7. 水産資源の管理	水産資源保護法の目的とは何か、概観しておく。	資源保護と漁獲量の関係について講義内容をまとめる。
8	8. 水産資源の管理政策	ウナギ、マグロなどの資源問題の現状について調べておく。	過去の日本の漁獲と現在の関係についてまとめる。
9	9. 漁業の国際関係	捕鯨の歴史と現在の規制について調べておく。	クジラやマグロの資源管理問題についてまとめる。
10	10. 水産物需給・水産物消費	世界の水産物需給についてネットで調べてみよう。	現在の世界の水産物の生産と消費の傾向について要点をノートにまとめておく。
11	11. 八戸の沖合・遠洋水産会社の経営について	八戸の遠洋漁業の歴史・現状について図書、ネットなどで調べておく。	水産基本法の改訂を踏まえた今後の業界の進展について考えられることをノートにまとめておく。
12	12. 水産物の流通	水産物を流通させるためにどのような施設や技術があるのか、冷蔵・冷凍技術や水産卸売市場の機能について、また豊洲市場について調べておく。	冷蔵・冷凍技術の開発と水産物利用の普及、農産物市場と水産市場の特徴・差異をノートにまとめる。
13	13. 水産物加工	水産物加工とは何か、今までに食べたことのある水産加工品について調べておく。	水産物加工業の特徴と問題点についてまとめる。
14	14. 環境問題と漁業・水産業	海洋環境問題について、代表的なものを調べ、水産との関係を調べておく。	「持続可能な水産業」についてあなたの考えをまとめる。
15	15. 漁協と今後の水産業の担い手	漁協の組織とはどのようなものか、ネットで調べておく。	最新の「漁業権」と日本の水産業の将来について考えてみよう。

講義名	2520053000 流通経済論						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)		中居　裕		

学習目標(到達目標)

以下の2事項を達成目標とする。
1. 港湾が果たしている港湾物流の経済的な役割を説明することができる。
2. 港湾の内部構造がどのようになっているか説明することができる。

授業概要(教育目的)

日本におけるロジスティクスのとらえ方は経済活動(生産活動、流通活動、消費活動)において、物資流通の円滑化を実現するため、調達・生産・包装、荷役および情報等の活動を総合的に管理することと考えられている。なかでも日本の場合には人口が都市圏に極度に集中していること、四面海に囲まれた島国であること、その島国が南北に長いという地形的な特性から内国貿易に、大きな特徴をもっている。また、海外との輸送は外航海運にその多くを依存している。したがって、日本におけるロジスティクスは「港湾における荷役、輸送、保管、包装、情報活動」が大きな分野を形成している。
本講では、「ロジスティックスとはどのようにとらえたらよいのか」をスタートラインに日本の実情、特徴を明らかにした上で、その主要部分を担っている港湾に注目して、①港湾をどのように理解したらよいのか。②港湾物流の中核を担っている港湾運送業とはどのような構造になっているのか。③港湾はどのような機能を果たしているのか。④物流の近代化(貨物のコンテナ化)が進行する中で、港湾物流がどのように変化・課題を抱えているのか。これらのテーマを通して、港湾が果たしている経済的な役割の理解を深化することにある。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験や小テスト等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

参考文献

講義の中でその都度紹介するが、主なものは以下のようである。
池田宗雄著『港湾知識のABC』成山堂書店／市来清也著『港湾管理論』成山堂書店
ｼﾞｪｲｱｰﾙ貨物・ﾘｻｰﾁｾﾝﾀｰ『日本の物流とﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ』成山堂書店
阿保栄司著『ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽの基礎』税務経理協会

講義時使用テキスト

毎回講義のレジュメを用意、テキストは使用しない。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ロジスティクスとは(講義の進め方も含めて)	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
2	商流と物流(物流の歴史、アメリカ・日本の物)	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
3	商流と物流(日本における物流の実態)	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
4	日本の物流の特徴	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
5	物流ニーズの変化	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
6	港湾の種類(港湾の用途から)	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
7	港湾の種類(立地条件、貿易形態から)	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
8	港湾の種類(港湾に関連する法体型から)	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
9	港湾とは	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
10	港湾の内部構造＝港湾運送事業	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
11	港湾産業とは	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
12	港湾が果たしている機能	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
13	港湾物流(概念、活動諸形態、特質)	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
14	港湾の管理・運営	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
15	港湾物流の近代化と課題	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す

印刷日：2023年09月29日

講義名	2520054000 地域活性化システム論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	井上　丹			

学習目標(到達目標)

授業を通じて地域活性化の取組について理解できる。
この授業で得られた知見について、自分たちの地域の課題の抽出、それに応じた地域活性化の活動に結び付けることができる。

授業概要(教育目的)

近年、「地域活性化」・「地方創生」などという言葉を聞くことが多い。その多くは、地域住民が主体となって実施されているものが多い。特に、少子高齢化や人口減少が著しい青森県においては、持続可能なまちづくりなど、地域活性化が一層求められる。
そこで本講義においては、学外の他の機関などとも連携しつつ、地域活性化について以下の内容を中心に実施する。
①地域活性化の現状と先進事例について。
②地域活性化を目的とした企画やイベントの実施。
③地域活性化を行う上での留意点について。
これらについて、知識や考え方を習得することが本講義の目的である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

授業中に課すワークシートやレポートの内容、グループワークや活動発表の内容、最終レポートの内容を総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

ワークシートやレポートなどの課題については、採点の上、各自返却する。

参考文献

枝廣淳子『地元経済を創りなおす－分析・診断・対策』, 岩波新書.
NPO法人自治経営『公民連携事業ケーススタディブック』
それ以外については、必要に応じて適宜示す。

講義時使用テキスト

使用せず。

資格との関連

学生へのメッセージ

・学外での授業(現地集合、現地解散)があるため、移動手段を確保していることが望ましい(自家用車、公共交通機関での移動)
・グループワークが中心となるため、コミュニケーション能力が求められる。人の話を聞く、自分の意見を発現することを重視している。
・外部の方と活動することがあるため、基本的な礼儀(服装や身だしなみ)やマナー(挨拶や話し方)を身につけておくこと。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ガイダンス:授業計画の説明	配布資料等を予めダウンロードし、読んでおく。	授業の内容について、ノートや資料を見直し、内容を整理する。
2	オリエンテーション:地域活性化とは何か	配布資料等を予めダウンロードし、読んでおく。	授業の内容について、ノートや資料を見直し、内容を整理する。
3	地域活性化の先進事例の紹介	配布資料等を予めダウンロードし、読んでおく。	授業の内容について、ノートや資料を見直し、内容を整理する。
4	グループワーク:地域の課題と解決方法	配布資料等を予めダウンロードし、読んでおく。	授業の内容について、ノートや資料を見直し、内容を整理する。
5	フィールドワーク:現場ヒアリング①	配布資料等を予めダウンロードし、読んでおく。	授業の内容について、ノートや資料を見直し、内容を整理する。
6	フィールドワーク:現場ヒアリング②	配布資料等を予めダウンロードし、読んでおく。	授業の内容について、ノートや資料を見直し、内容を整理する。
7	グループワーク:現場ヒアリングの振り返り	配布資料等を予めダウンロードし、読んでおく。	授業の内容について、ノートや資料を見直し、内容を整理する。
8	グループワーク:地域活性化の企画提案	配布資料等を予めダウンロードし、読んでおく。	授業の内容について、ノートや資料を見直し、内容を整理する。
9	グループワーク:イベントプランニング	配布資料等を予めダウンロードし、読んでおく。	授業の内容について、ノートや資料を見直し、内容を整理する。
10	フィールドワーク:地域企業ヒアリング①	配布資料等を予めダウンロードし、読んでおく。	授業の内容について、ノートや資料を見直し、内容を整理する。
11	フィールドワーク:地域企業ヒアリング②	配布資料等を予めダウンロードし、読んでおく。	授業の内容について、ノートや資料を見直し、内容を整理する。
12	フィールドワークの振り返り	配布資料等を予めダウンロードし、読んでおく。	授業の内容について、ノートや資料を見直し、内容を整理する。
13	グループワーク:地域活性化イベントに向けて①	配布資料等を予めダウンロードし、読んでおく。	授業の内容について、ノートや資料を見直し、内容を整理する。
14	グループワーク:地域活性化イベントに向けて②	配布資料等を予めダウンロードし、読んでおく。	授業の内容について、ノートや資料を見直し、内容を整理する。
15	フィールドワーク:地域活性化イベントへの参加	配布資料等を予めダウンロードし、読んでおく。	授業の内容について、ノートや資料を見直し、内容を整理する。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2520055000 ミクロ経済学						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	奈良　卓			

学習目標(到達目標)

以下の2点を講義の到達目標とする。
1. 需要曲線の背後にある消費者の意思決定プロセスを把握し、説明できる。
2. 供給曲線の背後にある生産者の意思決定プロセスを把握し、説明できる。

授業概要(教育目的)

ミクロ経済学があつかう問題は、(1)消費の主体である家計はいかなる財・サービスをどれだけ消費するか、(2)財・サービスを生産する主体である企業は、対象となる商品をどれだけ生産し、販売するか、(3)家計と企業が市場で取引することにより、財・サービスの価格はどう決まるか、等である。すなわち、ミクロ経済学とは、個々の経済主体による意思決定及び取引に焦点を当て、分析する学問である。
本講義では、ミクロ経済学における様々な問題のうち、市場の完全性が成り立っているもとでの家計と企業の行動をあつかう。すなわち、無数の家計と無数の企業が市場で財・サービスを取引する場合、家計はいかに行動するか、また、企業はいかに行動するか、といった個々の経済主体の基本的な行動決定プロセスを学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

授業中に随時実施する小テスト、提出課題を総合して評価する。

課題に対するフィードバック

・小テストの模範解答を配布し、適宜、解説を行う。

参考文献

講義時間中に随時説明する。

講義時使用テキスト

担当教員作成の講義資料を章ごとに配布し、メインテキストとして使用する。

資格との関連

本講義は地方(国家)公務員試験を目指すものにとって、秋学期開講の「公共経済学」とともに、(ミクロ経済学分野についての)基本的な知識が得られるように配慮してある。

実務との関連

学生へのメッセージ

「ミクロ経済学」は経済主体による経済活動を数式で表現し、展開し、考察する学問であり、講義を理解するには、(2次関数、微分等)高等学校で学んだ数学の知識が必要不可欠です。
したがって、数学に苦手意識を持っている方、1箇所でつまずくとその先が全く理解できなくなる型の科目が苦手な方にとり、「ミクロ経済学」を受講し、理解するには大きな困難が伴います。
また、必修科目の「経済学入門」とは異なり、選択科目である「ミクロ経済学」は、「難しいけれども、自分にとって意味のある内容であれば真剣に学んでみたい」と考える方々を対象とした科目であり、単位取得のハードルも高くなります。
よって、「難しいけれども真剣に学んでみたい」と思える覚悟と意欲を持てる方のみ、「ミクロ経済学」を履修選択することをお勧めいたします。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	「ミクロ経済学」とは	・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
2	ミクロ経済学の課題と経済主体	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
3	効用最大化とその考え方	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
4	効用最大化の理解に必要な数学	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
5	効用最大化問題の解法	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
6	マーシャルの需要関数	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
7	代替効果と所得効果	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
8	財・サービスとその性質	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
9	需要の価格弾力性	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
10	完全競争市場の概念と生産関数	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
11	短期における利潤最大化とその考え方	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
12	短期における利潤最大化の理解に必要な数学	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
13	短期における利潤最大化問題の解法	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
14	短期における費用関数	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
15	短期における供給関数と損益分岐点	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。

講義名	2520056000 公共経済学						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	奈良　卓			

学習目標(到達目標)

以下の2点を講義の到達目標とする。
①市場の効率性を、計測・比較する手法を身につけ、説明できる。
②市場の効率性が阻害される(適正な資源配分が行われない)理由と解決方法を説明できる。

授業概要(教育目的)

「ミクロ経済学」において想定した市場の完全性が、何らかの理由で成り立たない場合、たとえば、独占市場のような不完全競争市場において、自由な経済活動に委ねることによって効率的な資源配分は達成されない。すなわち、資源配分上の歪みが生じる。そして、資源配分上の歪みを是正すべく、政府による家計や企業の経済活動への介入が求められる。
「公共経済学」では、はじめに、資源配分上の歪みが生じているか否かを計測・判定する基準、すなわち部分均衡分析による市場の効率性計測の手法(余剰分析)及び一般均衡分析による市場の効率性を判定する基準(パレート基準)を学ぶ。次に、独占市場を含め、市場の完全性が成り立たないがゆえに効率的な資源配分が達成されない状況(市場が失敗する状況)を分類し、資源配分が歪むメカニズムにつき、それを是正する方法とともに学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

授業中に随時実施する小テスト、提出課題を総合して評価する。

課題に対するフィードバック

・小テストの模範解答を配布し、適宜、解説を行う。

参考文献

講義時間中に随時説明する。

講義時使用テキスト

担当教員作成の講義資料を章ごとに配布し、メインテキストとして使用する。

資格との関連

本講義は地方(国家)公務員試験を目指すものにとって、春学期開講の「ミクロ経済学」とともに、(ミクロ経済学分野についての)基本的な知識が得られるように配慮してある。

実務との関連

学生へのメッセージ

「公共経済学」の講義を受講し、理解するには、完全競争市場における消費や生産の理論をはじめ、微分法等の数学の知識も含め、「ミクロ経済学」で学んだ内容が前提になっているので「ミクロ経済学」を履修した経験がなければ、「公共経済学」を理解し、単位を取得することは、困難となります。
したがいまして、「ミクロ経済学」を履修済みの学生のみ、「公共経済学」を履修選択して下さい。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	「公共経済学」とは	・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
2	市場均衡と様々な調整過程	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
3	消費者余剰と生産者余剰	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
4	純粋交換経済とボックスダイアグラム	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
5	パレート効率性の考え方	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
6	パレート効率性の具体例	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
7	競争と資源配分の効率性(規制の意義と具体例)	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
8	独占市場における企業の行動(その考え方)	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
9	独占市場における企業の行動(価格等の決定)	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
10	独占市場における経済厚生	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
11	市場の失敗の概要	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
12	市場の失敗:費用逓減産業	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
13	市場の失敗:望ましい公共料金のあり方	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
14	市場の失敗:公共財の供給に関わる問題(モデルの設定)	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
15	市場の失敗:公共財の供給に関わる問題(モデルの展開)	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。

講義名	2520057000 マクロ経済学						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	奈良　卓			

学習目標(到達目標)

以下の2点を講義の到達目標とする。
①マクロ経済学の基礎的な理論を把握し、説明できる。
②実物経済に関するマクロ経済データの見方等の基礎的な知識を身につけ、それらを用いて簡単な実証分析を行うことができる

授業概要(教育目的)

マクロ経済学とは、一家計の消費水準、一企業の生産水準、個々の財・サービスの価格等を一国全体で集計した経済指標(総消費、総生産、物価指数等)の決定プロセス及び変動要因を分析対象とする学問である。したがって、マクロ経済学をよりよく理解するには、基礎的な理論を身に着けることも重要であるが、一国全体で集計した経済指標に関するデータ(マクロ経済データ)に関する基本的な知識と簡単な分析手法を身につけることが必要不可欠である。

マクロ経済データは、GDP、消費、投資水準、生産水準、物価水準等実物経済(モノの流れ)に関するデータ、通貨の流通量、債券発行残高、金利の水準等金融経済(カネの流れ)の2種類に大別することができる。

「マクロ経済学」では、上記のうちGDP，国民所得や物価指数、数量指数等、主として、実物経済(モノの流れ)に関する理論と実証を学ぶ。特に、実物経済に関するデータの(作成目的等)基礎的な情報とデータを収録した統計資料の仕組み及び統計資料の見方を学ぶ。また、在庫循環を通じて景気の局面を読み取る、また、産業連関分析等、データを用いた簡単な実証分析の方法を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

授業中に随時実施する小テスト、提出課題を総合して評価する。

課題に対するフィードバック

・小テストの模範解答を配布し、適宜、解説を行う。

参考文献

講義時間中に随時説明する。

講義時使用テキスト

担当教員作成の講義資料を章ごとに配布し、使用する。
(各章の講義資料は、PowerPointで作成された資料(メインテキスト)とExcelで作成された資料(統計資料)の2種類により、構成される。)

資格との関連

本講義は地方(国家)公務員試験を目指すものにとって、秋学期開講の「経済政策論」とともに、経済原論(マクロ経済分野)について基本的な知識が得られるように配慮してある。

学生へのメッセージ

講義の復習をしっかり行うこと。また、マクロ経済学の基礎的な理論とマクロ経済データに関する基礎的な情報と分析方法に関しては、教員作成の独自テキストを用いて説明する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	「マクロ経済学」とは何か	・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
2	国民経済計算体系とは	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
3	GDPと三面等価の原則	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
4	国民可処分所得と国民所得	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
5	所得支出勘定と資本勘定・金融勘定(位置づけと役割)	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
6	制度部門別所得支出勘定	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
7	制度部門別資本勘定・金融勘定	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
8	国民経済計算とストック	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
9	物価水準の計測と物価指数	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
10	物価指数の算出方法	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
11	物価指数の統計	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
12	産業連関表と産業連関分析の概要	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
13	産業連関表のしくみ・見方(産業連関表と投入係数)	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
14	産業連関表のしくみ・見方(産業連関表と逆行列係数)	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
15	初歩的な産業連関分析の方法	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2520058000 経済政策論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	奈良　卓			

学習目標(到達目標)

以下の2点を講義の到達目標とする。
1. 消費、投資及び金融市場に関する基礎的な理論を把握し、説明できる。
2. 消費、投資及び金融市場に関するマクロ経済データについての基礎的な知識を身につけ、それらを用いて簡単な実証分析を行うことができる。

授業概要(教育目的)

「マクロ経済学」では実物経済(モノの流れ)のうち、GDP、物価指数等主要なマクロ経済データに関する基礎的な情報と簡単な実証分析の方法を学んだ。これに対し、「経済政策論」では、実物市場のうち消費や投資に関する理論、統計及び実証分析の方法を学ぶ。また、マネーストック(マネーサプライ)やマネタリーベース、市場利子率等金融市場(カネの流れ)に関する理論、統計及び実証分析の方法を学ぶ。また、実物市場と金融市場との同時均衡によって市場利子率や所得が決定されるメカニズムを学ぶ。さらに、財政政策あるいは金融政策の発動によって市場利子率及び所得が変動するメカニズムについても学ぶ。
実証分析の例として、消費と投資に関しては、回帰分析によって消費関数や投資関数の推計を行うとともに、政府支出乗数の推移を観察する。金融面では、我が国におけるマネーストック(マネーサプライ)やマネタリーベースに関する統計を利用し、貨幣乗数の推移を観察する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

授業中に随時実施する小テスト、提出課題を総合して評価する。

課題に対するフィードバック

・小テストの模範解答を配布し、適宜、解説を行う。

参考文献

講義時間中に随時説明する。

講義時使用テキスト

担当教員作成の講義資料を章ごとに配布し、使用する。
(各章の講義資料は、Powerpointで作成されたもの(メインテキスト)とExcelで作成されたもの(統計資料)の2種類により、構成される。)

資格との関連

本講義は地方(国家)公務員試験を目指すものにとって、春学期開講の「マクロ経済学」とともに、経済原論(マクロ経済学分野)についての基本的な知識が得られるように配慮してある。

学生へのメッセージ

講義の復習をしっかり行うこと。「経済政策論」の理解と履修には、「マクロ経済学」で学んだ内容が前提になっているので、「マクロ経済学」を履修済みの学生のみ、履修選択して下さい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	経済政策の理解に必要な実証分析の概要	・授業内容をインターネットで調べる。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
2	経済政策の理解に必要な実証分析の方法と具体例	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
3	消費に関する統計	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
4	消費に関する理論と実証分析	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
5	民間投資に関する統計	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
6	民間投資に関する理論と実証分析	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
7	政府支出乗数と財政政策(基礎編)	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
8	政府支出乗数と財政政策(応用編)	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
9	日本経済の現状と財政政策	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
10	貨幣と債券	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
11	債券価格と市場利子率	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
12	貨幣市場と貨幣需要関数	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
13	マネーストックと金融政策	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
14	マネタリーベースと通貨乗数	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。
15	日本経済の現状と金融政策	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。	・配布資料とノートを読み直す。 ・授業の内容を確認し、論点を整理する。

講義名	2520059000 財政学						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)		髙須　則行		

学習目標(到達目標)

本講義の目的は、政府の経済活動である財政について認識を深めてもらうことにある。財政学、地方財政論は、公務員試験の必須科目でもあるので、本講義を通じて試験に必要な知識を習得することを到達目標としたい。

授業概要(教育目的)

本講義の目的は、政府の経済活動である財政について認識を深めてもらうことにある。歳入、歳出等の予算の構成、歳入、歳出の内訳、国債の発行とその問題点、財政投融資改革、社会保障給付の増大と公共事業関係費の減少、租税の種類と分類、公共財供給の理論等について解説し、更に近年の財政状況やニューパブリックマネジメント等の行財政改革の現状、地方財政の仕組み、財政制度の国際比較について解説することで、財政の問題点について理解を深めてもらう。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験や毎回のコメントシート(リアクションペーパー)提出とその内容により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(コメントシート、リアクションペーパー)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

適時講義時に提示する

講義時使用テキスト

神野直彦著『財政のしくみがわかる本』有斐閣　2007年

資格との関連

公務員試験を受験する予定の者は、憲法、行政法、マクロ経済学、地方財政論等とあわせて受講してほしい。

学生へのメッセージ

より深く理解したいという人にはまずは新聞(または新聞社などのニュースサイト)、とくに『デーリー東北』、『日本経済新聞』の購読をすすめたい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	イントロダクション(財政の仕組み・財政をとりまく状況)	各回に掲げたテーマをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む
2	財政って何だろう(1)	各回に掲げたテーマをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む
3	財政って何だろう(2)	各回に掲げたテーマをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む
4	予算って何だろう(1)	各回に掲げたテーマをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む
5	予算って何だろう(2)	各回に掲げたテーマをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む
6	税はどんな仕組みになっているのだろう(1)	各回に掲げたテーマをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む
7	税はどんな仕組みになっているのだろう(2)	各回に掲げたテーマをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む
8	どんなところにお金を使っているのだろう(1)	各回に掲げたテーマをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む
9	どんなところにお金を使っているのだろう(2)	各回に掲げたテーマをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む
10	借金は財政にどんな意味をもつか(1)	各回に掲げたテーマをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む
11	国と自治体の関係(1)	各回に掲げたテーマをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む
12	国と自治体の関係(2)	各回に掲げたテーマをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む
13	いま財政が抱える問題(1)	各回に掲げたテーマをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む
14	いま財政が抱える問題(2)	各回に掲げたテーマをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む
15	財政の未来像をえがく	各回に掲げたテーマをインターネットなどで調べておく	授業で紹介した参考文献の該当箇所を読む

講義名	2520060000 地方財政論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)		田村　正文		

学習目標(到達目標)

本講義においては、地方政府(地方自治体)の経済活動である、財政政策について、制度的側面、理論的側面を理解し、地方財政の基礎的内容について説明できることを最終的な目的とする。
より具体的には、地方財政に関する経済学的な理論を理解した上で、それを説明することができる。さらには、活用することができる。
地方財政の制度的な役割について説明することができる。さらには、それを卒業論文などを執筆する際の分析などに活用することができる。
少子高齢化時代における、地方財政の課題と地方財政の役割について理解し、それを説明できる。
これらを到達目標とする。

授業概要(教育目的)

少子高齢化や地方分権などが進展している今日において、地方の役割はますます大きくなっているといえる。
本講義においては、以下の内容の習得を目的とする。
地方財政の役割について習得する。
地域住民の支出としての納税とその対価としての公共サービスについての経済学的流れについて理解する。
地方財政の現状の課題について理解する。
これらの内容を習得することが、本講義の教育目的とする。
なお、これらの内容についての理解をより深めるため、公務員試験の財政学の問題なども取り入れ、その知識をどのように活用すればよいかについても具体的に示したい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

定期試験により評価する。

課題に対するフィードバック

質問などがあり次第、個別に対応する。

参考文献

池上岳彦編『現代財政を学ぶ』有斐閣　2015年
沼尾波子，池上岳彦ら著『地方財政を学ぶ』有斐閣　2017年
他の文献については、適宜指示する。

講義時使用テキスト

中井英雄・齊藤慎・堀場勇夫・戸谷裕之 『新しい地方財政論　新版』，有斐閣アルマ.

資格との関連

地方公務員、消防士、警察官などの公務関連の1次試験などに対応。

学生へのメッセージ

2年次に開講されている、ミクロ経済学、マクロ経済学、公共経済学を履修している事。
3年次春学期に開講されている財政学の内容を理解しておくことに加え、3年次秋学期に開講されている経済政策論も同時に履修すること。

授業中は、スマートフォンは机上に置かないこと。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	地方財政論とは 財政学と地方財政論の違い 自治体の経済活動としての財政	授業の内容の資料を予めダウンロードし、読んでおくこと。	授業の資料やノートを見直し、重要な用語等を確認しておくこと。
2	市場経済と経済政策 小さな政府(アダム・スミス)と大きな政府(J.M.ケインズ) 市場の失敗と政府の失敗 市場の外部性とピグー的課税	授業の内容の資料を予めダウンロードし、読んでおくこと。	授業の資料やノートを見直し、重要な用語等を確認しておくこと。
3	財政の役割 マスグレイブの財政3原則 地方財政の役割 公共財と地方公共財	授業の内容の資料を予めダウンロードし、読んでおくこと。	授業の資料やノートを見直し、重要な用語等を確認しておくこと。
4	地方公共財の理論① 公共財の最適供給(サミュエルソン条件) ナッシュ均衡 リンダール均衡	授業の内容の資料を予めダウンロードし、読んでおくこと。	授業の資料やノートを見直し、重要な用語等を確認しておくこと。
5	地方公共財の理論② フリーライダー(ただ乗り)問題 足による投票(ティブーモデル) 住民の効用水準の地域間での均衡・不均衡	授業の内容の資料を予めダウンロードし、読んでおくこと。	授業の資料やノートを見直し、重要な用語等を確認しておくこと。
6	地方税の制度的枠組み なぜ国税と地方税があるのか？ 地方財政計画	授業の内容の資料を予めダウンロードし、読んでおくこと。	授業の資料やノートを見直し、重要な用語等を確認しておくこと。
7	地方経費の構造と税制 地方税の内容 地方税の体系	授業の内容の資料を予めダウンロードし、読んでおくこと。	授業の資料やノートを見直し、重要な用語等を確認しておくこと。
8	地方税(土地への課税) 普通税と目的税	授業の内容の資料を予めダウンロードし、読んでおくこと。	授業の資料やノートを見直し、重要な用語等を確認しておくこと。
9	地方税(自動車への課税) 道府県税と市町村税	授業の内容の資料を予めダウンロードし、読んでおくこと。	授業の資料やノートを見直し、重要な用語等を確認しておくこと。
10	社会資本と地方財政① 社会資本はなぜ必要？ 社会資本の種類	授業の内容の資料を予めダウンロードし、読んでおくこと。	授業の資料やノートを見直し、重要な用語等を確認しておくこと。
11	社会資本と地方財政② 八戸市の水道事業(ゲストスピーカーによる八戸市の水道事業の説明)	授業の内容の資料を予めダウンロードし、読んでおくこと。	授業の資料やノートを見直し、重要な用語等を確認しておくこと。
12	医療・福祉と地方財政 国民健康保険 公立病院 高齢者介護サービス	授業の内容の資料を予めダウンロードし、読んでおくこと。	授業の資料やノートを見直し、重要な用語等を確認しておくこと。
13	地方分権と財政的課題 地方分権とは何か？ 地域主権 権限の中央から地方への委譲とは？ 人口減少下における地方自治体の財政的維持	授業の内容の資料を予めダウンロードし、読んでおくこと。	授業の資料やノートを見直し、重要な用語等を確認しておくこと。
14	持続可能な地域づくり 消滅可能性都市 産業連関表と乗数効果	授業の内容の資料を予めダウンロードし、読んでおくこと。	授業の資料やノートを見直し、重要な用語等を確認しておくこと。
15	地方財政の課題と将来の展望 少子高齢化時代の財政的課題 人口格差と地方財政	授業の内容の資料を予めダウンロードし、読んでおくこと。	授業の資料やノートを見直し、重要な用語等を確認しておくこと。

講義名	2520061000 民法Ⅱ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	髙須　則行			

学習目標(到達目標)

民法Ⅱでは、債権法と家族法の内容の授業を行う。
① 債権の内容・種類・効力を説明することができる。
② 責任財産の保全としての債権者代位権と詐害行為取消権を説明することができる。
③ 多数当事者の債権・債務関係(連帯債務・保証債務)を説明することができる。
④ 債権譲渡と債務の引受を説明することができる。
⑤ 契約の成立とその効果を説明することができる。
⑥ 契約の種類を説明することができる。
⑦ 不法行為の内容とその効果を説明することができる。
⑧ 戸籍制度を説明することができる。
⑨ 婚姻と離婚の要件と効果を説明することができる。
⑩ 相続制度を説明することができる。

授業概要(教育目的)

民法は、財産法と家族法に分類することができる。本授業では、財産法の中でも債権法と家族法を中心に講義をする。授業の概要としては、債権の種類、その効力、責任財産の保全制度、多数当事者の債権・債務関係、債権の発生原因としての契約の内容、債務の履行とその確保手段、損害が生じた場合の回復手段等の財産法の基本的な知識の習得を目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験や小テスト等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストの模範解答を示す。

参考文献

他の参考書、参考資料は、授業内で適宜紹介する。

講義時使用テキスト

『民法概説(五訂版)』(司法協会・2021)

資格との関連

公務員試験、ファイナンシャル・プランナー試験、宅地建物取引士試験、行政書士試験

学生へのメッセージ

① 必ず民法Ⅰの単位を修得していること
② テキストは必ず持ってくること。
③ 法制度に関して、新聞・TVなどの報道には関心を持ってほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	民法Ⅱへのいざない	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
2	債権の種類	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
3	債権の効力(債務不履行による損害賠償)	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
4	債権の効力(損賠の意義および賠償の方法)	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
5	責任財産の保全(債権者代位権と詐害行為取消権)	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
6	多数当事者の債権・債務関係(不可分債権と不可分債務、連帯債務、保証債務)	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
7	債権譲渡と債務の引受け	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
8	債権の消滅	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
9	契約成立の要件とその効果	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
10	契約の効果(同時履行の抗弁権と危険負担・契約の解除)	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
11	契約の種類(贈与・売買・賃貸借・消費貸借等)	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
12	不法行為(1):一般的不法行為	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
13	不法行為(2):特別な不法行為	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
14	親族:戸籍と婚姻制度	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
15	相続:法定相続分と遺言	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業内容を整理し、分からない点があれば調べておく。

講義名	2520062000 商事法						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)		髙須　則行		

学習目標(到達目標)

① 商法の基本的部分である商法総則および商行為の内容を説明することができる。
② 会社法の中核部分である株式会社に関する法制度を説明することができる。

授業概要(教育目的)

私たちの大多数は、会社に勤めるであろう。私たちは会社に勤める者として会社自体の仕組みを知る必要がある。商事法では、その会社の仕組み、さらには会社間の取引きでのルールを学ぶものである。具体的には、会社法において、株式会社はどのように設立されるのか、株式会社の機関にはどのようなものがあるのか、株式会社の資金調達にはどのような方法があるのか、一方で、会社間の取引きにおいて、民法の取引きの知識を前提に、その特別法である商取引はどのように規律されているのか等を学ぶものである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験および小テスト等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストの模範解答を示す。

参考文献

他の参考書、参考資料は、講義の中で適宜紹介する。

講義時使用テキスト

近藤光男編『現代商法入門』(有斐閣アルマ)

資格との関連

公務員試験・行政書士試験等

学生へのメッセージ

民法の知識を必要とするため、民法Ⅰ・Ⅱの単位を取得しているか、同時に履修していること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	商事法の意義	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
2	企業活動の主体 1. 商人 2. 商行為概念 3. 商業使用人	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
3	営業活動の自由と制限(1) 1. 商号 2. 商業登記 3. 商業帳簿	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
4	営業活動の自由と制限(2) 1. 企業取引とは 2. 商法における企業取引規制 3. 契約の成立過程	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
5	営業活動の自由と制限(3) 1. 企業取引と代理 2. 企業取引と代理 3. 企業取引の営利性	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
6	商事売買取引 1. 代理商 2. 仲立人 3. 問屋 4. 運送取扱人	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
7	株式会社と法(1) 1. 株式会社設立の手続き	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
8	株式会社と法(2) 1. 発起人と設立時取締役の責任	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
9	株式会社と法(3) 1. 株式と株主の権利	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
10	株式会社と法(4) 1. 株式の種類	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
11	株式会社と法(5) 1. 株式の譲渡	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
12	株式会社と法(6) 1. 株式会社の機関とその権限	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
13	株式会社と法(7) 1. 株主総会	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
14	株式会社と法(8) 1. 取締役・取締役会・代表取締役 2. 取締役の義務と責任	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
15	株式会社と法(9) 1. 監査役	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。

講義名	2520063000 行政法						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)		髙須　則行		

学習目標(到達目標)

①行政法の基本原理を説明することができる。
②行政行為の定義と種類を説明することができる。
③行政救済法の仕組みを説明することができる。
④国家賠償について説明することができる。
⑤取消訴訟について説明することができる。

授業概要(教育目的)

現代社会では日常生活に行政機関が関わる領域が質的にも量的にも広がってきている。したがって、私たちは行政機関がどういうものであって、どのような役割を担っているかを知らなければならないだろう。行政法では、行政法総論と行政救済制度とに分けて、前者では、行政機関の内部関係、法律による行政の原理とその例外と限界、行政行為とは何か等を、後者では、行政訴訟の類型とその訴訟要件、行政上の不服申立制度の類型とその要件、国家賠償制度の意義等を学ぶものである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験および小テストなどにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストの模範解答を示す。

参考文献

他の参考書、参考資料は、授業内で適宜紹介する。

講義時使用テキスト

『新谷一郎の行政法 新・まるごと講義生中継（公務員試験 まるごと講義生中継シリーズ)』

資格との関連

公務員試験、行政書士試験

学生へのメッセージ

テキストは必ず持ってくること。
法制度に関して、新聞・TVなどの報道には関心を持ってほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	行政法の基本構造	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
2	行政法の基本原理と行政上の法律関係	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
3	行政組織法	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
4	行政作用法(1)行政行為の意義と効力	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
5	行政作用法(2)行政行為の種類、瑕疵論、取消と撤回	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
6	行政作用法(3)行政裁量、行政立法	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
7	行政作用法(4)行政契約、行政指導、行政計画	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
8	行政手続と行政法上の強制	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
9	行政救済法の仕組みと国家賠償(1)	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
10	国家賠償(2)と損失補償	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
11	行政事件訴訟法(1)概観と取消訴訟 行政書士の職務内容について(ゲストスピーカー)	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
12	行政事件訴訟法(2)取消訴訟の審理、判決、執行停止	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
13	行政事件訴訟法(3)その他の訴訟	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
14	行政不服申立	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
15	地方自治	テキストの該当箇所を通読し、論点をまとめておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。

講義名	2520064000 地域社会論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)		横田　将志		

学習目標(到達目標)

①ローカル(地方・地元)が国内社会や国際社会で担う役割について説明できるようになる。
②ローカルが直面している課題とその要因について説明できるようになる。
③ローカルの発展策を自ら見つけ出したうえで、その実現に向けて行動できるようになる。

授業概要(教育目的)

日本のローカル(地方・地元)は現在、社会的課題の解決に向けて大きな役割を担うことを期待されている一方で、人口減少をはじめとするさまざまな困難に直面している。この授業では、ローカルについて正しい理解を身につけるとともに、その課題解決と発展に求められるノウハウの獲得を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

授業内レポートと期末試験を総合して評価する。

課題に対するフィードバック

授業のなかでICT機器を用いて実施するアンケートや理解度確認のためのミニレポートについては、次の授業およびWebClassにて結果を紹介したり特徴的な意見に対してフィードバックしたりする。

参考文献

山本務編『地域社会学入門――現代的課題との関わりで』学文社、2019年。

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

ローカル(地域・地元)の課題解決や発展について考える講義であることから、能動的に自らの地域・地元について情報を収集するとともに、地元愛をもって参加してもらいたい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	地域社会について学ぶ理由	自らの地元に関心をもっておくこと	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	ローカルとは何か	WebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	都市と農村①	WebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	都市と農村②	WebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	都市と農村③	WebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	農村の衰退①	WebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	農村の衰退②	WebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	一村一品運動	インターネット等を用いて、地元の名産品を調べておく	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	スローフード運動	インターネット等を用いて、イタリアについて調べておく	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	グローカル	インターネット等を用いて、愛知県や豊田市について調べておく	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	地方と地方の連結	インターネット等を用いて、東南アジアの国境経済地域について調べておく	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	同じ条件の街から学ぶ	インターネット等を用いて、タイのチェンマイについて調べておく	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	ローカル企業の重要性	インターネット等を用いて、八戸のこれまでの発展策を調べておく	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	対抗軸としてのローカリズム	インターネット等を用いて、グローバル化の問題点について調べておく	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	青森・八戸の発展を考える	これまでの講義に内容を踏まえて、八戸の発展策を考えておく	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	2520065000 原価計算論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	幸田　威久矢			

学習目標(到達目標)

総合原価計算、標準原価計算及び直接原価計算の計算技法の習得を到達目標とする。

授業概要(教育目的)

原価計算とは、製造した製品またはサービスの原価を算定する手続きのことであるが、これは原価計算を扱う領域の一部分に過ぎない。そこで本講義では、「工業簿記」で学習したことを前提に、原価計算の計算手続である製品別計算(総合原価計算)、さらに経営管理に関わる標準原価計算、CVP分析、直接原価計算などについて学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

小テスト(20%)、定期試験(80%)により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

定期試験の成績について疑問のある学生は「成績に関する申立書」を提出すること。

参考文献

岡本清『原価計算(六訂版)』 国元書房
岡本清・廣本敏郎『検定簿記ワークブック 2級工業簿記』中央経済社

講義時使用テキスト

岡本清・廣本敏郎『検定簿記講義 2級工業簿記(2023年度版)』中央経済社

資格との関連

日商簿記検定2級

学生へのメッセージ

【履修上の注意】
2年次配当科目である「工業簿記」を履修済み(単位取得・認定)であることが望ましい。
また、問題演習を行うため、12桁以上の電卓が必携である。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	原価計算の基礎	2年次配当科目である「工業簿記」における配布資料とノートを読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
2	単純総合原価計算①(月末仕掛品の計算)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
3	単純総合原価計算②(平均法と先入先出法)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
4	総合原価計算①(減損・仕損の処理)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
5	総合原価計算②(材料の追加投入)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
6	総合原価計算③(工程別総合原価計算)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
7	総合原価計算④(等級別総合原価計算)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
8	総合原価計算⑤(組別総合原価計算)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
9	財務諸表及び本社工場会計	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
10	標準原価計算①(原価差異の計算)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
11	標準原価計算②(原価差異の分析)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
12	標準原価計算③(原価差異の分析:製造間接費差異)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
13	直接原価計算①(意義、計算手続)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
14	直接原価計算②(固定費調整)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。
15	直接原価計算③(CVP分析)	前回の配布資料とテキストの当該箇所を読み直す。	配布資料を読み直すとともに例題・問題を解く。

講義名	2520066000 上級簿記						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	幸田 威久矢			

学習目標(到達目標)

授業の到達目標及びテーマ:授業の到達目標は、株式会社を取り巻く制度や会計基準が背景にあること理解し、テーマ毎の具体的な会計処理・記帳技術を習得していること。

授業概要(教育目的)

本講義においては、比較的新しい財務諸表の一つである株主資本等変動計算書の構造や作成手順、リース会計や税効果会計、連結会計や外貨建取引などについて学ぶ。
中級簿記で習得した知識を基礎とし、株式会社における、より高度な会計事象を理解し、当該取引を会計処理をできるようになること目的としている。会計処理の背後にある会計基準や制度についても理解を深め、続く会計理論科目への橋渡しとする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験(100%)

課題に対するフィードバック

定期試験の成績について疑問のある学生は「成績に関する申立書」を提出すること。

参考文献

中央経済社編『新版　会計法規集』中央経済社
渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『検定簿記ワークブック2級商業簿記』中央経済社

講義時使用テキスト

片山覚　監修『新中級商業簿記』創成社

資格との関連

日商簿記検定2級

学生へのメッセージ

【履修上の注意】
2年次配当科目である「中級簿記」を履修済みであることが望ましい。
また、問題演習を行うため、12桁以上の電卓が必携である。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	財務諸表	財務諸表の構成について調べる。	HPなどで開示されている企業の財務諸表の種類や財務諸表の構成を確認してみる。
2	リース取引1(リース取引の定義と分類)	テキスト第8章を読む。	テキスト第8章の例題を解く。
3	リース取引2(ファイナンスリース取引の処理)	テキスト第8章を読む。	テキスト第8章の例題を解く。
4	税金(法人税・消費税の処理)	テキスト第10章を読む。	テキスト第10章の例題を解く。
5	税効果会計1(税効果の意義・永久差異と一時差異・繰延税金資産・繰延税金負債)	テキスト第10章を読む。	テキスト第10章の例題を解く。
6	税効果会計2(一時差異と引当金・一時差異と減価償却・一時差異とその他有価証券)	テキスト第10章を読む。	テキスト第10章の例題を解く。
7	外貨建取引1(外貨建取引とは・外貨建取引の会計処理)	テキスト第15章を読む。	テキスト第15章の例題を解く。
8	外貨建取引2(外貨建取引の決済時の会計処理・外貨建項目の決算時の処理)	テキスト第15章を読む。	テキスト第15章の例題を解く。
9	外貨建取引3(為替予約)	テキスト第15章を読む。	テキスト第15章の例題を解く。
10	株主資本変動計算書1(株主資本等変動計算書の構造)	テキスト第11章を読む。	テキスト第11章の例題を解く。
11	株主資本等変動計算書2(株主資本等変動計算書の作成)	テキスト第11章を読む。	テキスト第11章の例題を解く。
12	連結会計1(連結会計の意義・連結の範囲・連結会計の基本的考え方)	テキスト第14章を読む。	テキスト第14章の例題を解く。
13	連結会計2(資本連結手続・非支配株主持分)	テキスト第14章を読む。	テキスト第14章の例題を解く。
14	連結会計3(未実現利益の消去)	テキスト第14章を読む。	テキスト第14章の例題を解く。
15	連結会計4(連結精算表)	テキスト第14章を読む。	テキスト第14章の例題を解く。

講義名	2520067000 管理会計論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	幸田 威久矢			

学習目標(到達目標)

管理会計の理論と技法(財務諸表分析、予算統制など)について理解することを到達目標とする。

授業概要(教育目的)

管理会計とは、企業が経営を行う際に必要とする会計情報を経営管理者に提供するシステムである。管理会計の目的は、マネジメント・プロセス(PDCA)における意思決定や業績評価(分析)に有用な(役立つ)会計情報を提供することにある。
そこで本講義では、財務的なデータを作成するだけではなく、管理会計の基礎的な内容について学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験(100%)により評価する。

課題に対するフィードバック

定期試験の成績について疑問のある学生は「成績に関する申立書」を提出すること。

参考文献

岡本清・廣本敏郎・尾畑佑裕・挽文子『管理会計(第2版)』中央経済社
門田安弘『管理会計レクチャー』税務経理協会
櫻井通晴『管理会計(第七版)』同文舘出版

講義時使用テキスト

適宜、指示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

【履修上の注意】
2年次配当科目である「工業簿記」・「原価計算論」が履修済み(単位取得・認定)であること。
また、問題演習を行うため、12桁以上の電卓が必携である。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ガイダンス 管理会計の意義	2年次配当科目である「工業簿記」における配布資料とノートを読み直す。	配布資料とノートを読み直す。
2	管理会計の基礎概念	前回の配布資料とノートを読み直す。	配布資料とノートを読み直す。
3	財務諸表分析①(収益性分析・安全性分析)	前回の配布資料とノートを読み直す。	配布資料とノートを読み直す。
4	財務諸表分析②(生産性分析・キャッシュ・フロー分析)	前回の配布資料とノートを読み直す。	配布資料とノートを読み直す。
5	短期利益計画①(意義)	前回の配布資料とノートを読み直す。	配布資料とノートを読み直す。
6	短期利益計画②(CVP分析)	前回の配布資料とノートを読み直す。	配布資料とノートを読み直す。
7	予算管理	前回の配布資料とノートを読み直す。	配布資料とノートを読み直す。
8	予算編成	前回の配布資料とノートを読み直す。	配布資料とノートを読み直す。
9	予算統制	前回の配布資料とノートを読み直す。	配布資料とノートを読み直す。
10	業績測定	前回の配布資料とノートを読み直す。	配布資料とノートを読み直す。
11	経営意思決定	前回の配布資料とノートを読み直す。	配布資料とノートを読み直す。
12	差額原価収益分析	前回の配布資料とノートを読み直す。	配布資料とノートを読み直す。
13	設備投資計画	前回の配布資料とノートを読み直す。	配布資料とノートを読み直す。
14	戦略的事業計画	前回の配布資料とノートを読み直す。	配布資料とノートを読み直す。
15	バランスト・スコアカード	前回の配布資料とノートを読み直す。	配布資料とノートを読み直す。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2520068000 監査論 ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)			

学習目標(到達目標)

学習目標は、監査制度の概要とその社会的意義を理解することである。
さらに具体的な到達目標は、現代社会における「監査」という行為の意義や役割について理解したうえで、繰り返し起こる企業の不正会計問題・粉飾と監査のあり方について、自らの見解を論じることができることである。

授業概要(教育目的)

監査(Audit)とは、企業の経済活動についての開示データを基準に照らし合わせ、その適正性の評価を会計監査人が企業の利害関係者に伝達する行為である。監査という社会制度がいかなる変遷を経て形成され、会計プロフェッションと呼ばれる高度な専門知識を持った会計監査人(公認会計士・CPA)がいかなる経緯から成立したかを学習する。
また、この監査人の行為・行動・倫理観や監査という行為が、現代社会にとっていかなる意義を持っているかについて各自が理解を深めることが重要である。
とりわけ、我が国において、監査制度がいかなる変遷を経て形成されたかを理解し、イギリスにおける監査制度の発展とアメリカにおける監査制度の発展、アメリカ監査の我が国への影響などを検討する。その中で、現代会計(特に国際会計との関係)をより深く理解することができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

授業中の課題(小テスト)100%(6点×14回と16点×1回で合計100点)

課題に対するフィードバック

講義毎回の課題は提出し、翌週(場合により2週間後)採点の上返却。

参考文献

盛田良久・蟹江章・長吉眞一編著 『監査論スタンダードテキスト第4版』中央経済社

講義時使用テキスト

山浦久司著『監査論テキスト 第6版』 中央経済社

資格との関連

監査論は公認会計士試験の受験科目である。公認会計士の試験制度については、講義の中でも扱う。US－CPAは、アメリカ公認会計士を意味する。日本人でも受験可能であるが、この場合、アメリカにおける監査、US－GAAP(FASBの基準など)をかなり詳細に理解し、英語の出題に対応できなくてはならない。(国際会計論の部分で説明した)
BATICで、相当のすごたえがなければ合格は難しい。

実務との関連

学生へのメッセージ

監査論は会計学の中でも、どちらかというと特別な分野であり、経済学部や経営学部を卒業したとしても、監査についてすべての人が十分な理解をしているとは言い難い。社会一般と監査人がするべき(もしくは監査人ができることの限界)とのギャップは「期待ギャップ」と呼ばれ、監査の重要用語である。つまり、これは、いかに社会が監査を理解していないかという問題でもある。ビジネス学部の学生には、専門教科としてのみならず、ビジネスに関する重要な知識としても、ぜひ受講し理解を深めてほしい。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	監査とは何か	会計監査についてインターネット等で調べる。	授業の内容を整理し論点を整理する。
2	監査制度の生成と発展	監査制度の概要についてインターネットや書物で調べる。	授業の内容を整理し論点を整理する。
3	我が国における監査制度とその発展	我が国の第二次大戦後の監査をめぐる状況についてインターネットや書物で調べる。	授業の内容を整理し論点を整理する。
4	監査とその基本的役割	テキストの該当箇所を読む。	授業の内容を整理し論点を整理する。
5	会計監査の現代的機能	テキストの該当箇所を読む。	授業の内容を整理し論点を整理する。
6	金融商品取引法監査	金融商品取引法について調べてみる。	授業の内容を整理し論点を整理する。
7	会社法監査	会社法の概要について調べてみる。	授業の内容を整理し論点を整理する。
8	監査基準①(一般基準)	監査基準について、インターネットや書物で調べてみる。	授業の内容を整理し論点を整理する。
9	監査基準②(近年の改訂とその意義)	最新の監査基準を読んでみる。	授業の内容を整理し論点を整理する。
10	リスクアプローチ	テキストの該当箇所を読む。	授業の内容を整理し論点を整理する。
11	内部統制	テキストの該当箇所を読む。	授業の内容を整理し論点を整理する。
12	監査計画	テキストの該当箇所を読む。	授業の内容を整理し論点を整理する。
13	監査報告書	関心のある企業の実際の監査報告書をインターネットで探して読んでみる。	授業の内容を整理し論点を整理する。
14	監査意見	テキストの該当箇所を読む。	授業の内容を整理し論点を整理する。
15	会計監査と不正への対応。	会計不正の事例をインターネットや書物で調べてみる。	授業の内容を整理し論点を整理する。

講義名	2520069000	税務会計論 ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

税務会計は会計関連科目の中でも、特殊かつ重要な分野である。
税務会計の基礎について学び、その会計学の体系の中での位置づけを理解することを目的としている。

授業概要(教育目的)

我が国においては、法人の課税所得計算は会計制度に基づくこととされ、税務会計はとりわけ企業会計との深い関係が保たれてきた。しかしながら、企業会計の国際化を経て、現代の税務会計を取り巻く環境は複雑化しつつある。
税法には、所得税法、法人税法、消費税法など様々なものがあり、企業はその規程に基づいて会計処理を行わなければならない。個人事業者は所得税法上の事業所得者であり、所得税法上の所得金額が課税対象となる。法人企業には法人税が適用され、法人税法上の所得金額が課税対象となる。また、消費税法は個人事業者・法人企業に適用される。消費税は間接税であるので、基本的には最終消費者が負担する税を預り納税する仕組みである。
本講義においては、私たちの生活と税、会計学の体系における税務会計について、その基礎を学習し、修得することを目的としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

毎講義ごとに、リアクションペーパーを提出する。

課題に対するフィードバック

翌週に返却。

参考文献

財務省「もっと知りたい税のこと」令和4年6月

講義時使用テキスト

成道秀雄監修・坂本雅士編著『現代税務会計論第5版』中央経済社 2022年

資格との関連

簿記検定試験、税理士。

学生へのメッセージ

【履修上の注意】
会計学・簿記の基本的な知識は修得しているものとして進みます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	税務会計とは何か	会計学の学習ですでに扱った、税について、復習しておく。	指定教科書コラム1から5を熟読する。
2	税と私たち	財務省「もっと知りたい税のこと」令和4年6月を入手し、通読しておく。	講義内で扱った資料を熟読。
3	税務会計の生成と発展	指定教科書の序章第2を読む。	我が国における税務会計の展開について調べてみる。
4	課税所得の計算構造	指定教科書の第Ⅰ部第1章を読む。	指定教科書の第Ⅰ部第1章の要点をまとめる。
5	益金の会計①(収益の計上基準・工事の請負)	指定教科書の第Ⅰ部第2章を読む。	指定教科書の第Ⅰ部第2章第1と第2の要点をまとめる。
6	益金の会計②(受取配当等・有価証券の譲渡損益及び損益)	指定教科書の第Ⅰ部第2章を読む。	指定教科書の第Ⅰ部第2章第3と第4の要点をまとめる。
7	損金の会計①(売上原価)	指定教科書の第Ⅰ部第3章を読む。	指定教科書の第Ⅰ部第3章第1の要点をまとめる。
8	損金の会計①(固定資産の減価償却)	指定教科書の第Ⅰ部第3章を読む。	指定教科書の第Ⅰ部第3章の第2の要点をまとめる。
9	損金の会計②(特別償却・資本的支出と修繕費・繰延資産の償却)	指定教科書の第Ⅰ部第3章を読む	指定教科書の第Ⅰ部章第3章の第3.4.5をまとめる。
10	損金の会計③(給与等・寄付金)	指定教科書の第Ⅰ部第3章を読む。	指定教科書の第Ⅰ部第3章第3・4・5をまとめる。
11	損金の会計④(交際費・引当金・準備金)	指定教科書の第Ⅰ部第3章を読む。	指定教科書の第Ⅰ部第3章第8.9. 10をまとめる。
12	損金の会計⑤(圧縮記帳・貸倒損失・租税公課)	指定教科書の第Ⅰ部第3章をよむ。	指定教科書の第Ⅰ部第3章第11.12. 14をまとめる。
13	課税所得・税額の計算	指定教科書の第Ⅰ部第4章を読む。	指定教科書の第Ⅰ部第4章をまとめる。
14	国際課税の進展	指定教科書の第Ⅲ部を読む。	指定教科書の第Ⅲ部第1章2章3章をまとめる。
15	会計基準の変容と課税所得計算	指定教科書の終章を読む。	指定教科書の終章をまとめる。

講義名	2520070000 経営分析論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	田中　哲		

学習目標(到達目標)

以下の事項を到達目標とする。
1　財務諸表(貸借対照表・損益計算書)を読むことができる。
2　財務諸表を分析して、当該企業の収益性・安定性を明らかにできる。

授業概要(教育目的)

経営分析とは、貸借対照表・損益計算書などの財務諸表を主な対象として、一定に比率を用いて分析し、企業の状況を明らかにすることをいう。
本講義においては、分析の基礎となる財務諸表を読み解く能力を身につけ、さらに、当該企業の収益性・安定性を明らかにできる能力も身に付けることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

期末試験で評価する。

課題に対するフィードバック

期末試験成績に疑義のある学生は「成績に関する申立書」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

政岡光宏編著『初めて学ぶ財務諸表分析【三訂版】』同文舘出版、2013年

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 経営分析の定義/分析対象としての会社	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
2	2. 財務諸表の仕組みの理解 ①(財務諸表とは何か)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
3	3. 財務諸表の仕組みの理解 ②(貸借対照表の構造と構成)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
4	4. 財務諸表の仕組みの理解 ③(損益計算書の構造と構成)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
5	5. 経営分析の目的と分析技法 ①(経営分析の目的/主体による目的の相違)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
6	6. 経営分析の目的と分析技法 ②(経営分析の技法/期間比較と企業間比較)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
7	7. 収益性分析 ①(収益性分析と何か)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
8	8. 収益性分析 ②(資本利益率とその分解)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
9	9. 収益性分析 ③(利益率系統の分析)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
10	10. 収益性分析 ④(回転率系統の分析)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
11	11. 安定性分析 ①(自己資本比率)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
12	12. 安定性分析 ②(短期的支払能力の分析)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
13	13. 安定性分析 ③(長期投資の安全性)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
14	14. 経営分析の実践 ①(化粧品業界の収益性分析)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
15	15. 経営分析の実践 ②(化粧品業界の安定性分析)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。

講義名	2520071000 公会計論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	田中　哲			

学習目標(到達目標)

以下の事項を到達目標とする。
1. 公会計とは何かについて定義し、それを説明できる。
2. 中央政府会計・地方政府会計の概要について説明できる。

授業概要(教育目的)

公会計とは、中央政府や地方政府の事業活動を期間を定めて、貨幣額で記録・計算し、非財務情報とともにその結果を報告することを通して、国民(住民)に対する説明責任を果たす営みである。この定義を基礎として、国の会計、地方自治体の会計、公営企業会計などについて説明する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

期末試験の成績で評価する。

課題に対するフィードバック

期末試験成績に疑義のある学生は「成績に関する申立書」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

馬場英明・大川裕介・林伸一『入門公会計のしくみ』中央経済社、2016年

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 公会計とは何か/財政と予算	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
2	2. 国の会計(1)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
3	3. 国の会計(2)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
4	4. 地方自治体の会計(1)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
5	5. 地方自治体の会計(2)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
6	6. 公営企業の会計(1)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
7	7. 公営企業の会計(2)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
8	8. 公会計改革の動向	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
9	9. 貸借対照表の読み方(1)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
10	10. 貸借対照表の読み方(2)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
11	11. 行政コスト計算書の読み方	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
12	12. パブリック・アカウンタビリティ	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
13	13. 公契約とコスト	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
14	14. 公会計の国際化	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。
15	15. 再び公会計とは何か	テキストの該当箇所を読む。	配布資料を読む。

印刷日：2023年09月29日

講義名	2520072000 情報社会論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	髙須　則行			

学習目標(到達目標)

・情報化社会において、職業人として諸事態に的確に対応していくために必要な基本的内容を説明できる。

授業概要(教育目的)

インターネットや情報通信技術は社会構造に組み込まれて現代社会を豊かにし、また経済や産業社会にとって欠くことのできないものとなっている。それは新しい可能性をもたらすとともに、反面マイナス面の問題点も生じている。これらを技術面・法制面等の施策によって克服し、さらに発展させて今日の高度化した情報化社会を運用していくことは必須の要件となっている。本講義では、高度情報化社会に対処していくための基本的諸課題について学び、的確に対処しうる能力の習得を図る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験および課題の提出状況により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

はちキャンWebにてコメントするとともに、次の授業でフィードバックする。

参考文献

インターネット社会と法、堀部政男編著、新世社。その他講義時に適宜紹介する。

講義時使用テキスト

髙橋慈子・原田隆史・佐藤翔・岡部晋典著『改訂新版　情報倫理』(2020、株式会社技術評論社)

資格との関連

情報免許状コースの教科に関する科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	情報倫理とは	・教科書を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
2	情報通信社会とインターネット、進化と変遷	・教科書を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
3	ネット時代のコミュニケーション	・教科書を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
4	メディアの変遷	・教科書を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
5	メディア・リテラシー	・教科書を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
6	情報技術とセキュリティ	・教科書を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
7	インターネットと犯罪	・教科書を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
8	個人情報とプライバシー	・教科書を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
9	知的所有権とコンテンツ	・教科書を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
10	企業と情報倫理	・教科書を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
11	科学技術と倫理	・教科書を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
12	ビッグデータとAIの倫理	・教科書を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
13	デジタルデバイドとユニバーサルデザイン	・教科書を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
14	ソーシャルネットワークサービス(SNS)と情報モラル	・教科書を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。
15	情報通信社会とリテラシー	・教科書を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業で紹介した資料や参考図書、Webサイト等を確認しておくこと。 ・授業でレポート課題が提出された場合は、提出期限に間に合うように調べておくこと。

講義名	2520073000	データベース設計					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分		対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	村本　卓			

学習目標(到達目標)

・データベースについて、基礎的な内容および活用技術について説明できる。

授業概要(教育目的)

インターネット上の検索サイトやSNS等の情報サービスは我々の生活やビジネスに急激に普及し、高度情報化社会を支える社会基盤として重要な役割を担っている。これらの情報システムにおいて、大量のデータを蓄積し、高速な検索を可能としているのが、データベースである。本講義では、リレーショナル(関係)データベースについて、基本概念、設計論、クエリ(問い合わせ)などについて学習する。また、データベースを活用したアプリケーション構築のための基礎知識や技法についても学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

レポート、実習課題等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・提出課題には授業支援システム(WebClass)にて評価、コメントします。
・WebClassの講義回毎「本日のミニットペーパー」を設定しているので、本日の講義でわかったこと、よく理解できなかったことを記入願います。次の授業までにフィールバックします。

参考文献

・ファイルやフォルダの操作が苦手な学生は以下のサイトで予習復習を行い、操作をマスターしてください。
情報リテラシー実践I(東京都立大学)
ファイルとフォルダ
https://infolit.uec.tmu.ac.jp/lit/contents/basics/02/index_2022.html#chapter11
・その他講義時に適宜紹介する。

講義時使用テキスト

使用しない。

資格との関連

情報免許状コースの教科に関する科目

学生へのメッセージ

・秋学期のデータベース実習を履修する学生は必ず履修し、単位を取得すること。
・履修条件：情報処理基礎、コンピュータサイエンスの単位を取得していること。
・履修登録人数が25名を超えた場合は、クラス分けを行い、同時双方向遠隔授業を行う場合がある。
・授業支援システム(WebClass)に授業資料を掲載するので、予習復習に利用すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	データベース技術の全体像	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
2	データベースモデル	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
3	関係データベース(RDB)の演算	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
4	データベース管理システム(DBMS)の機能	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
5	ER図	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
6	RDB構築手順	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
7	RDB設計①(正規化)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
8	RDB設計②(論理設計)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
9	RDB設計③(物理設計)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
10	RDB利用①(データベース作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
11	RDB利用②(テーブル作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
12	RDB利用③(クエリ基本)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
13	RDB利用④(クエリ応用)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
14	表計算のデータベース機能①(データの集計)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
15	表計算のデータベース機能②(データベース関数)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。

講義名	2520074000 データベース実習						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	実習	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	村本　卓			

学習目標(到達目標)

・データベースを用いたウェブアプリケーション開発に必要な基礎知識・技法について説明できる。

授業概要(教育目的)

インターネット上の検索サイトやSNS等の情報サービスは我々の生活やビジネスに急激に普及し、高度情報化社会を支える社会基盤として重要な役割を担っている。これらを実現する情報システムでは、大量のデータを蓄積し、高速な検索を可能とするデータベースとの連携が不可欠である。本授業では、簡易言語によるデータベース利用プログラム作成を通して、インターネット上でデータベースを利用したアプリケーション開発に必要な基礎知識・技法を学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

レポート、実習課題等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・提出課題には授業支援システム(WebClass)にて評価、コメントします。
・WebClassの講義回毎「本日のミニットペーパー」を設定しているので、本日の講義でわかったこと、よく理解できなかったことを記入願います。次の授業までにフィールバックします。

講義時使用テキスト

参考文献

ファイルやフォルダの操作が苦手な学生は以下のサイトで予習復習を行い、操作をマスターしてください。
情報機器の操作(北海道教育大学函館校今野研究室)
ファイル操作の基本
https://echoes.hak.hokkyodai.ac.jp/db/890/filebasic.html?id=30327
・その他講義時に適宜紹介する。

資格との関連

情報免許状コースの教科に関する科目

学生へのメッセージ

・履修条件:情報処理基礎、コンピュータサイエンス、データベース設計の単位を取得していること。
・履修登録人数が25名を超えた場合は、クラス分けを行い、同時双方向遠隔授業を行う場合がある。
・授業支援システム(WebClass)に授業資料を掲載するので、予習復習に利用すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ウェブアプリケーションの事例紹介	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
2	ウェブベースのシステム環境の構築	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
3	ウェブベースのシステム環境の運用管理	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
4	ウェブアプリケーションの開発環境	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
5	ウェブページ作成	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
6	データベースとSQL①(基本操作)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
7	データベースとSQL②(応用操作)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
8	データベースアクセス①(スクリプト言語PHPの基本)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
9	データベースアクセス②(フォームとPHPの連携)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
10	データベースアクセス③(PHPとSQL)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
11	ウェブアプリケーションの設計①(売上管理システムの設計)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
12	ウェブアプリケーションの設計②(データベース構造の決定)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
13	ウェブアプリケーション作成①(各テーブル内容の表示プログラム)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
14	ウェブアプリケーション作成②(テーブル結合と集計プログラム)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
15	ウェブアプリケーション作成③(検索プログラム)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。

講義名	2520075000 情報システム設計						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分		対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	村本　卓			

学習目標(到達目標)

コンピュータがどのように動作し、様々な機能を提供しているのか説明できる。
情報処理システム設計・開発プロセスにおける上流部分となる、設計・計画・管理について説明できる。

授業概要(教育目的)

本講義では、情報システムの基本計画から開発・運営に至る開発サイクルの上流工程である要求分析と設計の工程、プロジェクトの管理を学習します。しかし、上流工程の作業を実践するためには、下流工程やコンピュータについての基礎的な理解が必要となります。そこで本講義では、コンピュータ・アーキテクチャやプログラミングといった基礎的な理解を下敷きにしながら、情報システム設計について全体像を理解することを目標とします。なお、開発サイクルの下流工程である開発については「情報システム開発」および「アプリケーション開発実習Ⅱ」にて扱います。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

講義中にて行う実技、演習、テストにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・提出課題には授業支援システム(WebClass)にて評価、コメントします。
・WebClassの講義回毎「本日のミニットペーパー」を設定しているので、本日の講義でわかったこと、よく理解できなかったことを記入願います。次の授業までにフィールバックします。

参考文献

参考文献や資料は適宜紹介する。

講義時使用テキスト

伊藤潔、明神知　他著『IT Text 情報システムの分析と設計』、オーム社

資格との関連

学生へのメッセージ

【履修上の注意】
「アプリケーション開発演習Ⅰ」は本講義と対をなす講義であるので、あわせて履修すること。また、「情報システム開発」「アプリケーション開発実習Ⅱ」は本講義の内容を用いるため、これらの講義を履修する場合は本講義および「アプリケーション開発演習Ⅰ」を履修すること。

実務との関連

【履修のための条件】
・本講義では様々なアプリケーションを用いたシステム設計作業や、予備知識としてのプログラミング演習を含む。「コンピュータサイエンス」「インターネット」「プログラミング」「データベース設計」「データベース実習」を履修済みであること。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	コンピュータ・アーキテクチャ①(CPU・10進数と2進数・マシン語とアセンブリ言語)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
2	コンピュータ・アーキテクチャ②(メモリ・キャッシュ・外部記憶装置)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
3	コンピュータ・アーキテクチャ③(コンパイラ・ライブラリ・フレームワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
4	プログラム基礎①(CUIとGUI・統合環境)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
5	プログラム基礎②(基本的な変数の扱いと算術)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
6	プログラム基礎③(配列・アルゴリズム・フローチャート)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
7	プログラム基礎④(連想配列・データ構造)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
8	情報システム設計①(情報システムの例)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
9	情報システム設計②(プロセスモデル概略・プロトタイピングモデル)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
10	情報システム設計③(プロジェクト管理・工数とガントチャート)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
11	情報システム設計④(データモデル概略・リレーショナルモデル)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
12	情報システム設計⑤(システム分析設計概略・構造化分析とオブジェクト指向分析)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
13	プログラム応用①(XCodeとSwiftUI)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
14	プログラム応用②(クラス・構造体とインスタンス)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
15	プログラム応用③(イベント処理)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する

講義名	2520076000 情報システム開発						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分		対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	村本　卓			

学習目標(到達目標)

プログラミングを用いた情報システム開発の手順や作業について説明できる。
システムのライフサイクル下流の工程について説明できる。

授業概要(教育目的)

本講義では、スマートフォンの隆盛に伴い広く利用されているスマートフォン用アプリを利用した情報システムの構築について学びます。情報システムを構築するための業務分析、システム設計から開発・運用・保守に至るシステムの下流工程を、大きく「プロデュース」「ディレクション」「開発」に分け、それぞれの役割がどういった業務を担当するのかについて、実務に即したかたちで講義します。なお、開発サイクルの上流工程となる設計については「情報システム設計」および「システム開発実習Ⅰ」にて扱います。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

講義中にて行う実技・演習とテストにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・WebClassの講義回毎「本日のミニットペーパー」を設定しているので、本日の講義でわかったこと、よく理解できなかったことを記入願います。次の授業までにフィードバックします。

参考文献

参考文献や資料は適宜紹介します。

講義時使用テキスト

伊藤潔、明神知　他著『IT Text 情報システムの分析と設計』、オーム社

資格との関連

学生へのメッセージ

【履修上の注意】
・「アプリケーション開発演習Ⅱ」は本講義と対をなす講義であるので、併せて履修すること。

【履修に必要な科目】
・本講義では様々なアプリケーションを用いたシステム設計作業や、予備知識としてのプログラミング演習を含む。「コンピュータサイエンス」「インターネット」「プログラミング」「データベース設計」「データベース実習」「情報システム設計」「アプリケーション開発実習Ⅰ」を履修済みであること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	プロデュース①(リソースと制約条件の把握、チームビルディング)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
2	プロデュース②(コンセプト策定)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
3	ディレクション①(フローチャートと画面遷移図)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
4	ディレクション②(スマートフォン用アプリケーションの構成要素)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
5	開発①(ライブラリの利用)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
6	開発②(画面レイアウト)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
7	開発③(イベント処理)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
8	開発④(画面遷移)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
9	開発⑤(メディアの取り扱い)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
10	ディレクション③(デバッグ・テスト)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
11	プロデュース③(工数見積りとガントチャート)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
12	開発⑥(データ登録)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
13	開発⑦(データ検索)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
14	ディレクション④(ユーザビリティ)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
15	プロデュース④(プロダクトアウトと保守)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する

講義名	2520077000 プログラミング						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分		対象年次	2
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	馬場　祥次		

学習目標(到達目標)

・標準的なアルゴリズムを理解し、流れ図に基づいてJavaで簡単なプログラムを作成し説明できる。

授業概要(教育目的)

プログラミングとは、「ある問題を解決する場合にその問題を抽象化(モデル化)し、処理の手続き(アルゴリズム)を考え、コンピュータが理解できる言語で記述することにより、問題解決のシステムを創る」ということである。この授業は、プログラミング言語の習得が目的ではなく、問題解決におけるコンピュータの活用方法を学ぶことを目的としている。本授業ではプログラミング言語としてJavaを用いるが、基本的なアルゴリズムをコンピュータで実行させるためのツールとして利用するのであり、アルゴリズムを理解することが重要である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

定期試験および実習課題の提出状況により評価する。
定期試験4割、課題提出6割で評価する。

課題に対するフィードバック

授業支援システム(WebClass)にてコメントするとともに、次の授業でフィードバックする。

参考文献

・柴田望洋著、明解Java入門(ソフトバンク)。
・講義の予習復習教材として、IPSJ MOOC(情報処理学会 公開教材)
(https://sites.google.com/a.ipsj.or.jp/mooc/)を利用する。利用方法は講義時に説明する。
・その他講義時に適宜紹介する。

講義時使用テキスト

使用しない。

資格との関連

情報免許状コースの教科に関する科目

学生へのメッセージ

・履修条件:情報処理基礎、コンピュータサイエンスの単位を取得していること。
・履修登録人数が35名を超えた場合は、クラス分けを行い、同時双方向遠隔授業を行う場合がある。
・授業支援システム(WebClass)に授業資料を掲載するので、予習復習に利用すること。
・課題には、提出期限がある。提出期限以降の提出は受け付けないので期限内に学習して提出すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	数値計算の基礎	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
2	モデル化とシミュレーション	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
3	データの型とデータ構造	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
4	データ処理のアルゴリズム(1)順次実行、分岐命令	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
5	データ処理のアルゴリズム(2)繰返し命令	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
6	Javaの基礎知識(実習を含む)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
7	基本的なプログラミング(1)データ型	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
8	基本的なプログラミング(2)算術演算子	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
9	処理の流れの制御(1)分岐命令プログラム実習	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
10	処理の流れの制御(2)繰返しプログラム実習	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
11	整列法のアルゴリズム実習 ※完成したプログラムの動作確認は、グループワークで相互評価を実施する。	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
12	探索法のアルゴリズム実習 ※完成したプログラムの動作確認は、グループワークで相互評価を実施する。	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
13	簡単なシステム設計(1)流れ図	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
14	簡単なシステム設計(2)実習 ※完成したプログラムの動作確認は、グループワークで相互評価を実施する。	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。
15	データベースシステムの概要	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド、参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業時に提示した演習問題について復習しておくこと。 ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。

講義名	2520078000	アプリケーション開発実習Ⅰ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	実習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	村本　卓			

学習目標(到達目標)

コンピュータ・アーキテクチャやプログラミングの基礎について把握しつつ、アプリケーション設計の手順と各項目で行われることを説明できる。

授業概要(教育目的)

本演習は、アプリケーションの設計を演習によって実際に体験することにより、情報技術の習得および情報システム設計の枠組みを学習する。

本演習では、アプリケーションの基本計画から開発・運営に至る開発サイクルの上流工程である要求分析と設計の工程、プロジェクトの管理を体験的に学習する。上流工程の作業を実践するために必要となるコンピュータの動作原理やプログラミングといった基礎的な理解についても体験しつつ、アプリケーション設計について全体像を理解することを目標とする。

なお、開発サイクルの下流工程である開発については「情報システム開発」および「アプリケーション開発実習Ⅱ」にて扱う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

講義にて行う演習・課題により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・提出課題には授業支援システム(WebClass)にて評価、コメントします。
・WebClassの講義回毎「本日のミニットペーパー」を設定しているので、本日の講義でわかったこと、よく理解できなかったことを記入願います。次の授業までにフィールバックします。

参考文献

WebClassにて適宜紹介する。

講義時使用テキスト

伊藤潔、明神知　他著『IT Text 情報システムの分析と設計』、オーム社

資格との関連

学生へのメッセージ

【履修上の注意】
・「情報システム設計」は本講義と対をなす講義なので、必ず履修すること。また、「情報システム開発」「アプリケーション開発実習Ⅱ」は本講義の内容を用いるため、これらの講義を履修する場合は本講義および「情報システム設計」を必ず履修すること。

実務との関連

【履修条件】
・本講義では様々なアプリケーションを用いたシステム設計作業や、予備知識としてのプログラミング演習を含む。「コンピュータサイエンス」「インターネット」「プログラミング」「データベース設計」「データベース実習」を履修済みであること。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	コンピュータ・アーキテクチャに関する実習①(2進数・アセンブリ言語に触れる)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
2	コンピュータ・アーキテクチャに関する実習②(メモリと外部記憶を把握し、取り扱う)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
3	コンピュータ・アーキテクチャに関する実習③(インタプリタ言語を使用する)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
4	プログラム基礎実習①(CUIとGUI・統合環境を使用する)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
5	プログラム基礎実習②(基本的な変数を扱い、算術を実装する)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
6	プログラム基礎実習③(配列を用いたアルゴリズムを実装し、フローチャートを描く)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
7	プログラム基礎実習④(連想配列を用いたアルゴリズムを実装し、フローチャートを描く)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
8	情報システム設計実習①(情報システムの実例を図示する)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
9	情報システム設計実習②(アプリ開発の現状について：ゲストディーチャー)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
10	情報システム設計実習③(ガントチャートを描く)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
11	情報システム設計実習④(リレーショナル・データベースに触れる)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
12	情報システム設計実習⑤(オブジェクト指向に触れる)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
13	プログラム応用実習①(グループワークでXCodeに触れ、SwiftUIを利用する)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
14	プログラム応用実習②(グループワークでクラス・構造体(struct)とインスタンスの概念を理解する)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
15	プログラム応用実習③(グループワークでイベント処理を実装する)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する

印刷日：2023年09月29日

講義名	2520079000 アプリケーション開発実習Ⅱ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	実習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	村本　卓			

学習目標(到達目標)

アプリケーション開発の手順と各項目で行われることを説明・実践できる。

授業概要(教育目的)

本演習は、アプリケーションの開発を演習(グループ・ワーク)によって実際に体験することにより、情報技術の習得および情報システム開発の枠組みを学習する。

本演習ではプラットフォームとしてApple社のiOSを用い、iPhone向けアプリケーションを開発することを通して、情報システム開発について全体像を理解することを目標とする。

なお、開発サイクルの上流工程である設計については「情報システム設計」および「アプリケーション開発実習Ⅰ」にて扱う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

講義にて行う演習・グループワークと、第15回講義にて行うプレゼンテーションにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

WebClassにてコメントするとともに、次の授業でフィードバックする。

参考文献

参考文献や資料は適宜紹介する。

講義時使用テキスト

伊藤潔、明神知　他著『IT Text 情報システムの分析と設計』、オーム社

資格との関連

学生へのメッセージ

【履修上の注意】
・「情報システム開発」は本講義と対をなす講義なので、併せて履修すること。

【履修条件】
・本講義では様々なアプリケーションを用いたシステム設計作業や、予備知識としてのプログラミング演習を含む。「コンピュータサイエンス」「インターネット」「プログラミング」「データベース設計」「データベース実習」「情報システム設計」「アプリケーション開発実習Ⅰ」を履修済みであること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	プロデュース実習①(制作物の制約条件を把握し、チームビルディングを行う)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
2	プロデュース実習②(コンセプトを策定する)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
3	ディレクション実習①(おおまかなフローチャートと画面遷移図を描く)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
4	ディレクション実習②(アプリ名・アイコン・スプラッシュ等の構成要素を把握し、開発する)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
5	開発実習①(xcodeでライブラリを使用する	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
6	開発実習②(画面レイアウトを作成する)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
7	開発実習③(イベント処理を実装する)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
8	開発実習④(画面遷移を実装する)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
9	開発実習⑤(写真や動画を利用する)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
10	ディレクション実習③(デバッグとテストを行う)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
11	ディレクション実習④(工数を見積り、ガントチャートを描く)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
12	開発実習⑥(データ登録処理を実装する)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
13	開発実習⑦(データ検索処理を実装する)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
14	ディレクション実習④(ユーザビリティの視点からアプリケーションを見直す)	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する
15	プレゼンテーション	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、インターネットで調べ、論点を整理する

講義名	2520080000 デザイン						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	坂本　貴博			

学習目標(到達目標)

「デザイン」の意味を把握し、効果的なコミュニケーションや問題解決のために、情報を整理したり、目的や意図を持った情報を受け手に対して分かりやすく伝達したり、操作性を高めたりするためのデザインの基礎知識を使って表現できる。

授業概要(教育目的)

商品やサービスを実際に開発して世界に問うという活動は、デザインにほかならない。そもそもデザインとは何かを理解し、何をデザインするか・どうデザインするかについて発見・解釈・構築・伝達する能力がビジネスの現場では求められる。
本講義では、わかりやすく伝える視点を基礎にデザインとは何か、情報デザインのプロセスと手法について明らかにしていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

全回講義にて随時実施するワーク課題と最終レポート課題を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

ワーク課題は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

授業を理解するうえで必要不可欠と思われる資料(作品写真・映像・参考資料・図書等)については、必要に応じて適宜紹介する。

講義時使用テキスト

毎回WebClassに資料を提示する。

資格との関連

高等学校一種教員免許状(情報)

学生へのメッセージ

毎回の講義で、その回の講義内容に関するワーク課題を行い提出させますので、講義では主体的な取り組み姿勢が重要。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	. アートとデザインの違い、情報デザインとは？	授業内容についてインターネットで調べる	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
2	コミュニケーションデザインのヒント「ついやってしまう」体験のつくりかた	授業内容についてインターネットで調べる	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
3	情報デザイン「抽象化」	授業内容についてインターネットで調べる	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
4	デザイン思考のプロセス(ワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
5	情報デザイン「可視化・図解化」(ワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
6	図解化(グループワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
7	情報デザイン「可視化・箇条書き」(ワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
8	情報デザイン「可視化・表」(ワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
9	情報デザイン「可視化・グラフ」(ワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
10	情報デザイン「可視化・ロジックツリー」(ワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
11	情報デザイン「可視化・写真」(ワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
12	デザインの4原則とレイアウト	授業内容についてインターネットで調べる	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
13	情報デザイン「構造化」とコンセプトデザイン手法(ワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
14	コンセプトデザインとプロダクトデザイン(グループワーク)	授業内容についてインターネットで調べる	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
15	デザインとは何か	授業内容についてインターネットで調べる	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	2520081000 デザイン実習（Aクラス）						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	実習	対象年次	2・3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	坂本　貴博			

学習目標(到達目標)

1. マルチメディアの基礎知識を習得し、メディア処理のためのデジタル処理技術を説明できる。
2. マルチメディアを活用しデザインされた表現力のあるコンテンツを作成できる。

授業概要(教育目的)

近年、我々を取り巻く環境はデジタル化され、さらにデザインされた情報で溢れている。情報のデジタル化が進み、コミュニケーション方法のみならず、あらゆる分野の仕組みが大きく変化してきている。この授業では、文字、音、画像、動画などの様々な情報のデジタル化について学び、デジタルコンテンツの表現・制作に必要とされる基礎的な知識と技術を身につけることを目的とする。多彩な表現をする技術としてコンピュータグラフィックス(2DCG)と動画編集の基礎を学び、コンテンツ制作を通じて2DCGとデジタル動画 によるデザイン表現方法を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

レポート課題と実習課題の提出状況等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(計算問題)は採点の上返却する.
演習課題は、課題完成度の確認結果をフィードバックする.
成績を知りたい学生には個別に開示する.

参考文献

マルチメディアと情報化社会(ユビキタスネット社会に向けた環境・技術・ビジネスの変化)第二版　CG-ARTS協会

講義時使用テキスト

特になし(授業用Webサイトにて随時公開する)

資格との関連

高等学校教諭一種免許(情報)に関する科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	マルチメディアの基礎	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
2	デジタル化した社会	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
3	マルチメディアの特徴	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
4	デジタル表現方法①(2進数、10進数、16進数)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 授業内容に関する課題(計算問題)を作成する
5	デジタル表現方法②(パッケージ系メディアとネットワーク系メディア)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 授業内容に関する課題(計算問題)を作成する
6	音のデジタル表現と画像のデジタル表現	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
7	人間の視覚と聴覚(感性とメディア)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
8	図形・画像処理技術①(特殊効果)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
9	図形・画像処理技術②(レイヤー)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
10	図形・画像処理技術③(画像合成クロマキー処理とオーバーレイ)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
11	図形・画像処理技術④(イラスト加工処理)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
12	図形・画像処理技術⑤(アニメーション設計)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
13	図形・画像処理技術⑥(アニメーション処理)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
14	動画処理技術①(映像取り込みと編集)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
15	動画処理技術②(映像による表現)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する

印刷日：2023年09月29日

講義名	2520081001 デザイン実習（Bクラス）						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	実習	対象年次	2・3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	坂本　貴博			

学習目標(到達目標)

1. マルチメディアの基礎知識を習得し、メディア処理のためのデジタル処理技術を説明できる。
2. マルチメディアを活用しデザインされた表現力のあるコンテンツを作成できる。

授業概要(教育目的)

近年、我々を取り巻く環境はデジタル化され、さらにデザインされた情報で溢れている。情報のデジタル化が進み、コミュニケーション方法のみならず、あらゆる分野の仕組みが大きく変化してきている。この授業では、文字、音、画像、動画などの様々な情報のデジタル化について学び、デジタルコンテンツの表現・制作に必要とされる基礎的な知識と技術を身につけることを目的とする。多彩な表現をする技術としてコンピュータグラフィックス(2DCG)と動画編集の基礎を学び、コンテンツ制作を通じて2DCGとデジタル動画 によるデザイン表現方法を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

レポート課題と実習課題の提出状況等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(計算問題)は採点の上返却する.
演習課題は、課題完成度の確認結果をフィードバックする.
成績を知りたい学生には個別に開示する.

参考文献

マルチメディアと情報化社会(ユビキタスネット社会に向けた環境・技術・ビジネスの変化)第二版　CG-ARTS協会

講義時使用テキスト

特になし(授業用Webサイトにて随時公開する)

資格との関連

高等学校教諭一種免許(情報)に関する科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	マルチメディアの基礎	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
2	デジタル化した社会	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
3	マルチメディアの特徴	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
4	デジタル表現方法①(2進数、10進数、16進数)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 授業内容に関する課題(計算問題)を作成する
5	デジタル表現方法②(パッケージ系メディアとネットワーク系メディア)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 授業内容に関する課題(計算問題)を作成する
6	音のデジタル表現と画像のデジタル表現	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
7	人間の視覚と聴覚(感性とメディア)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
8	図形・画像処理技術①(特殊効果)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
9	図形・画像処理技術②(レイヤー)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
10	図形・画像処理技術③(画像合成クロマキー処理とオーバーレイ)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
11	図形・画像処理技術④(イラスト加工処理)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
12	図形・画像処理技術⑤(アニメーション設計)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
13	図形・画像処理技術⑥(アニメーション処理)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
14	動画処理技術①(映像取り込みと編集)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
15	動画処理技術②(映像による表現)	事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する

印刷日：2023年09月29日

講義名	2520082000 マルチメディアシステム論（Aクラス）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	坂本　貴博			

学習目標(到達目標)

1. 3次元CGによるシミュレーションの処理手順を理解し、3次元空間での照明やカメラの設定、物体の形状や質感を定義する技法を活用できる。

授業概要(教育目的)

今日，コンピュータグラフィックス(3DCG)は，映画やゲームをはじめ多くの分野で活用されている．マルチメディアコンテンツにおいても，3DCGは画像や映像に利用される重要な技術である．この授業では3DCGソフト(Pov-Ray)を用いた3DCG演習を通じて座標変換，モデリング，レンダリング，アニメーションの基礎理論を体験的に学習し理解を深め，プログラミングによる手作業では難しい新たな造形・可視化の技法を身に付けることを目標としている．

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

レポート課題と演習課題の提出状況等により総合的に評価する

課題に対するフィードバック

演習課題(レポート)は、課題完成度の確認結果をフィードバックする．成績を知りたい学生には個別に開示する．

参考文献

POV-Rayではじめるレイトレーシング：小室　日出樹(著)：株式会社アスキー
CG検定ガイドブック3級：佐野典秀(著)CG検定研究会(監修)CG－ARTS協会(協力)：ソフトバンクパブリッシング株式会社

講義時使用テキスト

使用しない。
授業用Webサイトにて随時紹介する。

資格との関連

高等学校教諭一種免許(情報)に関する科目

学生へのメッセージ

授業用Webサイトにて講義資料等を公開しているので、パソコン所有、インターネット接続環境であることが望ましい。
また、この科目の履修には、2年次の「デザイン実習」科目の単位取得が望ましい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	CGによるシミュレーションの概要	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する
2	3次元画像とその生成過程	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する
3	3次元空間の座標(左手系と右手系)	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する
4	Pov-Rayの基本(モデリングとレンダリング)	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
5	3次元空間におけるオブジェクトの作成、座標変換、拡大・縮小	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
6	3次元空間におけるオブジェクトの回転、各種光源について	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
7	物体の形状や質感におけるオブジェクトのマッピング、テクスチャの定義と設定	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
8	物体の形状や質感におけるテクスチャの色、光の反射、表面の凹凸	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
9	物体の形状や質感における各種テクスチャの設定	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
10	複雑形状(プリミティブとCSGの立体定義)	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
11	CSG高度な立体形状(スイープ表現)	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
12	Pov-Rayアニメーション表現	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
13	変数clockの使い方	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
14	3次元画像作品の取り纏め動画作成・編集	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する 第1回～第14回まで学習した3DCGの理論・作成技法についてレポートを作成する
15	3次元動画コンテンツ配信を行うWebページ制作	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する

印刷日：2023年09月29日

講義名	2520082001 マルチメディアシステム論（Bクラス）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	坂本　貴博			

学習目標(到達目標)

1. 3次元CGによるシミュレーションの処理手順を理解し、3次元空間での照明やカメラの設定、物体の形状や質感を定義する技法を活用できる。

授業概要(教育目的)

今日，コンピュータグラフィックス(3DCG)は，映画やゲームをはじめ多くの分野で活用されている．マルチメディアコンテンツにおいても，3DCGは画像や映像に利用される重要な技術である．この授業では3DCGソフト(Pov-Ray)を用いた3DCG演習を通じて座標変換，モデリング，レンダリング，アニメーションの基礎理論を体験的に学習し理解を深め，プログラミングによる手作業では難しい新たな造形・可視化の技法を身に付けることを目標としている．

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

レポート課題と演習課題の提出状況等により総合的に評価する

課題に対するフィードバック

演習課題(レポート)は、課題完成度の確認結果をフィードバックする．成績を知りたい学生には個別に開示する．

参考文献

POV-Rayではじめるレイトレーシング：小室　日出樹(著)：株式会社アスキー
CG検定ガイドブック3級：佐野典秀(著)CG検定研究会(監修)CG－ARTS協会(協力)：ソフトバンクパブリッシング株式会社

講義時使用テキスト

使用しない。
授業用Webサイトにて随時紹介する。

資格との関連

高等学校教諭一種免許(情報)に関する科目

学生へのメッセージ

授業用Webサイトにて講義資料等を公開しているので、パソコン所有、インターネット接続環境であることが望ましい。
また、この科目の履修には、2年次の「デザイン実習」科目の単位取得が望ましい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	CGによるシミュレーションの概要	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する
2	3次元画像とその生成過程	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する
3	3次元空間の座標(左手系と右手系)	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する
4	Pov-Rayの基本(モデリングとレンダリング)	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
5	3次元空間におけるオブジェクトの作成、座標変換、拡大・縮小	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
6	3次元空間におけるオブジェクトの回転、各種光源について	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
7	物体の形状や質感におけるオブジェクトのマッピング、テクスチャの定義と設定	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
8	物体の形状や質感におけるテクスチャの色、光の反射、表面の凹凸	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
9	物体の形状や質感における各種テクスチャの設定	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
10	複雑形状(プリミティブとCSGの立体定義)	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
11	CSG高度な立体形状(スイープ表現)	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
12	Pov-Rayアニメーション表現	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
13	変数clockの使い方	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する
14	3次元画像作品の取り纏め動画作成・編集	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する 第1回～第14回まで学習した3DCGの理論・作成技法についてレポートを作成する
15	3次元動画コンテンツ配信を行うWebページ制作	事前配布資料を読み、内容を整理する	事業内容の論点を整理する 演習課題を作成する

講義名	2520083000 グラフィックス						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分		対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	坂本　貴博			

学習目標(到達目標)

1. デジタルコミュニケーションにおける表現技術としてのグラフィックの役割や特徴を理解し，説明できる.
2. 課題制作の中で、Illustrator,Photoshopを用いたDTP (DeskTopPublishing)のスキルを体得し，グラフィック処理における色，画像と品質，描画ツールに関する特徴を理解し，オリジナルの作品を制作できる.

授業概要(教育目的)

コンピューターとそのネットワークを基盤とするデジタルコミュニケーションは、これからの人類社会において、新たな活動空間とでも言うべき大きな存在へと発展を続けている。本科目は、デジタルコミュニケーションにおける重要なコンテンツであり、且つ主要なコミュニケーションの場として機能する Webサイトの中で、視覚化情報であるWebグラフィックスの学習を通して、情報伝達の本質を理解していく。また併せて、講義ではクリエイティブについても言及する為、学生のクリエイティビティに対する興味を喚起することにも注力したい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

演習課題の提出状況，完成度および理解度を元に総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(計算問題)は採点の上返却する.
演習課題は、課題完成度の確認結果をフィードバックする.
成績を知りたい学生には個別に開示する.

参考文献

授業用Webサイトにて随時公開する

講義時使用テキスト

「CGリテラシー　Photoshop ＆ Illustrator CC+CS6」
影山明俊・コスミックエンジン(著)：実教出版

資格との関連

学生へのメッセージ

PhotoshopやIllustratorのアプリケーションソフトウェアの購入は、学生からすると非常に高額になるため、自分のPCに購入インストールすることは困難と思われます。
また、本学の実習室環境(731実習室のみ)では、最新バージョンのPhotoshopやIllustratorではなく、古いバージョンのCS6となっていることを予め理解しておいて欲しい。

この科目を受講する場合は、実習手順を理解するため使用テキスト購入は必須とする。
また、2年次で「デザイン実習」科目と3年次「マルチメディアシステム論」を単位取得し、CGやデジタルデータに関する知識を理解しておくことが望ましい。
履修者数が実習室利用人数を超過する場合には、上記「デザイン実習」と「マルチメディアシステム論」の単位取得状況により選抜する場合がある。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	グラフィックスの基礎知識(ﾋﾞｯﾄﾏｯﾌﾟ画像：ﾍﾟｲﾝﾄ系ツールとﾍﾞｸﾄﾙ画像：ﾄﾞﾛｰ系ツール)	テキスト及び事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
2	グラフィックスの基礎知識(CGで扱う色表現，データ圧縮とファイル形式)	テキスト及び事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
3	Illustrator基礎1：Illustratorの基本操作，描画ツールでのロゴ作成	テキスト及び事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
4	Illustrator基礎2：ペンツールでのイラスト作成	テキスト及び事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
5	Illustrator基礎3：テキストツールでのタイポグラフィ作成	テキスト及び事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
6	Illustrator基礎4：各種ツールなどを使用した地図作成	テキスト及び事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
7	Illustrator基礎5：トレース機能でのイラスト作成	テキスト及び事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
8	Photoshop基礎1：Photoshopの基本操作，写真の補正(解像度変更・トリミング)	テキスト及び事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
9	Photoshop基礎2：写真の補正(色調補正)	テキスト及び事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
10	Photoshop基礎3：写真の修復(修正ツール)	テキスト及び事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
11	Photoshop基礎4：写真の合成(調整レイヤー・アンチエリアス・マスク処理)	テキスト及び事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
12	Photoshop基礎5：文字入力と特殊効果フィルター(バナー作成)	テキスト及び事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
13	制作課題の流れ：企画立案(ｺﾝｾﾌﾟﾄ・ｺﾝﾃﾝﾂ検討)，制作準備(ﾃﾞｻﾞｲﾝ設計・素材収集)	テキスト及び事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
14	チラシやポスター制作実習(印刷出力まで)	テキスト及び事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
15	制作課題講評：課題の発表、及び全員の講評，知的財産・著作権について	テキスト及び事前配布資料を読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する

講義名	2520084000 情報と職業						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	坂本　貴博			

学習目標(到達目標)

将来の職業分野として、情報関連分野に携わる者が、基本的に身に付ける必要のある事項を習得し、高校生の職業選択に対して適切なアドバイスができる。

授業概要(教育目的)

近年、情報化が急速に進展したことに伴って、情報関連の新しい産業・職業が次々に誕生しており、これらに従事する職業人も増加している。本講義は、高等学校指導要領による情報科目の免許取得を目指す学生を対象として、現代社会と情報、情報と職業の関わり、および情報に関わる職業人としての在り方などについて学び、高校生が将来の職業分野として情報関連分野を職業選択する際に、適切なアドバイスができることを目的としている。
授業は講義だけでなく事例に基づく演習や、課題についての調査・意見発表、模擬授業なども予定している。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。

評価方法

レポート課題、発表の内容等によって総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

レポート課題は、完成度の確認結果をフィードバックする.
成績を知りたい学生には個別に開示する.

参考文献

「情報と職業」情報産業で働くための基礎知識：山﨑信雄編著：丸善プラネット株式会社
IT Text「情報と職業」：駒谷昇一・辰巳丈夫・楠元範明：株式会社オーム社

講義時使用テキスト

特になし。(毎回、講義資料を配布する)

資格との関連

高等学校教諭一種免許(情報) に関する科目

学生へのメッセージ

【履修上の注意】
履修条件として「情報」の教員免許取得を目指す学生を対象とするので、教職課程(情報)を履修していること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	教科「情報と職業」の意義	配布資料を読んで、内容を整理する	授業内容を整理し、論点を整理する
2	働くとは(働くことの意義、働く場、業種と職種、情報関連業界)	配布資料を読んで、内容を整理する	授業内容を整理し、論点を整理する
3	情報を扱う職種(派遣労働、情報処理の専門職)	配布資料を読んで、内容を整理する	授業内容を整理し、論点を整理する 情報処理の専門職についてレポートを作成する
4	情報技術とビジネス(情報システム変遷)	配布資料を読んで、内容を整理する	授業内容を整理し、論点を整理する
5	労働環境と労働観の変化	配布資料を読んで、内容を整理する	授業内容を整理し、論点を整理する 労働環境の変化としてテレワークに関するレポートを作成する
6	資格(情報に関する資格)	配布資料を読んで、内容を整理する	授業内容を整理し、論点を整理する 情報に関する資格としてITパスポートの問題を解く
7	仕事と適性(キャリア形成と自己理解)	配布資料を読んで、内容を整理する	授業内容を整理し、論点を整理する 適性検査としてクレペリン検査, SPI適性検査を体験する
8	情報にまつわる法制度(法律の体系)	配布資料を読んで、内容を整理する	授業内容を整理し、論点を整理する
9	情報化社会の発展と法制度の整備	配布資料を読んで、内容を整理する	授業内容を整理し、論点を整理する
10	情報倫理	配布資料を読んで、内容を整理する	授業内容を整理し、論点を整理する
11	知的財産権(特許、著作権)	配布資料を読んで、内容を整理する	授業内容を整理し、論点を整理する
12	情報化とプライバシー(個人情報保護法と情報漏洩)	配布資料を読んで、内容を整理する	授業内容を整理し、論点を整理する
13	情報化社会における犯罪	配布資料を読んで、内容を整理する	授業内容を整理し、論点を整理する 第10回～第13回までに学習した内容についてレポートを作成する
14	セキュリティー対策	配布資料を読んで、内容を整理する	授業内容を整理し、論点を整理する
15	情報リスクマネジメント	配布資料を読んで、内容を整理する	授業内容を整理し、論点を整理する 第10回～第15回までに学習した内容について高校教員としての立場で教材研究する

講義名	2520085000 職業指導						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	根城　隆幸			

学習目標(到達目標)

生徒の進路の多様化に対応する観点から、商業の各分野で学習する内容と関連する職業とのつながりに着目し、規範意識、倫理観等とともに、将来の職業を見通し学び続ける力を育成する。

授業概要(教育目的)

これまでの進路指導が、進学・就職の出口指導に偏りすぎていた反省を踏まえ、豊かな人間性や一人一人の個性を生かしてその能力を十分に伸ばし、それぞれのキャリアを形成するために必要な意欲・態度を育てる教育が求められている。教員免許状の取得を目指す学生を対象に、高等学校における進路指導の理論と実践に焦点を当て、生徒一人一人の勤労観・職業観を育てるように、進路指導・キャリア教育の目的、活動領域、方法・技術などについて学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

授業態度、課題提出、課題発表、定期試験等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題については、学生と共に内容を振り返り、職業指導の学習目標を再確認する。

参考文献

「進路指導・キャリア教育の理論と実践」　吉田辰雄・篠翰　著　　日本文化科学社
「高等学校キャリア教育の手引き」　文部科学省　著　　文部科学省
「文部科学白書」　文部科学省　著　　文部科学省

講義時使用テキスト

毎時、講義概要のプリントを配布する。

資格との関連

教員免許「商業科」を取得するためには、必須の科目である。

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	職業指導の意義と目的	高等学校在学時の振り返り	授業内容を振り返る
2	キャリア教育	キャリア教育について調べる	授業内容を振り返る
3	職業指導の役割と在り方	職業指導の役割について調べる	授業内容を振り返る
4	進路指導の歴史と変遷	進路指導の歴史について調べる	授業内容を振り返る
5	ライフサイクル	ライフサイクルについて調べる	授業内容を振り返る
6	人間観・人間存在	人間観について調べる	授業内容を振り返る
7	進路指導の現状と課題	進路指導の現状について調べる	授業内容を振り返る
8	高等学校における進路指導の現状と課題	高等学校における進路指導について調べる	授業内容を振り返る
9	言葉遣いと接客の仕方	言葉遣いについて調べる	授業内容を振り返る
10	ビジネス・マナーの実践	ビジネス・マナーについて調べる	授業内容を振り返る
11	就職活動に必要な文書作成	就職活動に必要な文書について調べる	授業内容を振り返る
12	面接試験の対策	面接試験について調べる	授業内容を振り返る
13	ビジネス・コミュニケーション	ビジネス・コミュニケーションについて調べる	授業内容を振り返る
14	起業家精神	起業家について調べる	授業内容を振り返る
15	キャリア教育・職業教育の推進	これまでの配布資料を読み返す	授業内容を振り返る

講義名	2520086000 専門英語						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科			担当教員(単位認定者)	グレゴリー・アンソニー		

学習目標(到達目標)

International Workplaceで基本的な英語理解ややり取りができる。

授業概要(教育目的)

現代はInternational Workplaceで英語は海外での仕事だけではなく、国内の会社・職場でも英語版のニュース、ビジネス情報、書類等の理解能力や外国人とのやり取りが必要になった。ビジネスにおける英語の重要性を今さらここで繰り返す必要もないであろう。電話やFaxだけではなくメールやインターネットで世界中と瞬時にやり取りができる時代である。この講義では、実際に用いる可能性の高い英語表現をさまざまな場面ごとに身に付けてゆくことを目的とする。ビジネス英語と聞くと難しいと思われがちだが、分かり易く進めていくので敬遠しないでほしい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

講義内での積極的な参加、宿題、タスクを総合的に評価する。
＊講義内での活動の積極的な参加を重点においている。

課題に対するフィードバック

課題は講義中口頭でフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

講義中の使用テキストはなし。
参考文献は全て授業中に紹介する。
英和・和英辞典を毎回持参すること。
電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

資格との関連

学生へのメッセージ

覚えておかなければならないのは、講義中は、積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。
タスクを完成するために、毎回必要な事柄を調べ、資料などを持参する。何度も言うようだが、積極性と責任が求められる。成績も第1日目から評価する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	Advertisements (language, money, and measurements)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	First Meetings and Introductions	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	English at the Workplace ① (handling customers)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	Current News Events ① (comprehension and culture discussion)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	Filling in Forms ① (online registration forms)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	You and Your Company	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	English at the Workplace ② (resolving problems)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	Current News Events ② (comprehension and culture discussion)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	Filling in Forms ② (application forms)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	Visiting a Client	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	English at the Workplace ③ (handling customers)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	Current News Events ③ (comprehension and culture discussion)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	Filling in Forms ③ (resumes)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	Filling in Forms ④ (cover letters)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	Answering the Phone	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

印刷日：2023年09月29日

講義名	2520087000	インターンシップ（地域経営学科）					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	実習	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	井上　丹			

学習目標(到達目標)

「インターンシップ」の到達目標は、以下の3点である。
①「インターンシップ」での体験を通し、自らのキャリア、職業選択を考える手がかりを得る。
②社会からみた自己の評価を知ることにより、自己発見の機会とする。
③上記①,②を、大学での学習にフィードバックする。

授業概要(教育目的)

インターンシップとは、在学中のある一定期間、企業などにおいて、自らの専攻、将来のキャリア
に関連した就業体験を行うこと制度であり、以下の①及び②を通じ、主体的に職業を選択する能力
を身につけさせ、高い職業意識を育成することを目的としている。

①学生が自己の職業適性や将来設計について考える機会を提供する。
②大学における学修を深化し、新たな学習意欲を喚起する。

「インターンシップ」は、大きく事前指導、実習、事後指導の順序で進められる。
・事前指導は前期の時間割で空き時間に実施する。
・実習は長期休暇中に各実習先で実施する。
・事後指導は後期の時間割で空き時間に実施する。
(詳細については、「授業計画表」に記す。)

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

・「インターンシップ」は、事前指導、実習、事後指導のすべてを終了して単位が認定される。
・したがって、評価についても、事前指導、実習、事後指導のすべてを総合し、行う。
・上記について、以下の①,②に、特に注意すること。
①事前指導を欠席した場合、実習への参加が認められず、単位は認定されない。
②事後指導での課題への取り組み、提出を怠った場合、実習に参加しても単位は認定されない。
・最終的には、事後指導後にインターンシップ全てを振り返って最終レポートを提出する。

課題に対するフィードバック

・事前指導の課題(面談シート)については、面談時にアドバイスする。
・実習時の課題(実習日誌)については、実習先とやりとりする。
・事後指導の課題(成果発表)については、発表時に講評を行う。

講義時使用テキスト

「インターンシップの手引き」
(初回の授業で配布：毎回持参すること。)
・上記以外にも、随時、資料を配布する。

参考文献

資格との関連

特記事項なし。

学生へのメッセージ

【履修上の注意】
・インターンシップを履修する学生は、研修先で八戸学院大学を代表することになる。
・自分は、八戸学院大学を代表して、研修先にお世話になるということを肝に銘じること。
・研修先での身勝手な行動、社会常識に反する行動は慎むこと。
・自己都合による、研修のキャンセルは絶対にできないので、履修する際、この点を必ず約束すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	事前指導(1)インターンシップの学習の流れと本学における事例	・授業内容をインターネットで調べる。	・授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料とノートを読み直す。
2	事前指導(2)外部講師講話(インターンシップの経緯と意義、最新事例)	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。 ・授業内容をインターネットで調べる。	・授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料とノートを読み直す。
3	事前指導(3)マッチングテスト(外部テスト活用)	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。 ・授業内容をインターネットで調べる。	・授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・どの企業で、いかなる就業体験を送りたいか熟考する。
4	事前指導(4)マッチング作業①(アンケート・面談)	・面談シートを作成する。 ・面談で答えるべき内容を準備する。	・授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・どの企業で、いかなる就業体験を送りたいか熟考する。
5	事前指導(5)マッチング作業②(面談・報告)	・面談で答えるべき内容を準備する。	・授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・どの企業で、いかなる就業体験を送りたいか熟考する。
6	事前指導(6)マッチング作業③(面談・報告)	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。 ・授業内容をインターネットで調べる。	・授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料とノートを読み直す。
7	事前指導(7)就活最前線(外部講師)	・前回の授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。 ・授業内容をインターネットで調べる。	・授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料とノートを読み直す。
8	事前指導(8)ビジネスマナーと社会人対応、実習日誌について	・前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 ・配布資料の該当箇所を読む。 ・授業内容をインターネットで調べる。	・授業の内容を確認し、論点を整理する。 ・配布資料とノートを読み直す。
9	研修先での実習(1)	・事前指導で学んだ内容を確認し、論点を整理する。 ・それぞれの研修先で実習を行うに際しての事前の注意事項を再確認する。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
10	研修先での実習(2)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
11	研修先での実習(3)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
12	研修先での実習(4)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
13	研修先での実習(5)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
14	研修先での実習(6)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
15	研修先での実習(7)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
16	研修先での実習(8)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
17	研修先での実習(9)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
18	研修先での実習(10)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
19	研修先での実習(11)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
20	研修先での実習(12)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
21	研修先での実習(13)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
22	研修先での実習(14)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
23	研修先での実習(15)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
24	研修先での実習(16)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
25	研修先での実習(17)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
26	研修先での実習(18)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
27	研修先での実習(19)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
28	研修先での実習(20)	・実習の準備をする。	・研修先での体験を振り返り、留意すべき点を整理する。 ・実習日誌を記入する。
29	事後指導(1)ディスカッション	・研修先での体験を振り返り、実習日誌等、提出が求められ、かつディスカッションに活用する書類を再確認し、準備する。	・ディスカッションでの意見交換を振り返り、整理する。
30	事後指導(2)成果発表会、総評、レポート指導	・成果発表会での発表に備える。	・研修先での体験と成果発表会で発表した内容を振り返り、レポートを作成する。 ・インターンシップ全般を振り返り、近い将来の就職活動の進め方、今後の人生設計を熟考する。

講義名	2520088000	地域経営学特殊講義Ⅰ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	崔　桓碩			

学習目標(到達目標)

本講義では、「地域における金融の役割」を大きなテーマとして行う。「金融入門」と「金融経済論」の授業を踏まえ、地域の課題に対する金融の役割は何なのかについて説明する。具体的には、都市銀行、地方銀行、証券会社、保険会社などのような民間の金融機関が地域とどのような関りを持っているのかについて把握する。たとえば、民間の金融機関による地域での展開、そしてそのサービスを利用する地域住民の金融行動について説明する。その他に、協同組合が行う金融事業(銀行、共済など)についても取り上げることにしたい。これらの講義内容を踏まえ、地域おける金融の現状について把握し、最終的には、地域でのより良い暮らしを創り上げるための金融の役割について自分なりの考えを立てるのが到達目標である。

授業概要(教育目的)

地域経営学特殊講義の授業目的は、地域経営学部の地域経営領域、会計・情報領域の学びを踏まえて、より時事的、実践的な地域の課題に対して地域経営学の視点から対応するために開設する科目である。具体的には、地域のための起業家養成に関する講義、地域の課題に対して産学官金が連携して対応するための講座、地域資源の探索・活用等を考える講座等が予定されている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

定期試験や小テストにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

1. 谷内満著『入門金融の現実と理論(第2版)』センゲージラーニング
2. 晝間文彦著『金融論(第2版)』新世社
3. 家森信善『地方創生のための地域金融機関の役割』中央経済社
4. 大庫直樹『地域金融のあしたの探り方』きんざい
5. 高橋克英『図解入門ビジネス 最新地方銀行の現状と取組みがよ~くわかる本』秀和システム
6. 津田倫男『地方銀行消滅(朝日新書)』朝日新聞出版

講義時使用テキスト

レジュメ配布

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	地域と金融の関係(地域金融について)	・授業内容についてインターネットで調べる	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
2	経済主体別における金融の役割①(地方自治団体における金融の役割)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
3	経済主体別における金融の役割②(地方企業における金融の役割)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
4	経済主体別における金融の役割③(地方家計における金融の役割)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
5	民間の金融機関別における金融の役割①(地域における都市銀行・地方銀行の役割)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
6	民間の金融機関別における金融の役割②(地域における証券会社の役割)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
7	民間の金融機関別における金融の役割③(地域における保険会社の役割)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
8	民間の金融機関別における金融の役割④(地域における信用組合の役割)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
9	協同組合による金融事業(銀行、共済など)	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
10	地域金融における競争状況の評価のあり方	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
11	人口減少下での地域金融機関の競争と経営の安定性	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
12	地域金融機関の経営統合への対応	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
13	地域金融に対する金融庁の政策	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
14	地域活性化における地域金融の役割	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す
15	地域金融機関の競争環境と事業所の開廃業	・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の配布資料とノートを読み直す	・授業内容についてインターネットで調べる ・配布資料とノートを読み直す

講義名	2520089000	地域経営学特殊講義Ⅱ					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	加来　聡伸			

学習目標(到達目標)

・将来予測される地球温暖化の影響を理解する。
・地域の自治体や会社がなぜ持続的な社会を目指す必要があるのか述べることができる。
・森林がもつ公益的機能の役割を理解する。

授業概要(教育目的)

IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の報告書によると、地球温暖化の影響は、人為的に引き起こされている可能性が極めて高いとする見解が示されている。本授業では報告書の予測研究を基に、地球環境への影響と求められている対応について解説し、SDGsの意義と企業の対応の必要性を説明する。特に、地球環境問題の中でも森林資源は重要な役割を果たしていることから森林の公益的機能の理解や世界的な森林資源の現状、日本林業の特徴、生産林と自然林の問題などを重点的に取り上げる。また、座学のみならず実際に三八地域の森(現場)にでかけ林業の作業体験を通じて、林業の仕事理解を図るとともに現場の問題点や公益機能について理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

講義中の課題や講義後に課すレポートによって評価する。

課題に対するフィードバック

ディスカッションにおいて、フィードバックする。

参考文献

北尾邦伸著『森林政策学』J-FIC,2004年
事業構想大学出版部『SDGsの実践～自治体・地域活性化編～』宣伝会議, 2019年

講義時使用テキスト

なし。適宜プリントを配布する

資格との関連

なし。

学生へのメッセージ

【本講義の諸注意】
本講義は合計3日間行います。初日は本学で座学を行い、2日，3日目はフィールドワークです。
2日目は青森県新郷村にて宿泊(1泊)が伴います。宿泊に伴う費用は掛かりません。
その他、軽微な林務を体験してもらうため、受講生を20名程度とします。20名を大幅に超えた場合は、GPA基準の高得点順から選択します。また、本講義の作業体験は、地域の方々の手伝いによって成り立っています。お手伝いの方々の負担を考え、最小人数3名から本授業を開講します。
※今年度は、新型コロナウイルスの影響で予定を変更する可能性があります。変更内容は、授業開始前にWebClass等で連絡します。
【作業の格好について】
各自、長靴を持参してもらいます。また、作業着は汚れても良い恰好を用意してください。山に入るので、蜂などの虫に刺されないよう黒服は避け、長そでを必ず着用してください。林業体験に関しては、軽度作業を予定しています。雨天の場合、別の内容を実施します。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ICPPの報告書を基に地球環境問題を概観する。	インターネットや事前に配布した資料を活用し、課されたテーマの概要を調べておく。	ポイントをノートに整理する
2	国連におけるこれまでの地球環境保全・保護の取り組みを概観し、SDGsの位置づけや意義について説明する。	インターネットや事前に配布した資料を活用し、課されたテーマの概要を調べておく。また、参考文献を読んでおくこと。	ポイントをノートに整理する
3	自治体・企業等の地球環境保全・保護活動の意義について学ぶ。	インターネットや事前に配布した資料を活用し、課されたテーマの概要を調べておく。また、参考文献を読んでおくこと。	ポイントをノートに整理する
4	地球環境の保全・保護において森林が持つ役割について学ぶ。	インターネットや事前に配布した資料を活用し、課されたテーマの概要を調べておく。また、参考文献を読んでおくこと。	ポイントをノートに整理する
5	世界の森林資源の現状と日本の森林資源と林業の特徴を説明し、経済林と生態林との関係について学ぶ。	インターネットや事前に配布した資料を活用し、課されたテーマの概要を調べておく。また、参考文献を読んでおくこと。	ポイントをノートに整理する
6	青森県林業の特徴について学ぶ。	インターネットを通じて、『青森県の森林・林業』などの資料を調べておくこと。	ポイントをノートに整理する
7	全国の『木の駅プロジェクト』について学ぶ他、実際に新郷村で行われているプロジェクトの取り組みを理解する。	インターネットを通じて、『木の駅プロジェクト』などの資料を調べておくこと。	ヒアリングノートを整理し、改めてポイントをまとめること
8	道具の説明と使い方について学ぶ	参考資料やインターネット通じて、森林施業の必要性を調べておくこと。	ヒアリングノートを整理し、改めてポイントをまとめること
9	道具の説明と使い方について学ぶ	参考資料やインターネット通じて、森林施業の必要性を調べておくこと。	ヒアリングノートを整理し、改めてポイントをまとめること
10	手入れされた森林を見ることで、森林の公益的機能を学ぶことや作業の方法について学ぶ。	参考資料やインターネット通じて、森林施業の必要性を調べておくこと。	ヒアリングノートを整理し、改めてポイントをまとめること
11	木材市場の機能について学ぶ	参考資料やインターネットを通手次木材市場の役割や木材の流通について調べておくこと。	ヒアリングノートを整理し、改めてポイントをまとめること
12	木材市場の機能について学ぶ	参考資料やインターネットを通手次木材市場の役割や木材の流通について調べておくこと。	ヒアリングノートを整理し、改めてポイントをまとめること
13	製材工場の製品特性と製造の効率化について学ぶ	LVLの製品とは何か、製材工場の最近の特徴はどのようなことか、参考資料やインターネットで調べておくこと。	ヒアリングノートを整理し、改めてポイントをまとめること
14	製材工場の製品特性と製造の効率化について学ぶ	LVLの製品とは何か、製材工場の最近の特徴はどのようなことか、参考資料やインターネットで調べておくこと。	ヒアリングノートを整理し、改めてポイントをまとめること
15	木材利用と森林保全についてディスカッションを行う。	これまで整理したノートを活用し、自身の考えをまとめる準備をしておく。	議論した内容をノートにまとめ、自分以外の考えなどを踏襲し、レポート用紙にまとめる

講義名	2520090000	地域経営学特殊講義Ⅲ					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	井上　丹			

学習目標(到達目標)

① グループワークに参加して、自分の意見を人に話せる
② 他人を理解しようと他人の話を聴き質問できる
③ 自分の考えを相手に理解してもらうために、相手のことを考え、伝え方を工夫する
④ 新たなことに興味関心を持ち、自分なりに調べる
⑤ 現場で事実を見たり聞いたりして、当事者として考える
⑥ 地域の課題について、自分の言葉で解決案を提案できる
⑦ 経験したことを振り返り、自分の将来について考える

授業概要(教育目的)

地域社会における他者との協働や課題解決の提案を実践的に学ぶために、グループワークやフィールドワークを中心とした演習形式の授業とする。社会で求められるコミュニケーション能力や考える力、まとめて発表する力を、現場体験を通して身につけることが目的である。
大学で用意するプログラムよりも、地域社会で実際に起きている課題やニーズに対応するプログラムを、地域の関係者と協議しながら構築する。具体的には、「A.地域特産品づくり」、「B.観光企画づくり」、「C.地域コミュニティづくり」の3パターンを想定し、履修者の特性に合わせて1つを選び体験内容を決める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。

評価方法

全日程参加が必須条件。
授業中のワークシートの内容(30%)
受入先への発表内容と発表態度(40%)
最終課題レポートの内容(30%)

課題に対するフィードバック

レポート等の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

特に使用しない。

資格との関連

学生へのメッセージ

この講義を履修する上で、地域経営論、地域活性化システム論を履修していることが望ましい。
また、フィールドワークを実施するため人数制限を設けており、履修希望者が多数いた場合は履修状況や成績によって選抜することがある。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 事前ワークシートと自己紹介シートの記入。授業内容や目的を説明し、お互いについて知るためのワークを実施し、4,5人のチームを形成。	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
2	2. チーム内で作成したシートをもとに深い自己紹介ワーク。チームでの役割を決め、チームとしての目標を設定。	前回の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
3	3. コミュニケーションや対話について基本的な知識を説明。チームで質問し合うワークを通して、具体的な言葉の重要性を認識。	前回の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
4	4. フィールドワークを実施する前に必要な知識や考え方を講義。講義中にグループワークを行い、チームの視点を合わせる。	前回の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
5	5. 訪問先となる地域について情報収集しチーム内で共有する。フィールドワーク受入先の状況と最終課題について説明。	前回の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
6	6. フィールドワーク:訪問先見学。観察と洞察について説明し、発見したことを写真撮影しワークシートに記入。	前回の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
7	7. フィールドワーク:現場体験。実際に仕事の一部を体験したり、顧客向けのサービスを体験したりする。感じたことをワークシートに記入。	前回の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
8	8. 振り返りと仮説設定。歴史を聞き現状を体験し、学んだことや感じたことをワークシートにまとめる。また今後の改善点や提案を、仮説として考える。	前回の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
9	9. 前回で考えた仮説を、受入先へ提出するレポートに整理。聞き手のことを考える視点や予測される反応をイメージしながら作成。	前回の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
10	10. フィールドワーク:仮説検証。チームごとに発表し、受入先からフィードバックをもらい、地域課題や地域ニーズについて意見交換。	前回の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
11	11. フィールドワーク:課題設定。これまでの学びを活かし、再度現場見学や仕事・サービスを体験し、対応すべき課題やニーズを特定する。	前回の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
12	12. 何ができたかできなかったか、何が必要かを振り返り、ワークシートにまとめる。その後、解決に向けた提案の作りこみを行う。	前回の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
13	13. フィールドワーク:受入先への最終発表に向けた準備。発表はパワーポイントを使用。必要であれば再度現場へ行き素材を集めることも可能。	前回の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
14	14. フィールドワーク:受入先への提案を発表。チームごとに発表し、受入先の担当者から評価をいただく。	前回の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
15	15. 発表を通して学んだことをワークシートに記入。今後の学生生活や将来社会人となったときに実現したいことをまとめる。	前回の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す

講義名	5000002000 教育原理						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)	鈴木 康弘			

学習目標(到達目標)

1. 西洋と日本の教育の思想と歴史を中心とする教職教養の基礎的知識を理解し、身につけることができる。
2. 現代の教育課題について、家族と学校のあり方がどのように変化してきたかを踏まえて、多角的な視点から理解することができる。

授業概要(教育目的)

この授業では、教育を考えるための基本的な知識を学ぶために、毎回、教育の思想と歴史に関するトピック・テーマについての講義を行う。前半では、西洋と日本の教育の思想と歴史に関する通史を扱い、後半では、現代の教育課題(いじめ、不登校、発達障害、部活動、学校の働き方改革等)を取り上げる。教育の思想と歴史が、現在の学校や家庭のあり方にどのような影響を与えているのかについて、受講者とのディスカッションを通して、多角的な捉え方から理解を深めていきたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

成績評価は、定期試験の結果を【6割】、小テストや授業課題、受講態度(遅刻や早退、毎回の授業後のリアクションペーパーの提出状況を含む)を【4割】として行います。

課題に対するフィードバック

期末試験の成績について疑問のある学生は、教務学生課の窓口から「成績疑問申請」を受け取り、記載のうえ、提出してください。

参考文献

参考資料やブックガイド等は、授業中に配布します。

講義時使用テキスト

島田和幸・高宮正貴編『教育原理(よくわかる! 教職エクササイズ)』(ミネルヴァ書房、2018年)

資格との関連

教職に関する科目(教育の基礎理論)

学生へのメッセージ

【授業課題について】授業コメントやアンケート、クイズの結果を共有するため、Google Formsを活用します。八戸学院アカウントを使用できるように、スマートフォンやタブレット等を準備してください。

【遅刻について】授業開始後20分以内に入室した学生は、【遅刻】とし、それ以降の入室は、【欠席】とします。また、事前に連絡がない提出物の遅れは、大幅な減点をします。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ガイダンス(学びとは何か)	シラバスで授業内容を確認されたうえで、出席してください。	授業内容とスケジュールの再確認を行う。
2	子ども・家庭・社会(教育とは何か)	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
3	教育のルーツをたどる旅(教育の哲学)	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
4	「公教育」と「近代家族」の成立(教育の歴史)	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
5	義務教育は人びとをどのように変えたか(教育制度)	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
6	新教育からアクティブラーニングへ？(教育方法)	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
7	教育基本法の成立と改正をめぐる論争(教育法・政治)	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
8	教育内容と学習指導要領の変遷(教育課程)	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
9	学力テスト政策と教育格差の拡大(教育評価)	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
10	平成の教育改革は何をもたらしたか(教育政策)	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
11	いじめ・不登校・発達障害(学校経営)	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
12	高大接続・質保証・シューカツ(高等教育)	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
13	子どもの身体をめぐるポリティクス(健康・ジェンダー・少子化)	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
14	教職の専門性と働き方改革のゆくえ(教師教育)	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
15	自分をつくる・地域で学び続ける(生涯学習)	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。

講義名	5000026000 教職概論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)	根城　隆幸			

学習目標(到達目標)

教職の意義及び役割について理解し、自分なりの教職の理想像を説明できる。また、ICTを活用した教育活動の意義等について理解を図る。

授業概要(教育目的)

「国家の存亡は教育にあり」とか「教育は教師しだい」という。今日ほどこの言葉を痛切に感じるときはない。その教育とは何か。その教育を担う教師の役割とは何か。教師のあるべき姿等について、教職の意義等を理解するとともに、公立高等学校での教師経験を生かして考察していく。
大学での教職課程を履修するに際し、教職を目指す学生がこれからの教師の在り方について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

授業態度、課題提出、課題発表、定期試験等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・教育を取り巻く社会状況や授業評価について講評する

参考文献

岩田康之・高野和子　編　『教職論』　学文社
池田修　『教師になるということ』学陽書房
成田喜一郎・長瀬拓也　編『教師になるには』　一ツ橋書店

講義時使用テキスト

佐藤春雄　編　『教職概論』第6次改訂版　学陽書房

資格との関連

【教職課程】の必修科目である。

学生へのメッセージ

【授業外活動状況】
日頃から、教育に関して関心を持つこと。
日常生活を見直して、人間性を磨くこと。

実務との関連

高等学校教諭として青森県内の高等学校や県教育委員会に勤務。実務経験をもとに教職について指導する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	教職の意義と役割	・テキストを読む	・授業内容を振り返る
2	教職観と理想の教師像	・課題に必要事項を記入	・授業内容を振り返る
3	教師とは、教職とは	・課題に必要事項を記入	・授業内容を振り返る
4	教職への視線	・課題に必要事項を記入	・授業内容を振り返る
5	教師と教員養成の歴史	・課題に必要事項を記入	・授業内容を振り返る
6	教員の任用と身分保障	・課題に必要事項を記入	・授業内容を振り返る
7	教師の役割と服務	・課題に必要事項を記入	・授業内容を振り返る
8	管理職と主任の役割	・課題に必要事項を記入	・授業内容を振り返る
9	教師の資質向上と研修(特別支援教育)	・課題に必要事項を記入	・授業内容を振り返る
10	教員に求められるもの、教員としての適格性(ICTの活用)	・課題に必要事項を記入	・授業内容を振り返る
11	教職への進路選択と教員採用選考 / 他の職業との比較	・課題に必要事項を記入	・授業内容を振り返る
12	教師の職場環境 / 実体験、類似体験	・課題に必要事項を記入	・授業内容を振り返る
13	教育実習の意義と心得(ICTの活用)	・課題に必要事項を記入	・授業内容を振り返る
14	教職への学び(チーム学校への対応を含む)	・課題に必要事項を記入	・授業内容を振り返る
15	学び続ける教師(チーム学校への対応を含む)	・課題に必要事項を記入	・【教職】について考える

講義名	5000004000 教育行政						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)		一戸　利則		

学習目標(到達目標)

1. 中央と地方の教育行政について説明できる。
2. 教育に行政がどのように関わっているかについて説明できる。
3. 様々な教育課題について、行政の視点も加味しながら意見を持つことができる。

授業概要(教育目的)

教育行政は、将来、教職をめざす学生に、教育学の基礎的教養を提供するとともに、「教育に関する社会的、制度的又は経営的な事項に関する科目」内容を詳細に指導する科目である。したがって、既習の教職科目を基礎に、近代公教育制度の歴史と構造、日本国憲法や教育基本法の関連を学習し、民主化行政の仕組み、学校・学級の経営、教育課程、社会変動と教育、教師の特質と資質、社会教育と生涯学習等々で分野は広範にわたる。
講義では、教員の行政経験を踏まえつつ時事的な教育情報も活用しながら学修する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

意欲・態度、課題、レポート等をもとに総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

勝野正章・藤本典裕(編)「教育行政学」学文社
青木栄一(編著)「教育制度を支える教育行政」ミネルヴァ書房

講義時使用テキスト

テキストは使用しないが、パワーポイントを活用しつつ資料等も適宜配布する。

資格との関連

教職課程の教職に関する専門科目で、教員免許状資格取得の必修科目である。

学生へのメッセージ

新聞、ニュース等を通じて、教育の現状や諸問題について理解を深めておくこと。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	教育行政と学校制度	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
2	教育行政の組織(文科省・教育委員会、事務局)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
3	教員の身分、服務、研修	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
4	教員の長時間労働、部活動の地域移行	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
5	教員採用と教員不足	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
6	特別支援教育	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
7	発達障害	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
8	学校の統廃合	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
9	学校の安全と危機管理	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
10	いじめ問題	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
11	学校と地域連携	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
12	学校の管理と運営	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
13	教育格差、子どもの貧困、全国学力調査	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
14	教員評価、教育充実のための施策	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
15	教育行政の課題	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す

講義名	5000003000 教育心理学						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)		石岡　れい子		

学習目標(到達目標)

次の5点を到達目標とする。
1. 発達の特性と発達段階について説明することができる。
2. 学習の仕組みについて説明することができる。
3. 学習意欲を喚起するにはどうしたらよいかを論じることができる。
4. 教師と生徒の関係についての社会心理学的概念を説明することができる。
5. 教育評価はなぜ、どのようにして行うかを述べることができる。

授業概要(教育目的)

この科目は、教育職員免許法に定められている「幼児、児童および生徒の心身の発達及び学習の過程」を学習するものである。発達、学習、パーソナリティを中心に、教育に関する基礎的な知識を学び、併せて障害のある児童・生徒の発達についても学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

小テスト、中間テスト、レポート、授業の参加態度等により各担当者が評価を行い、それらを総合して科目の評価とする。

課題に対するフィードバック

毎回の授業の終わりに、出席確認と授業内容の確認の意味で、小テストを実施する。
課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
試験(レポート、小テスト)の模範解答を示す。

参考文献

桜井茂男(監修)黒田祐二(編著)『実践につながる教育心理学』

講義時使用テキスト

資格との関連

教員免許状取得のための必修科目であり、今まで学んできた一般心理学を基礎とし、学校教育の現場と結びつくように、より具体的な事象を取りあげる。心理学という視点からも考えて、子どもたちにアプローチできるようにする。

学生へのメッセージ

受講者には教職をめざすという夢や希望、意欲をもって参加し、日ごろから「学ぶこと」や「教えること」などについて考え、自己研鑽に努めることを期待する。
なお、この授業は2人の教員のオムニバスであり、各教員の担当は計画の通りだが、順番は必ずしも呈示した通りに進まない。変更がある場合は授業中に説明するので留意してほしい。

実務との関連

小学校教員、特別支援学校教員を経て、教育大学の大学院で臨床心理学を学び、現在、小学校・中学校・高等学校のｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ、障害児福祉施設の心理指導員、行政の三歳児健診の精検や発達相談、教員向けの研修会の講師などをしている。その実務経験をもとに話をする(石岡)。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	教育心理学の目的と体系 ー理論と実践の往還を目指してー	シラバスを事前に読み、参考図書に目を通す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
2	教育心理学の研究法 ー実験と面接を中心にー	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
3	子どもの発達と学習の過程①発達の特性	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
4	子どもの発達と学習の過程②発達理論と発達段階	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
5	子どもの発達と学習の過程③行動の分析	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
6	子どもの発達と学習の過程④行動の変容	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
7	学級集団:集団の特性、教師と子どもの関係、仲間関係	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
8	学習指導①学習行動・学習原理	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
9	学習指導②動機づけ・学習指導の方法	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
10	生徒指導:生徒指導の意義、生徒の理解、問題行動の指導	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
11	特別活動(特別活動の意義、特別活動の指導、問題行動の指導	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
12	自己とパーソナリティ	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
13	学校不適応(不登校、いじめ、自殺など子どもの不適応へのかかわり方) SOSの出し方など、心理教育の例を紹介する。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
14	学習指導と教育評価①学習指導の方法、個に応じた指導	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
15	学習指導と教育評価②教育評価の種類、個人差の理解と指導	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する

講義名	5000029000 特別支援の理解						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)		石岡　れい子		

学習目標(到達目標)

1. 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性について説明できる
2. 特別の支援を必要とする生徒に対する学習上、生活上の支援の方法について説明できる。
3. 障害はないが特別の教育的ニーズがある生徒について、学習及び生活の各場面での対応方法について説明できる。

授業概要(教育目的)

様々な障害等により学校生活を送ることが困難な生徒、また、障害はないが特別の教育ニーズがある生徒に対し、個人の特性と心身の発達を踏まえた援助ができるよう、関係する知識を身につける。また、支援の方法については、各自が身につけるべき事項に加え、関係機関や家庭と連携しつつ支援体制を構築することを学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

試験や小テスト、課題提出、演習の発表、授業中の態度等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

毎回の授業の終わりに、出席確認と授業内容の確認の意味で、小テストを実施する。
課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

小野隆行(編著)「特別支援教育重要用語の基礎知識」 学芸みらい社

講義時使用テキスト

資格との関連

教員免許を取得するための必修科目である。今までの「特殊教育」から新しい「特別支援教育」に変わり、考え方が大きく変革した。通常学級に在籍する児童・生徒の特別な教育的ニーズへの対応するための理念、知識・技術などについて、学習する。

学生へのメッセージ

実務との関連

小学校教員、特別支援学校教員を経て、現在は、小中高等学校のｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ、障害児福祉施設の心理指導員、市町村の三歳児半検診などに関わっている。教育、心理、および福祉での実務経験をもとに特別支援についての話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	特別支援教育の歴史と理念	授業内容についてインターネットで調べる	インクルーシブ教育理念に関して、以前の考え方との違いについて、ディスカッションし、その違いを理解できるようにする。 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
2	障害の種類と心身の発達	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
3	障害の種類に応じた学習支援の方法	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	コメントシートに記入したものを振り返り、合理的配慮に関して、正しく理解できているかを確認する。 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
4	障害の種類に応じた生活支援の方法	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	コメントシートに記入したものを振り返り、ユニバーサルデザインに関して、正しく理解できているかを確認する。 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
5	特別な教育的ニーズを持つ生徒への対応、自立活動	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	LD・ADHD等疑似体験プログラムを用いて、子どもたちの困難さを実際に体験し、具体的にどう関わり、指導していくかをみんなでディスカッションする。 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
6	関係機関や家族との連携支援	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
7	指導計画・教育支援計画の意義と具体的な方法	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
8	合理的配慮とユニバーサルデザインについて	授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す

講義名	5000005000 教育課程論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)	根城　隆幸			

学習目標(到達目標)

学校の教育的諸活動の総合的な計画である「教育課程」について、その意義及び編成の方法等を説明できる。

授業概要(教育目的)

我が国の教育界は転換期に直面していると言われ、様々な「教育改革プログラム」が策定されている。その中でもとりわけ注目されているのが、「これまでの学校教育の基調を転換する」ことを目指した教育課程の改革である。教職を目指す学生は、教育課程に関する基本的用語・知識、教育課程編成の歴史的変遷、そして新しい教育課程の開発等の理解を深めることが不可欠である。教育課程編成に関わる基本的知識の理解を深めながら、考え方について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

授業態度、課題提出、課題発表、定期試験等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

前時の評価とともに、課題について寸評をする
課題が満足できないものは再提出させる

参考文献

『中学校学習指導要領及び解説』　文部科学省　実教出版
『高等学校学習指導要領及び解説』　文部科学省　実教出版
『教育課程(カリキュラム入門)』　柴田義松　編　有斐閣
『教育課程論』　田中智志也　監修　一藝社

講義時使用テキスト

講義概要のプリントを毎時配付する。

資格との関連

【教職課程】の必修科目である

学生へのメッセージ

【授業外活動状況】
　講義内容に連続性があるので、前時の学習内容を復習して講義に臨むこと。

実務との関連

高等学校の教諭として青森県内の高等学校や県教育委員会に勤務。実務経験をもとに教職について指導する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	教育課程の意義と目的	・シラバスを読む	・授業内容を振り返る
2	教育課程の歴史的変遷①(戦後～教育の現代化)	・教育課程の歴史的変遷について調べる	・授業内容を振り返る
3	教育課程の歴史的変遷②(「ゆとり」教育～PISA型学力)	「ゆとり」教育について調べる	・授業内容を振り返る
4	教育課程に関する法制度	・教育課程に関する法を調べる	・授業内容を振り返る
5	諸外国の教育課程の現状①(アメリカ、イギリス、韓国)	・諸外国の教育課程について調べる	・授業内容を振り返る
6	学習指導要領(中学校・高等学校)	・学習指導要領について調べる	・授業内容を振り返る
7	学校経営・学級経営	・学級経営について調べる	・授業内容を振り返る
8	生徒指導と教育課程	・生徒指導について調べる	・授業内容を振り返る
9	教育評価	・教育評価について調べる	・授業内容を振り返る
10	諸外国の教育課程の現状①(フィンランド、カナダ)	・諸外国の教育課程について調べる	・授業内容を振り返る
11	道徳と総合的な学習の時間	・道徳について調べる	・授業内容を振り返る
12	学校間連携と接続	・学校間連携について調べる	・授業内容を振り返る
13	カリキュラム・マネジメント	・カリキュラム・マネジメントについて調べる	・授業内容を振り返る
14	メディア・リテラシー	・メディア・リテラシーについて調べる	・授業内容を振り返る
15	教育課程の諸問題	・授業内容について振り返る	・教育課程について振り返る

講義名	5000031000 総合的な学習の時間の指導法						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)	冨澤　美千子			

学習目標(到達目標)

①「総合的な学習の時間」の歩みや教育課程における位置づけを理解する。
②「総合的な学習の時間」の目標をふまえた指導計画の作成の考え方を理解し、指導体制と方法、評価に関する知識・技能など基礎的な能力、実践力を身に付ける。
③児童・生徒がこれからの社会を生きる上で必要な自律的・創造的・横断的な力を育成し支援する教師の資質の向上とその能力を養う。

授業概要(教育目的)

「総合的な学習の時間」の歩み、意義、必要性、教育課程の位置づけや性格を、歴史的変遷を確認し明らかにする。また各学校における目標や内容をふまえた指導計画の作成、指導方法、評価、学習指導案の作成についての知識・技能、実践上の留意点などを学ぶ。「総合的な学習の時間」の学習活動の事例学習をとおして、「総合的な学習の時間」立案に必要な知識や方法、教育観について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

①最終レポート　50%
②小レポート　30%
③授業振り返りコメントカード・発言等総合評価　20%

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」「中学校編」(最新版)　文部科学省
「小学校学習指導要領解説　総合的な学習の時間編」(最新版)　文部科学省

講義時使用テキスト

「中学校学習指導要領解説　総合的な学習の時間編」(最新版)　文部科学省
「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説　総合的な探究の時間編」　文部科学省
「子どもたちの創造力を育む総合的な学習の時間」冨澤美千子/著　大学教育出版

資格との関連

本授業は、教職課程の必修科目である。すなわち、単位を取得しなければ、免許を取得することはできないので必ず受講すること。

学生へのメッセージ

1998(平成10)年学習指導要領改訂(小・中学校)で新設された総合的な学習の時間は、どのような目的で新設されたのか、また、導入後も現代に至るまで、どのように教育目標は変化し、どのような課題があるかを考えましょう。総合的な学習の時間は、教科の学習とは違い「教科書のない学習」である。このように、教育課程におけるこの時間の意味と意義を理解すること。そのうえで、よりよい学びの機会になるよう、教師はどのように支援しなければならないのか考えること。教科の指導とどのように違うのか、授業を通して理解すること。また、2018(平成30)年告示の高等学校における「総合的な探究の時間」はどのような力をつけることが求められているのかを考えてみましょう。
本授業は集中授業で行います。1日休むと内容の理解が難しくなります。欠席については、公欠であっても自分の休みは自分で伝えること。(メールアドレス:m-tomizawa@yokohama-art.ac.jp)メールをする際は、件名に大学名(氏名)を入れて、内容に要件を入れること。レポート等提出物が提出されない場合は、単位取得が不可能になるので気をつけること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	授業全体の概要(目標、内容、方法、評価)を確認する	自分の中・高時代の総合的な学習の時間について振り返っておく	授業の内容を振り返り、ノートを整理する
2	授業設置の背景① 戦後の教育課程の歴史的変遷と総合的な学習の時間の授業設置の背景を理解する	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	授業設置の背景② 総合的な学習の時間の授業が新設された時の概要について理解する	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	授業設置の背景③ 現行の総合的な学習の時間の概要を理解し、課題や問題点について考察する	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	「総合的な学習の時間」の事例① 歴史的に源流になるような実践から学ぶ	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	「総合的な学習の時間」の事例② 現代の事例から学ぶ(協働的な学習)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	「総合的な学習の時間」の事例③ 現代の事例から学ぶ(探究的な学習)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	「総合的な学習の時間」の授業デザイン① 探究的な学習を協働的な学習として行えるような授業を創造できるような手段や方法について理解する	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	「総合的な学習の時間」の授業デザイン② 探究的で協働的な学びを創るために、学習ツールやICTをどのように活用したらよいのか理解する	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	「総合的な学習の時間」を創る① 課題設定について、留意点を理解し実際に創る	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	「総合的な学習の時間」を創る② 情報収集と整理・分析について、留意点を理解し実際に創る	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	「総合的な学習の時間」を創る③ まとめ・表現について、留意点を理解し実際に創る	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	「総合的な学習の時間」を創る④ 授業計画案の立て方と評価の仕方について理解し、実際に創る	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	「総合的な学習の時間」を創る⑤ 授業計画案の発表をする	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	「総合的な学習の時間」の授業のまとめ	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業全体の内容を振り返り、ノートを整理する

講義名	5000017000 特別活動論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)	山口　吉彦			

学習目標(到達目標)

次の2事項を到達目標とする。
1. 特別活動の重要性と今日的な課題を説明できる。
2. 特別活動の概念と指導の実際を説明できる。

授業概要(教育目的)

目まぐるしく移り変わる社会の変化の中で21世紀をたくましく生きる力を育てるため、豊かな人間性を育むと共に、一人一人の個性を生かしてその能力を十分に伸ばしていく教育の在り方が問われている。しかし、日常的に子ども達と接触しているホームルーム担任は、担任としての仕事と教科指導の仕事が渾然一体として、「教師の仕事」の中で、担任としてしなければならないことは何なのかさえも、必ずしも明確にされにくい状況下に置かれてきた。
また、特別活動が教職単位として必修化されはしたが、特にこの領域に関する免許が与えられているわけでもないこと等から、「誰でも指導できるはず」であると見過ごされ、計画的・継続的に指導されている現場もあるが、そうとは言い難い現場が多いのが実情である。
そこで、特別活動の重要性と、しっかりとした概念把握や指導法を身に付けていくことが、上記の教育の在り方にも応える結果につながることを理解させたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

授業時の小論文・小テスト(出席の確認含む)60%、定期試験40%で評価。

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)は採点の上返却する。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

高等学校学習指導要領解説(特別活動編)
特別活動の基礎と展開(関川悦雄著)
高等学校学習指導要領の展開…特別活動編(鹿島研之助他編著)
「特別活動の理論と方法(改訂版)」 江川　玟成　編(学芸図書)

講義時使用テキスト

使用しない

資格との関連

学生へのメッセージ

【履修上の注意】
教師と生徒及び生徒相互の人間関係の深化を図る中で各種の資質や能力を身に付けさせていく事をねらいとする特別活動は、学校の教育活動の基盤となるものであり、この講義を通してホームルーム担任としての実践的な指導力を身に付けるべく臨んでほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	特別活動の歴史と目標	授業内容についてインターネットで調べる。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
2	特別活動の内容と特質	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
3	集団と集団活動	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
4	リーダー論	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
5	対人行動の心理	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
6	教育活動の指導原理	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
7	特別活動の指導原理	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
8	望ましい人間関係の指導	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
9	ホームルーム活動の内容と特質	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
10	ホームルーム活動の指導の実際	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
11	生徒会活動の内容と特質	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
12	生徒会活動の指導の実際	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
13	学校行事の内容と特質	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
14	学校行事の指導と実際	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
15	クラブ活動と部活動の指導	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。

講義名	5000018000 教育方法論						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)	森本　洋介			

学習目標(到達目標)

教育技術(情報機器を活用した効果的な授業方法を含む)と教育評価の基本的な理論と事項について理解する。主体的・対話的で深い学びの実現における基本的な要素を理解する。そのうえで、それらを実践するための基本的なスキルを獲得する。また、主体的・対話的で深い学びにおける学習者の学びをどのように評価するのか、パフォーマンス評価の方法についても理解する。

授業概要(教育目的)

本授業は、学習者の学びに対する意欲を引き出すための授業方法(情報機器を活用した効果的な授業方法を含む)および評価方法について、経験的に学ぶことを目的としている。つまり、授業で取り扱う学習項目も重要であるが、自分たちがどのような授業を受けているのかを、方法論的に意識化できるようにすることにより重点を置いて授業を進める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

定期試験(60%)、授業内活動実習(40%)

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

ルネ・ホップス、デビッド・クーパー・ムーア著：森本洋介監訳『メディア・リテラシー教育と出会う―小学生がデジタルメディアとポップカルチャーに向き合うために』弘前大学出版会、2016年3月

講義時使用テキスト

特になし。適宜配布する。

資格との関連

教職課程の教職に関する専門科目で教員免許状資格取得の必修科目である。

学生へのメッセージ

科目は講義の扱いですが，実際の授業は演習を多く含むのでそのつもりで受講してください。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
2	教育技術の基本(教材、教授行為、学習形態、ICTの活用)	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
3	主体的・対話的で深い学びの原理	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
4	ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの実践①問題解決型学習(問題提起編)	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
5	ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの実践②問題解決型学習(解決編)	授業内容についてインターネットで調べる	課題のレポートを作成する
6	ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの実践③テクスト分析	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
7	ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの実践④背景分析	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
8	授業におけるICT機器の活用	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
9	学習評価に関する理論	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
10	真正の評価①(ルーブリックとは何か、校務におけるルーブリックの活用)	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
11	真正の評価②(ルーブリック作成演習、実際に校務でルーブリックをどのように作成しているか、その支援にどのような人が関っているか)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	課題のレポートを作成する
12	ICTを活用したパフォーマンス課題の設計(設計編)	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
13	主体的・対話的で深い学びの実践⑤ワールドカフェ形式で教科横断的な情報活用能力と情報モラルの取り扱いについて考える	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
14	ICTを活用したパフォーマンス課題の設計(検討編)	参考文献の関連個所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	課題のレポートを作成する
15	教育方法論に関する総合的な演習	前回の配布資料とノートを読み直す	課題のレポートを作成する

講義名	5000019000 生徒指導論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)	山口　吉彦			

学習目標(到達目標)

次の2事項を到達目標とする。
1. 生徒指導の意義と内容、及び今日的な課題を説明できる。
2. 生徒指導の実践的な内容とその指導の実際を説明できる。

授業概要(教育目的)

それぞれの学校の現場では「生徒指導」という言葉で色々な取り組みが行われている。しかし、その受け止め方は各学校によってまちまちであり、更に各教師によっても違っているのが実情である。
このような生徒指導の現状は、教員養成の段階で、教育職員免許法の改定によって「生徒指導等に関する科目」が必修になったのにも関わらず、ややもすれば理論的な面に終始し、現場での実践を踏まえた講義が学生に十分になされ
ていないことに起因するのではないかと考えられる。 そこで、生徒指導とは「生徒の自己指導能力」を育てる事であるという認識の基に生徒指導論を展開させ、将来教壇に立つ学生の実践的な指導力を少しでも高めさせていきたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

授業時の小論文(出席の確認含む)60%、定期試験40%で評価。

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)は採点の上返却する。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

高等学校学習指導要領解説(特別活動編)
生徒指導必携 (青森県教育委員会発行)
生徒指導の機能と方法 (坂本昇一著)
最近の生徒指導と進路指導(吉田辰雄編)
Q&A生徒指導の法律知識(下村哲夫著)
江川　玟成　編『生徒指導の理論と方法(改訂版)』学芸図書

講義時使用テキスト

使用しない

資格との関連

学生へのメッセージ

生徒指導は観念的・理論的に理解するだけでは現実の学校現場では機能しない。目まぐるしく移り変わる社会の変化の中で生徒たちの抱える問題は多種多様にわたり、そうした中で生徒指導の目標とする、一人一人の「自己指導能力」
を高めていくことは極めて難しい状況でもある。また、生徒指導においては生徒と共にある教師の生き方が不可欠であり、この講義を通して実践的な指導力を高めるべく臨んでほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	生徒指導の歴史と目的	授業内容についてインターネットで調べる。	授業内容を整理し、論点を整理する。
2	生徒指導の指導内容と今日的課題	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業内容を整理し、論点を整理する。
3	生徒指導と教育課程	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業内容を整理し、論点を整理する。
4	生徒指導の組織と役割	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業内容を整理し、論点を整理する。
5	生徒指導と関連機関の連携	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業内容を整理し、論点を整理する。
6	生徒理解の意味と機能	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業内容を整理し、論点を整理する。
7	生徒理解の領域と内容	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業内容を整理し、論点を整理する。
8	資料収集の方法	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業内容を整理し、論点を整理する。
9	集団指導の意味と形態	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業内容を整理し、論点を整理する。
10	集団指導の実際と留意点	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業内容を整理し、論点を整理する。
11	個別指導の意味と留意点	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業内容を整理し、論点を整理する。
12	教育相談と学校教育相談	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業内容を整理し、論点を整理する。
13	問題行動の概念と種類	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業内容を整理し、論点を整理する。
14	問題行動の原因	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業内容を整理し、論点を整理する。
15	問題行動指導の実際と留意点	前回の配布資料とノートを読み直す。	授業内容を整理し、論点を整理する。

講義名	5000020000 教育相談						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科/人間健康学科			担当教員(単位認定者)	木村　浩哉		

学習目標(到達目標)

教師に求められる教育相談についての基本的知識を習得し、方法としての教育相談を学ぶだけではなしに、かけがえのない一人ひとりの子どもや保護者を大切にできる。さらに、自らを振り返り、他者を大切にすることを学ぶことで、子どもの充実した学校生活を支えることができることを目標とする。

授業概要(教育目的)

子どもは、日々成長し、生活する中で諸問題に直面する可能性がある。問題解決の方策として、教師は専門知識を持ち、具体的解決策や予防法を習得する必要に迫られている。また、知識のみならず、子どもや保護者との信頼関係の構築が不可欠であり、そのための教育相談の重要性を認識し、真摯に取り組む姿勢が求められている。そのためにも、授業では、教育相談に必要な知識や態度について講義や討議などを通して学んでいく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

定期試験と提出物、授業中の取り組みや発言などによって総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・課題レポートは、採点後に返却する。
・試験(レポート、小テスト)は、採点の上返却する。
・試験(レポート、小テスト)の模範解答を示す。

参考文献

①「学校が求めるスクールカウンセラー～アセスメントとコンサルテーションを中心に～」村瀬嘉代子監修、東京学校臨床心理研究会編(遠見書房)
②「新しい学校教育相談の在り方と進め方」栗原慎二 (ほんの森出版)
③「養護教諭のコミュニケーション」海保博之・田村節子(少年写真新聞社)

講義時使用テキスト

「生徒指導提要」文部科学省 (教育図書)

資格との関連

教職に関する科目(生徒指導、教育相談及び進路指導等)

学生へのメッセージ

教科書・参考文献などにしっかり目をとおし、教師に求められる教育相談についての基本的知識を習得し、方法としての教育相談を学ぶこと。また必要に応じて、関連項目などをインターネットで調べ授業に臨むこと。

実務との関連

・かつて高等学校長としての勤務、経験をもとに教育相談に関する話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	教育相談の意義と役割(教育相談とは何か、教師が行う教育相談)	・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の該当箇所を読む	・テキストの該当箇所を読む ・配布資料とノートを読み返す ・授業内容をまとめ、論点を整理する
2	教育相談の理論と方法	・前回の講義内容を読み直す ・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の該当箇所を読む ・授業内容の関連個所の論点・ポイントなどをインターネットで調べる	・テキストの該当箇所を読む ・配布資料とノートを読み返す ・授業内容をまとめ、論点を整理する ・授業内容をインターネットで調べる
3	カウンセリングの意義と目的 グループワーク	・前回の講義内容を読み直す ・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の該当箇所を読む ・授業内容の関連個所の論点・ポイントなどをインターネットで調べる	・テキストの該当箇所を読む ・配布資料とノートを読み返す ・授業内容をまとめ、論点を整理する ・授業内容をインターネットで調べる
4	カウンセリングの理論と方法	・前回の講義内容を読み直す ・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の該当箇所を読む ・授業内容の関連個所を中心にインターネットなどで調べる	・テキストの該当箇所を読む ・配布資料とノートを読み返す ・授業内容をまとめ、論点を整理する ・授業内容をインターネットで調べる
5	生徒理解の方法①(子ども理解のための基礎知識、子どもとの関わり) 討議・発表	・前回の講義内容を読み直す ・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の該当箇所を読む ・授業内容の関連個所を中心にインターネットなどで調べる	・テキストの該当箇所を読む ・配布資料とノートを読み返す ・授業内容をまとめ、論点を整理する ・授業内容をインターネットで調べる
6	生徒理解の方法②(子どもの理解に先立つ教師の自己理解) 討議・発表	・前回の講義内容を読み直す ・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の該当箇所を読む ・授業内容の関連個所を中心にインターネットなどで調べる	・テキストの該当箇所を読む ・配布資料とノートを読み返す ・授業内容をまとめ、論点を整理する ・授業内容をインターネットで調べる
7	事例研究の意義と活用法	・前回の講義内容を読み直す ・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の該当箇所を読む ・授業内容の関連個所を中心にインターネットなどで調べる	・テキストの該当箇所を読む ・配布資料とノートを読み返す ・授業内容をまとめ、論点を整理する ・授業内容をインターネットで調べる
8	教育相談活動の実践事例①(不登校) グループワーク	・前回の講義内容を読み直す ・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の該当箇所を読む ・授業内容の関連個所を中心にインターネットなどで調べる	・テキストの該当箇所を読む ・配布資料とノートを読み返す ・授業内容をまとめ、論点を整理する ・授業内容をインターネットで調べる
9	教育相談活動の実践事例②(いじめ) グループワーク	・前回の講義内容を読み直す ・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の該当箇所を読む ・授業内容の関連個所を中心にインターネットなどで調べる	・テキストの該当箇所を読む ・配布資料とノートを読み返す ・授業内容をまとめ、論点を整理する ・授業内容をインターネットで調べる
10	教育相談活動の実践事例③(発達障害) グループワーク	・前回の講義内容を読み直す ・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の該当箇所を読む ・授業内容の関連個所の論点・ポイントをインターネットなどで調べる	・テキストの該当箇所を読む ・配布資料とノートを読み返す ・授業内容をまとめ、論点を整理する ・授業内容をインターネットで調べる
11	教育相談活動の実践事例④(児童虐待) グループワーク	・前回の講義内容を読み直す ・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の該当箇所を読む ・授業内容の関連個所を中心にインターネットなどで調べる	・テキストの該当箇所を読む ・配布資料とノートを読み返す ・授業内容をまとめ、論点を整理する ・授業内容をインターネットで調べる
12	教育相談活動の実践事例⑤(学業不振) グループワーク	・前回の講義内容を読み直す ・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の該当箇所を読む ・授業内容の関連個所を中心にインターネットなどで調べる	・テキストの該当箇所を読む ・配布資料とノートを読み返す ・授業内容をまとめ、論点を整理する ・授業内容をインターネットで調べる
13	教育相談活動の実践事例⑥(家族カウンセリング) グループワーク	・前回の講義内容を読み直す ・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の該当箇所を読む ・授業内容の関連個所の論点・ポイントをインターネットなどで調べる	・テキストの該当箇所を読む ・配布資料とノートを読み返す ・授業内容をまとめ、論点を整理する ・授業内容をインターネットで調べる
14	保護者との連携と支援のあり方	・前回の講義内容を読み直す ・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の該当箇所を読む ・授業内容の関連個所の論点・ポイントなどをインターネットなどで調べる	・テキストの該当箇所を読む ・配布資料とノートを読み返す ・授業内容をまとめ、論点を整理する ・課題レポートの作成
15	他職種との連携のあり方(校内連携、校外連携)	・前回の講義内容を読み直す ・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の該当箇所を読む ・授業内容の関連個所の論点・ポイントをインターネットなどで調べる	・テキストの該当箇所を読む ・配布資料とノートを読み返す ・授業内容をまとめ、論点を整理する ・講義内容の全体を把握する

講義名	5000030000 進路指導論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)	柴垣　博孝			

学習目標(到達目標)

(1)進路指導とキャリア教育について、それぞれの関係性とその背景・歴史・意義の概略を理解している。
(2)教育活動全体を通じて行われるキャリア教育の現状と課題について理解し、指導計画の立て方と指導の在り方を説明することができる。
(3)キャリア教育の観点から、家庭や地域、関係機関との連携の在り方や小学校から大学までの連携の視点を理解している。
(4)キャリア・カウンセリングの基礎的な考え方を理解している。

授業概要(教育目的)

所謂「出口指導」に偏ってしまった進路指導と「職場体験」さえすれば事足れりとする風潮を一部に生み出してしまったキャリア教育に対する誤解を排し、進路指導とキャリア教育の背景やその意義・目標を学習し、キャリア教育の現状や課題を整理することによって、進路指導とキャリア教育に対する理解を深め、教育実践に結び付けられるようにする。
また、学校と家庭や地域、関係機関との連携の現状や課題を学習し、協働の観点からキャリア教育を考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

レポート試験、授業内テスト、授業への取組み姿勢などにより総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

レポート課題、授業内テストは返却し、特に解説を要するところは説明します。

参考文献

中学校キャリア教育の手引き(最新版)(文部科学省)
高等学校キャリア教育の手引き(最新版)(文部科学省)
教職シリーズ7進路指導(新井邦二郎編　培風館)

講義時使用テキスト

使用しない

資格との関連

学生へのメッセージ

これからの激動の社会の中で、働き、暮らし、そして学んでいくことになる児童・生徒に対して、どのような教育を施していけばよいのか。その核心の理念として、キャリア教育があります。これまでの進路指導から、なぜキャリア教育と言われるようになったのか。まずは、自分自身が受けてきた進路指導の呪縛から自分自身を解放させて、ニュートラルで柔軟な姿勢で学びを深めていってください。
皆さんのキャリア教育・進路指導に関する学びが、教育現場から求められています。キャリア教育の面から教育現場を牽引していく大きな力となるためにも、授業を通して、進路指導・キャリア教育とはどのようなものなのか、学んでいただければと思います。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	・進路指導・キャリア教育の背景やその意義・課題について、幅広い視点から理解を図る。 ・進路指導・キャリア教育の基本となる考え方を理解する。 (授業内テスト)	授業内容について、予めインターネットなどで調べておく。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
2	・進路指導・キャリア教育の組織・体制の現状につて、幅広い視点から理解を図る。 ・進路指導・キャリア教育において、教員が果たす役割の基本を理解する。 (授業内テスト) (レポート課題)	授業内容について、予めインターネットなどで調べておく。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
3	・進路指導への関わり方を振り返り、本来の進路指導の在り方を確認する。 ・進路指導の実際について、幅広い視点から理解を図る。 ・担任としての進路指導への取り組みを理解する。 (授業内テスト) (レポート課題)	授業内容について、予めインターネットなどで調べておく。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
4	・キャリア教育の背景や全体像について、幅広い視点から理解を図る。 ・キャリア教育の定義・目的、具体的な活動内容の理解を図る。 (授業内テスト) (レポート課題)	授業内容について、予めインターネットなどで調べておく。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
5	・進路指導・キャリア教育に関する代表的な5つの理論について理解し、それを学校教育にどのように応用していくか学習する。 ・キャリア教育の核である「キャリア発達」についての理解を図る。 (授業内テスト) (レポート課題)	授業内容について、予めインターネットなどで調べておく。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
6	・各校種におけるキャリア教育の実際 ・キャリア発達段階に課題に応じた進路指導・キャリア教育の実践や、小学校から高等学校までの一貫した系統的なキャリア発達を促す働きかけの重要性を理解する。 (授業内テスト)	授業内容について、予めインターネットなどで調べておく。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
7	・教育活動におけるキャリア教育の位置づけを理解する。 ・発達段階を踏まえたキャリア教育の必要性を理解する。 ・「見通しを立てて振り返る」活動の必要性を理解する。 (授業内テスト)	授業内容について、予めインターネットなどで調べておく。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。
8	・教育活動におけるキャリアカウンセリングの位置づけを理解する。 ・キャリアカウンセリングの必要性を理解する。 ・キャリアカウンセリングの基礎的技能を理解する。 (授業内テスト)	授業内容について、予めインターネットなどで調べておく。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておくこと。

講義名	5000021000 教育実習A						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	実習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科/人間健康学科			担当教員(単位認定者)	根城　隆幸		

学習目標(到達目標)

教育者に求められる実践的な能力や倫理性の基礎訓練を、学校現場という現実の環境で実施する。このことにより、教育者としての愛情と使命感を深め、教師としての能力や適性について自覚する。
また、教育におけるICTの活用についても理解する。

授業概要(教育目的)

教育実習は、実際に教壇に立って教科指導をするとともに、教科以外の教育活動についても生徒を指導するという体験学習の場である。
この科目は、教育実習に臨む学生に教師の職務を理解させるとともに、実習の準備のための「教育実習事前指導」、実習校において行われる学習指導を中心とした実習研修「教育実習」、教育実習を終えての「教育実習事後指導」の3部構成になっている。
実習においての中心は学習指導である。その教科の知識(学習内容)・技術について十分に事前準備し、理解しておくことが何よりも肝要である。また、ICTの活用についても積極的に取り入れる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

事前指導、実習、事後指導への取組状況を総合して「教育実習」の成績を評価する。

課題に対するフィードバック

教育実習について、各自に報告させながら講評する。

参考文献

『高等学校学習指導要領及び解説』 文部科学省　実教出版

講義時使用テキスト

「教育実習の手引き」(本学作成)を使用する

資格との関連

教職課程の必修科目である。

学生へのメッセージ

【履修上の注意】
教育実習は、実習前に行う事前指導(講義・演習)、実習校での教育実習(各実習校において2～3週間実施する)、実習後の事後指導の全てを受講して3単位の修得となる。
教師としての資質を高めるため、幅広い知識・技術の習得を心がけること。教育実習生にとっては、多少の失敗は許されるかもしれないが、指導を受ける児童・生徒にとっては実習校の教師から教わるのと何ら変わることのない大切な学習の場であり、人格形成の場である。従って学生は実習の重大さを認識し、事前にしっかりと学習の準備をし、責任を持って児童・生徒の指導に当たらなければならない。

実務との関連

担当教員は、教諭・教頭・校長として青森県内の高等学校等に勤務。実務経験をもとに学校教育の実務について指導する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 教育実習の意義	シラバスを読む	教職課程について振り返る
2	2. 教育実習の実施計画	教育実習について調べる	配付資料を読み直す 教育実習の心構えを考える
3	3. 学校組織の概要(中・高等学校編)	学校組織について調べる	配付資料を読み直す 学校組織の役割を考える
4	4. 年間学習指導計画	年間学習指導計画について調べる	配付資料を読み直す 年間学習指導計画について考える
5	5. その他特別活動等の指導計画	特別活動の必要性について調べる	配付資料を読み直す 特別活動について考える
6	6. 教育実習の心構え	教育実習について調べる	配付資料を読み直す 教育実習について自己目標を考える
7	7. 教育実習 :① 実習校の学校概要	教育実習校について調べる	配付資料を読み直す
8	8. 教育実習 :② HR活動の実習	学級活動・HR活動について調べる	配付資料を読み直す 集団を集中させる方法を考える
9	9. 教育実習 :③ 教材研究と指導方法(ICTの活用)	教材研究と指導方法について調べる	配付資料を読み直す 教材の指導について考える
10	10. 教育実習 :④ 授業観察研修	授業観察について調べる	配付資料を読み直す 授業の観察方法を考える
11	11. 教育実習 :⑤ 科目学習指導計画と研究授業①板書の工夫	板書の仕方について調べる	配付資料を読み直す 板書計画を作成してみる
12	12. 教育実習 :⑥ 科目学習指導計画と研究授業②言葉づかい	言葉遣いについて調べる	配付資料を読み直す 日常の言葉遣いを振り返る
13	13. 教育実習 :⑦ 科目学習指導計画と研究授業③発問のしかた	発問の仕方について調べる	配付資料を読み直す 発問のしかたについて振り返る
14	14. 教育実習 :⑧ 特別活動等の実習	特別活動について調べる	配付資料を読み直す 特別活動等について振り返る
15	15. 教育実習事後指導(実習研修報告を含む(ICTの活用)	【教育実習A】の配付資料を読み直す	【教育実習A】について振り返る

講義名	5000024001 教職実践演習（中高）						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	4
対象学科	地域経営学科/人間健康学科		担当教員(単位認定者)	木村　浩哉			

学習目標(到達目標)

1.教員の使命・役割と職務について説明できる。
2.子どもを取り巻くさまざまな問題に臨機応変に対応できる。
3.保護者・地域との連携・協働のあり方について説明できる。

授業概要(教育目的)

ロールプレイや、グループまたは個人での事例分析・研究を行い、学級づくり、保護者や地域との連携等、学校の教育活動を円滑に進めていくうえでの資質能力の向上と実践力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

演習に取り組む態度、個人・グループで作成した文書等の成果、討議・考察後の発表内容を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題は次の授業で代表的なものを紹介する。

参考文献

樋口直宏、林尚示、牛尾直行編著「実践に活かす教育課程論・教育方法論」学事出版

講義時使用テキスト

テキストは使用しないが、演習プリント、資料を配布する。

資格との関連

教職課程の教職に関する専門科目で、教員免許状資格取得の必修科目である。

学生へのメッセージ

期待される優れた教師になるための資質能力の到達点について、常に自己評価をしつつ授業に臨んで欲しい。

実務との関連

教諭・教頭・校長として青森県立高等学校に勤務。学校教育現場での実務経験をもとに、教育実践について指導する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ガイダンス、新採用教員の課題(社会人基礎力)	社会人基礎力についてインターネット等で調べる	授業の内容を整理し、論点をまとめる
2	教育実習の省察(自身の課題と課題解決を考える)	自身の課題についてインタネット等で調べる	授業の内容を整理し、論点をまとめる
3	学級年間経営案の作成とグループ討論	学級年間経営案についてインターネット等で調べる	授業の内容を整理し、論点をまとめる
4	学級の活性化とグループ討論	学級の活性化についてインターネット等で調べる	授業の内容を整理し、論点をまとめる
5	学級崩壊、いじめ、不登校への対応	いじめ、不登校についてインターネット等で調べる	授業の内容を整理し、論点をまとめる
6	学校におけるICT活用(文書作成)	ノートパソコンを準備する	授業の内容を整理し、論点をまとめる
7	学校におけるICT活用(集計処理、オンライン演習)	オンライン演習についてインターネット等で調べる	授業の内容を整理し、論点をまとめる
8	学校におけるICT活用(プレゼンテーション)	プレゼンテーションについてインターネット等で調べる	授業の内容を整理し、論点をまとめる
9	教職課程の省察(履修カルテのICT活用)	履修カルテについて調べる	授業の内容を整理し、論点をまとめる
10	コミュニケーション力、児童生徒理解(グループ討論)	コミュニケーションについてインターネット等で調べる	授業の内容を整理し、論点をまとめる
11	模擬授業(ICTを用いた学習指導案作成)	教育実習で実施した内容を調べる	授業内容を振り返る
12	模擬授業(ICTを活用)	模擬授業の準備	授業内容を振り返る
13	特別支援教育の理解(実務家教員から学ぶ)	特別支援教育についてインターネット等で調べる	授業の内容を整理し、論点をまとめる
14	学校の安全・危機管理、保護者との連携(実務家教員から学ぶ)	学校の安全・危機管理についてインターネット等で調べる	授業の内容を整理し、論点をまとめる
15	教育実習報告会、まとめ	教育実習を振り返る	授業の内容を整理し、論点をまとめる

講義名	5000006000 商業科教育法Ａ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	根城　隆幸			

学習目標(到達目標)

教員免許(商業)に必要な基礎的な知識・技術を習得し、高等学校学習指導要領の教科(商業)の指導内容について説明できる。ICTを活用した授業ができる。

授業概要(教育目的)

商業教育は急激な経済社会の変化に即応しながら、教育内容と教育方法を改善し、人材の育成に努めてきている。これから高等学校商業教育に携わる者は、商業教育の「不易」な理念を思い起こし、社会の変化という「流行」にもしっかりと対応しなければならない。
教科の基準となる高等学校学習指導要領の「総則」並びに教科「商業」を中心に、時代に相応した指導内容と指導方法について学ぶ。模擬授業を積極的に取り入れ、ICTを活用する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

授業態度、課題提出、課題発表等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

各自の学習指導案を、学生間でグループ討議する。
模擬授業を行い、学生間でグループ討議する

参考文献

「高等学校学習指導要領解説」商業編　文部科学省
「商業科教育論」日本商業教育学会　編実教出版
「ビジネス基礎」片岡寛・清水啓典　著　実教出版
「マーケティング」小林一　著　実教出版
「ビジネス経済」佐々木宏夫　著　実教出版
「情報I」坂村　健　著　数研出版

講義時使用テキスト

「新簿記」実教出版

資格との関連

教職課程(高等学校:商業)の必修科目である

学生へのメッセージ

【授業外活動状況】
簿記、情報処理に関する基礎・基本の習得に意欲的に取り組むこと。

実務との関連

高等学校商業科の教諭として、青森県内の高等学校や県教育委員会に勤務。実務経験をもとに商業教育の実際について指導する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	商業教育の意義と目的	【教職課程履修の手引き】の該当箇所を読む	・配付資料を読み直す
2	商業教育の歴史と変遷	・配付資料を読む	・配布資料を読み直す
3	商業教育の目標と内容	・テキストの該当箇所を読む	・授業の内容を整理し、論点を整理する
4	「ビジネス基礎」の教材研究	・テキストの該当箇所を読み、概要を把握する	・学習内容を整理し、概要を把握する
5	「ビジネス基礎」の学習指導案作成(ICTの活用)	・学習指導案(ICTを活用)を作成する	・授業の内容を整理する ・学習指導案を見直す
6	「ビジネス基礎」の模擬授業	・「ビジネス基礎」の学習内容を確認する	・学習指導案の内容を整理する ・模擬授業を振り返る
7	「マーケティング」の教材研究	・テキストの該当箇所を読み、概要を把握する	・学習内容を整理し、概要を把握する
8	「マーケティング」の学習指導案作成(ICTの活用)	・学習指導案(ICTを活用)を作成する	・学習内容を整理する ・学習指導案を見直す
9	「マーケティング」の模擬授業	・「マーケティング」の学習内容を確認する	・学習指導案の内容を整理する ・模擬授業を振り返る
10	「ビジネス経済」の教材研究	・テキストの該当箇所を読み、概要を把握する	・学習内容を整理し、概要を把握する
11	「ビジネス経済」の学習指導案作成と模擬授業(ICTの活用)	・学習指導案(ICTを活用)を作成し、模擬授業の準備をする	・学習内容を整理する ・模擬授業を振り返る
12	「情報処理」の教材研究	・テキストの該当箇所を読み、概要を把握する	・学習内容を整理し、概要を把握する
13	「情報処理」の学習指導案作成と模擬授業(ICTの活用)	・学習指導案(ICTの活用)作成し、模擬授業の準備をする	・学習内容を整理する ・模擬授業を振り返る
14	「課題研究」の教材研究	・研究テーマを調べる	・課題研究のねらいを振り返る
15	「課題研究」の学習指導案(ICTの活用)	・学習指導案(ICTの活用)作成する	・学習指導案を見直す

講義名	5000007000	商業科教育法B					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	根城　隆幸			

学習目標(到達目標)

教員免許(商業)に必要な専門的知識・技術を習得し、高等学校学習指導要領の教科(商業)の指導ができる。ICTを活用した授業ができる。

授業概要(教育目的)

高等学校商業教育に携わる者は、経済社会の急激な変化に対応していく商業教育に関する知識・技術を習得していく必要がある。
「商業科教育法A」を基礎として、教科「商業」に関する指導内容と指導方法(指導の展開を含める)について、模擬授業を積極的に取り入れ、ICTを活用しながら指導法について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

授業態度、課題提出、課題発表等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

各自の学習指導案を、学生間でグループ討議する。
模擬授業を行い、学生間でグループ討議する。

参考文献

「情報I」　坂村　健　著　　数研出版

講義時使用テキスト

「新簿記」　安藤英義　著　　実教出版

資格との関連

教職課程(高等学校:商業)の必修科目である。

学生へのメッセージ

【履修上の注意】　「商業科教育法A」を履修していること。
【授業外活動状況】「簿記」「情報処理」の内容を指導できるように心掛ける。

実務との関連

高等学校の商業科教諭として青森県内の高等学校や県教育委員会に勤務。実務経験をもとに商業教育の実際について指導する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	高等学校学習指導要領に基づく学習指導案の作成(授業計画案)	「商業科教育法A」の省察	・配付資料を読み直す
2	模擬授業「簿記」(企業の簿記、簿記の要素) (ICTの活用)	・学習指導案を作成する ・模擬授業の準備をする (ICTの活用)	・模擬授業を振り返る ・学習指導案を修正
3	模擬授業「簿記」(取引と勘定、仕訳と転記、 仕訳帳と総勘定元帳)　(ICTの活用)	・学習指導案を作成する ・模擬授業の準備をする (ICTの活用)	・模擬授業を振り返る ・学習指導案を修正
4	模擬授業「簿記」(試算表、決算) (ICTの活用)	・学習指導案を作成する ・模擬授業の準備をする (ICTの活用)	・模擬授業を振り返る ・学習指導案を修正
5	模擬授業「簿記」(現金・預金の記帳、商品売買 の記帳、掛け取引の記帳)　(ICTの活用)	・学習指導案を作成する ・模擬授業の準備をする (ICTの活用)	・模擬授業を振り返る ・学習指導案を修正
6	模擬授業「簿記」(固定資産の記帳、決算その1) (ICTの活用)	・学習指導案を作成する ・模擬授業の準備をする (ICTの活用)	・模擬授業を振り返る ・学習指導案を修正
7	模擬授業「簿記」(手形取引の記帳、その他の 債券・債務の記帳)　(ICTの活用)	・学習指導案を作成する ・模擬授業の準備をする (ICTの活用)	・模擬授業を振り返る ・学習指導案を修正
8	模擬授業「簿記」(有価証券の記帳、営業費の 記帳、資本の記帳)　(ICTの活用)	・学習指導案を作成する ・模擬授業の準備をする (ICTの活用)	・模擬授業を振り返る ・学習指導案を修正
9	模擬授業「簿記」(税金の記帳、決算その2) (ICTの活用)	・学習指導案を作成する ・模擬授業の準備をする ・プレゼンテーションソフトウエアを使用する(ICTの活用)	・模擬授業を振り返る ・学習指導案を修正
10	模擬授業「情報処理」(情報の活用と情報モラル) (ICTの活用)	・学習指導案を作成する ・模擬授業の準備をする ・プレゼンテーションソフトウエアを使用する(ICTの活用)	・模擬授業を振り返る ・学習指導案を修正
11	模擬授業「情報処理」(情報通信ネットワーク) (ICTの活用)	・学習指導案を作成する ・模擬授業の準備をする ・プレゼンテーションソフトウエアを使用する(ICTの活用)	・模擬授業を振り返る ・学習指導案を修正
12	模擬授業「情報処理」(ビジネス情報の処理と 分析)　(ICTの活用)	・学習指導案を作成する ・模擬授業の準備をする ・プレゼンテーションソフトウエアを使用する(ICTの活用)	・模擬授業を振り返る ・学習指導案を修正
13	模擬授業「情報処理」(ビジネス文書の作成) (ICTの活用)	・学習指導案を作成する ・模擬授業の準備をする ・プレゼンテーションソフトウエアを使用する(ICTの活用)	・模擬授業を振り返る ・学習指導案を修正
14	模擬授業「情報処理」(プレゼンテーション) (ICTの活用)	・学習指導案を作成する ・模擬授業の準備をする ・プレゼンテーションソフトウエアを使用する(ICTの活用)	・模擬授業を振り返る ・学習指導案を修正
15	商業教育と教師の資質	・学習指導案を読み直す	・【商業科教育法B】を振り返る

講義名	5000008000 情報科教育法A						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)		根城　隆幸		

学習目標(到達目標)

教員免許(情報)に必要な知識・技術を習得し、高等学校学習指導要領の共通教科(情報)が指導できる。ICTを活用した授業ができる。

授業概要(教育目的)

情報活用の実践力の確実な定着や情報に関する倫理的態度と安全に配慮する態度や規範意識の育成を特に重視した上で、生徒の能力や適性、興味、関心、進路希望等の実態に応じて、情報や情報技術に関する科学的あるいは社会的な見方や考え方について、より広く、深く学ぶことを可能とするように、時代に即応した情報教育の指導内容と指導方法について学ぶ。模擬授業を積極的に取り入れ、ICTを活用する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

授業態度、課題提出、課題発表等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

学習指導案や模擬授業について、講評する。

参考文献

「高等学校学習指導要領及び解説」総則編　文部科学省
「高等学校学習指導要領解説」情報編　文部科学省

講義時使用テキスト

「社会と情報」赤堀侃司・永野和男　著　東京書籍

資格との関連

教職課程(高等学校:情報)の必修科目である。

学生へのメッセージ

授業ではパソコンを使用する。データ保存の記憶メディア(USB等)も準備すること。
ICTの情報に興味・関心を持ち、その知識・技術の習得に心がけること。

実務との関連

高等学校の商業科教諭として青森県内の高等学校や県情報処理教育センター等に勤務。実務経験をもとに情報教育の実際について指導する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	情報教育の意義と目的	【教職課程履修の手引き】を読む	授業内容を振り返る
2	情報教育の歴史と変遷	学習指導要領「情報科」解説編を読む	授業内容を振り返る
3	共通教科情報科の目標と内容	学習指導要領「情報科」解説編を読む	授業内容を振り返る
4	「社会と情報」(1)情報の活用と表現の教材研究(ICTの活用)	「社会と情報」を読む	授業内容を振り返る
5	「社会と情報(1)情報の活用と表現の学習指導案作成(ICTの活用)	学習指導案(ICTの活用)作成する	授業内容を振り返る
6	「社会と情報」(1)情報の活用と表現の模擬授業(ICTの活用)	学習指導案を作成する 模擬授業の準備をする(ICTの活用)	授業内容を振り返る
7	「社会と情報」(2)情報通信ネットワークとコミュニケーションの教材研究(ICTの活用)	「社会と情報」を読む(ICTの活用)	授業内容を振り返る
8	「社会と情報」(2)情報通信ネットワークとコミュニケーションの学習指導案作成(ICTの活用)	学習指導案を作成(ICTの活用)	授業内容を振り返る
9	「社会と情報」(2)情報通信ネットワークとコミュニケーションの模擬授業(ICTの活用)	学習指導案を作成する 模擬授業の準備をする(ICTの活用)	授業内容を振り返る
10	「社会と情報」(3)情報社会の課題と情報モラルの教材研究(ICTの活用)	「社会と情報」を読む(ICTの活用)	学習指導案を作成
11	「社会と情報」(3)情報社会の課題と情報モラルの学習指導案作成(ICTの活用)	学習指導案を作成する(ICTの活用)	模擬授業の準備
12	「社会と情報(3)情報社会の課題と情報モラルの模擬授業(ICTの活用)	学習指導案を作成する 模擬授業の準備をする(ICTの活用)	模擬授業を振り返る
13	「社会と情報」(4)望ましい情報社会の構築の教材研究(ICTの活用)	「社会と情報」を読む(ICTの活用)	授業内容を振り返る
14	「社会と情報」(4)望ましい情報社会の構築の学習指導案作成(ICTの活用)	学習指導案を作成する(ICTの活用)	模擬授業の準備
15	「社会と情報」(4)望ましい情報社会の構築の模擬授業(ICTの活用)	学習指導案を作成する 模擬授業の準備をする(ICTの活用)	模擬授業を振り返る

講義名	5000009000 情報科教育法B						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	地域経営学科		担当教員(単位認定者)	根城　隆幸			

学習目標(到達目標)

教員免許(情報)の取得に必要な知識・技術を習得し、高等学校学習指導要領(情報)の指導ができる。ICTを活用した授業ができる。

授業概要(教育目的)

情報技術の急速な進展に相まって、社会の様相は著しく変化している。このため、情報科教員は、情報社会の様相を把握するといった能力に加え、指導過程においても社会の変化に適応する能力が特に求められている。

情報通信技術の進歩や社会環境の変化について対応しながら、「情報科教育法A」を基礎として、教科「情報」に関する指導内容と指導方法(指導の展開を含める)について、模擬授業を積極的に取り入れ、ICTを活用する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

学習指導案、模擬授業、授業態度等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

模擬授業及び学習指導案について、講評する

参考文献

「高等学校学習指導要領及び解説」　文部科学省
「高等学校学習指導要領及び解説」情報編　文部科学省
「情報科教育法」　久野靖・辰巳丈夫　監修　オーム社

講義時使用テキスト

「社会と情報」　赤堀侃司・永野和男　著　東京書籍

資格との関連

教職課程(高等学校:情報)の必修科目である。

学生へのメッセージ

【履修上の注意】
「情報科教育法A」を履修していること。
・授業では、ノートパソコンを持参すること。
【授業外活動状況】
日常からICT関連の情報収集に心掛けること。

実務との関連

高等学校の商業科教諭として青森県内の高等学校や県情報処理教育センター等に勤務。実務経験をもとに情報教育について指導する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	高等学校学習指導要領に基づく学習指導案の作成(授業計画案)	学習指導要領「情報科」解説編を読む	授業内容を振り返る
2	模擬授業:「社会と情報」(情報社会とわたくしたち)(ICTの活用)	模擬授業の準備をする(ICTの活用)	授業内容を振り返る
3	模擬授業:「社会と情報」(情報機器とディジタル表現)(ICTの活用)	学習指導案を作成する 模擬授業の準備をする(ICTの活用)	模擬授業の準備
4	模擬授業:「社会と情報」(表現と伝達)(ICTの活用)	模擬授業の準備をする(ICTの活用)	模擬授業を振り返る
5	模擬授業:「社会と情報」(コミュニケーションとネットワーク)(ICTの活用)	模擬授業の準備をする(ICTの活用)	模擬授業を振り返る
6	模擬授業:「社会と情報」(法規とセキュリティ)(ICTの活用)	模擬授業の準備をする(ICTの活用)	模擬授業を振り返る
7	模擬授業:「社会と情報」(情報社会と問題解決)(ICTの活用)	模擬授業の準備をする(ICTの活用)	模擬授業を振り返る
8	模擬授業:「情報の科学」(情報とコンピュータ)(ICTの活用)	模擬授業の準備をする(ICTの活用)	模擬授業を振り返る
9	模擬授業:「情報の科学」(ネットワークの仕組みと情報システム)(ICTの活用)	模擬授業の準備をする(ICTの活用)	模擬授業を振り返る
10	模擬授業:「情報の科学」(問題解決のためのコンピュータ利用)(ICTの活用)	模擬授業の準備をする(ICTの活用)	模擬授業を振り返る
11	模擬授業:「情報の科学」(ネットワークとデータベース)(ICTの活用)	模擬授業の準備をする(ICTの活用)	模擬授業を振り返る
12	模擬授業:「情報の科学」(情報技術と社会)(ICTの活用)	模擬授業の準備をする(ICTの活用)	模擬授業を振り返る
13	模擬授業:自由課題によるプレゼンテーション(ICTの活用)	模擬授業の準備をする(ICTの活用)	模擬授業を振り返る
14	授業評価(自己点検)、情報教育の在り方	授業評価について、インターネット等で調べる(ICTの活用)	授業内容を振り返る
15	共通教科情報科と教師の資質	【情報科教育法】を振り返る	【情報科教育】を振り返る